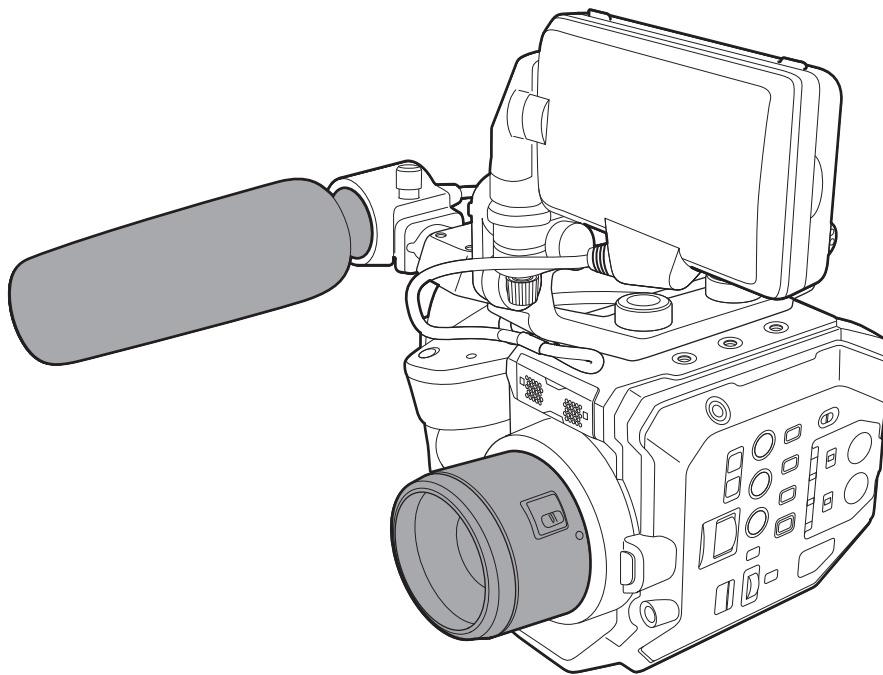


Panasonic[®]

取扱説明書

メモリーカードカメラレコーダー

品番 **AU-EVA1**



AVCHD[™]
Progressive

DOLBY AUDIO[™]

HDMI[™]

SD[™] V90
XC II

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（5～8ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

著作権について

あなたが撮影（録画など）や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

商標などについて

- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- AVCHD, AVCHD Progressive、および AVCHD Progressive のロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby, Dolby Audio、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI, High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- Microsoft® および Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- Intel®, Pentium®, Celeron® および Intel® Core™ は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Mac および Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPad は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Android および Google Play は Google LLC の商標または登録商標です。
- Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。
- WPA™, WPA2™ は Wi-Fi Alliance® の商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

ライセンスについて

- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
 - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com/>) をご参照ください。
- 本製品でメモリーカードに記録して、エンドユーザーに営利目的でそのカードを配布する場合には、別途 MPEG-LA とのライセンス契約が必要です。ここで言うエンドユーザーとは、個人使用目的でコンテンツを扱う人や団体を指しています。

本書の見かた

■ 本書内のイラストについて

- 本書内の製品姿図、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

■ 表記について

- [] の語句は液晶モニターに表示される内容を示しています。
- 〈 〉 の語句はボタン名など本機の意匠文字を示しています。

■ 参照ページについて

- 本書では、参照ページを（00 ページ）のように示しています。

■ 用語について

- SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードは、特に区別しない限り「SD カード」と記載しています。
- 1 回の記録動作により作成された映像を「クリップ」と呼び、そのように記載しています。

もくじ

安全上のご注意	5	INFO 画面	68
第 1 章 概要	9	VIEW 画面	68
ご使用前に	10	サムネール画面	68
付属品	13	メニューの基本操作	69
使用する地域の設定について	14	メニューの構成	69
[AREA SETTINGS]	14	メニューの表示	70
[TIME ZONE]	14	メニューの操作	71
[CLOCK SETTING]	15	メニューの初期化	72
システムで活用	16	メニューの設定内容	73
基本構成機器	16	[THUMBNAIL] メニュー	73
拡張構成機器	16	[SYSTEM SETTINGS] メニュー	73
本機でできること	17	[CAMERA SETTINGS] メニュー	79
レンズ交換式 4K/60P カメラ	17	[SCENE FILE SETTINGS] メニュー	83
メモリーカードに記録	17	[REC SETTINGS] メニュー	87
外部機器との連携	17	[AUDIO SETTINGS] メニュー	89
第 2 章 各部の名称	19	[OUTPUT SETTINGS] メニュー	92
カメラ本体	20	[FILE] メニュー	102
左面部	20	[NETWORK SETTINGS] メニュー	103
右面部	21	[OPTION] メニュー	104
前面部	22	シーンファイルの工場出荷値について	106
後面部	23	[SCENE FILE SETTINGS] メニュー	106
上面部	24	シーンファイル / セットアップファイル / 初期化の対象項目に ついて	108
下面部	25	[THUMBNAIL] メニュー	108
液晶モニターユニット	26	[SYSTEM SETTINGS] メニュー	108
グリップ	27	[CAMERA SETTINGS] メニュー	109
基本的な操作について	28	[SCENE FILE SETTINGS] メニュー	110
マルチダイヤルの操作について	28	[REC SETTINGS] メニュー	110
液晶モニターのタッチ操作について	28	[AUDIO SETTINGS] メニュー	111
第 3 章 準備	29	[OUTPUT SETTINGS] メニュー	111
電源の供給	30	[FILE] メニュー	113
バッテリーの充電	30	[NETWORK SETTINGS] メニュー	113
バッテリーの取り付け / 取り外し	32	[OPTION] メニュー	113
AC アダプターの使用	33	設定データの取り扱い	114
付属品 / アクセサリーの取り付け	34	シーンファイルについて	114
ハンドル	34	セットアップファイルについて	115
グリップ	35	第 5 章 撮影	117
液晶モニターユニット	38	撮影	118
ショルダーベルトの取り付け	40	記録映像の解像度、コーデック、フレームレートの選択	118
外部マイクの取り付け	41	RAW 出力の解像度、フレームレートの選択	121
レンズの取り付け	42	画質調整	122
三脚の取り付け	43	[EI]	122
電源の入れ方 / 切り方	44	[WHITE]	122
電源の入れ方	44	[BLACK]	123
電源の切り方	44	[GAMMA]	123
内蔵電池の充電	45	[KNEE]	125
内蔵時計の日付 / 時刻の設定	46	[HLG KNEE]	126
SD カードの準備	47	[WHITE CLIP]	126
本機で使用できる SD カード	47	[DETAIL]	126
誤消去を防ぐには	47	[SKIN DETAIL]	127
カードアクセスランプと SD カードの状態について	47	[CHROMA]	127
SD カードの挿入 / 取り出し	48	[MATRIX]	127
SD カードのフォーマット	49	[COLOR CORRECTION]	128
SD カードの記録時間について	49	バリアブルフレームレート (VFR) 記録機能	129
記録データの取り扱い	50	バリアブルフレームレート (VFR)	129
タイムデータの設定	53	特殊な記録機能について	130
タイムデータの概要	53	プリレック	130
ユーザーズピットの設定	53	リレー記録	130
タイムコードの設定	54	サイマル記録	131
タイムコードを外部にプリセットさせる	55	インターバル記録	131
タイムコードを外部に供給する	56	IR 撮影	132
USER ボタンへの機能の割り当て	57	便利な撮影機能	133
USER ボタンに割り当てられる機能	57	ゼブラパターンの表示	133
USER ボタンに割り当てた機能の確認	58	センターマーカの表示	133
タリーランプ	59	セーフティゾーンマーカの表示	133
第 4 章 操作	60	フレームマーカの表示	134
画面の基本操作	61	ワンプッシュオートフォーカス機能	134
主なボタン操作と画面表示	61	フォーカスアシスト機能	134
主なボタン操作と画面切り替え	62	電子手ぶれ補正機能	136
HOME 画面の表示	63	ウェーブフォームモニター機能	137
各画面の操作	65	デジタルズーム機能	137
HOME 画面	65	水準器	137
		カラーバー	138
		音声入力	139
		音声入力の切り替え	139
		内蔵マイクを使用する場合	139
		オーディオ機器や外部マイクを使用する場合	139


音声の記録レベルの調整	139
音声のモニター	140
ダイレクトボリュウムコントロール機能	140
音声入力の設定確認	141
第 6 章 再生	142
サムネール操作について	143
サムネール操作の概要	143
サムネール画面	143
クリップのコピー	146
クリップの削除	147
クリップのプロテクト	147
クリップの修復	148
クリップの再生	149
便利な再生機能	151
レジューム再生	151
写真記録機能	152
第 7 章 出力と画面表示	153
出力フォーマット	154
〈SDI OUT〉 端子から出力できるフォーマット	154
〈HDMI〉 端子から出力できるフォーマット	155
画面の状態表示	157
第 8 章 外部機器との接続	161
ヘッドホン、テレビ / モニターとの接続	162
ヘッドホン	162
テレビ / モニター	162
iPad や Android 端末によるリモート操作	163
iPad や Android 端末を接続するための準備	164
ワイヤレスモジュールの取り付け	164
EVA ROP アプリの準備	164
EVA ROP アプリ接続中の操作について	164
本機の設定	165
ユーザーアカウント名とパスワードの設定	165
ユーザーアカウントの削除	165
本機と iPad/Android 端末の接続	166
直接接続 ([DIRECT])	166
ワイヤレスアクセスポイントに接続 ([INFRA (SELECT)] / [INFRA (MANUAL)])	166
第 9 章 お知らせ	169
よくある質問	170
電源関連	170
バッテリー関連	170
バッテリーチャージャー	170
SD カード	170
撮影	170
編集	170
再生	171
その他	171
ワーニングシステム	172
エラーメッセージが表示される場合	172
同時に使用できない記録機能について	176
本機搭載ファームウェアのアップデート	177
お手入れと保管について	178
カメラ本体のお手入れ	178
保管上のお願ひ	178
保証とアフターサービス (よくお読みください)	179
修理を依頼されるとき	179
第 10 章 仕様	180
寸法図	181
定格	182
総合	182
カメラ部	182
メモリーカードレコーダー部	182
デジタルビデオ部	183
デジタルオーディオ部	183
ビデオ出力部	183
オーディオ入力部	184
オーディオ出力部	184
その他入出力部	184
モニター	184
AC アダプター	184
バッテリーチャージャー (AG-BRD50)	184
バッテリーパック (AG-VBR59)	185
さくいん	186


安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **危険** 「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

    してはいけない内容です。

  実行しなければならない内容です。

危険

バッテリーは…



- 指定以外のものを使わない
- 端子部（+・-）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
- 分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない
- 電子レンジやオーブンなどで加熱しない
- 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
（液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）
⇒ 使用しない時は、ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
⇒ 不要（寿命）になったバッテリーについては（10 ページ）をご参照ください。
⇒ 万一、液もれが起これば、販売店にご相談ください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。



- 本機専用のバッテリーチャージャーで充電する
（液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）

バッテリーチャージャーは…



- 本機専用のバッテリー以外の充電には使わない
（液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）



警告

カメラレコーダーや付属品は…

異常、故障時には直ちに使用を中止する



- 異常があったときは、ACアダプターの電源プラグを抜く
[内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき
(そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。)
⇒ACアダプターを電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。
⇒バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
⇒販売店にご相談ください。]



- 乗り物を運転しながら使わない
(事故の誘発につながります。)
⇒歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

- 可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない
(火災の原因になります。)
⇒粉じんの発生する場所でも使わないでください。

- 電源を入れたまま長時間直接接触して使用しない
(本機の温度の高い部分に、長時間直接接触していると低温やけど*の原因になります。)
長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。
※血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や、皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。



- 雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプターやバッテリーチャージャーなどの電源プラグに触れない
(落雷すると、感電につながります。)



- 分解や改造をしない
(火災や感電の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。)
⇒点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。






- 本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする
(火災や感電の原因になります。)
⇒雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。
⇒機器の上や近くに、水などの液体が入った花びんなどの容器を置かないでください。


- ハンドルやグリップの取り付けは確実に
(落下すると事故の原因になります。)

⚠ 警告 (つづき)

ACアダプター、バッテリーチャージャーは…


	<ul style="list-style-type: none"> ■ ACコード・電源プラグを破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど] ■ 傷んだ電源プラグやゆるんだ電源コンセントのまま使用しない ■ たこ足配線等コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流 100 V ~ 240 V 以外での使用はしない (感電・火災の原因になります。) ⇒コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
 ぬれ手禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■ ぬれた手で電源プラグやコネクタに触れない (感電・火災の原因になります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源プラグは、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。) ⇒傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。 ■ 電源プラグのほこり等は定期的にとる (プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。) ⇒電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

小さな付属品は…

	<ul style="list-style-type: none"> ■ メモリーカード (別売品)、マイクホルダー用ねじは乳幼児の手に届くところに置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
--	---




⚠ 注意

カメラレコーダーは…

	<ul style="list-style-type: none"> ■ レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない (レンズにより集光されると、内部部品が破損し、火災の原因となります。) ■ 三脚を取り付けた状態で、本機のハンドルを使って持ち上げない (三脚を取り付けると、三脚の重量も本機のハンドルに加わるため、ハンドルが破損し、けがの原因になります。) ⇒三脚を取り付けているときは、必ず、三脚を持って運搬してください。 ■ 高倍率のズームレンズを装着した状態で、ハンドルを持って振り回したり、ゆさぶったり、振り下ろしたりしない (高倍率のズームレンズによる重量増加により、ハンドルを持って衝撃を加えると、ハンドルが破損し、けがの原因になります。) ■ ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない (ヘッドホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。)
---	--

⚠ 注意 (つづき)

カメラレコーダーや付属品は…

	<p>■ 本機の放熱を妨げない [押し入れや本箱など、狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上]に置かない (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)</p> <p>■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温 (約 60℃以上) になります。絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。)</p> <p>■ 油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない (火災や感電の原因になります。)</p> <p>■ 本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない (落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。) (重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。)</p> <p>■ コードやショルダーベルトを下にたらしたり、接続したコードを通路で引き回したりしない (足などを引っ掛けると、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、けがの原因になります。)</p>
	<p>■ 病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う (本機からの電磁波などにより、計器類に影響を及ぼすことがあります。)</p>
 電源プラグを抜く	<p>■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーを外し、ACアダプターやバッテリーチャージャーの電源プラグをコンセントから抜く (火災や感電の原因になります。)</p>

■ 本機で使用できるバッテリーについて (2017年10月現在)

本機で使用できるパナソニック製バッテリーは AG-VBR59 (付属品) および AG-VBR89、AG-VBR118、VW-VBD58 です。

パナソニック純正バッテリー (充電式電池) ご使用のおすすめ

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、当社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をおすすめいたします。

なお、当社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 本製品 (付属品を含む) に表示の記号は以下を示しています。

- ～ AC (交流)
- == DC (直流)
- 回 クラス II 機器 (二重絶縁構造)

この装置は、クラス B 情報技術装置です。

この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

第 1 章 概要

ご使用になる前に本章をお読みください。

ご使用前に

■ ご使用前には、必ず内蔵電池が消耗していないか確認し、日付 / 時刻を設定してください。

内蔵電池が消耗していると、本機の内蔵時計がリセットされます。そのため、クリップのメタデータが正しく記録されず、サムネール画面で正しく表示されないことがあります。

ご使用前には、内蔵電池が消耗していないか確認してください。(45 ページ)

また、日付 / 時刻を正しく設定してください。(46 ページ)

■ 雨天、降雪中、海岸などで使うときは、カメラに水が入らないようお気をつけください。

カメラやカードの故障の原因になります。(修理できなくなることがあります)

■ 磁気を発生する機器（テレビ、テレビゲームなど）からカメラを遠ざけてください。

- テレビの上やその周辺でカメラを使用しないでください。テレビから放出される電磁波で、カメラの画像や音声にひずみが生じることがあります。
- スピーカーや大型モーターから発生する強力な磁場は、録画内容を破損したり、画像をゆがめたりすることがあります。
- マイクロコンピュータの上やその周辺でカメラを使用しないでください。マイクロコンピュータから放出される電磁波で、カメラの画像や音声にひずみが生じることがあります。
- 磁気を発生する機器により、カメラが悪影響を受け、正確に動作しなくなることがあります。この場合、カメラの電源を切り、バッテリーを外すか、AC アダプターをコンセントから抜きます。次に、再度、バッテリーを取り付けるか、AC アダプターを接続します。その後、カメラの電源を入れます。

■ カメラをラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用しないでください。

ラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用すると、記録した画像や音声に悪影響が出るおそれがあります。

■ 海岸などで使用する場合、砂やほこりがカメラに入らないようお気をつけください。

砂やほこりでカメラやメモリーカードが破損することがあります。(メモリーカードを出し入れするときにはお気をつけください)

■ AC アダプター、バッテリーチャージャーとバッテリーについて

- バッテリーの温度が非常に高い、または非常に低い場合、充電に時間がかかったり、充電できなかつたりすることがあります。
- 充電ランプがオレンジ色で点滅し続ける場合は、バッテリーやバッテリーチャージャーの端子部にごみや異物、汚れが付着していないかを確認し、正しく接続し直してください。端子部に付着したごみや異物、汚れを取り除く場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。
- バッテリーの温度が極端に高かったり低かったりするときは、充電ランプがオレンジ色に点滅します。その後、バッテリーが充電可能な温度になると自動的に充電が始まります。
- バッテリーが適温でも充電ランプがオレンジ色で点滅し続けるときは、バッテリーまたはバッテリーチャージャーが故障している可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ラジオ（特に AM 受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入ることがあります。使用時は、1 m 以上離してください。
- 使用中、AC アダプターやバッテリーチャージャーの内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。(接続したままにしていると、AC アダプター単体で約 0.1 W の電力を消費しています)
- AC アダプター、バッテリーチャージャー、バッテリーの端子部を汚さないでください。機器をコンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

■ SD カードについて

- 長時間ご使用になると本機表面や SD カードが多少熱くなりますが、故障ではありません。
- SD カードのラベルに記載されているメモリー容量は、次の容量の合計です。
 - 著作権を保護・管理するための容量
 - 本機やパーソナルコンピューターなどで通常のメモリーとして利用可能な容量
- SD カードに強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 次のような場合、SD カードのデータが壊れたり、消失したりすることがあります。
 - 電気ノイズや静電気
 - 本機や SD カードの故障
- SD カードにアクセス中（カード 1 アクセスランプ / カード 2 アクセスランプがオレンジ色に点滅）、次の動作はしないでください。
 - SD カードを取り出す
 - 本体の電源を切らずにバッテリーや AC アダプターを外す
 - 振動や衝撃を与える

■ ご不要になった充電式電池はリサイクルへ

ご不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、リサイクルにご協力ください。

最寄りのリサイクル協力店へお持ちください。

詳しくは、一般社団法人 JBRC の Web サイトを参照してください。

<http://www.jbrc.com>

■ 使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 使用済み充電式電池を分解しないでください。



Li-ion

充電式

リチウムイオン
電池使用

■ カメラを持ち運ぶとき、落とさないようお気をつけください。

- 強い衝撃でカメラ本体が破損し、正しく動作しなくなることがあります。

● カメラを持ち運ぶときは、ハンドルかグリップを持ち、ていねいに取り扱ってください。

■ **カメラに殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。**

- 殺虫剤や揮発性のものがかかると、カメラ本体が変形したり、塗装がはげたりするおそれがあります。
- カメラは、ゴム製品やビニール製品に長期間接触させたままにしないでください。

■ **使い終わったら、バッテリーを外すか、または AC コードをコンセントから抜いてください。**

■ **バッテリーの特性について**

このバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。内部の化学反応で電気エネルギーを発生しています。この化学反応は周囲の温度や湿度に影響されます。バッテリーの有効使用時間は温度が高くなる、または、低くなるほど短くなります。極端に温度が低い環境で使用した場合は、約 5 分しか使用できません。

バッテリーが極端に高温になると、保護機能が働き、しばらく使用できなくなります。

■ **使い終わったら、必ずバッテリーを外してください。**

カメラからバッテリーを確実に外してください。

(バッテリーを取り付けたままにしておくと、カメラの電源を切っても、微量電流が消費されます)

長期間バッテリーを取り付けたままにしておくと、過放電になり、充電しても使用できなくなるおそれがあります。

電源が入った状態のまま、バッテリーを取り外さないでください。

電源を切り、動作ランプが完全に消えてから、バッテリーを取り外してください。

■ **バッテリーの端子部を保護してください。**

バッテリーの端子部に、ほこりや異物が付かないようにしてください。

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、バッテリー本体と端子部が変形していないか確認してください。

変形したバッテリーをカメラに入れたり、バッテリーチャージャーに取り付けたりしないでください。カメラやバッテリーチャージャーを傷めることがあります。

■ **メモリーカードを破棄 / 譲渡するときのお願い**

本機やパーソナルコンピューター機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全に消去されません。

廃棄 / 譲渡するときは、次の方法でデータを完全に消去することをお勧めします。

- メモリーカード本体を物理的に破壊する
 - 市販のパーソナルコンピューター用データ消去ソフトウェアなどを使用してメモリーカード内のデータを完全に消去する
- メモリーカード内のデータは、お客様の責任において管理してください。

■ **液晶モニターについて**

- 液晶モニターに、同じ映像や文字を長時間表示したままにしないでください。画面に映像の焼き付きが発生することがあります。数時間電源を切った状態にしておくと、元に戻ります。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターの液晶部に露がつくことがあります。そのような場合は、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- カメラが冷え切っている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。
- 液晶モニターのドットについては、有効画素の 99.99% 以上の高精度管理をしていますが、0.01% 以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、記録された映像に何ら影響を与えるものではありません。
- 液晶保護シートを貼ると、見えにくくなったり、タッチしても認識しにくくなったりすることがあります。

■ **レンズを太陽に向けないでください。**

内部の部品が破損するおそれがあります。

■ **レーザー光線についての留意点**

レーザー光線が MOS センサーに照射されると、MOS センサーを破壊するおそれがあります。

レーザー照射機器が使用されている環境で撮影する場合は、レンズにレーザー光線が照射されないよう、十分お気をつけください。

■ **次の点にご留意ください。**

- 重要な記録の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 本機、およびメモリーカードの使用中に、万一これらの不具合により録画されなかった場合、録画内容の保証についてはご容赦ください。
- 記録の前にカレンダー（内蔵時計の日付 / 時刻）とタイムゾーンを設定、または設定の確認をしてください。記録したコンテンツの管理に影響します。

■ **免責について**

当社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- 1 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- 2 お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- 3 お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- 4 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が記録、および、表示できないことによる不便・損害・被害
- 5 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- 6 お客様による撮影映像（記録を含む）が何らかの理由（ネットワークのユーザー認証 OFF での使用を含む）により公となり、または目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
- 7 登録した情報内容が何らかの原因（ユーザー名、パスワードなどの認証情報を忘れたことにより、本商品を初期化する場合を含む）により、消失してしまうこと

■ **ネットワークに関するお願い**

本機はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- 1 本機を経由した情報の漏えいや流出

2 悪意を持った第三者による本機の不正操作

3 悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。これらの被害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- パーソナルコンピューターが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、認証を利用し、認証情報（ユーザー名、パスワードなど）は 8 文字以上かつ文字種類 3 種以上を使用するなどして、第三者に推測されないように、初期値から変更する。
- 認証情報（ユーザー名、パスワードなど）を第三者の目に触れないよう、適切に保管する。
- 認証情報（ユーザー名、パスワードなど）は、定期的に変更する。
- 本機内の設定情報をネットワーク上に漏えいさせないため、ユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。

■ セキュリティについて

本機の盗難、遺失や放置には十分お気をつけください。それらによる情報の漏えい、改ざん、消失については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 本製品に関するソフトウェア情報

- 1 本製品には、GNU General Public License (GPL)、ならびに GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。
- 2 本製品には、MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
- 3 This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>).
- 4 本製品には、OpenBSD License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
- 5 This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- 6 本製品には、MOZILLA PUBLIC LICENSE に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

これらの内容（原文【英文】で記載しております）と、ソースコードの入手については、次の Web サイトを参照してください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

なお、お客様が入手されたソースコードの内容などについてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

GPL/LGPL その他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本機に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

付属品

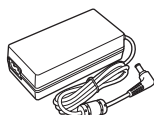
バッテリー (品番: AG-VBR59) (30 ページ)



バッテリーチャージャー (品番: AG-BRD50) (30 ページ)



AC アダプター (30 ページ)

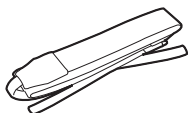


AC コード (30 ページ)

- AC アダプター用



ショルダーベルト (40 ページ)



マイクホルダー (41 ページ)



マイクホルダー用ねじ (41 ページ)

- 長さ 12 mm (2 本)



マイクホルダーアダプター (41 ページ)



グリップ (35 ページ)

- カメラ本体にあらかじめ取り付けられています。

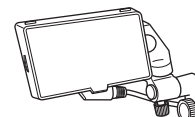


グリップベルト (35 ページ)

- グリップにあらかじめ取り付けられています。

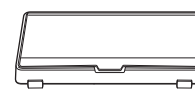


液晶モニター (38 ページ)



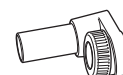
液晶モニターフード (38 ページ)

- 液晶モニターにあらかじめ取り付けられています。



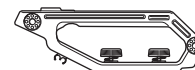
液晶モニター取り付けアタッチメント (38 ページ)

- 液晶モニターにあらかじめ取り付けられています。



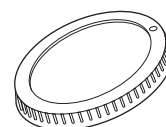
ハンドル (34 ページ)

- カメラ本体にあらかじめ取り付けられています。



マウントキャップ (42 ページ)

- カメラ本体にあらかじめ取り付けられています。



NOTE

- AC コードキャップ (付属している場合のみ) および包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。

使用する地域の設定について

本機は、使用する地域が未設定の状態出荷されています。

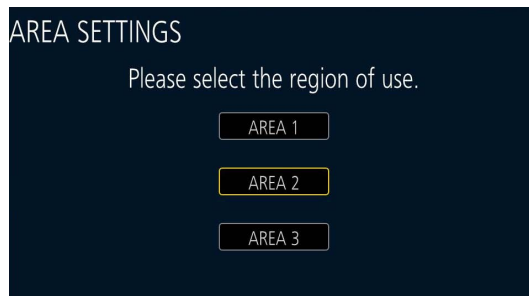
初めて電源を入れると、液晶モニターに [AREA SETTINGS] が表示されます。

案内に従って、[AREA SETTINGS]、[TIME ZONE]、[CLOCK SETTING] の順に設定してください。

- 操作方法は、マルチダイヤルで操作する方法と、液晶モニターをタッチして操作する方法があります。

[AREA SETTINGS]

ご使用の地域を設定します。



- 1 カメラ本体に、充電済みのバッテリーまたは AC アダプターを接続し、電源スイッチを $\langle | \rangle$ (入) にする。

[AREA SETTINGS] 画面が表示されます。

- 2 使用する地域を選択する。

[AREA 1]：日本、台湾、韓国

[AREA 2]：アメリカ合衆国、カナダ、中南米地域

[AREA 3]：アジア地域（日本、台湾、韓国以外）、オセアニア地域、インド

- 3 確認メッセージが表示されたら [YES] を選択する。

手順 2 で選択した地域に応じて初期化されます。本機は、自動的に再起動します。

NOTE

- 一度設定すると、次回以降の起動時には [AREA SETTINGS] 画面は表示されません。
- 使用する地域を変更するときは、[OPTION] メニュー → [AREA SETTINGS] で設定してください。

■ 各使用地域の設定内容

選択した地域によって、次の設定が異なります。

- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [CLOCK] → [DATE FORMAT]
- [AUDIO SETTINGS] メニュー → [AUDIO CH SETTINGS] → [HEAD ROOM]
- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [LANGUAGE]

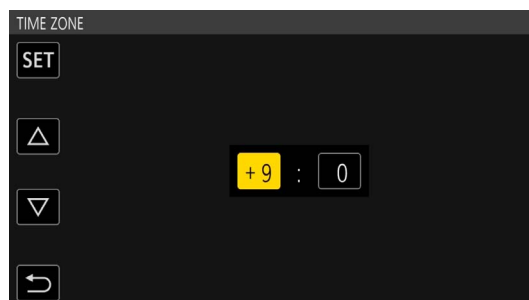
項目	[AREA 1]	[AREA 2]	[AREA 3]
[DATE FORMAT]	[Y-M-D]	[M-D-Y]	[D-M-Y]
[HEAD ROOM]	[20dB]	[20dB]	[18dB]
[LANGUAGE] *	[English]	[English] [Español] [Français]	[English] [Español] [Français]

* [AREA 1] を選択したとき、[SYSTEM SETTINGS] メニューの項目に [LANGUAGE] は表示されません。

[TIME ZONE]

[AREA SETTINGS] の設定が完了すると、[TIME ZONE] 画面が表示されます。

グリニッジ標準時からの時差を設定します。

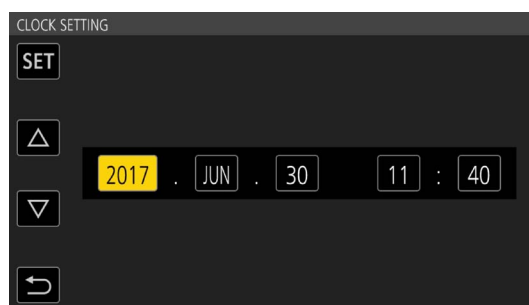


- 1 時差を設定する。

- 2 [SET] を選択する。

[CLOCK SETTING]

[TIME ZONE] の設定が完了すると、[CLOCK SETTING] 画面が表示されます。
年、月、日、時刻を設定します。



1 年、月、日、時刻を設定する。

2 [SET] を選択する。

設定が完了すると、液晶モニターに VIEW 画面が表示されます。

システムで活用

本機、液晶モニター、ハンドル、グリップ以外は別売です。次の推奨品をご使用ください。

基本構成機器

バッテリーなど本機での撮影に必要な機器です。

品名	品番	備考
EF レンズ*	CANON/ZEISS/SIGMA	「レンズの取り付け」
超指向性マイク (ファントム +48V)	AG-MC200G	「外部マイクの取り付け」
バッテリー	AG-VBR59 (7.28 V、5900 mAh 付属のバッテリーと同等品) AG-VBR89 (7.28 V、8850 mAh) AG-VBR118 (7.28 V、11800 mAh) VW-VBD58 (7.2 V、5800 mAh)	「バッテリーの取り付け / 取り外し」
バッテリーチャージャー	AG-BRD50 (付属のバッテリーチャージャーと同等品) AG-B23	「バッテリーの充電」
SD カード*	Web サイトのサポートデスクを参照*	「SD カードの準備」

* 取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、次の Web サイトのサポートデスクを参照してください。
<https://panasonic.biz/cns/sav/>

拡張構成機器

基本構成機器に加えて、ワイヤレスモジュールが使用できます。

接続可能なワイヤレスモジュールについては、次の Web サイトのサポートデスクを参照してください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

本機でできること

レンズ交換式 4K/60P カメラ

本機は、次の特長を備えたレンズ交換式 4K/60P カメラです。

- 新開発スーパー 35 mm 5.7K センサーと新 LSI による 4:2:2 (10 ビット) 4K/2K の高画質収録が可能 *1
 - 2K、FHD 画質で 120fps/240fps 撮影に対応 *2
 - 4K、UHD 画質で 4:2:0 (10 ビット) 60fps 撮影に対応
- クリエイティビティーを喚起する新機能を搭載
 - RAW 出力：〈SDI OUT〉端子から RAW、5.7K/30P、4K/60P (クロップサイズ)、2K/240P (クロップサイズ) 出力
 - HDR 制作 (V-Log/HLG) に対応
 - IR 撮影が手軽にでき、幻想的な映像表現が可能
- 幅広い用途に対応するデザインや撮影をサポートするインターフェースを搭載
 - ドローンやジンバルへの搭載を考慮したコンパクトデザイン、撮影スタイルに合わせて各ユニット (ハンドル、グリップ、液晶) 着脱可能
 - 業界初 (2017 年 10 月現在) のカメラ内手ぶれ補正 (E.I.S.) 搭載
 - 〈SDI OUT〉端子 / 〈HDMI〉端子から 4:2:2 (10 ビット) で同時出力可能
 - 高速バスインターフェース UHS-II 対応のダブルカードスロット装備
さらなる高画質で記録できる 400 Mbps の ALL-Intra 記録をサポート
 - レンズマウントに EF レンズマウントを採用
数多くのラインナップがある EF レンズを使用可能

*1 4K/30P、2K/120P まで

*2 120P を超えるフレームレート時は、内部記録 8 ビット 4:2:0、Four Thirds イメージサークルクロップサイズ

メモリーカードに記録

SD カード

次のような記録ができます。

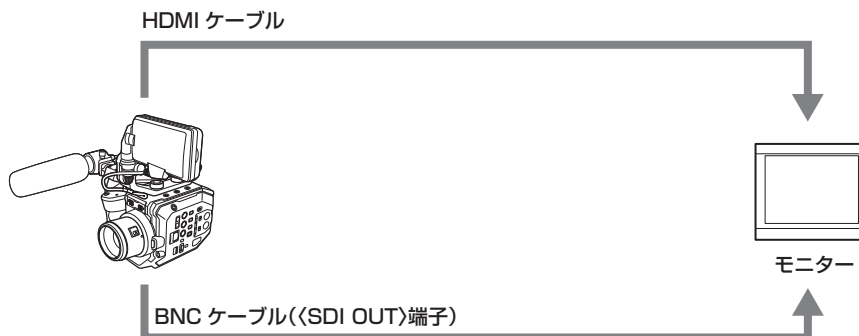
- 4K、UHD、2K、FHD 記録
4:2:0 (10 ビット) MOV 記録 (HEVC) / (4:2:0 (8 ビット) MOV 記録 / 4:2:2 (10 ビット) MOV 記録)
- AVCHD 記録
- バリアブルフレームレート記録
(2K、FHD 画質で 120fps/240fps 撮影に対応)
- サイマル記録
- リレー記録
- インターバル記録
- プリレック

外部機器との連携

モニターとの接続

モニターと接続して、映像を出力します。

- HDMI ケーブル (別売品) は、4K/60P に対応した二重シールドケーブルをご使用ください。また、当社製の 4K/60P に対応した HDMI ケーブルのご使用をお勧めします。
- 〈SDI OUT〉端子に接続する BNC ケーブル (別売品) は、5C-FB 相当の二重シールドのものをご使用ください。



iPad や Android 端末によるリモート操作

本機の〈USB2.0 HOST〉端子に、本機に対応したワイヤレスモジュールを装着すると、ワイヤレス LAN に接続できます。

本機と EVA ROP アプリをインストールした iPad や Android 端末を接続することで、次の操作ができます。

- カメラステータスの確認
- カメラリモートコントロール (記録制御とシャッター、EXPOSURE INDEX、アイリス、ホワイトバランスなどカメラの設定、タイムコードの確認)
- メニュー操作

本機に対応したワイヤレスモジュールおよび EVA ROP アプリの操作について、詳しくは次の Web サイトのサポートデスクを参照してください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

 **NOTE**

- [DIRECT] で [5GHz] に設定しているときは、屋外での使用が禁止されています。（[DIRECT] は iPad や Android 端末から本機に直接アクセスするモードです。）

第2章 各部の名称

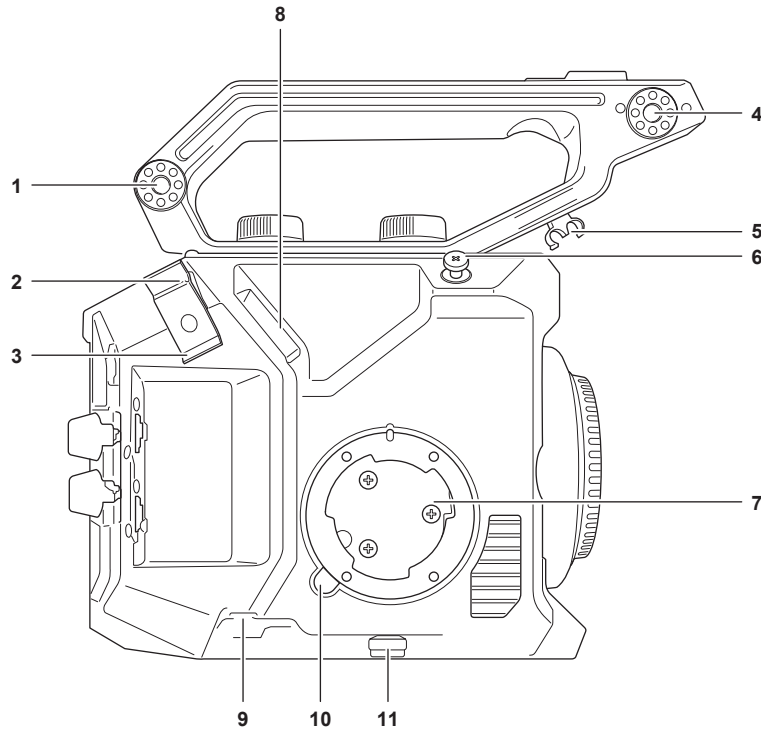
本機の各部の名称と機能、動作について説明します。

カメラ本体

左面部

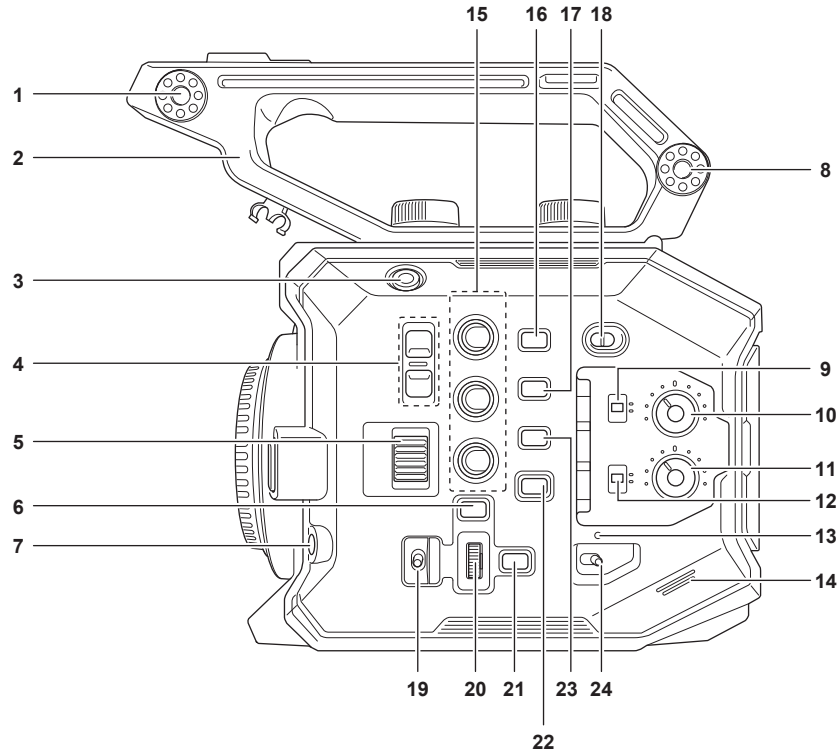
次の端子は、カバー内部にあります。

- 〈LCD〉端子



- 1 **アクセサリ取り付け部**
付属の液晶モニター取り付けアタッチメントも取り付けできます。
- 2 **HDMI ケーブルクランプ**
HDMI ケーブルを固定します。
- 3 **マイクケーブルクランプ**
外部マイクのケーブルを固定します。
- 4 **マイクホルダー取り付け部**
付属のマイクホルダーアダプター、およびマイクホルダーを取り付けます。
- 5 **液晶モニターケーブルクランプ**
液晶モニターユニットのケーブルを固定します。
- 6 **メジャーフック**
イメージセンサーの撮像面の位置を示します。
- 7 **グリップ取り付け部**
付属のグリップを取り付けます。
- 8 **〈LCD〉端子**
液晶モニターユニットのケーブルを接続します。
- 9 **〈REMOTE〉端子**
グリップのケーブルを接続します。
- 10 **〈GRIP RELEASE〉ボタン**
グリップをカメラ本体から取り外すときに使用します。
- 11 **グリップケーブルクランプ**
グリップのケーブルを固定します。

右面部



1 液晶モニターユニット取り付け部

付属の液晶モニター取り付けアタッチメントを取り付けます。

2 ハンドル

着脱可能なハンドルです。
カメラ本体にあらかじめ取り付けられています。

3 REC ボタン

記録を開始、または停止します。

4 〈ND FILTER〉 ボタン

〈+〉 ボタン 〈-〉 ボタンを押して ND フィルターを切り替えます。

設定した値は、VIEW 画面の ND フィルター表示で確認できます。ND フィルター表示の表示内容は、次のとおりです。

[ND:1.8] : MOS センサーに入る光の量を 1/64 にします。

[ND:1.2] : MOS センサーに入る光の量を 1/16 にします。

[ND:0.6] : MOS センサーに入る光の量を 1/4 にします。

[ND:CLR] : ND フィルターを使用していません。

5 〈IRIS〉 ダイアル

EF レンズのアイリスを制御します。

上回転 : 絞り込む方向に制御します。

下回転 : 開放方向に制御します。

押す : 〈AUTO〉 / 〈MANU〉 を切り替えます。

6 〈MENU〉 ボタン

メニューを表示します。メニューを表示しているときに 〈MENU〉 ボタンを押すと、メニューを閉じます。

7 〈AWB〉 / 〈USER 6〉 ボタン

ホワイトバランスを調整します。

また、USER ボタン (USER6) としても使用します。

8 アクセサリー取り付け部

付属の液晶モニター取り付けアタッチメントも取り付けできます。

9 〈CH1〉 スイッチ

〈AUDIO INPUT 1〉 端子の音声の入力レベルを調整する方法を選択します。

〈AUTO〉 : 自動で調整します。

〈MANU〉 : 〈AUDIO LEVEL CH1〉 つまみで調整します。

10 〈AUDIO LEVEL CH1〉 つまみ

〈CH1〉 スイッチを 〈MANU〉 に設定しているとき、音声の入力レベルを調整します。

11 〈AUDIO LEVEL CH2〉 つまみ

〈CH2〉 スイッチを 〈MANU〉 に設定しているとき、音声の入力レベルを調整します。

12 〈CH2〉 スイッチ

〈AUDIO INPUT 2〉 端子の音声の入力レベルを調整する方法を選択します。

〈AUTO〉 : 自動で調整します。

〈MANU〉 : 〈AUDIO LEVEL CH2〉 つまみで調整します。

13 電源ランプ

電源の状態を示します。電源が入るとき、赤色に点灯します。
ランプを点灯させるかどうかは、メニューで設定できます。

14 内蔵スピーカー

再生中の音声を出力します。
ヘッドホン端子にヘッドホンを接続すると、内蔵スピーカーから音声を出力されません。

15 USER ボタン (〈USER 1〉、〈USER 2〉 / 〈VIEW〉、〈USER 3〉 / 〈INFO〉)

ユーザーが選択した機能をそれぞれのボタンに割り当てることができます。VIEW 画面を表示中にボタンを押すと、割り当てられた機能が動作します。
HOME 画面を表示中にボタンを押すと、カメラ本体にオレンジ色の文字で示されている 〈VIEW〉 / 〈INFO〉 ボタンの動作をします。〈VIEW〉 ボタンを押すと VIEW 画面、〈INFO〉 ボタンを押すと INFO 画面が表示されます。


16 〈E.I.S.〉 / 〈USER 4〉 ボタン

電子手ぶれ補正機能の有効 / 無効を切り替えます。
また、USER ボタン (USER4) としても使用します。

17 〈WFM〉 / 〈USER 5〉 ボタン

液晶モニターに表示する波形モニターの表示 / 非表示を切り替えます。
また、USER ボタン (USER5) としても使用します。

18 〈LOCK〉 スイッチ

〈〉側にスライドすると、電源スイッチ以外の操作を無効にします。
[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SIDE LOCK] で、操作を無効にするボタンやスイッチを設定できます。

19 〈WB〉 / 〈USER〉 / 〈ISO/dB〉 スイッチ

〈WB〉 (ホワイトバランス) / 〈USER〉 (USER ボタン) / 〈ISO/dB〉 (ゲイン調整) の機能を切り替えて使用します。
選択している機能は、マルチダイヤルで操作します。

20 マルチダイヤル

メニューを表示しているときに、メニューの移動、選択や設定をします。
また、〈WB〉 / 〈USER〉 / 〈ISO/dB〉 スイッチで選択している機能を操作します。

21 〈EXIT〉 ボタン

メニューを表示しているときに、1 つ上の階層に戻ります。設定値を確定せずに 〈EXIT〉 ボタンを押すと、設定の変更は反映されません。

22 〈HOME〉 ボタン

液晶モニターに HOME 画面を表示します。

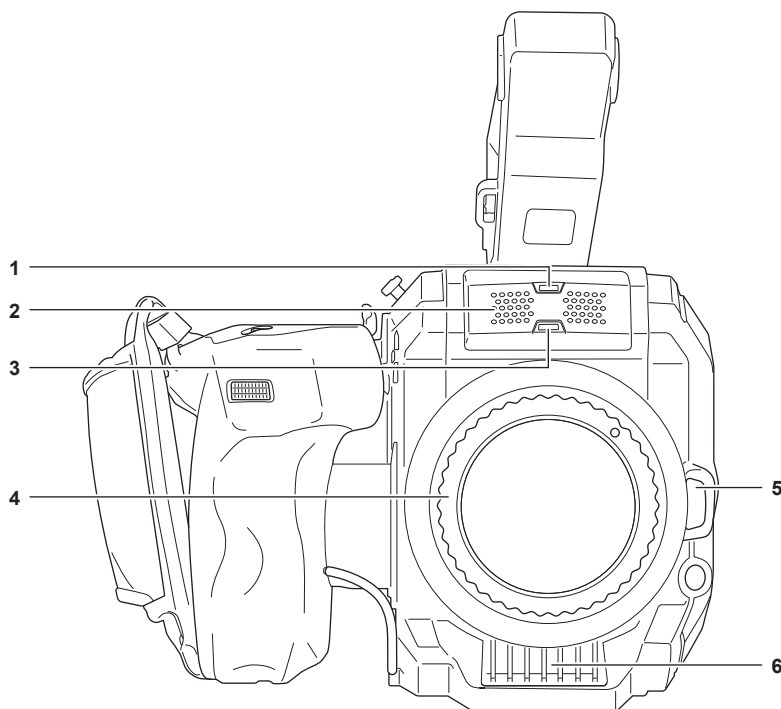
23 〈THUMBNAIL〉 ボタン

液晶モニターにサムネイル画面を表示します。
再度 〈THUMBNAIL〉 ボタンを押すと、VIEW 画面が表示されます。

24 電源スイッチ

電源の入 / スタンバイを切り替えます。
電源を入れるには、電源スイッチを 〈〉 (入) にします。電源をスタンバイ状態にするには、電源スイッチを 〈〉 (スタンバイ) にします。

前面部



1 外光センサー

屋内、屋外で光を検知するためのセンサーです。
オートトラッキングホワイトバランス (ATW) を使用する場合は、外光センサーをふさがないでください。

2 内蔵マイク

内蔵のステレオマイク 〈L〉 / 〈R〉 です。

3 フロントタリーランプ

記録を開始すると点灯します。また、バッテリー残量が少なくなったときに点滅します。
ランプを点灯させるかどうかは、メニューで設定できます。

4 EF レンズマウント

EF レンズを取り付けます。

- 図は、マウントキャップが取り付けられている状態です。レンズを取り付ける場合は、マウントキャップを取り外してください。

5 レンズロック解除ボタン

レンズをカメラ本体から取り外すときに、ロックを解除します。

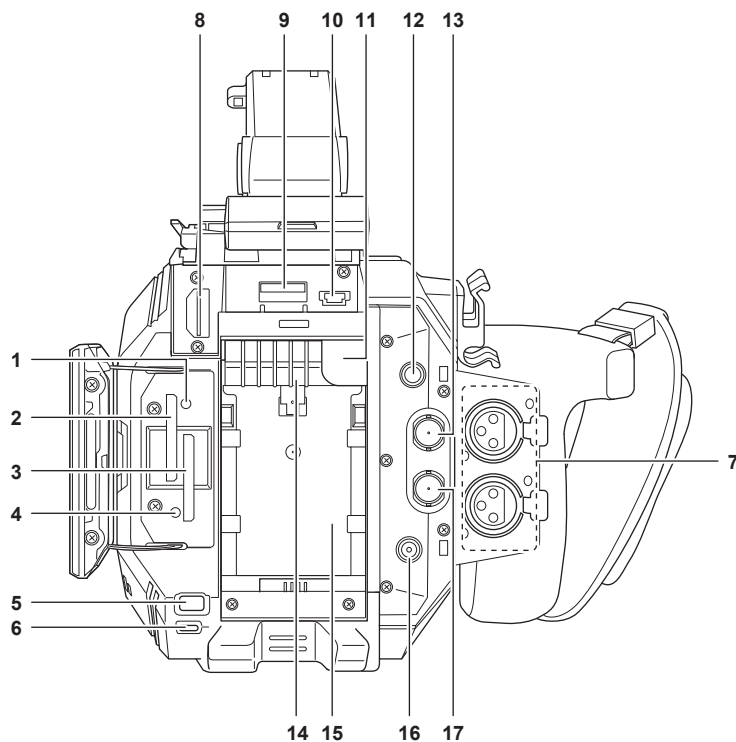
6 吸気口

冷却用ファンの吸気口です。本機を使用しているときは、ふさがらないでください。

後面部

次の端子、カードスロット、カードアクセスランプは、カバー内部にあります。

- 〈HDMI〉 端子
- 〈USB2.0 HOST〉 端子
- 〈SERVICE〉 端子
- ヘッドホン端子
- 〈SDI OUT〉 端子
- 〈TC IN/OUT〉 端子
- 〈DC IN 12V〉 端子
- カードスロット 1 / カードスロット 2
- カード 1 アクセスランプ / カード 2 アクセスランプ



1 カード 1 アクセスランプ

カードスロット 1 に挿入した SD カードの記録、再生のアクセス状況を表示します。
ランプを点灯させるかどうかは、メニューで設定できます。

2 カードスロット 1

SD カードのスロットです。

3 カードスロット 2

SD カードのスロットです。

4 カード 2 アクセスランプ

カードスロット 2 に挿入した SD カードの記録、再生のアクセス状況を表示します。
ランプを点灯させるかどうかは、メニューで設定できます。

5 〈SLOT SEL〉 / 〈USER 7〉 ボタン

記録対象、または再生対象のカードスロットを選択します。
また、USER ボタン (USER7) としても使用します。

6 リアタリーランプ

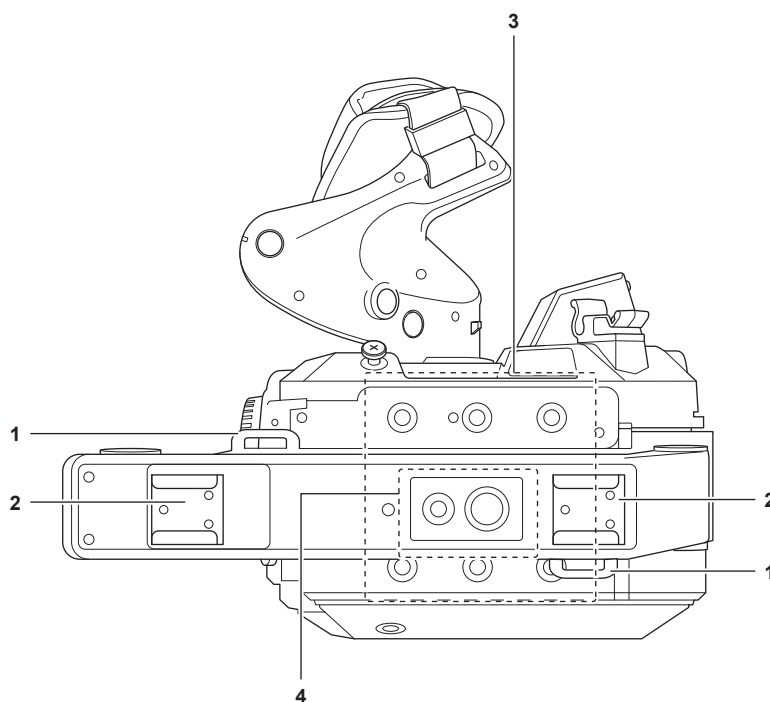
記録を開始すると点灯します。また、バッテリー残量が少なくなったときに点滅します。
ランプを点灯させるかどうかは、メニューで設定できます。

7 〈AUDIO INPUT 1〉 / 〈AUDIO INPUT 2〉 端子 (XLR, 3 ピン)

オーディオ機器、または外部マイクを接続します。

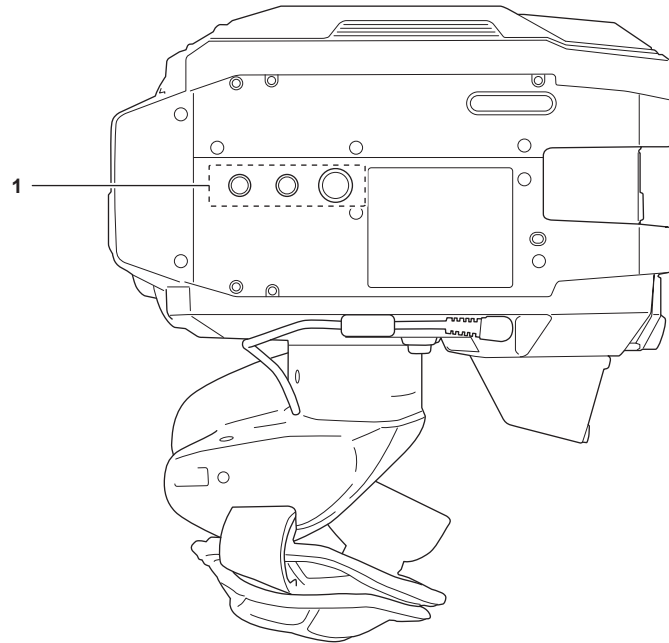
- 8 〈HDMI〉 端子
モニターなどを接続して、映像信号を出力する端子です。
- 9 〈USB2.0 HOST〉 端子
本機に対応したワイヤレスモジュール（別売品）を取り付けると、ワイヤレス LAN で接続ができます。
- 10 〈SERVICE〉 端子
メンテナンス用端子です。
- 11 バッテリー取り外しボタン
バッテリーをカメラ本体から取り外すときに使用します。
- 12 ヘッドホン端子
音声モニター用ヘッドホンを接続します。
- 13 〈SDI OUT〉 端子
モニターなどを接続して、SDI 信号を出力する端子です。
- 14 排気口
冷却用ファンの排気口です。本機を使用しているときは、ふさがないでください。
- 15 バッテリー取り付け部
バッテリーを取り付けます。
- 16 〈DC IN 12V〉 端子
付属の AC アダプターを接続して、外部電源を供給します。
- 17 〈TC IN/OUT〉 端子
外部機器と接続して、タイムコードを入力 / 出力します。
タイムコードを外部機器とロックするときに、基準となるタイムコードを入力します。
入力および出力は、[REC SETTINGS] メニュー → [TC] → [TC IN/OUT SEL] で設定します。

上面部



- 1 ショルダーベルト取り付け部
付属のショルダーベルトを取り付けます。(40 ページ)
- 2 アクセサリーシュー
ビデオライトなどを取り付けます。
- 3 アクセサリー取り付け穴
ハンドル、および液晶モニターユニットなどのアクセサリーを取り付けます。
●取り付け穴サイズ
- 1/4-20 UNC (ねじ長さ 5.5 mm 以下)
- 4 ハンドルアクセサリー取り付け穴
ハンドルの上部にアクセサリーを取り付けます。
●取り付け穴サイズ
- 1/4-20 UNC (ねじ長さ 5.5 mm 以下)
- 3/8-16 UNC (ねじ長さ 5.5 mm 以下)

下面部



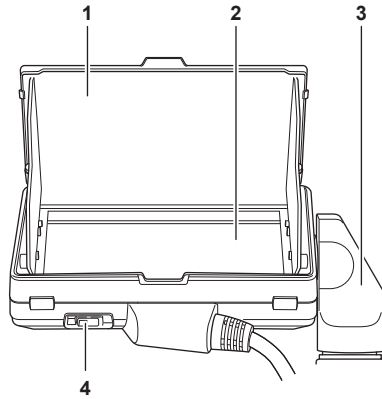
1 三脚取り付け穴

三脚を取り付けます。

● 取り付け穴サイズ

- 1/4-20 UNC (ねじ長さ 5.5 mm 以下)
- 3/8-16 UNC (ねじ長さ 5.5 mm 以下)

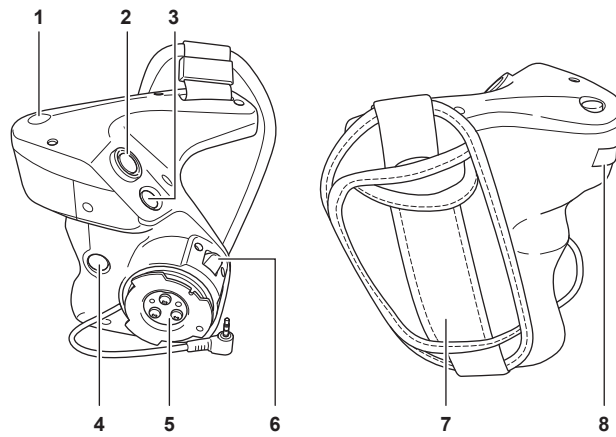
液晶モニターユニット



- 1 **液晶モニターフード**
外部からの光を遮断して、液晶モニターを見やすくします。
- 2 **液晶モニター**
本機の基本的な設定をしたり、本機の状態を確認したりする画面を表示します。
操作の起点となる HOME 画面のほか、撮影映像を表示する VIEW 画面、本機の情報を表示する INFO 画面などが表示できます。
タッチ操作に対応しています。
- 3 **液晶モニター取り付けアタッチメント**
ハンドルの液晶モニターユニット取り付け部などに取り付けます。
- 4 **〈MIRROR〉スイッチ**
VIEW 画面を上下反転、または上下左右反転します。
〈OFF〉：反転しません。
〈B/T〉：上下に反転します。
〈ROTATE〉：上下左右に反転します。

グリップ

グリップは、カメラ本体にあらかじめ取り付けられています。



1 〈EXIT〉 / 〈USER 8〉 ボタン

メニューを表示しているときは、現在のメニューの1つ上の階層に戻ります。設定値を確定せずに〈EXIT〉ボタンを押すと、設定の変更は反映されません。

VIEW画面を表示中は、USERボタン（USER8）として使用できます。

2 REC ボタン

記録を開始、または停止します。

3 〈MENU〉 ボタン

メニューを表示します。メニューを表示しているときに〈MENU〉ボタンを押すと、メニューを閉じます。

4 〈USER 9〉 ボタン

VIEW画面を表示中に、USERボタン（USER9）として使用できます。

5 グリップマウント部

カメラ本体のグリップ取り付け部に取り付けます。

6 グリップ回転レバー

〈UNLOCK〉側に引くと、グリップを回転させて位置を調整できます。

7 グリップベルト

グリップにあらかじめ取り付けられています。

8 グリップマルチダイヤル

メニューを表示しているときに、メニューの移動、選択や設定をします。また、EFレンズのアイリスの制御にも使用できます。

基本的な操作について

マルチダイヤルの操作について

カメラ本体のマルチダイヤルを上下方向に回したり、押し下げて操作します。

- マルチダイヤルを上下方向に回すと、カーソルを移動できます。
- マルチダイヤルを押すと、カーソルを合わせた項目を、選択または確定できます。

NOTE

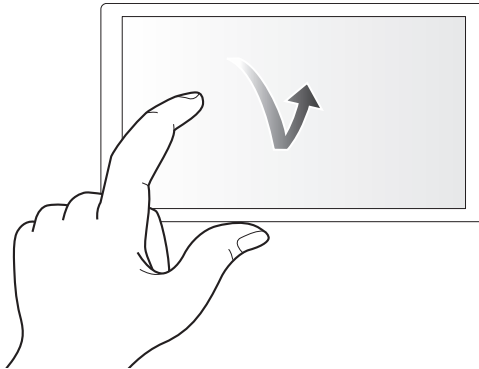
- メニューを操作する方法について、詳しくは「マルチダイヤルで操作する場合」を参照してください。
- グリップマルチダイヤルで、カメラ本体のマルチダイヤルと同様に操作できます。

液晶モニターのタッチ操作について

指で液晶モニターを直接タッチして操作できます。

ボールペンなど、先のとがった硬いものでタッチしないでください。

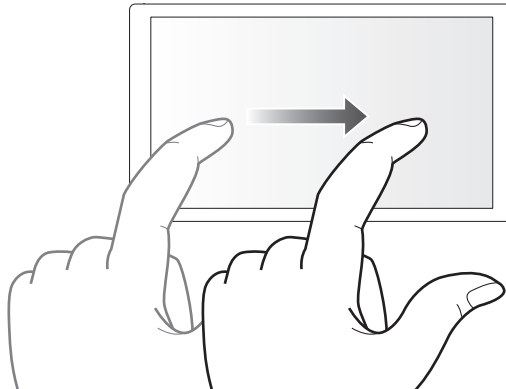
■ タッチする



液晶モニターを押して離す動作です。項目やアイコンを選択したり、項目を実行したりできます。

- アイコンを選択する場合は、アイコンの中央部をタッチしてください。
- 液晶モニターに触れている状態で、ほかの場所をタッチしても動作しません。

■ スライドする



液晶モニターをタッチしたまま動かす動作です。スキップ再生やダイレクト再生などの再生操作ができます。

■ 長くタッチする

液晶モニターを押し続けて離す動作です。メニューの数値やサムネール画面のページなどを連続して変更できます。

NOTE

- メニューを操作する方法について、詳しくは「液晶モニターをタッチして操作する場合」を参照してください。

第3章 準備

本機を使用する前に、本章の手順に従ってバッテリーの取り付けを行ってください。また、アクセサリの取り付けについても本章で説明します。

電源の供給

本機の電源には、バッテリー、または付属の AC アダプターが使用できます。

- 本機は、次のバッテリーに対応しています。(2017年10月現在)
 - AG-VBR59 (付属品 / 別売品、急速充電対応)
 - AG-VBR89 (別売品、急速充電対応)
 - AG-VBR118 (別売品、急速充電対応)
 - VW-VBD58 (別売品)

バッテリーの充電

お買い上げ時、バッテリーは充電されていません。バッテリーを使用する前に、バッテリーチャージャーで満充電してください。予備のバッテリーを1本用意することをお勧めします。

- バッテリーの充電は、周囲の温度が 10℃～30℃ (バッテリーの温度も同様) のところで行うことをお勧めします。
- 付属の AC コードは、本機専用です。ほかの機器には使用しないでください。また、ほかの機器の AC コードを本機に使用しないでください。
- 付属のバッテリーチャージャーは、2個のバッテリーを同時に充電できます。また、急速充電対応バッテリーに対応しています。

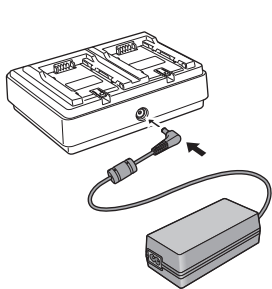


図 1

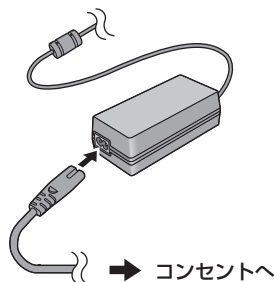


図 2

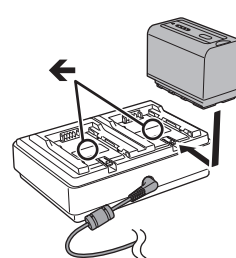


図 3

1 AC アダプターの DC プラグをバッテリーチャージャーの〈DC IN 12V〉端子に接続する。(図 1)

2 AC コードを AC アダプターに接続する。(図 2)

- AC コードが奥に突き当たるまで差し込んでください。

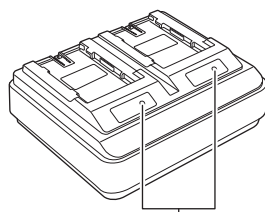
3 電源プラグをコンセントに接続する。(図 2)

4 バッテリーチャージャーにバッテリーを取り付ける。(図 3)

バッテリーを取り付けた側の充電ランプが点灯し、充電が開始されます。

- ◀マークに沿ってバッテリーを水平にのせてスライドさせてください。
- 充電が完了すると、〈CHARGE1〉 / 〈CHARGE2〉 ランプ (充電ランプ) が消灯します。バッテリーをスライドさせて取り外してください。

■ 〈CHARGE1〉 / 〈CHARGE2〉 ランプの表示



〈CHARGE1〉 / 〈CHARGE2〉 ランプ

付属のバッテリーチャージャーの〈CHARGE1〉 / 〈CHARGE2〉 ランプ (充電ランプ) は、充電の状態を次のように表示します。

〈CHARGE1〉 / 〈CHARGE2〉 ランプの表示	充電の状態
緑色 (点灯)	急速充電中
オレンジ色 (点灯)	通常充電中
オレンジ色 (点滅)	異常により充電を停止中
消灯	充電完了、またはバッテリーが取り付けられていない

NOTE

- バッテリーチャージャーは、バッテリーを取り付けたあとにバッテリーの状態を判断します。このため、充電ランプが点灯するまでに時間がかかることがあります。10秒以上経過しても充電ランプが点灯しないときは、バッテリーを取り付け直してください。
- 急速充電対応バッテリーが2個取り付けられた場合、〈CHARGE1〉側の急速充電が優先され、〈CHARGE2〉側は通常の充電になります。〈CHARGE1〉側のバッテリーの充電が進むと、自動的に〈CHARGE2〉側が急速充電に切り替わります。また、バッテリーの充電状態により、〈CHARGE2〉側に取り付けたバッテリーのインジケーターが消灯することがあります。
- バッテリーチャージャーは、バッテリーの状態を判断してから最適な充電をします。充電が開始されると、急速充電対応バッテリーのインジケーターが点滅表示になります。また、〈CHARGE1〉側と〈CHARGE2〉側の両方で充電しているときに、どちらかのバッテリーを取り付け / 取り外したり、交換したりすると、両方の充電を中止します。再度、バッテリーの状態を判断してから充電を開始します。
- 優先して充電するバッテリーは、〈CHARGE1〉側に取り付けて充電してください。

充電時間と撮影可能時間の目安

バッテリー品番	電圧 / 容量 (最小)	充電時間	連続撮影可能時間
AG-VBR59 (付属品 / 別売品)	7.28 V / 5900 mAh	約 3 時間 20 分	約 2 時間 50 分
AG-VBR89 (別売品)	7.28 V / 8850 mAh	約 4 時間	約 4 時間 15 分
AG-VBR118 (別売品)	7.28 V / 11800 mAh	約 4 時間 40 分	約 5 時間 40 分
VW-VBD58 (別売品)	7.2 V / 5800 mAh	約 5 時間 20 分	約 2 時間 40 分

- 充電時間は、付属のバッテリーチャージャーを使用して充電したときの時間です。
- 充電時間は、動作周囲温度 25 ℃、動作相対湿度 60% での時間です。その他の温度や湿度では、充電時間が長くなる場合があります。
- 充電時間は、バッテリーの充電容量を使い切ってから充電した場合の時間です。高温 / 低温時など、使用状況によって充電時間、連続撮影可能時間は異なります。
- 連続撮影可能時間は、次の条件で本機を使用したときの時間です。その他の条件では、連続撮影可能時間は短くなります。
 - 工場出荷時のメニュー設定で液晶モニターおよびグリップを取り付けた状態
 - 外部入出力端子にケーブルを接続していない状態

NOTE

- 使用後や充電後はバッテリーが温かくなりますが、異常ではありません。
- バッテリーチャージャー AG-B23 (DE-A88) (別売品) でも充電できますが、充電時間が長くなります。

バッテリー残量の確認

液晶モニターの電源状態表示や、付属のバッテリーのインジケータでバッテリー残量を確認できます。

液晶モニターでバッテリー残量を確認

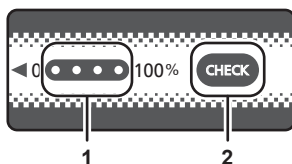
バッテリー残量が少なくなるに従って、と電源状態表示が変わります。バッテリー残量がなくなると、赤色で点滅します。

NOTE

- メニューの設定によっては、電源状態表示は表示されないことがあります。
- 赤色で点滅中は、クリップの修復やコピー、ファームウェアアップデートはできません。

バッテリーでバッテリー残量を確認

- 充電していないときにバッテリーの〈CHECK〉ボタンを押すと、インジケータの表示でバッテリー残量が確認できます。
 - バッテリー残量は目安です。
 - バッテリー残量がない場合は、〈CHECK〉ボタンを押してもインジケータは点灯しません。バッテリーを充電してください。
- バッテリー充電中は、充電進捗状況の目安をインジケータの点滅位置でお知らせします。充電が完了すると、インジケータが消灯します。



- 1 インジケータ
- 2 〈CHECK〉ボタン

■ インジケータの表示

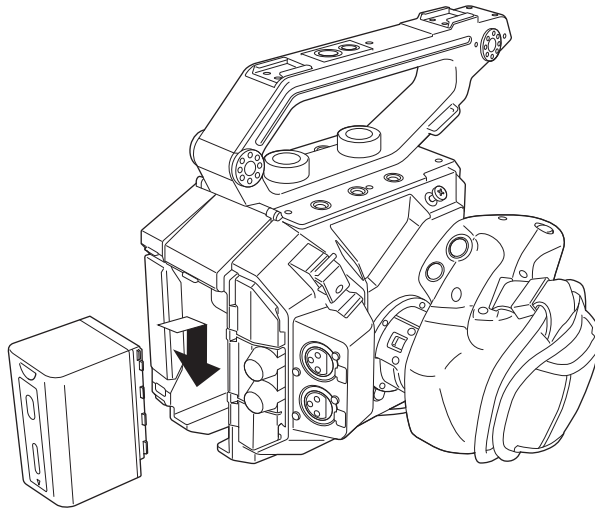
- 表内のアイコンが示すインジケータの色および点灯 / 点滅状態は、次のとおりです。
 - : 緑点滅
 - : 緑点灯
 - : 消灯

インジケータ表示		バッテリー残量 / 充電進捗
バッテリー残量確認時	充電中	
		0% ~ 25%
		25% ~ 50%
		50% ~ 75%
		75% ~ 100%

- インジケータの表示は目安です。バッテリーを本機やバッテリーチャージャーに取り付けているときは、取り付けている機器で残量を確認してください。バッテリーのインジケータに表示される残量と異なる場合があります。

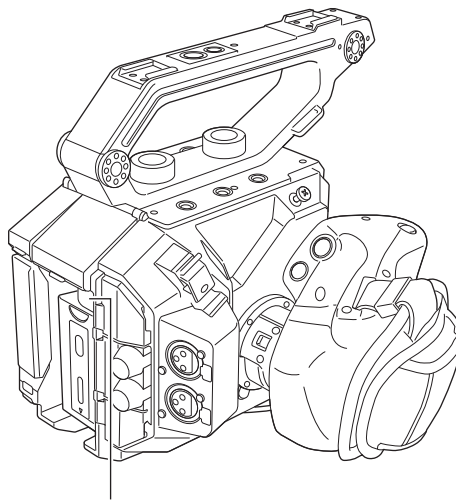
バッテリーの取り付け / 取り外し

バッテリーの取り付け



- 1 バッテリーをカメラ本体のバッテリー取り付け部に押し当て、下にスライドさせて取り付ける。
 - 「カチッ」と音がして、ロックがかかるまで押し込んでください。

バッテリーの取り外し



バッテリー取り外しボタン

- 1 電源スイッチを ⏻ (スタンバイ) にする。
 - 電源ランプが消灯していることを確認してください。
- 2 カメラ本体のバッテリー取り外しボタンを押しながら、バッテリーを上にもスライドさせて取り外す。

ACアダプターの使用

取り付け

ACアダプターは、付属のACアダプターをご使用ください。ほかの機器のACアダプターは使用しないでください。付属のACコードは本機専用です。ほかの機器には使用しないでください。また、ほかの機器のACコードを本機に使用しないでください。

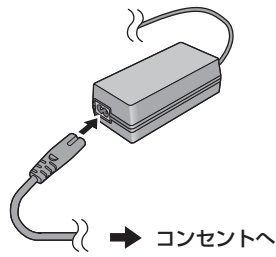


図 1

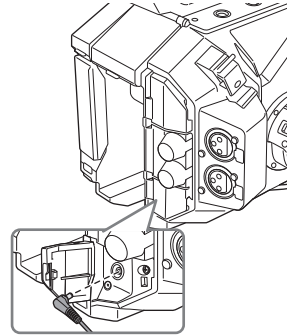


図 2

1 ACコードをACアダプターに接続する。(図1)


- ACコードが奥に突き当たるまで差し込んでください。

2 電源プラグをコンセントに接続する。(図1)

3 <DC IN 12V> 端子にACアダプターを接続する。(図2)

- ACアダプターを取り外すときは、必ず電源スイッチを  (スタンバイ) にし、電源ランプの消灯を確認してから取り外してください。

NOTE

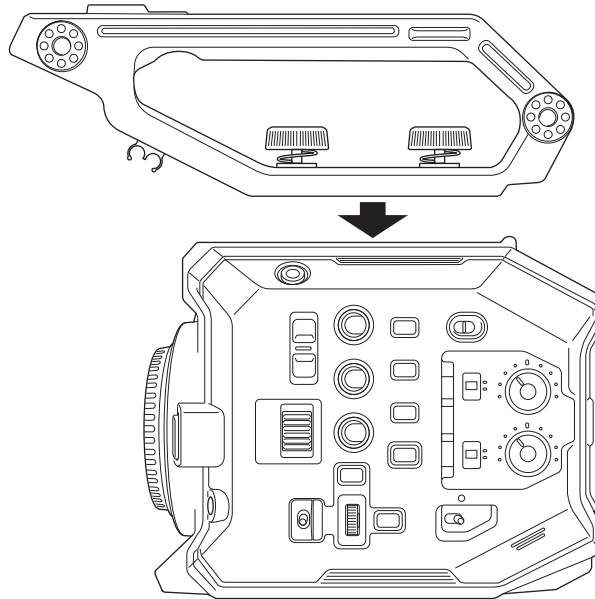
- ACアダプターに接続した状態で撮影する場合は、停電やコンセント抜けの防止のため、バッテリーを取り付けて使用してください。
- 電源スイッチを  (スタンバイ) にした状態でも、電力を消費しています。長期間使用しないときは、節電のため、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- バッテリーチャージャーおよびACアダプターは、ご使用の国または地域にかかわらず動作するように設計されています。電源電圧は100 V-240 V、電源周波数は50 Hzまたは60 Hzで動作します。ただし、国や地域によってコンセントの形状は異なります。コンセントの形状に合ったプラグを準備してください。変換プラグはお買い上げの販売店にご相談ください。

付属品 / アクセサリーの取り付け

ハンドル

ハンドルは、カメラ本体にあらかじめ取り付けられています。

ハンドルの取り付け



1 カメラ本体上面部のアクセサリー取り付け穴に、ハンドル取り付けねじ（2本）で取り付ける。

NOTE

・ハンドルは、ハンドル取り付けねじ（2本）を確実に締めてから使用してください。ねじを確実に締めずに使用すると、ハンドルが外れてカメラ本体が落下するおそれがあります。

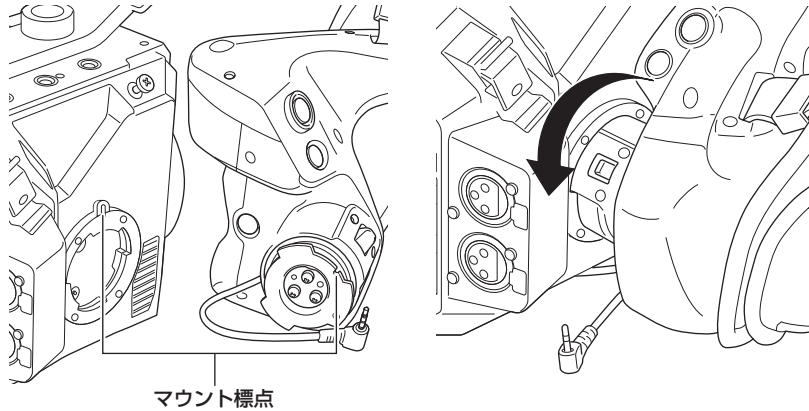
ハンドルの取り外し

取り付けの逆の手順で取り外してください。

グリップ

グリップは、カメラ本体にあらかじめ取り付けられています。

グリップの取り付け



マウント標点

図 1

図 2

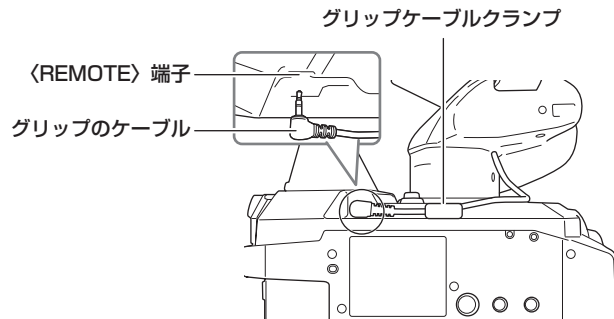


図 3

1 グリップをカメラ本体にはめ込む。(図 1)

- カメラ本体にはめ込むときは、カメラ本体のグリップ取り付け部と、グリップのグリップマウント部にあるマウント標点を合わせてください。

2 グリップを「カチッ」と音がするまで反時計方向にゆっくり回す。(図 2)

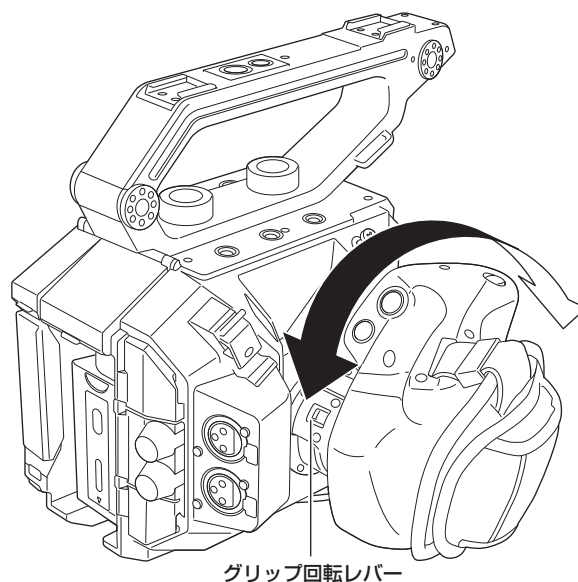
3 <REMOTE> 端子にグリップのケーブルを接続する。(図 3)

4 グリップのケーブルを、グリップケーブルクランプで固定する。(図 3)

NOTE

- 正しく装着できない場合は、最初から取り付けをやり直してください。グリップやカメラ本体に無理な力を加えないでください。
- グリップのケーブルはグリップケーブルクランプに収めてください。収まっていない場合、グリップの角度を変更したときにケーブルが底面に飛び出したり、三脚を取り付けるときに巻き込まれたりすることがあります。
- 複数のアクセサリーをカメラ本体に取り付け、カメラ全体の総質量が増えた状態で、グリップのみでカメラ全体を支えないようにしてください。グリップが破損する場合があります。

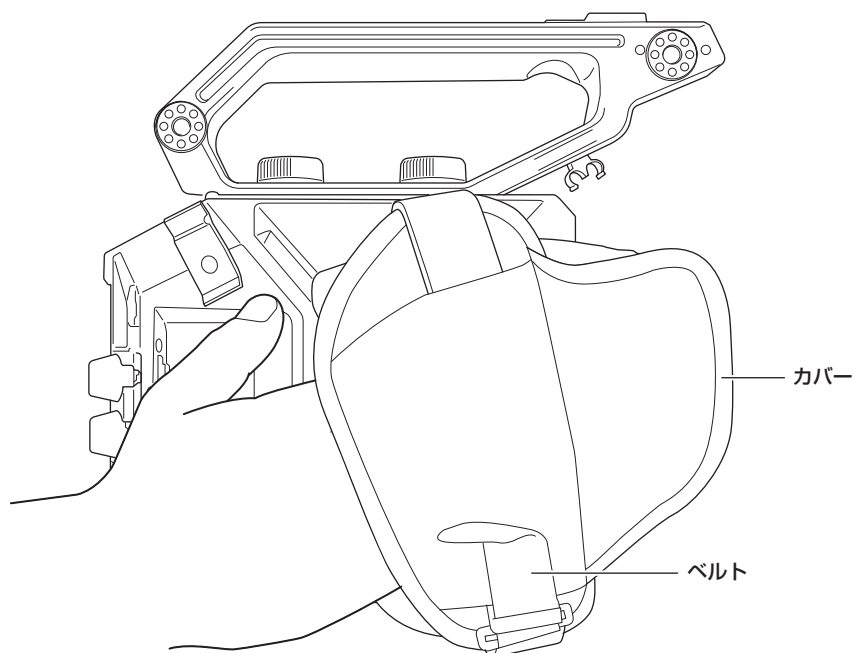
■ グリップの角度調整



- 1 グリップ回転レバーを〈UNLOCK〉側に引く。
- 2 グリップの角度を調整し、固定したい位置でグリップ回転レバーを戻す。
グリップが固定されます。
 - グリップは、8段階で位置を固定できます。

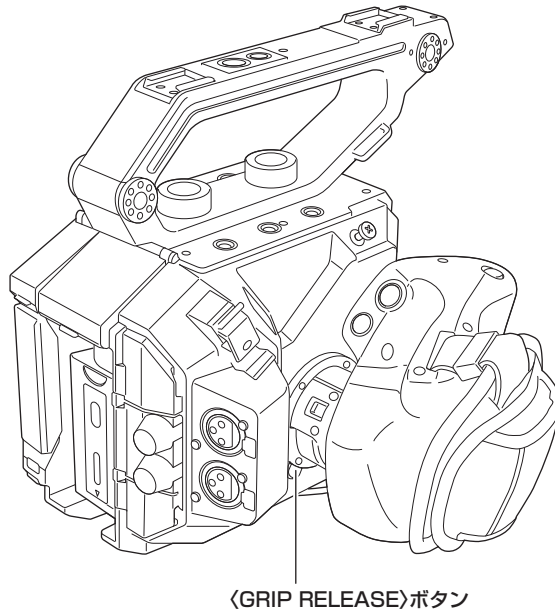
■ グリップベルトの調整

グリップベルトは、あらかじめグリップに取り付けられています。



- 1 カバーを開き、ベルトの長さを調整する。
- 2 カバーを元に戻す。

グリップの取り外し



- 1 グリップのケーブルを、グリップケーブルクランプから取り外す。
- 2 〈REMOTE〉端子からグリップのケーブルを取り外す。
- 3 カメラ本体の〈GRIP RELEASE〉ボタンを押しながら、グリップを時計方向に回す。

 NOTE

- ・カメラ本体を机など平らな場所に置いてから、グリップを取り外してください。

液晶モニターユニット

液晶モニターユニットの取り付け

付属の液晶モニターユニットを、液晶モニターユニット取り付け部に取り付けます。

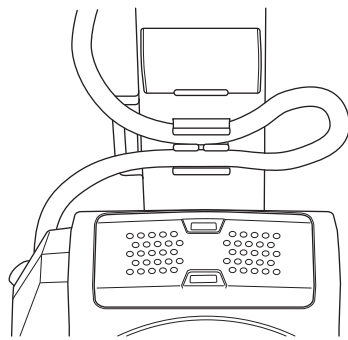
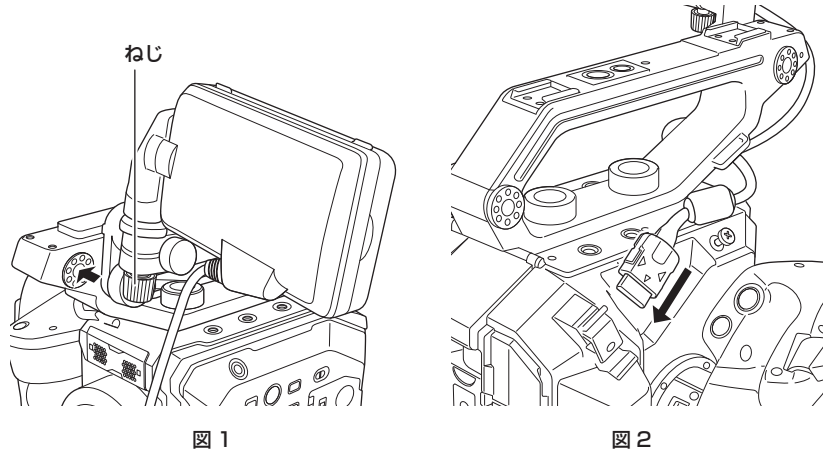


図 3

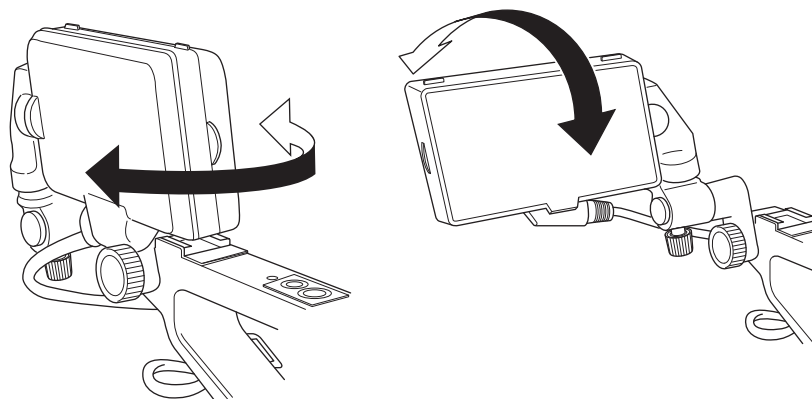
- 1 ハンドルの液晶モニターユニット取り付け部に、付属の液晶モニター取り付けアタッチメントをはめ込む。(図 1)
 - カメラ本体上面部のアクセサリー取り付け穴にも取り付けることができます。
- 2 付属のねじを時計方向に回して締める。
- 3 〈LCD〉端子の端子カバーを開け、〈LCD〉端子に液晶モニターユニットのケーブルを接続する。(図 2)
 - 〈LCD〉端子の ▲ と、液晶モニターユニットのケーブル接続端子の ▼ を合わせて接続してください。
 - 液晶モニターユニットのケーブル接続端子の ▼ が外側になるように向きを確認してから接続してください。
- 4 液晶モニターユニットのケーブルを液晶モニターケーブルクランプにはめる。(図 3)

■ 液晶モニターの角度調整

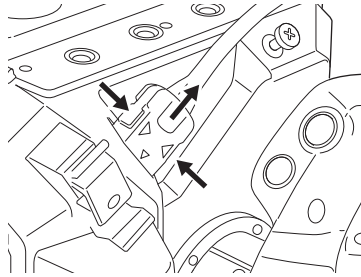
液晶モニターは上下前後に回転させて、見やすい角度に調節できます。

〈MIRROR〉スイッチで VIEW 画面を上下反転、または上下左右反転させることで、対面撮影などに活用できます。

本機を使用しない場合や持ち運び場合などは、液晶モニターの保護のため、液晶モニターを閉じることをお勧めします。



液晶モニターユニットの取り外し



1 取り付けの逆の手順で取り外す。

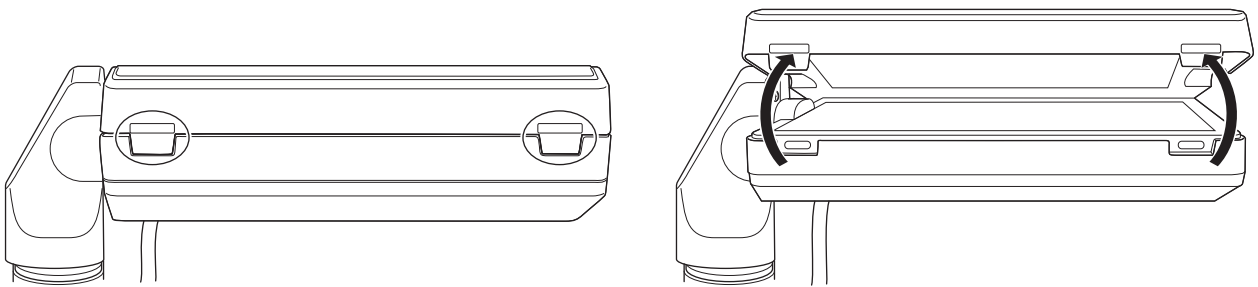
NOTE

・液晶モニターユニットのケーブルを取り外すときは、ケーブル接続端子の両端（▼）にあるロックボタンを押しながら引き抜いてください。

液晶モニターフード

液晶モニターフードは、液晶モニターユニットにあらかじめ取り付けられています。

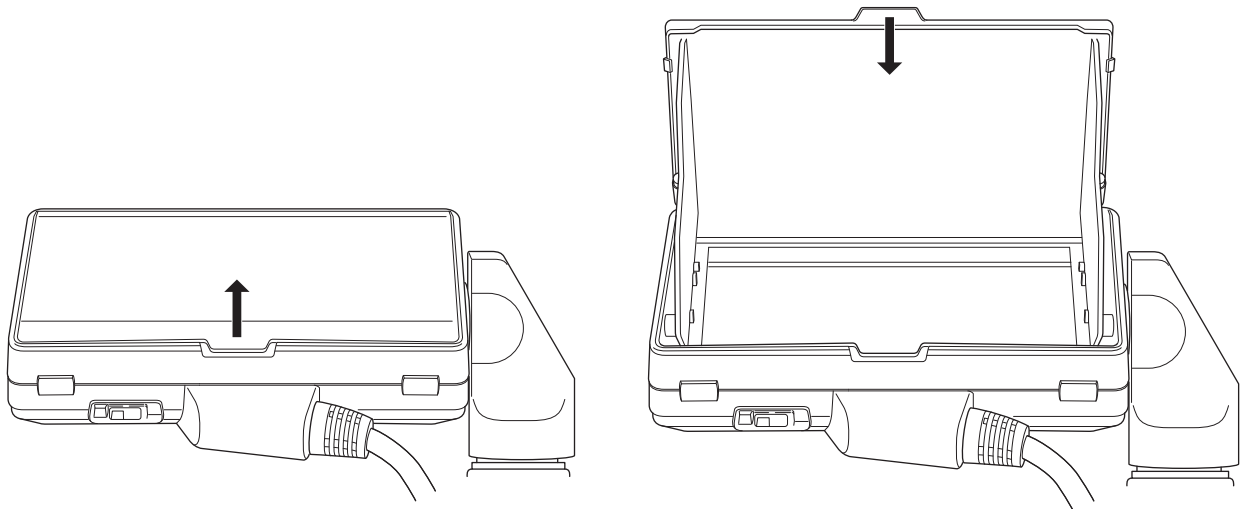
液晶モニターフードの取り外し



1 液晶モニターフードの上部にあるツメ（2か所）の隙間に爪を押し込みながら取り外す。

液晶モニターフードが外れます。

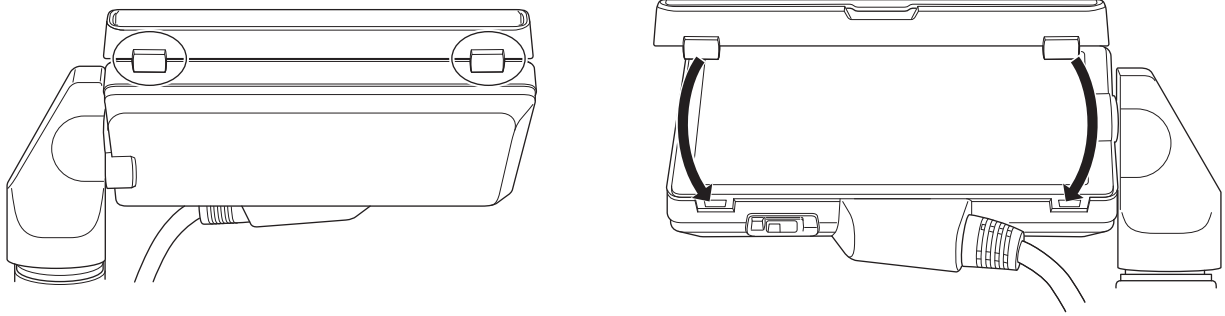
液晶モニターフードの開閉



NOTE

・液晶モニターユニットを使用しないときは、液晶モニターを保護するために液晶モニターフードを閉じてください。

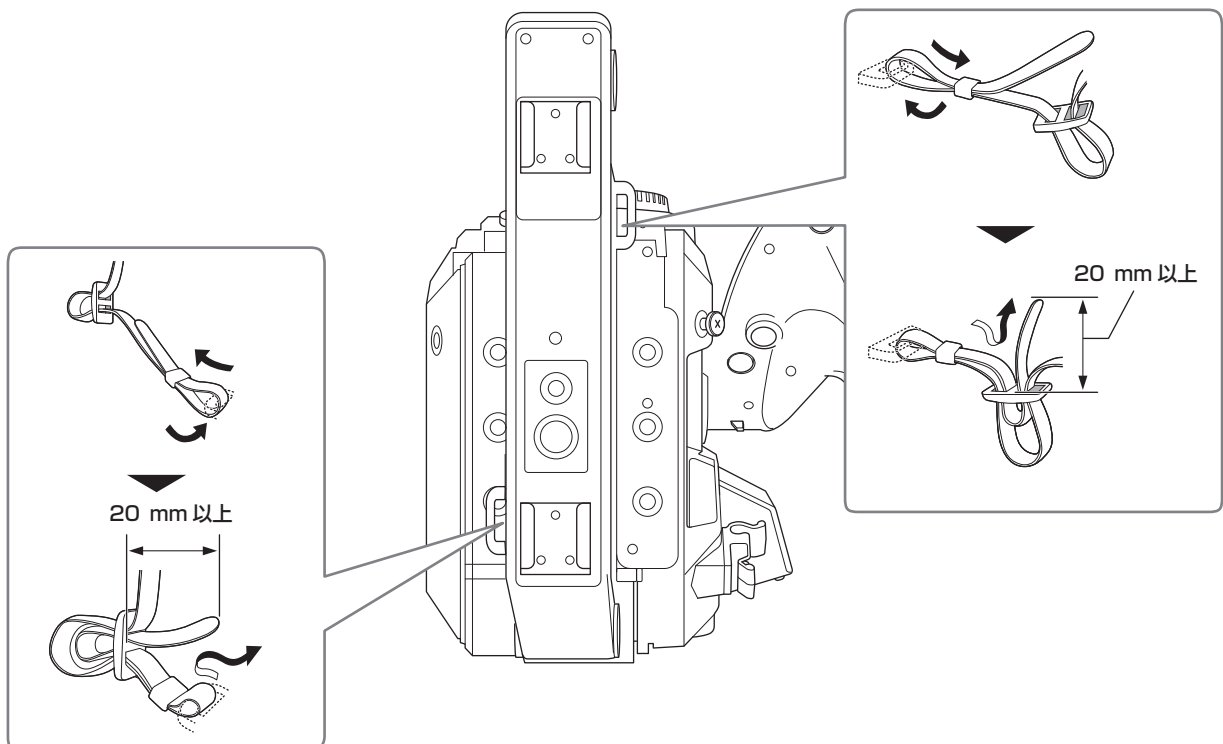
液晶モニターフードの取り付け



- 1 液晶モニターフードの上部にあるツメ（2か所）を、液晶モニターユニットの上部にあるくぼみに合わせる。
- 2 液晶モニターフードの下部にあるツメ（2か所）を、液晶モニターユニットの下部にあるくぼみに合わせて押し込む。

ショルダーベルトの取り付け

付属のショルダーベルトを、ショルダーベルト取り付け部に取り付けます。

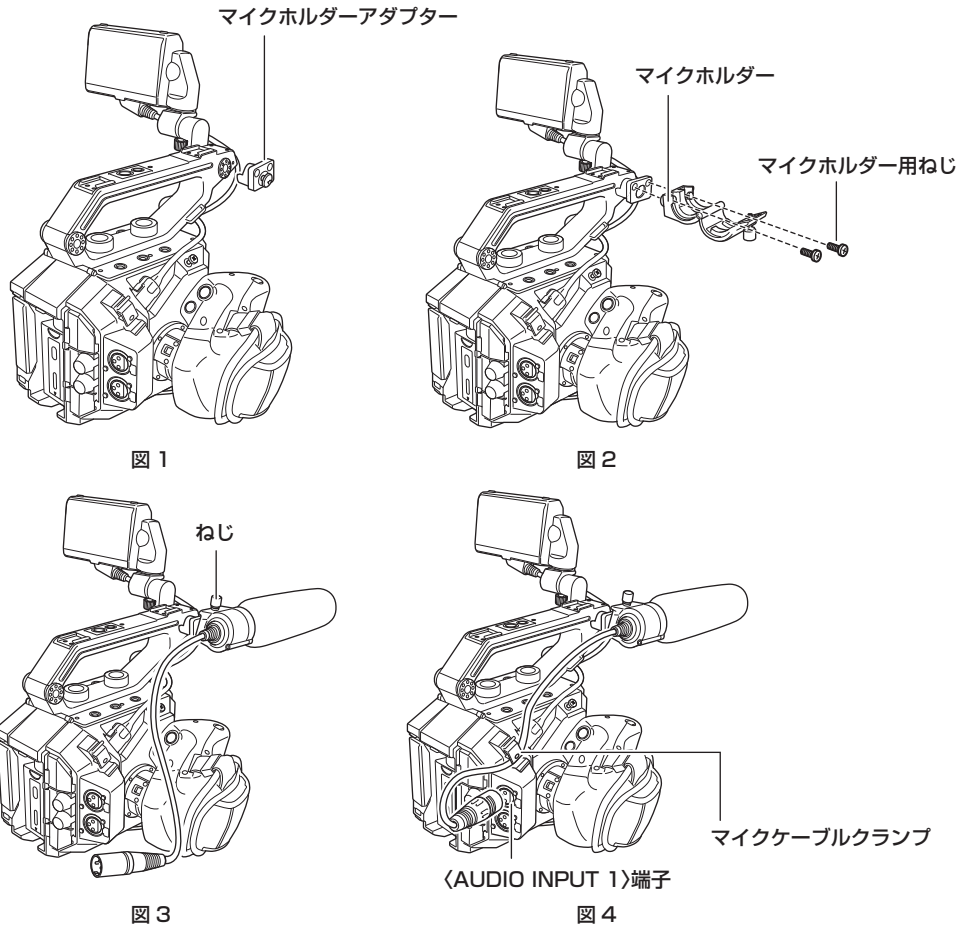


 NOTE

- ・ショルダーベルトが確実に取り付けられていることを、確認してください。

外部マイクの取り付け

超指向性マイク AG-MC200G（別売品）などの外部マイクを、ハンドルに取り付けることができます。



- 1 カメラ本体のマイクホルダー取り付け部に、付属のマイクホルダーアダプターを取り付ける。(図 1)
 - マイクホルダーアダプターに付属のねじを締めて取り付けてください。
- 2 マイクホルダーアダプターに、付属のマイクホルダーをマイクホルダー用ねじ（2本）で取り付ける。(図 2)
- 3 外部マイクを取り付け、マイクホルダーのねじを締める。(図 3)
- 4 マイクケーブルを<AUDIO INPUT 1>端子に接続する。(図 4)
- 5 マイクケーブルをマイクケーブルクランプにはめる。(図 4)

NOTE

・マイクケーブルを<AUDIO INPUT 1>端子から抜くときは、レバーを押しながら抜いてください。

レンズの取り付け

レンズの取り付け / 取り外しは、直射日光や強い照明が当たらない場所で行ってください。
カメラ本体やレンズを落とさないようにしてください。
EF レンズマウント内にごみやほこりが入らないようにしてください。

マウントキャップ

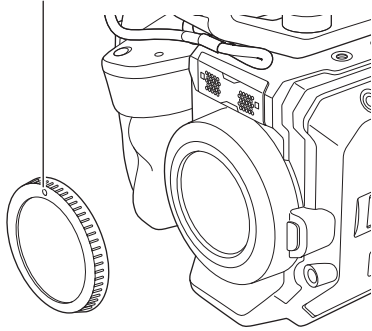


図 1

マーク

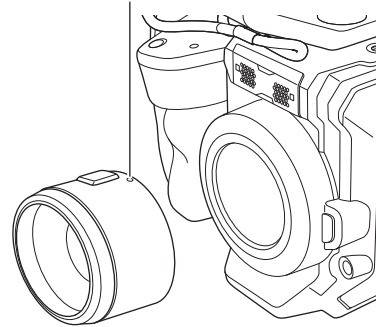


図 2

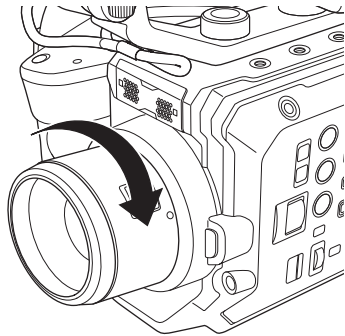
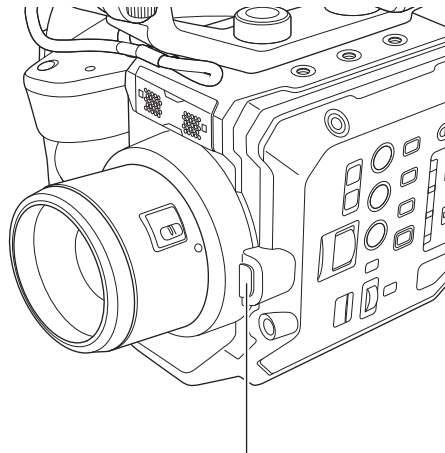


図 3

- 1 電源スイッチを $\langle \text{⏻} \rangle$ (スタンバイ) にする。
 - 電源ランプが消灯していることを確認してください。
- 2 マウントキャップを取り外す。(図 1)
 - マウントキャップの目印が上位置になるまで反時計方向に回し、カメラ本体から取り外してください。
- 3 レンズのマーク (赤丸印) を上にして、EF レンズマウントにはめ込む。(図 2)
- 4 レンズを「カチッ」と音がするまで時計方向に回す。(図 3)

レンズの取り外し



レンズロック解除ボタン

- 1 電源スイッチを $\langle \text{⏻} \rangle$ (スタンバイ) にする。
 - 電源ランプが消灯していることを確認してください。
- 2 レンズロック解除ボタンを押しながら、レンズを反時計方向に回しきって取り外す。
- 3 EF レンズマウントにマウントキャップを取り付ける。

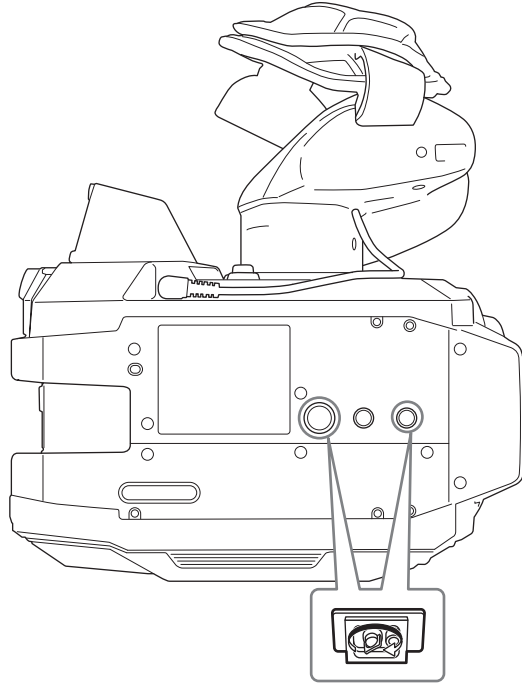
- マウントキャップの目印を上にして、時計方向に回して取り付けてください。

 NOTE

- EF レンズマウント、および EF レンズマウント内部に手を触れないでください。
- EF レンズマウントは、マウントキャップを取り付けてください。マウントキャップはごみやほこりを落としてから使用してください。

三脚の取り付け

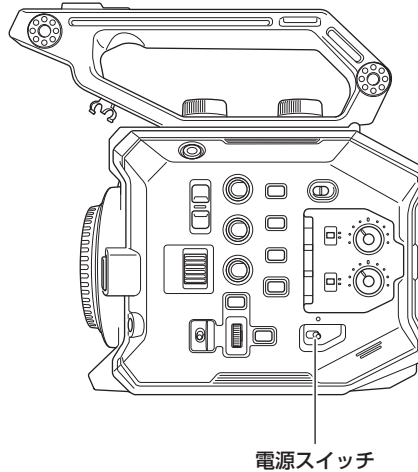
三脚取り付け穴は 1/4-20 UNC と 3/8-16 UNC のねじに対応しています。三脚側の固定ねじ径に合わせてお使いください。



 NOTE

- 三脚は安定した場所でご使用ください。
- 三脚取り付け穴の深さは、5.5 mm です。本機に三脚を取り付けるときは、三脚のねじを無理に締め付けしないでください。

電源の入れ方 / 切り方



電源の入れ方

1 電源スイッチを **⏻** (入) にする。

電源が入ると、電源ランプが赤色に点灯します。

- 初めて電源を入れたときは、[AREA SETTINGS] 画面が表示されます。
ご使用地域、日付、時刻、タイムゾーンを設定してください。

NOTE

- 内蔵電池（充電式電池）は放電します。約2か月間、本機の電源を入れることなく放置すると、日付 / 時刻の設定が初期化されることがあります。内蔵電池を充電してから、日付 / 時刻を設定し直してください。(45 ページ)
- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [LED & FAN] → [POWER LED] → [OFF] に設定すると、電源ランプは点灯、点滅しません。ただし、起動時は約1秒間点灯します。

電源の切り方

1 電源スイッチを **⏻** (スタンバイ) にする。

電源ランプが消灯します。

内蔵電池の充電

本機に設定された日付 / 時刻は、内蔵電池によって保持されています。

約 2 か月間、本機の電源を入れることなく放置すると、内蔵電池が消耗することがあります。

電源スイッチを **く | 〉** (入) にしたとき、液晶モニターに [BACKUP BATT EMPTY] が表示される場合は、内蔵電池が消耗しています。次の手順で内蔵電池を充電してください。

1 電源スイッチを **く 〇 〉** (スタンバイ) にする。

2 本機に充電済みバッテリー、または AC アダプターを接続する。

バッテリーまたは AC アダプターの接続について、詳しくは「電源の供給」を参照してください。

3 約 24 時間、そのままの状態にしておく。

内蔵電池が充電されます。

電源スイッチを **く | 〉** (入) にしても、内蔵電池は充電されています。

- 充電完了後、日付 / 時刻の設定やタイムコードを確認してください。
- INFO 画面で [DIAGNOSTICS] を選択し、ワーニング表示欄に [INTERNAL CLOCK HAS RESET] [<PLEASE SET TO CORRECT TIME>] が表示される場合は、内蔵時計の日付 / 時刻を設定してください。

4 電源スイッチを **く | 〉** (入) にし、液晶モニターに [BACKUP BATT EMPTY] が表示されないことを確認する。

充電後も [BACKUP BATT EMPTY] が表示される場合は、内蔵電池の交換が必要です。お買い上げの販売店にご依頼ください。

内蔵時計の日付 / 時刻の設定

撮影時、日付 / 時刻 / タイムゾーンは、クリップにメタデータとして記録されます。

記録したコンテンツの管理に影響しますので、本機を初めて使用する前に、必ず日付 / 時刻とタイムゾーンの確認および設定をしてください。

また、撮影の途中で日付 / 時刻とタイムゾーンの設定を変更しないでください。

1 〈MENU〉 ボタンを押す。

メニューが表示されます。

2 [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [CLOCK] → [TIME ZONE] を選択し、グリニッジ標準時間からの時差を設定する。

3 [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [CLOCK] → [CLOCK SETTING] を選択し、年、月、日、時間を設定する。

NOTE

- ・ 時計の精度は、月差約 ± 30 秒です。正確な時刻を必要とする場合は、時刻の確認、再設定をしてください。
- ・ AVCHD フォーマットではフォーマット規格のため、+12:45 を選択しても、クリップは +12:30 で記録されます。

■ タイムゾーン表

時差	地域	時差	地域
00:00	グリニッジ	+01:00	中央ヨーロッパ
-00:30		+01:30	
-01:00	アゾレス諸島	+02:00	東ヨーロッパ
-01:30		+02:30	
-02:00	中部大西洋	+03:00	モスクワ
-02:30		+03:30	テヘラン
-03:00	ブエノスアイレス	+04:00	アブダビ
-03:30	ニューファンドランド島	+04:30	カブール
-04:00	ハリファックス	+05:00	イスラマバード
-04:30	カラカス	+05:30	ムンバイ
-05:00	ニューヨーク	+06:00	ダッカ
-05:30		+06:30	ヤンゴン
-06:00	シカゴ	+07:00	バンコク
-06:30		+07:30	
-07:00	デンバー	+08:00	北京
-07:30		+08:30	
-08:00	ロスアンゼルス	+09:00	東京
-08:30		+09:30	ダーウィン
-09:00	アラスカ	+10:00	グアム
-09:30	マルケサス諸島	+10:30	ロード・ハウ・アイランド
-10:00	ハワイ	+11:00	ソロモン諸島
-10:30		+11:30	
-11:00	ミッドウェイ諸島	+12:00	ニュージーランド
-11:30		+12:45	チャタム諸島
-12:00	クワジャリン	+13:00	フェニックス諸島
+00:30			

SD カードの準備

本機で使用できる SD カード

本機では、次の SD カードが使用できます。(2017 年 10 月現在)

SD カードの種類	記録容量
SDHC メモリーカード	4 GB ~ 32 GB
SDXC メモリーカード	48 GB ~ 128 GB

- 上記以外の SD カードは動作保証しておりません。
- 当社製 SD カードのご使用をお勧めします。
- 次の SD カードは、SD 規格に準拠していないため使用できません。
 - SDHC ロゴの表示がない 4 GB 以上の SD カード
 - SDXC ロゴの表示がない 48 GB 以上の SD カード

撮影時のスピードクラスについて

記録モードおよび記録フォーマットにより、使用する SD カードが異なります。スピードクラスや UHS スピードクラス、ビデオスピードクラスに対応した SD カードをご使用ください。必要なスピードクラスに対応していない SD カードをご使用の場合は、撮影が突然停止することがあります。

- スピードクラスや UHS スピードクラス、ビデオスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。SD カードのラベル面の表示などでご確認ください。

■ 記録モードが MOV のとき

SDXC メモリーカードが使用できます。

記録ビットレートまたは記録機能	スピードクラス	カード表示の例
400 Mbps 2K/FHD VFR ALL-I (バリエラブルフレームレート記録)	ビデオスピードクラス V60 以上	V60
200 Mbps 150 Mbps 100 Mbps 2K/FHD VFR LongGOP (バリエラブルフレームレート記録)	ビデオスピードクラス V30 以上、UHS スピードクラス 3 以上	V30 U3
50 Mbps	ビデオスピードクラス V10 以上、UHS スピードクラス 1 以上、スピードクラス 10 以上	V10 U1 CLASS10 10

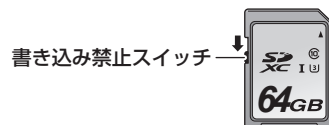
■ 記録モードが AVCHD のとき

SDHC メモリーカードと SDXC メモリーカードが使用できます。

記録ビットレートまたは記録機能	スピードクラス	カード表示の例
全て	スピードクラス 4 以上	CLASS4 4

誤消去を防ぐには

SD カードの書き込み禁止スイッチを LOCK 側にすると、書き込みやデータの消去、フォーマットができなくなります。



カードアクセスランプと SD カードの状態について

カードアクセスランプ	SD カードの状態	
オレンジ色 (点灯)	記録対象	書き込み / 読み込みともにできます。現在の記録対象です。
緑色 (点灯)	記録可能	書き込み / 読み込みともにできます。
オレンジ色 (点滅)	アクセス中	現在、書き込み / 読み込み中です。

カードアクセスランプ	SD カードの状態	
オレンジ色 (早い点滅)	SD カード認識中	SD カード認識中です。
	エラー発生	エラーが発生しました。エラーが発生したときは、SD カード未挿入でも点滅します。
緑色 (遅い点滅)	記録残量なし	SD カードの記録残量がありません。読み込みのみできます。
	書き込み禁止	SD カードの書き込み禁止スイッチが LOCK 側になっています。
	記録不可	現在設定されている記録フォーマットでは、記録できません。記録するには、記録フォーマットを変更するか、記録フォーマットに対応した SD カードをご使用ください。
消灯	SD カード未挿入	SD カードが挿入されていません。
	フォーマット不正	正規のフォーマットではありません。フォーマットをやり直してください。
	対象外のカード	MMC (Multi Media Card) など、本機では使用できないカードです。

NOTE

- ・ [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [LED & FAN] → [ACCESS LED] → [OFF] に設定すると、カードアクセスランプは点灯、点滅しません。
- ・ [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定しているときは、カードアクセスランプは点灯、点滅しません。

SD カードの挿入 / 取り出し

SD カードの挿入

本機で使用する SD カードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。(49 ページ)

- SD カードをフォーマットすると、記録されている全てのデータは消去され、元に戻すことはできません。

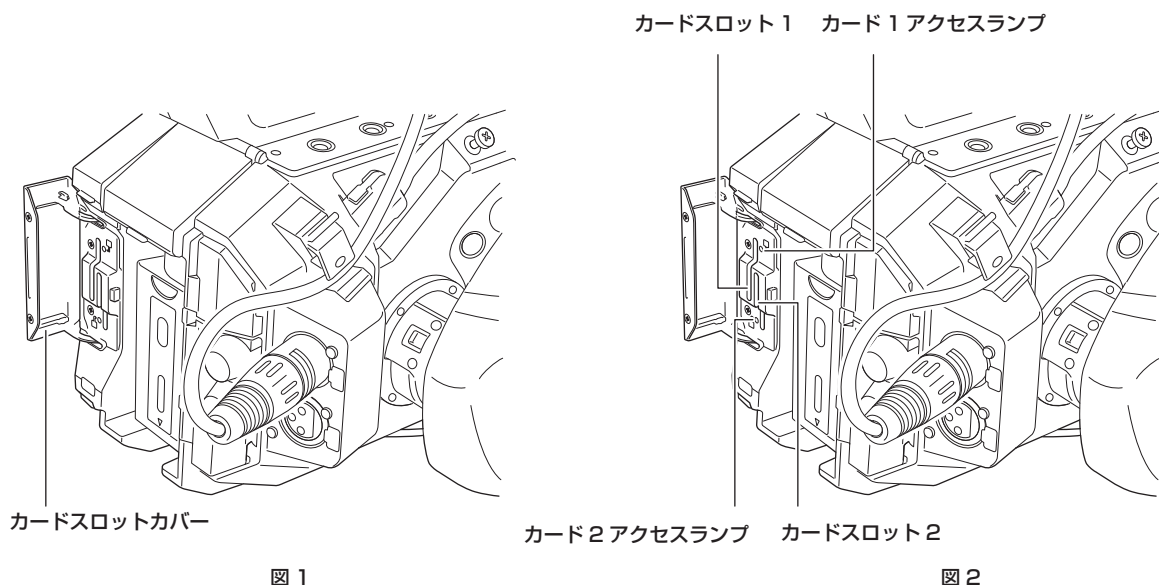


図 1

図 2

1 カードスロットカバーを開ける。(図 1)

2 カードスロットに SD カードを挿入する。(図 2)

- カードスロット 1 およびカードスロット 2 は、SD カードを 1 枚ずつ挿入できます。
- ラベル面を左にして、「カチッ」と音がするまでまっすぐ押し込みます。

3 カードスロットカバーを閉じる。

SD カードの取り出し

1 カードスロットカバーを開ける。

- カードアクセスランプがオレンジ色に点滅していないことを確認してください。
- カードアクセスランプがオレンジ色に点滅しているときは、データの書き込み / 読み込み中ですので、SD カードを取り出さないでください。

2 SD カードをさらに本体側に押し込み、離す。

- SD カードが挿入口から浮いてくるので、まっすぐ引き抜いてください。


3 カードスロットカバーを閉じる。

使用時、保管時のお願い

- SD カードの裏の接続端子部分に触れないでください。
- 高温・多湿を避けてください。

- 水滴を付けないでください。
 - 帯電を避けてください。
- SD カードは、本機に挿入してカードスロットカバーを閉じた状態で使用、保管してください。

SD カードのフォーマット

- 1 [REC SETTINGS] メニュー → [CARDS/MEDIA] → [FORMAT MEDIA] → [SLOT1] / [SLOT2] を選択する。
- 2 確認メッセージが表示されたら [SET] を選択する。
- 3 完了メッセージが表示されたら  を選択する。

NOTE

- 液晶モニターをタッチしても操作できません。
- 完了メッセージを閉じたあと、記録できるようになるまで数秒間かかる場合があります。

SD カードの記録時間について

記録モードが MOV のとき

64 GB 以上の SDXC メモリーカードが必要です。SDHC メモリーカードは使用できません。

記録フォーマット	記録レート	記録容量	
		64 GB	128 GB
4K	400 Mbps	約 20 分	約 40 分
	200 Mbps	約 40 分	約 1 時間 20 分
	150 Mbps	約 55 分	約 1 時間 50 分
	100 Mbps	約 1 時間 20 分	約 2 時間 40 分
UHD	400 Mbps	約 20 分	約 40 分
	200 Mbps	約 40 分	約 1 時間 20 分
	150 Mbps	約 55 分	約 1 時間 50 分
	100 Mbps	約 1 時間 20 分	約 2 時間 40 分
2K	200 Mbps	約 40 分	約 1 時間 20 分
	100 Mbps	約 1 時間 20 分	約 2 時間 40 分
	50 Mbps	約 2 時間 40 分	約 5 時間 20 分
FHD	200 Mbps	約 40 分	約 1 時間 20 分
	100 Mbps	約 1 時間 20 分	約 2 時間 40 分
	50 Mbps	約 2 時間 40 分	約 5 時間 20 分

NOTE

- バリアブルフレームレート記録では、設定しているバリアブルフレームレートによって記録時間が変化します。
- MOV 形式のデータは、約 3 時間ごとにファイルが分割されます。
サムネイル画面では、別々のクリップとして表示されます。また、リレー記録で 2 枚の SD カードにまたがって記録されたクリップも別々のクリップとして表示されます。
- 記録時間が 10 時間に達すると撮影を一度停止し、数秒後に自動で撮影が再開されます。一時停止中の映像と音声は記録されません。バリアブルフレームレート記録やリレー記録などの特殊な記録をした場合も含まれます。
バリアブルフレームレート記録でハイスピード撮影する場合、記録フォーマットのフレームレートとバリアブルフレームレートの比率によって、記録時間は 10 時間よりも短くなります。
[FREQUENCY] を [24.00p]、[FPS] を [48fps] に設定しているときは、5 時間で記録が停止します。
- インターバル記録ではクリップの長さが 10 時間に達すると撮影を一度停止し、数秒後に自動で撮影が再開されます。

記録モードが AVCHD のとき

SDHC メモリーカードと SDXC メモリーカードが使用できます。

■ SDHC メモリーカードのとき

記録フォーマット	記録レート	記録容量			
		4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
PS	25 Mbps	約 19 分	約 40 分	約 1 時間 20 分	約 2 時間 40 分
PH	21 Mbps	約 21 分	約 46 分	約 1 時間 30 分	約 3 時間
HA	17 Mbps	約 30 分	約 1 時間	約 2 時間	約 4 時間 10 分
PM	8 Mbps	約 1 時間	約 2 時間	約 4 時間 15 分	約 8 時間 30 分

■ SDXC メモリーカードのとき

記録フォーマット	記録レート	記録容量	
		64 GB	128 GB
PS	25 Mbps	約 5 時間 20 分	約 11 時間

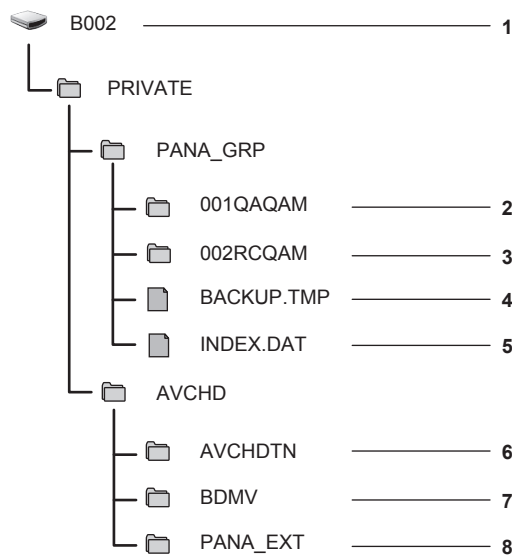
記録フォーマット	記録レート	記録容量	
		64 GB	128 GB
PH	21 Mbps	約 6 時間	約 12 時間 30 分
HA	17 Mbps	約 8 時間 30 分	約 17 時間
PM	8 Mbps	約 17 時間 10 分	約 35 時間

NOTE

- AVCHD 形式のデータは、約 4 GB ごとにファイルが分割されます。サムネール画面では、1 つのクリップとして表示されます。ただし、リレー記録で 2 枚の SD カードにまたがって記録されたクリップは別々のクリップとして表示されます。
- 記録時間が 10 時間に達すると撮影を一度停止し、数秒後に自動で撮影が再開されます。一時停止中の映像と音声は記録されません。リレー記録などの特殊な記録をした場合も含まれます。
- DVD レコーダーなどで AVCHD プロテクトがかけられている SD カードでは、自動的にプロテクトを解除します。

記録データの取り扱い

SD カードのフォルダー構造例



- SD カードボリュームラベル
- MOV 形式のビデオデータ：4K (4096×2160)、59.94P の MOV (音声：LPCM)
- MOV 形式のビデオデータ：UHD (3840×2160)、29.97P の MOV (音声：LPCM)
- 管理ファイル 1
- 管理ファイル 2
- ビデオデータのサムネール
- AVCHD 規格のビデオデータ (00000.MTS など)
- 管理用フォルダー

MOV 形式の記録データは、図のようなフォルダー構造と管理ファイルにより関連付けられています。これらの情報が一部でも変更、または削除されると、MOV のデータとして認識できなくなったり、記録できなくなったりするなどの不具合が発生することがあります。

AVCHD フォーマットの記録データは、映像、音声データだけでなく、さまざまな重要情報が含まれており、図のようなフォルダー構造で関連付けられている。これらの情報が一部でも変更、または削除されると、AVCHD のデータとして認識できなくなったり、SD カードを AVCHD 機器で使うことができなくなったりするなどの不具合が発生することがあります。

NOTE

- SD カード内のフォルダーやファイルを、パーソナルコンピューターで消さないでください。本機で読み込むことができなくなることがあります。
- パーソナルコンピューター上で SD カード内にデータを記録した場合、本機で認識できなくなったり、記録できなくなったりするなどの不具合が発生することがあります。
- 本機で使用する SD カードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。
- 1 枚の SD カードに記録できる AVCHD 形式のクリップ数は、約 3900 個です。記録できるクリップ数の上限に達すると、データは記録できなくなります。

SD カードのボリュームラベルについて

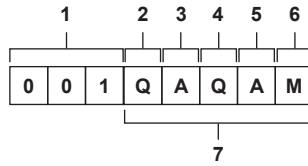
SD カードをフォーマットするときに [REC SETTINGS] メニュー → [CLIP NAME] で設定した値が CAM INDEX+NEXT REEL COUNT の形式でボリュームラベルに格納されます。格納後、[NEXT REEL COUNT] は 1 つ繰り上がります。格納された REEL COUNT は MOV 形式のファイル名の REEL 番号にも使用されます。

NOTE

- CAM INDEX+REEL COUNT がボリュームラベルに格納されていない SD カードで記録したときは、自動的に [REC SETTINGS] メニュー → [CLIP NAME] で設定した値がボリュームラベルに格納され、[NEXT REEL COUNT] は 1 つ繰り上がります。

MOV 形式のビデオデータのフォルダー名について

本機の設定により、フォルダー名の 4 文字目～8 文字目が異なります。



1 フォルダー番号

001～999（連番）

- 1 つのフォルダーに記録できるクリップは、999 個です。999 個に達すると、連番が付加されたフォルダーが新しく作成されます。また、本機の設定が変更され、フォルダー名が変更された場合も、連番が付加されたフォルダーが新しく作成されます。SD カードをフォーマットすると、フォルダー名は 001 に戻ります。

2 画素数

Q：4096×2160
R：3840×2160
P：2048×1080
Y：1920×1080

3 フレームレート

A：59.94fps
B：50.00fps
C：29.97fps
D：25.00fps
E：24.00fps
F：23.98fps

4 ビデオフォーマット

Q：プログレッシブ記録（MOV、LPCM）
J：インターレース記録（MOV、LPCM）

5 固定値

A

6 記録設定

M：通常記録（サイマル記録のときはカードスロット 1）
T：サイマル記録（サイマル記録のときはカードスロット 2）

7 記録フォーマット情報

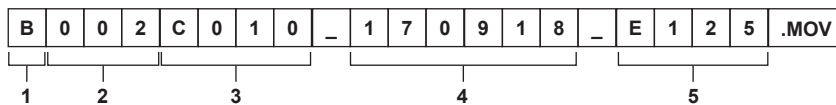
■ フォルダー名が 001QAQAM の場合

フォルダーには、次のようなビデオデータが保存されています。

- 画素数：4096×2160
- フレームレート：59.94fps
- ビデオフォーマット：プログレッシブ記録（MOV、LPCM）

MOV 形式のビデオデータのファイル名について

当社製 VARICAM シリーズ（AU-V35LT1G など）の CINE 形式と同じファイル名形式になります。VARICAM と同じようにクリップを管理できます。



1 CAM INDEX

A～Z までの大文字いずれか 1 文字

- カメラごとに割り当てる INDEX です。[REC SETTINGS] メニュー → [CLIP NAME] → [CAM INDEX] で設定します。

2 REEL 番号

001～999

- SD カードごとに割り当てられる番号です。SD カードのボリュームラベルに格納された REEL COUNT が割り当てられます。

3 クリップ番号

C001～C999

- SD カード上で、記録ごとに連番で割り当てられる番号です。SD カードをフォーマットすると C001 に戻ります。また、C999 の次も C001 に戻ります。フォルダーが分割された場合やクリップが削除されたときでも、クリップ番号は維持されます。

4 日付

記録開始時の西暦下 2 桁+月 2 桁+日 2 桁

5 シリアル番号から生成されるハッシュタグ

4 桁の数字またはアルファベット

NOTE

- サイマル記録では、カードスロット 2 のクリップ名はカードスロット 1 のクリップ名と同じになります。
- フォルダー数、フォルダー番号の上限は 999 です。途中の番号が空いていても、999 に達すると、記録禁止になります。

- 1 枚の SD カードに記録できるクリップ数は、約 4000 個です。フォルダー番号が余っていても、記録できるクリップ数の上限に達すると、データは記録できなくなります。

タイムデータの設定

本機はタイムデータとしてタイムコード、ユーザーズビット、日時（リアルタイム）データを備え、映像と同期して毎フレームに記録します。また、タイムデータはクリップメタデータとして記録されます。

タイムデータの概要

■ タイムコード

[REC SETTINGS] メニュー → [TC] → [FREE/REC RUN] で、[FREE RUN] と [REC RUN] を切り替えることができます。

- **[FREE RUN]**：動作モードに関係なく歩進します。電源を切っても歩進しているので、時刻と同様に扱うことができます。また、〈TC IN/OUT〉端子に入力されたタイムコードにスレーブロックして記録できます。
- **[REC RUN]**：記録中のみ歩進します。前回、記録した最後のタイムコードに連続した値で記録を開始します。

NOTE

- 次の場合 [REC RUN] は連続した値になりません。
 - 記録したクリップを削除した場合
 - 記録中に [REC WARNING] などの異常で記録を中止した場合
- プリレックが有効なときは、[FREE RUN] に固定されます。
- バリアブルフレームレート記録機能が有効なときは、[REC RUN] に固定されます。
- インターバル記録機能が有効なときは、[REC RUN] に固定されます。

■ ユーザーズビット

ユーザーズビットを内蔵しています。ユーザーズビットはクリップに記録されます。また、SDI 信号の LTC UB、VITC UB としても出力されます。


ユーザー設定値、時刻、年月日、撮影のフレームレート情報、クリップ名を、選択して記録できます。

クリップメタデータのユーザーズビットには、記録開始時の値が記録されます。

■ デュレーション（クリップ長）カウンター

記録開始のたびに 0 からカウントされ、記録終了時に、記録したクリップの時間が表示されます。

■ 日時（リアルタイム）

- 内蔵時計は、電源を  (スタンバイ) にしている間のフリーランタイムコードの計測や、ユーザーズビットの時刻、年月日データの基準となります。さらに、クリップを記録するときのファイル生成時刻やファイル名の基準になります。


NOTE

- VIEW 画面、HOME 画面での表示は、[REC SETTINGS] メニュー → [TC] → [TC/UB/Dur.] で切り替えます。

ユーザーズビットの設定

記録するユーザーズビットを設定します。

1 [REC SETTINGS] メニュー → [TC] → [UB MODE] で記録するユーザーズビットを選択する。

[FRAME RATE]	撮影のフレームレート情報を記録します。 パーソナルコンピューターなどの編集機器でユーザーズビットのフレームレート情報を使用する場合には、この設定でご使用ください。 また、当社製レコーダー（AJ-PG50 など）に対して記録動作を TYPE1、TYPE2 の方式で制御したい場合には、この設定でご使用ください。
[USER]	[REC SETTINGS] メニュー → [TC] → [SET UB] で設定したユーザーズビットを記録します。設定値は、電源を  (スタンバイ) にしていても保持されます。 詳しくは、「ユーザーズビットの入力方法」を参照してください。
[TIME]	内蔵時計で計測している日時の、時、分、秒を記録します。
[DATE]	内蔵時計で計測している日時の、西暦下 2 桁、月、日、時を記録します。
[CLIP NAME]	CAM INDEX（1 文字）と、REEL COUNT（3 桁数字）をそれぞれ ASCII 文字コードにした数値を記録します。

ユーザーズビットの入力方法

ユーザーズビットを設定することにより、16 進数 8 桁までのメモ（日付、時刻）などの情報を記録できます。

1 [REC SETTINGS] メニュー → [TC] → [UB MODE] → [USER] を選択する。

2 [REC SETTINGS] メニュー → [TC] → [SET UB] を選択する。

ユーザーズビット設定画面が表示されます。


3 ユーザーズビットを設定する。

- 2 桁ずつ設定します。

4 ユーザーズビットの設定値を確定する。

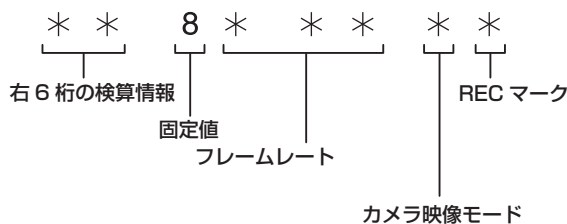
- 最後の 2 桁を設定すると、設定値が確定されます。

ユーザーズビットのメモリー機能

ユーザーズビットの設定内容は自動的に記録されており、電源を  (スタンバイ) にしても保持されます。

フレームレート情報について

フレームレート、および映像のプルダウンと、タイムコード、ユーザズビットの関係は次のとおりです。



■ カメラ映像モードについて

次のメニューの設定により、カメラ映像モードの表示が異なります。

- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [FREQUENCY]
- [CAMERA SETTINGS] メニュー → [FPS] → [VFR SW]

[FREQUENCY]	カメラ映像モードの表示	
	[VFR SW] が [ON] のとき	[VFR SW] が [OFF] のとき
[23.98p]	D	C
[24.00p]	F	E
[29.97p]	9	8
[59.94p]	9	8
[25.00p]	B	A
[50.00p]	B	A
[59.94i]	—	0
[50.00i]	—	2

タイムコードの設定

1 [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [FREQUENCY] → [59.94i] / [59.94p] / [29.97p] を選択する。

2 [REC SETTINGS] メニュー → [TC] → [DF/NDF] → [DF] / [NDF] を選択する。

[DF] : タイムコードをドロップフレームモードで歩進させます。

[NDF] : タイムコードをノンドロップフレームモードで歩進させます。

3 [REC SETTINGS] メニュー → [TC] → [SET TC] を選択する。

[SET TC] 画面が表示されます。

4 タイムコードを設定する。

5 タイムコードの設定値を確定する。

- 最後の2桁を設定すると、設定値が確定されます。

■ タイムコードの設定範囲

設定できるタイムコードの範囲は、[FREQUENCY] によって異なります。

[FREQUENCY]	設定できるタイムコードの範囲
59.94p, 29.97p, 59.94i	00:00:00:00 ~ 23:59:59:29
23.98p, 24.00p	00:00:00:00 ~ 23:59:59:23
50.00p, 25.00p, 50.00i	00:00:00:00 ~ 23:59:59:24

NOTE

- 設定値を確定せずにタイムコード設定画面を終了した場合、設定した変更は反映されません。
- [FREQUENCY] が 23.98p, 24.00p のときは、フレーム数は4の倍数の数値で設定してください。ほかの数値の場合、記録するタイムコードがずれます。

バッテリー交換時のタイムコードについて

バッテリー交換時にもバックアップ機構が機能し、タイムコードジェネレーターの動作は続きます。

なお、[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] の各項目を変更した場合、フリーランのタイムコードがずれることがあります。再度、電源を〈 | 〉(入)にしてタイムコードを確認し、必要に応じて設定し直してください。

バリエブルフレームレート記録でのタイムコード

バリエブルフレームレート記録機能を有効に設定しているとき、タイムコードは[REC RUN]に固定されます。タイムコードは記録中、[FREQUENCY] (システム周波数) と [FPS] (フレームレート) の設定値の比率に応じた速度で歩進します。

たとえば、[FREQUENCY] を [24.00p]、[FPS] を [60fps] に設定しているときは、1秒間に60/24フレーム(2秒12フレーム)歩進します。

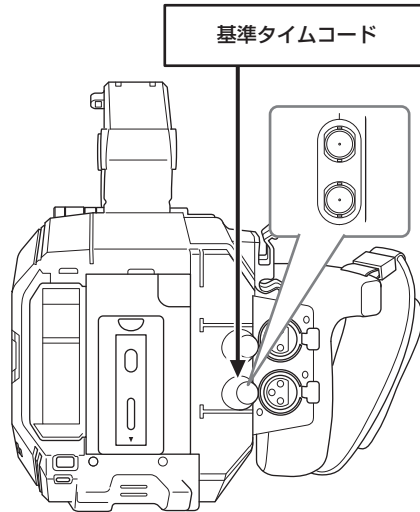
- <TC IN/OUT> 端子や <SDI OUT> 端子から出力されるタイムコードは、記録開始と同時に1倍速で歩進します。

タイムコードを外部にプリセットさせる

本機の内部タイムコードジェネレーターを外部ジェネレーターに簡易的にスレーブロックさせることができます。

本機と外部ジェネレーターとの接続例

基準タイムコード信号を〈TC IN/OUT〉端子に接続します。



外部ロック

タイムコードを外部ロックさせます。

- あらかじめ、本機と外部ジェネレーターを接続しておいてください。

1 [REC SETTINGS] メニュー → [TC] → [FREE/REC RUN] → [FREE RUN] を選択する。

2 [REC SETTINGS] メニュー → [TC] → [TC IN/OUT SEL] → [TC IN] を選択する。

3 〈TC IN/OUT〉端子に外部タイムコードを入力する。


HOME 画面と VIEW 画面の [TC] が白黒反転表示になります。

基準タイムコードは [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [FREQUENCY] の設定に合ったタイムコードを入力してください。また、23.98p、24.00p、25.00p、50.00p、50.00i ではノンドロップフレームのタイムコードを入力してください。

NOTE

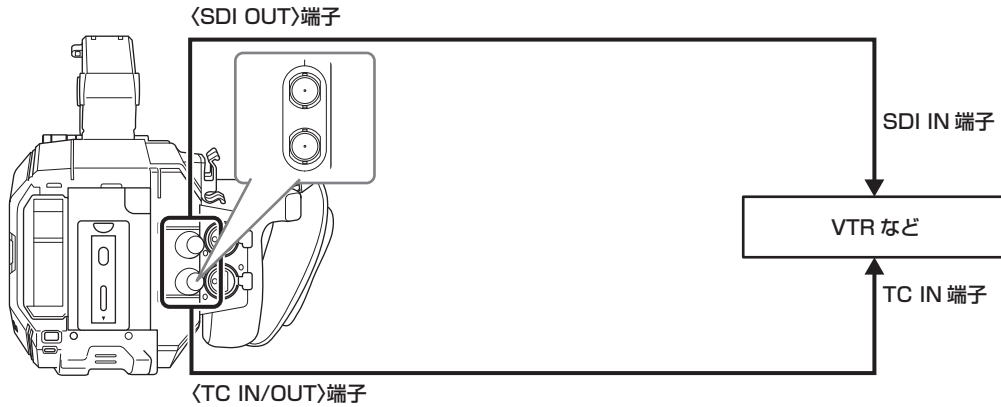
- 記録中、または、外部記録機器にレックリモート制御中は、外部入力のタイムコードにスレーブロックせずに内部基準で自走歩進させます。記録、または、レックリモート終了後、外部入力のタイムコードにスレーブロックさせるため、タイムコードの値が重なったり、抜けたりすることがあります。
- 本機にはゲンロックシステムがないため、タイムコードは 1 フレームずれることがあります。
- 一度、スレーブロックすると〈TC IN/OUT〉端子の入力がなくなっても、スレーブロック状態を継続します。ただし、次の場合はスレーブロック状態が解除されます。
 - [SET TC] でタイムコードを設定した場合
 - 電源を切った場合
 - [DF] / [NDF] を切り替えた場合
 - [REC RUN] にした場合
 - バリアブルフレームレート記録機能を有効にした場合
- プリレック中にスレーブロックした場合は、一度プリレックは破棄されます。
- [FREQUENCY] が 23.98p、24.00p のとき、記録開始タイムコードのフレーム数は、4 の倍数の数値にならないことがあります。
- ユーザーズビットの外部ロックは対応していません。

外部ロック中に、電源をバッテリーから AC アダプターに切り替えるときのお願い

タイムコードジェネレーターの電源の連続性を保つため、〈DC IN 12V〉端子に AC アダプターを接続したあと、HOME 画面の電源状態表示が  に変わったことを確認してからバッテリーを取り外してください。バッテリーを先に取り外したときは、タイムコードの外部ロックの連続性は保証されません。

タイムコードを外部に供給する

本機からカメラ映像、または再生映像に合わせて出力されるタイムコードを外部の記録機器に供給できます。



1 [REC SETTINGS] メニュー → [TC] → [TC IN/OUT SEL] → [TC OUT] を選択する。

2 [REC SETTINGS] メニュー → [TC] → [TC OUT REF] → [RECORDING] を選択する。

2台で同じ時刻の映像に同じタイムコードを付けて記録できます。

■ <TC IN/OUT> 端子から出力されるタイムコードを、SDI 出力やモニター出力の映像に合わせるには

1 [REC SETTINGS] メニュー → [TC] → [TC OUT REF] → [SDI OUT] を選択する。

NOTE

- ・再生時は、TCR を出力します。再生時の TCG 出力は対応していません。
- ・[FREQUENCY] が [23.98p]、[24.00p] のときは、タイムコードの出力が 1 フレームずれることがあります。
- ・ユーザズピットの出力は対応していません。

USER ボタンへの機能の割り当て

USER ボタンに、選択した機能を割り当てることができます。

- USER ボタンとして使用できるボタンは、次のとおりです。
 - 〈USER 1〉 ～ 〈USER 9〉 ボタン
VIEW 画面を表示中に、USER ボタンとして使用できます。
 - マルチダイヤル (〈WB〉 / 〈USER〉 / 〈ISO/dB〉 スイッチを 〈USER〉 に合わせた状態)

1 [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [USER SWITCHES] → [USER 1] ～ [USER9] または [USER TOGGLE] で、それぞれに割り当てる機能を選択する。

■ 工場出荷時の USER ボタンへの機能の割り当て

USER ボタン	機能
〈USER 1〉 ボタン	[ONE PUSH AF]
〈USER 2〉 ボタン	[PEAK./SQUARES F.A.]
〈USER 3〉 ボタン	[SPOT METER]
〈USER 4〉 ボタン	[E.I.S.]
〈USER 5〉 ボタン	[WFM]
〈USER 6〉 ボタン	[AWB]
〈USER 7〉 ボタン	[SLOT SEL]
〈USER 8〉 ボタン	[EXPAND]
〈USER 9〉 ボタン	[OPEN IRIS F.A.]
マルチダイヤル	[MONITOR VOL]

USER ボタンに割り当てられる機能



〈USER 1〉 ～ 〈USER 9〉 ボタンに割り当てられる機能

項目	内容
[INHIBIT]	機能を割り当てません。
[AWB]	オートホワイトバランスの有効 / 無効を切り替えます。
[ONE PUSH AF]	ワンプッシュオートフォーカス機能を割り当てます。
[ONE PUSH A.IRIS]	ワンプッシュオートアイリス機能を割り当てます。
[ATW LOCK]	ホワイトバランスの値を固定します。再度 USER ボタンを押すと、オートトラッキングホワイトバランスが動作を再開します。 • オートトラッキングホワイトバランスが動作しているときに有効です。
[E.I.S.]	電子手ぶれ補正機能の有効 / 無効を切り替えます。
[D.ZOOM]	デジタルズームの有効 / 無効を切り替えます。画角を縦横 1.4 倍にズームアップします。
[IR SHOOTING]	IR 撮影の有効 / 無効を切り替えます。
[REC SW]	記録を開始、または停止します。
[PRE REC]	プリレックの有効 / 無効を切り替えます。
[VFR]	バリエブルフレームレート記録機能の有効 / 無効を切り替えます。
[REC CHECK]	直前に撮影したクリップの最後の約 3 秒間を自動的に再生します。
[DEL LAST CLIP]	直前に撮影したクリップを削除します。
[SLOT SEL]	記録する SD カードを挿入しているカードスロットを選択します。 また、サムネール画面では表示するクリップのカードスロットを切り替えます。
[EXPAND]	拡大表示機能 (フォーカスアシスト機能) の有効 / 無効を切り替えます。
[OPEN IRIS F.A.]	オープンアイリスフォーカスアシスト機能 (フォーカスアシスト機能) を割り当てます。
[PEAK./SQUARES F.A.]	ピーキング表示およびフォーカススクエア表示 (フォーカスアシスト機能) の有効 / 無効を切り替えます。 表示の選択は、[OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD FOCUS ASSIST] → [PEAK./SQUARES MODE] で選択します。
[WFM]	ウェーブフォームモニターの表示を切り替えます。波形表示の選択は、[OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD EI ASSIST] → [WFM MODE] で選択します。
[SPOT METER]	スポットメーターの表示 / 非表示を切り替えます。 [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [SDI/HDMI INDICATOR] / [LCD INDICATOR] → [SPOT METER] → [ON] に設定されているときに有効です。
[ZEBRA]	ゼブラパターンの表示 / 非表示を切り替えます。
[LEVEL GAUGE]	水準器の表示 / 非表示を切り替えます。
[LEVEL GAUGE SET]	現在の水平方向と垂直方向を水準器の基準値として設定します。
[SDI COLOR]	〈SDI OUT〉 端子からの出カイメージを切り替えます。
[HDMI COLOR]	〈HDMI〉 端子からの出カイメージを切り替えます。
[LCD COLOR]	〈LCD〉 端子からの出カイメージを切り替えます。

第 3 章 準備 — USER ボタンへの機能の割り当て

項目	内容
[SDI OUT HDR]	〈SDI OUT〉端子からの出力イメージについてハイダイナミックレンジ/スタンダードダイナミックレンジを切り替えます。
[HDMI OUT HDR]	〈HDMI〉端子からの出力イメージについてハイダイナミックレンジ/スタンダードダイナミックレンジを切り替えます。
[LCD HDR]	〈LCD〉端子からの出力イメージについてハイダイナミックレンジ/スタンダードダイナミックレンジを切り替えます。
[LCD CLEAN VIEW]	〈LCD〉端子からの出力映像に重畳されているインジケータやマーカなどの表示を消します。
[LCD MARKER]	〈LCD〉端子からの出力映像に重畳されているマーカの表示 / 非表示を切り替えます。
[COLOR BARS]	カラーバーの表示 / 非表示を切り替えます。
[LOAD SETUP FILE]	SD カードに保存されたセットアップファイルを選択して、本機に読み込みます。
[POWER LCD]	屋外などの明るい場所でも液晶モニターを見やすくします。

NOTE

- 次の機能は、本機の電源を  (スタンバイ) にすると、次回電源を入れたときに機能が無効になります。
[ATW LOCK]、[D.ZOOM]、[EXPAND]、[PEAK./SQUARES F.A.]、[WFM]、[SPOT METER]、[LCD CLEAN VIEW]、[COLOR BARS]、[POWER LCD]
- 次の機能は、本機の電源を  (スタンバイ) にすると、次回電源を入れたときに機能が有効になります。
[LCD MARKER]

マルチダイヤルに割り当てられる機能

〈WB〉 / 〈USER〉 / 〈ISO/dB〉 スイッチを 〈USER〉 に合わせると、マルチダイヤルを USER ボタンとして使用できます。

- USER ボタンとしての動作は、VIEW 画面を表示しているときに有効です。

項目	内容
[INHIBIT]	機能を割り当てません。
[SHUTTER]	マルチダイヤルを押すと、シャッター機能の有効 / 無効を切り替えます。 マルチダイヤルを回すと、シャッタースピードの設定値を選択できます。
[FPS]	マルチダイヤルを押すと、パリアブルフレームレート記録機能の有効 / 無効を切り替えます。 マルチダイヤルを回すと、フレームレートの設定値を選択できます。
[MONITOR VOL]	マルチダイヤルを押すと、ヘッドホン端子から出力する音声のレベルの調整が有効になります。有効になると、液晶モニターに調整用のレベルメーターが表示されます。 マルチダイヤルを回すと、音声のレベルを調整できます。再度マルチダイヤルを押すと、音声のレベル調整を終了します。

USER ボタンに割り当てた機能の確認

1 〈HOME〉 ボタンを押す。

HOME 画面が表示されます。

2 〈INFO〉 ボタンを押す。

INFO 画面が表示されます。

3 [SWITCHES] を選択する。

各 USER ボタンに割り当てている機能が表示されます。

- マルチダイヤルの操作やタッチ操作のほか、〈INFO〉 ボタンを押すことでも選択できます。

DIAGNOSTICS	SWITCHES	VERSION
1: ONE PUSH AF	4: E.I.S.	
2: PEAK./SQUARES F.A.	5: WFM	
3: SPOT METER	6: AWB	
TOGGLE : INHIBIT	7: SLOT SEL	
8: EXPAND		
9: OPEN IRIS F.A.		
NETWORK	AUDIO	MEDIA

タリーランプ

撮影中に、フロントタリーランプおよびリアタリーランプを点灯させることができます。

1 [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [LED & FAN] → [TALLY LED] → [FRONT] / [REAR] / [BOTH] を選択する。

- 本機が次の状態のときは、タリーランプが点滅します。
 - SD カードの記録残量、およびバッテリー残量が少なくなったとき（1 秒間に 1 回）
 - SD カードの記録残量がなくなったとき（1 秒間に 4 回）
 - システムエラーまたは記録異常などのワーニングが発生したとき（1 秒間に 4 回）

NOTE

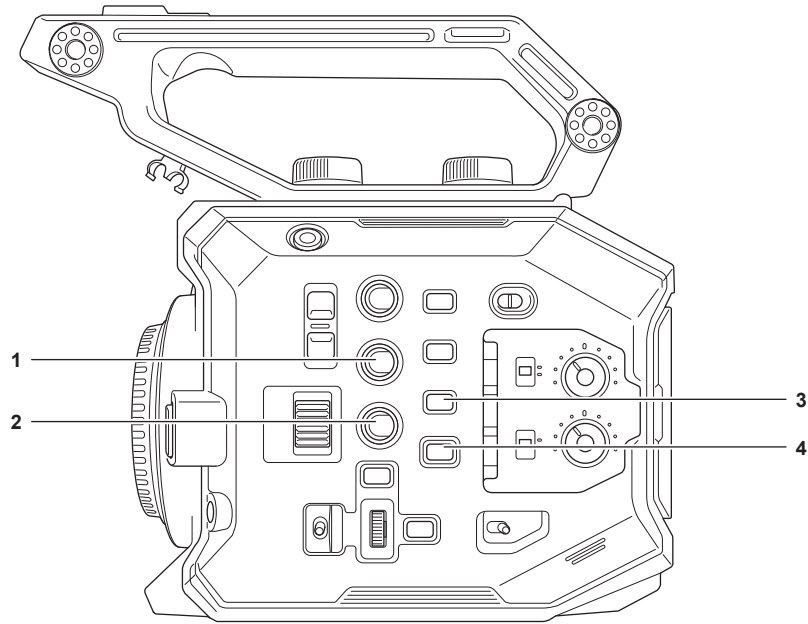
- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [LED & FAN] → [TALLY LED] → [OFF] に設定すると、タリーランプは点灯、点滅しません。

第4章 操作

本機の画面の操作方法およびメニュー操作方法、メニューの構成、メニューの詳細について説明します。

画面の基本操作

主なボタン操作と画面表示



- 1 〈VIEW〉ボタン
- 2 〈INFO〉ボタン
- 3 〈THUMBNAIL〉ボタン
- 4 〈HOME〉ボタン

■ 〈VIEW〉ボタン

VIEW 画面を表示します。

撮影画面を表示します。

本機の電源を入れたときは、VIEW 画面が表示されます。

VIEW 画面について、詳しくは「画面の状態表示」を参照してください。

■ 〈INFO〉ボタン

INFO 画面を表示します。

本機の情報を確認できます。

INFO 画面について、詳しくは「INFO 画面」を参照してください。

■ 〈THUMBNAIL〉ボタン

サムネイル画面を表示します。

クリップの再生、コピー、削除、プロテクトなどができます。

サムネイル画面について、詳しくは「サムネイル操作について」を参照してください。

■ 〈HOME〉ボタン

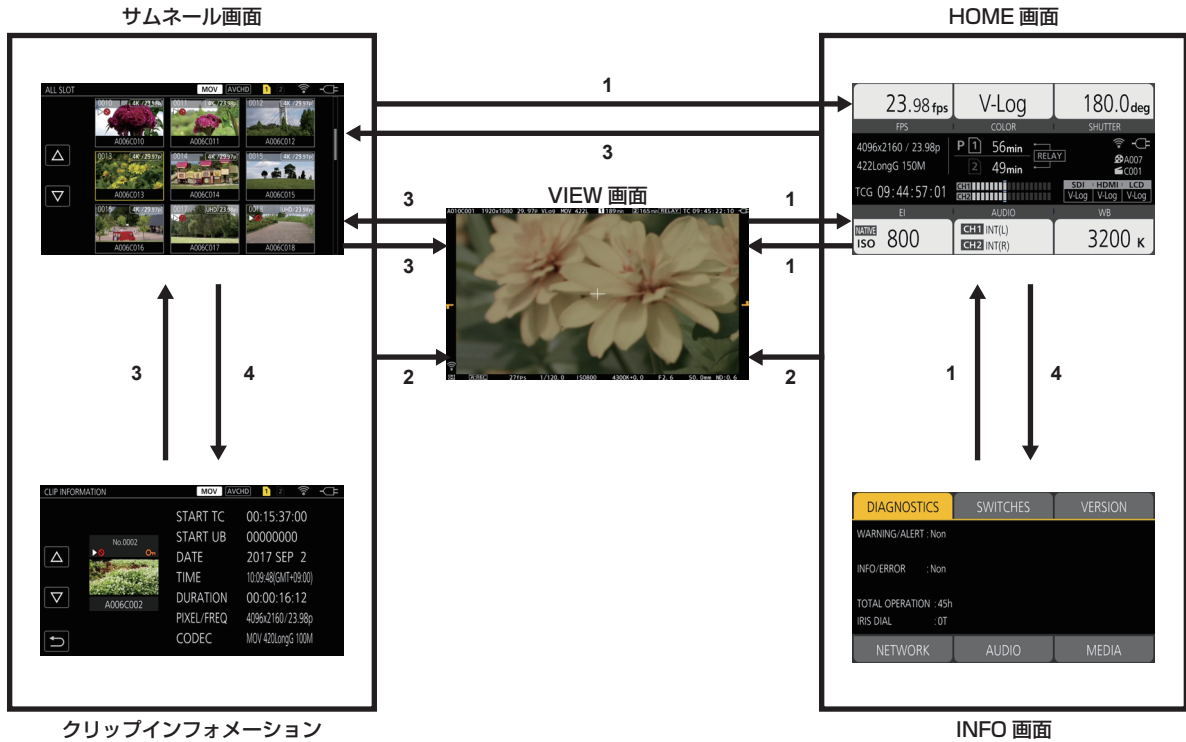
HOME 画面を表示します。

本機の基本的な設定をしたり、本機の状態を確認したりできます。

HOME 画面について、詳しくは「HOME 画面」を参照してください。

主なボタン操作と画面切り替え

〈HOME〉 ボタン、〈INFO〉 ボタン、〈VIEW〉 ボタン、〈THUMBNAIL〉 ボタンを押すと、次のように画面が切り替わります。



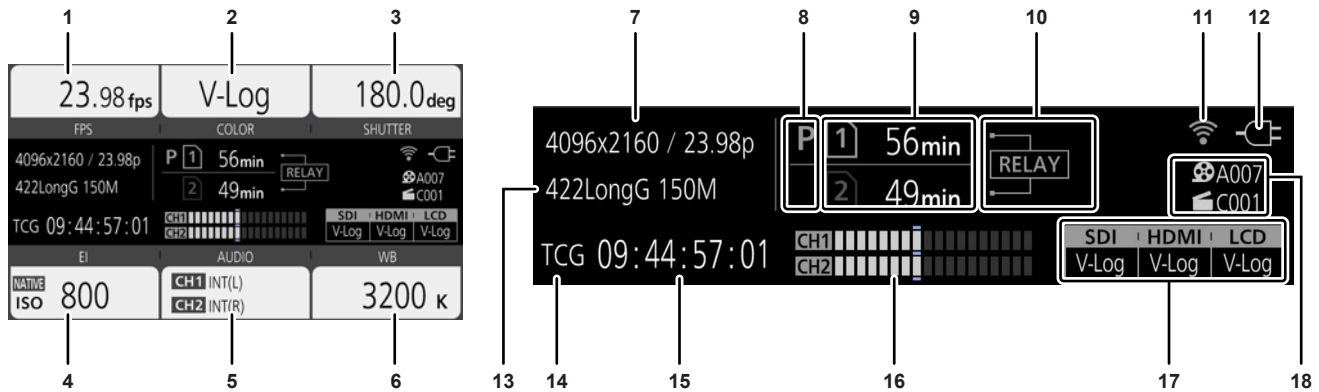
- クリップインフォメーション
- 1 〈HOME〉 ボタン
 - 2 〈VIEW〉 ボタン
 - 3 〈THUMBNAIL〉 ボタン
 - 4 〈INFO〉 ボタン

NOTE

- 本機の電源を入れたときは、VIEW 画面が表示されます。
- 記録を開始すると、自動的に VIEW 画面に切り替わります。
HOME 画面を表示中に記録を開始したときは、記録を停止すると自動的に HOME 画面に切り替わります。
- 〈HOME〉 ボタンを押すと、HOME 画面と VIEW 画面が切り替わります。
- [SYSTEM SETTINGS]メニュー→[SYSTEM MODE]→[SDI RAW]が[OFF]以外に設定されているときは、サムネール画面に切り替わりません。

HOME 画面の表示

本機の状態を確認できます。



- 1 **[FPS]**
バリエーションフレームレートの設定状態、および記録フレームレートを表示します。
- 2 **[COLOR]**
メインレコーダーに記録される映像のカラー設定を表示します。
- 3 **[SHUTTER]**
シャッタースピードを表示します。
[sec] : 時間で表示します。
[deg] : シャッターの開口角度で表示します。
- 4 **[EI]**
EXPOSURE INDEX (ゲイン) を表示します。
[CAMERA SETTINGS] メニュー → [EI] → [MODE] で、[ISO] と [dB] の表示を切り替えることができます。
- 5 **[AUDIO]**
音声チャンネル 1 と音声チャンネル 2 の音声入力の状態を表示します。
[IN1] : 音声入力として (AUDIO INPUT 1) 端子を選択しています。
[IN2] : 音声入力として (AUDIO INPUT 2) 端子を選択しています。
[MIC] : 音声入力として外部マイクを選択しています。
[LINE] : 音声入力としてオーディオ機器を選択しています。
[INT (L)] : 音声入力として内蔵マイク (L) を選択しています。
[INT (R)] : 音声入力として内蔵マイク (R) を選択しています。
[48V] : 外部マイク電源を有効にしています。
- 6 **[WB]**
色温度 (ホワイトバランス) を表示します。
オートホワイトバランスで取得した調整値が [AWB MEMORY A] の場合は、色温度の前に [A] を付けて表示します。調整値が [AWB MEMORY B] の場合は、色温度の前に [B] を付けて表示します。
[ATW] : オートトラッキングホワイトバランスの動作中に表示します。
[ATW LOCK] : オートトラッキングホワイトバランスがロックされているときに表示します。
- 7 **記録画素数 / システム周波数**
記録画素数とシステム周波数を表示します。
[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、(SDI OUT) 端子からの RAW 出力の解像度と、システム周波数を表示します。
- 8 **プリレック状態表示**
プリレック状態を表示します。
[P] : [REC SETTINGS] メニュー → [PRE REC] → [ON] に設定し、プリレックが有効なとき
(表示なし) : [REC SETTINGS] メニュー → [PRE REC] → [OFF] に設定しているとき、またはプリレックができないとき
- 9 **カードスロット 1 / カードスロット 2 状態表示**
SD カードの挿入状態や、現在の記録対象、記録残量などを示します。
[I] : SD カードが挿入され、記録対象になっているとき
[II] : SD カードが挿入されているが、記録対象になっていないとき
[0min] … [999min] : 記録残量 (0 ~ 999 分、999 分以上は [999min] と表示)
[END] : 記録残量がないとき
[W/P] : SD カードの書き込み禁止スイッチを LOCK 側にしているとき
[!SDXC] : SDHC メモリーカードが挿入され、[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [MAIN CODEC] で MOV 形式のファイルに設定しているとき (赤色表示)
[ERR] : 記録できない記録メディアが挿入されているとき (赤色表示)
(表示なし) : SD カードが挿入されていないとき、または [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているとき
- 10 **特殊記録機能表示**
各カードスロットの特殊記録機能の設定や、有効 / 無効の状態を表示します。
[RELAY] : リレー記録に設定しているとき
[SIMUL] : サイマル記録に設定しているとき
[INTRVL] : インターバル記録に設定しているとき

11 ワイヤレス LAN の接続状態表示

ワイヤレス LAN の接続状態を表示します。


(表示なし) : [NETWORK SETTINGS] メニュー → [NETWORK SEL] → [OFF] に設定しているとき


 : ROP 未接続状態

 : ROP 接続状態

12 電源状態表示

バッテリー残量、または AC アダプターの駆動状態を表示します。

 : バッテリーで駆動中 (バッテリー残量)


 : AC アダプターで駆動中

13 メイン記録コーデック

メインレコーダーの記録コーデックを表示します。

[ONLY SDI RAW] : [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているとき

14 ワーニング / アラート表示 (172 ページ)

 : ワーニング表示

 : アラート表示

15 タイムコード表示

[TCG **:***:***:] : タイムコードジェネレーター の値を表示


[UBG ** ** ** **] : ユーザーズビットジェネレーター の値を表示

[Dur. **:***:***:] : デュレーションの値を表示

16 オーディオレベルメーター

18 本のバーで、音声の記録レベルを表示します。(2 dB ステップ)

0 dB を超えると、赤色のバーで表示します。

 : バリアブルフレームレート記録機能を有効にし、システム周波数と異なるフレームレートに設定しているときなど、音声記録できないモードのとき

17 外部出力端子の出カイメージ設定表示

[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [COLOR SETTINGS] → [SDI OUT] / [HDMI OUT] / [LCD OUT] で設定した外部出力端子の出カイメージを表示します。

[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [COLOR SETTINGS] → [MAIN] → [SCENE1] ~ [SCENE5] に設定し、[SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [GAMMA] → [GAMMA SELECT] → [HLG] に設定しているときは、次のメニューで設定した外部出力端子の出カイメージを表示します。

• [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [SDI OUT] → [SDI OUT HDR]

• [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [HDMI OUT] → [HDMI OUT HDR]


• [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD HDR]

[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、[SDI] に [RAW] を表示します。

18 CAM INDEX/REEL COUNT

CAM INDEX、REEL COUNT、クリップ番号を表示します。最後に記録したクリップの情報が表示されます。

 A003 : CAM INDEX と REEL COUNT (A001 ~ Z999)

 C003 : クリップ番号 (C001 ~ C999)

各画面の操作

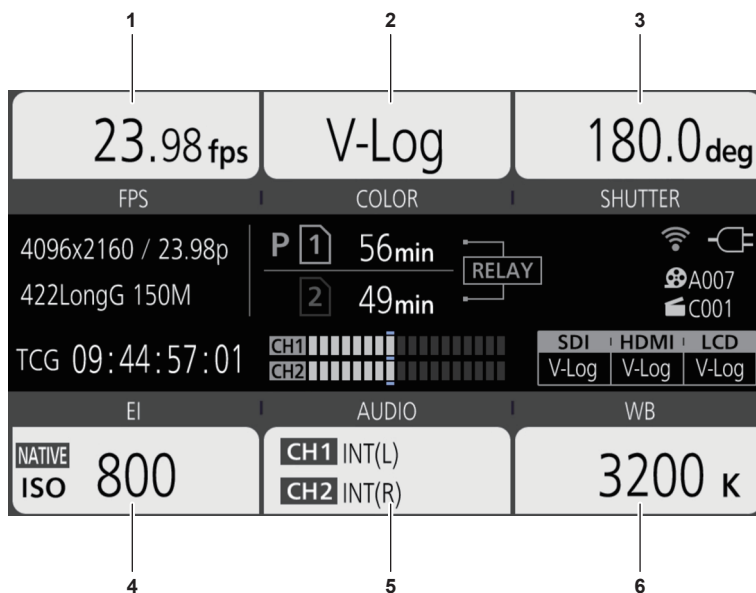
画面操作の起点となる HOME 画面は、〈HOME〉ボタンを押すと表示されます。

HOME 画面を表示して [FPS]、[COLOR]、[SHUTTER]、[EI]、[AUDIO]、[WB] を選択し、表示された画面で設定値の変更などを行います。

- マルチダイヤルまたはグリップマルチダイヤルで操作する方法と、液晶モニターをタッチして操作する方法があります。

HOME 画面

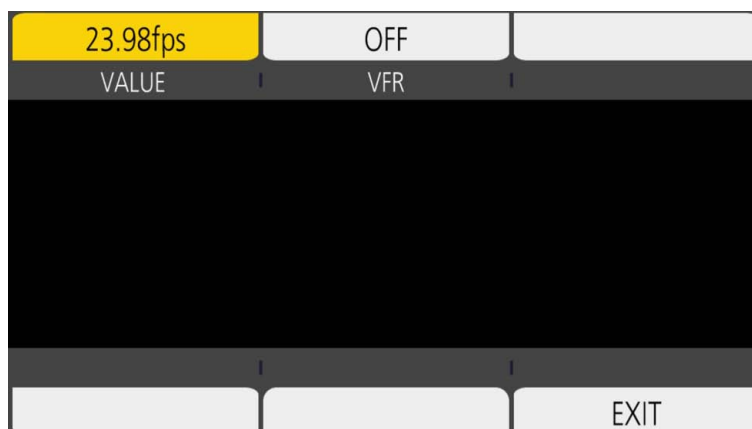
本機の基本的な設定ができます。



- 1 [FPS]
- 2 [COLOR]
- 3 [SHUTTER]
- 4 [EI]
- 5 [AUDIO]
- 6 [WB]

[FPS]

HOME 画面で [FPS] を選択すると FPS 画面が表示され、フレームレートの選択と、バリアブルフレームレート記録機能の有効 / 無効の切り替えができます。



[VALUE] : VIEW 画面が表示され、フレームレートが選択できます。

- [△] / [▽] で、あらかじめ登録したフレームレートの設定値から選択します。
- [CAMERA SETTINGS] メニュー → [FPS] → [ADD] / [DELETE] で、フレームレートの設定値を追加 / 削除できます。設定値は、最大 150 個 ([25.00p] / [50.00p] の場合は 128 個) まで登録できます。

[VFR] : バリアブルフレームレート記録機能の有効 / 無効を切り替えます。

NOTE

- [CAMERA SETTINGS] メニュー → [FPS] → [VFR SW] → [OFF] に設定しているときは、FPS 画面の [VALUE] は選択できません。
- 記録モードを AVCHD に設定しているとき、または [FREQUENCY] を [50.00] / [59.94] に設定しているときは、HOME 画面の [FPS] は選択できません。

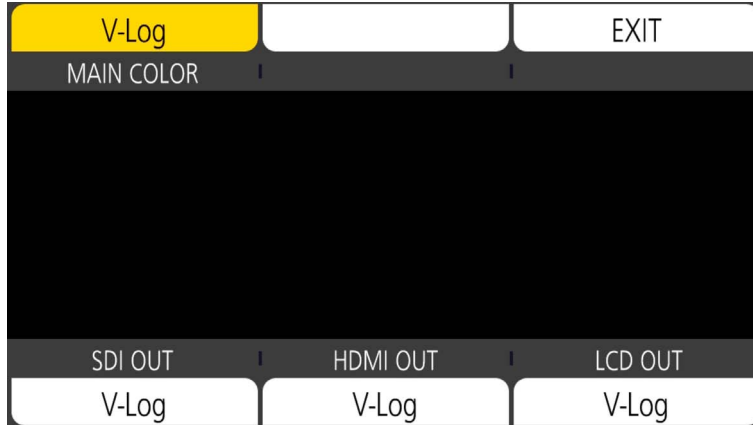
■ [VFR] の表示について

[CAMERA SETTINGS] メニュー → [FPS] → [VFR SW] → [ON] に設定しているときは、[FPS] の左上に [VFR] が表示され、[FPS] で設定したフレームレートで記録します。[FREQUENCY] と [FPS] が異なるときは、音声は記録できません。

[CAMERA SETTINGS] メニュー → [FPS] → [VFR SW] → [OFF] に設定しているときは、[VFR] は表示されません。[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [FREQUENCY] で設定したレートの 1 倍速で記録します。

[COLOR]

HOME 画面で [COLOR] を選択すると COLOR 画面が表示され、映像のカラー（ガンマおよびガンマ）が設定できます。



[MAIN COLOR] : メインレコーダーに記録される映像（カメラシステム全体）のカラーを設定します。

[SDI OUT] : <SDI OUT> 端子からの出力イメージを設定します。

[HDMI OUT] : <HDMI> 端子からの出力イメージを設定します。

[LCD OUT] : <LCD> 端子からの出力イメージを設定します。

[MAIN COLOR] が [SCENE1] ~ [SCENE5] で、[SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [GAMMA] → [GAMMA SELECT] → [HLG] に設定しているときは、[SDI OUT] / [HDMI OUT] / [LCD OUT] ではなく、[SDI OUT HDR] / [HDMI OUT HDR] / [LCD HDR] が表示されます。HOME 画面では [COLOR] ではなく [COLOR/HDR] が表示されます。

[SDI OUT HDR] : <SDI OUT> 端子からの出力イメージについてハイダイナミックレンジ / スタンダードダイナミックレンジを設定します。

[HDMI OUT HDR] : <HDMI> 端子からの出力イメージについてハイダイナミックレンジ / スタンダードダイナミックレンジを設定します。

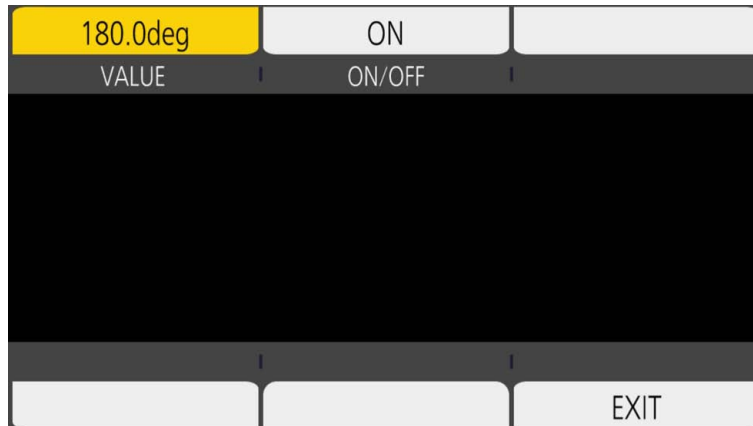
[LCD HDR] : <LCD> 端子からの出力イメージについてハイダイナミックレンジ / スタンダードダイナミックレンジを設定します。

NOTE

- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、[MAIN COLOR] は [V-Log] に固定されます。
- [SDI OUT] / [HDMI OUT] / [LCD OUT] の設定について
 - [MAIN COLOR] が [V-Log] のとき [V-Log] と [V-709] を選択できます。
 - [MAIN COLOR] が [SCENE1] ~ [SCENE5] のとき [MAIN COLOR] と同じ設定になります。
 - [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、[SDI OUT] には [RAW] が表示され、選択できません。[HDMI OUT] / [LCD OUT] では [V-Log] と [V-709] を選択できます。

[SHUTTER]

HOME 画面で [SHUTTER] を選択すると SHUTTER 画面が表示され、シャッタースピードの設定と、シャッター機能の有効 / 無効の切り替えができます。



[VALUE] : VIEW 画面が表示され、シャッタースピードが設定できます。

- [△] / [▽] で、あらかじめ登録したシャッタースピードの設定値から選択します。
- [CAMERA SETTINGS] メニュー → [SHUTTER] → [ADD deg] / [ADD sec] / [DELETE deg] / [DELETE sec] で、シャッタースピードの設定値を追加 / 削除できます。設定値は、最大 12 個まで登録できます。

[ON/OFF] : シャッター機能の有効 / 無効を切り替えます。

NOTE

- [CAMERA SETTINGS] メニュー → [SHUTTER] → [SW] → [OFF] に設定しているときは、SHUTTER 画面の [VALUE] は選択できません。

[EI]

HOME 画面で [EI] を選択すると EI 画面が表示され、EXPOSURE INDEX (ゲイン) の設定と、[CAMERA SETTINGS] メニュー → [EI] → [MODE] の設定に応じた動作の設定ができます。



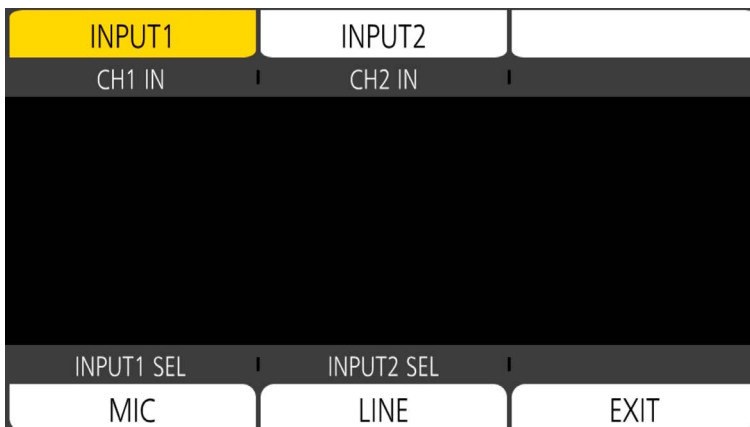
[NATIVE ISO] / [800BASE ISO] / [2500BASE ISO] / [GAIN SELECT] : VIEW 画面が表示され、EXPOSURE INDEX (ゲイン) が設定できます。

- [△] / [▽] で、EXPOSURE INDEX (ゲイン) を設定します。

[ISO SELECT] / [GAIN MODE] : VIEW 画面が表示され、[CAMERA SETTINGS] メニュー → [EI] → [MODE] の設定に応じた動作が設定できます。

[AUDIO]

HOME 画面で [AUDIO] を選択すると AUDIO 画面が表示され、音声の入力が設定できます。



[CH1 IN] : 音声チャンネル 1 に記録する音声を設定します。

[CH2 IN] : 音声チャンネル 2 に記録する音声を設定します。

[INPUT1 SEL] : <AUDIO INPUT 1> 端子に接続した機器からの音声入力信号を設定します。

[INPUT2 SEL] : <AUDIO INPUT 2> 端子に接続した機器からの音声入力信号を設定します。

[WB]

HOME 画面で [WB] を選択すると VIEW 画面が表示され、色温度 (ホワイトバランス) が設定できます。

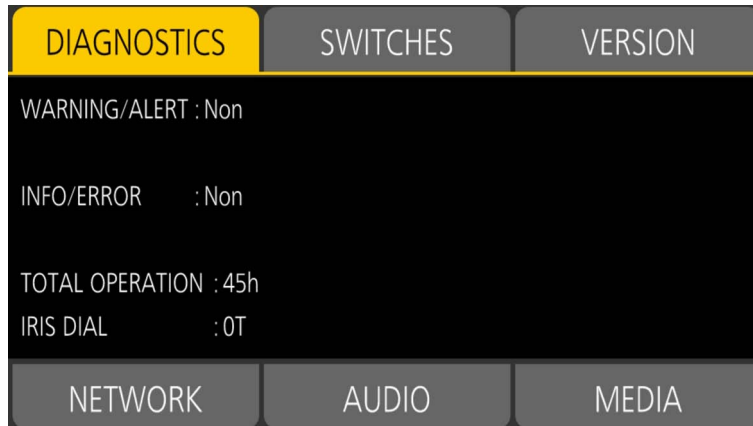
- [△] / [▽] で、あらかじめ登録したホワイトバランスの設定値から選択します。
- [CAMERA SETTINGS] メニュー → [WHITE] → [ADD] / [DELETE] で、ホワイトバランスの設定値を追加 / 削除できます。設定値は、最大 13 個まで登録できます。

INFO 画面

本機の情報を表示します。

HOME 画面を表示中に〈INFO〉ボタンを押すと表示されます。

- 各項目は、マルチダイヤルの操作やタッチ操作のほか、〈INFO〉ボタンを押すことでも選択できます。



[DIAGNOSTICS] : ワーニングなど、本機の状態を表示します。

[SWITCHES] : 各 USER ボタンの割り当て状態を表示します。

[VERSION] : モデル名、製造番号、ファームウェアのバージョンを表示します。

[NETWORK] : ワイヤレス LAN の設定値と接続状態を表示します。

[AUDIO] : オーディオの設定や各記録チャンネルの選択状態を表示します。

[MEDIA] : SD カードの情報を表示します。

VIEW 画面

撮影画面を表示します。

VIEW 画面について、詳しくは「画面の状態表示」を参照してください。

サムネール画面

クリップの再生、コピー、削除、プロテクトなどができます。

サムネール画面について、詳しくは「サムネール操作について」を参照してください。

メニューの基本操作

撮影シーンや記録内容に合わせて本機の設定をメニューで変更できます。

設定されたデータは、本体メモリーに書き込まれ、保存されます。

- マルチダイヤルまたはグリップマルチダイヤルで操作する方法と、液晶モニターをタッチして操作する方法があります。

メニューの構成

メニューの種類と開き方

メニューの種類	用途	開き方
メニュー	使用目的や設定頻度などに応じて、カテゴリー別に階層化した構成になっています。	〈MENU〉 ボタンを押すと表示します。 VIEW 画面を表示中に、液晶モニターを 1 秒以上タッチして離すと表示します。
[OPTION] メニュー	将来的な機能追加などを考慮した、特殊なメニューを準備しています。	〈EXIT〉 ボタンを押しながら 〈MENU〉 ボタンを押すと表示します。

メニューの構成

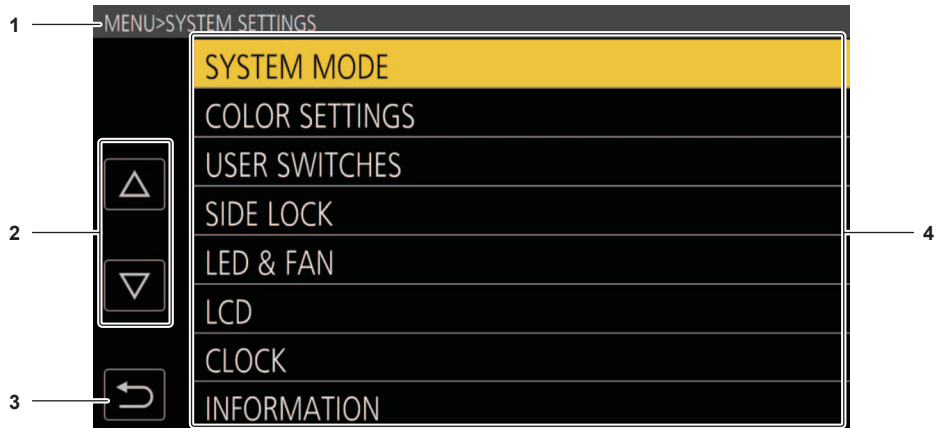
[THUMBNAIL] メニュー	記録クリップの確認や削除などを行います。 このメニューは、サムネール画面が表示されているときに、設定できます。
[SYSTEM SETTINGS] メニュー	システム全般の設定をします。
[CAMERA SETTINGS] メニュー	カメラの基本機能の設定を行います。 このメニューは、サムネール画面が表示されているときは、設定できません。
[SCENE FILE SETTINGS] メニュー	シーンファイルに関する設定をします。 このメニューでは、カメラ映像の細かな画質調整を設定します。また、シーンファイルの選択や、シーンファイルデータの本体メモリーへの書き込み、および本体メモリーからの読み込みができます。 このメニューは、サムネール画面が表示されているときは、設定できません。
[REC SETTINGS] メニュー	記録機能の各種項目を設定します。
[AUDIO SETTINGS] メニュー	音声の入出力機能を設定します。
[OUTPUT SETTINGS] メニュー	映像の表示内容や出力フォーマットを設定します。
[FILE] メニュー	設定データの保存と読み込みを行います。
[NETWORK SETTINGS] メニュー	ネットワーク機能に関する設定をします。

メニューの表示

メニューを表示し、設定したいメニューや項目を選択します。

1 記録動作以外の際に、〈MENU〉ボタンを押す。

メニューが表示されます。



- 1 階層表示
現在表示している画面までのメニューのパスを表示します。
- 2 [△] / [▽]
選択すると、カーソルを上下に移動します。
- 3 [↵]
選択すると、現在のメニューの 1 つ上の階層に戻ります。
- 4 メニュー
選択すると、現在のメニューの 1 つ下の階層、または設定画面に移動します。
- 5 [SET]
選択すると、設定した値を確定します。

NOTE

- ・ グレーの文字で表示されているメニューは、変更できません。

メニューの操作

メニューから、各種設定ができます。

操作方法は、マルチダイヤルまたはグリップマルチダイヤルで操作する方法と、液晶モニターをタッチして操作する方法があります。

マルチダイヤルで操作する場合

カメラ本体のマルチダイヤルを上下方向に回したり、押ししたりして操作します。

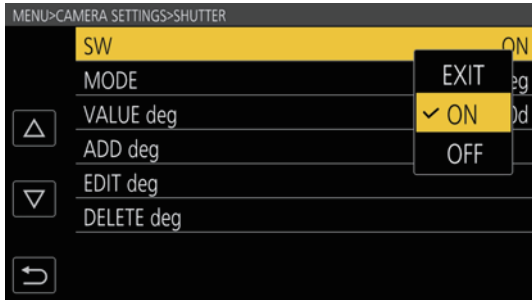


図 1



図 2

1 記録動作以外の際に、〈MENU〉ボタンを押す。

メニューが表示されます。

2 設定したいメニューを選択する。

- 1) マルチダイヤルを回して、設定したいメニューにカーソルを合わせる。
- 2) マルチダイヤルを押す。
 - 下の階層のメニューが表示されます。
 - メニューによっては、確認画面が表示されます。
 - 次の階層がある場合は、同様の操作をしてください。
 - 一部のメニューでは、数値設定のための画面がVIEW画面（図 2）に表示されます。
 - 一部のメニューでは、メニューの実行ができない場合、メッセージが表示されます。
 - 1つ上の階層に戻るときは、〈EXIT〉ボタンを押してください。

3 設定したい項目を選択する。

- 1) マルチダイヤルを回して、設定したい項目にカーソルを合わせる。
- 2) マルチダイヤルを押す。
 - 設定した項目は、項目の左端にチェックマークが付きます。（図 1）
 - 1つ上の階層に戻るときは、〈EXIT〉ボタンを押します。

4 〈MENU〉ボタンを押し、メニューを終了する。

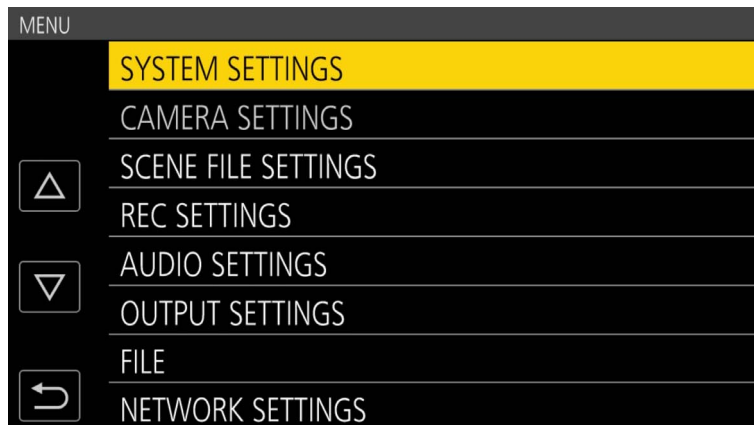
- 操作していた項目によっては、自動的に元の画面に戻ります。

NOTE

- 数値設定のための画面（図 2）では、マルチダイヤルを押し込んだ状態で変えたい方向に回してホールドすると、高速に値を変えることができます。
- グリップマルチダイヤルで、カメラ本体のマルチダイヤルと同様に操作できます。

液晶モニターをタッチして操作する場合

液晶モニターをタッチして操作します。




1 記録動作以外の際に、〈MENU〉ボタンを押す。


メニューが表示されます。

- VIEW 画面表示中に液晶モニターを 1 秒以上タッチして離しても、メニューが表示されます。

2 設定したいメニューを選択する。

- 設定したいメニューをタッチしてください。下の階層のメニューが表示されます。
- メニューによっては、確認画面が表示されます。
- 次の階層がある場合は、同様の操作をしてください。
- 一部のメニューでは、数値設定のための画面が VIEW 画面に表示されます。
数値などを変更するときは、[△] / [▽] をタッチして設定値を変更します。
- 一部のメニューでは、メニューの実行ができない場合、メッセージが表示されます。
- [△] / [▽] をタッチすると、カーソルを上下に移動できます。
- 1 つ上の階層に戻るときは、 をタッチします。

3 設定したい項目を選択する。

- 設定したい項目をタッチしてください。設定した項目は、項目の左端にチェックマークが付きます。
- 1 つ上の階層に戻るときは、 をタッチします。

4 をタッチ、または 〈MENU〉 ボタンを押して、メニューを終了する。

- 操作していた項目によっては、自動的に元の画面に戻ります。

メニューの初期化

メニューは、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1 [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [INITIALIZE] → [LOAD FACTORY DATA] を選択する。

メニューの設定値が工場出荷値に戻ります。

メニューの設定内容

[THUMBNAIL] メニュー

記録クリップの確認や削除などを行います。

このメニューは、サムネール画面が表示されているときに、設定できます。

[PLAYBACK]

[SLOT SEL]

サムネール画面に表示するクリップを選択します。

[ALL SLOT]	各スロットの全ての SD カードに記録されたクリップを表示します。
[SLOT 1]	カードスロット 1 の SD カードに記録されたクリップのみを表示します。
[SLOT 2]	カードスロット 2 の SD カードに記録されたクリップのみを表示します。

(工場出荷値：[ALL SLOT])

[RESUME PLAY]

再生を停止した位置から、再生を開始するかどうかを選択します。

[ON]	再生を停止した位置から再生を開始します。
[OFF]	常にクリップの先頭から再生を開始します。

(工場出荷値：[OFF])

[CLIP]

クリップをプロテクトしたり、別の SD カードにコピーしたりできます。

[PROTECT]	[SELECT]	クリップを誤って削除しないようにプロテクトします。 プロテクトしたいクリップを選択し、プロテクトを設定します。
[DELETE]	[ALL]	サムネール画面に表示されている全てのクリップを削除します。 サムネール画面に表示されていないクリップは削除されません。
	[SELECT]	削除したいクリップを選択して削除します。
[COPY]	[ALL]	全てのクリップを別の SD カードにコピーします。
	[SELECT]	コピーしたいクリップを選択して別の SD カードにコピーします。
[INFORMATION]		クリップの詳細情報を表示します。

NOTE

- MOV フォーマットで記録されたクリップはコピーできません。

[SYSTEM SETTINGS] メニュー

システム全般の設定をします。

[SYSTEM MODE]

設定できる組み合わせについては、「記録映像の解像度、コーデック、フレームレートの選択」、「RAW 出力の解像度、フレームレートの選択」を参照してください。

[FREQUENCY]

システム周波数を設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [23.98p]、[24.00p]、[25.00p]、[29.97p]、[50.00p]、[59.94p]、[50.00i]、[59.94i]

(工場出荷値：[23.98p])

NOTE

- 設定を変更すると、本機は再起動します。
- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [MAIN CODEC] が AVCHD フォーマットのときは、システム周波数が 59.94 Hz 系 (23.98p、59.94p、59.94i) と 50 Hz 系 (50.00p、50.00i) で異なるクリップを、1 枚の SD カードに記録することはできません。システム周波数の系列 (59.94 Hz 系または 50 Hz 系) ごとに SD カードをご用意ください。システム周波数の系列が異なる場合は [FORMAT ERROR CARD <SLOT 1>] / [FORMAT ERROR CARD <SLOT 2>] のアラートが表示されます。

[SDI RAW]

〈SDI OUT〉端子からの RAW 出力の解像度を設定します。

[OFF]	RAW 出力を行いません。
[S35 5.7K]	イメージセンサーの全画素を使用し、5760×3072 画素の RAW 出力を行います。30p までの撮影ができます。
[CROP 4K]	イメージセンサーの中心部を切り出し、4096×2160 画素の RAW 出力を行います。60p までの撮影ができます。画角が変化します。
[CROP&MIX 2K]	イメージセンサーの中心部を切り出し、画素混合読み出しをすることで、2048×1080 画素の RAW 出力を行います。240p までのハイスピード撮影ができます。画角が変化します。

(工場出荷値：[OFF])

NOTE

- ・ [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [FREQUENCY] が [50.00i] / [59.94i] に設定されているときは、[OFF] に固定されます。
- ・ [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [FREQUENCY] が [50.00p] / [59.94p] に設定されているときは、[S35 5.7K] は選択できません。
- ・ [OFF] 以外に設定されているときは、次のようになります。
 - カメラ本体で SD カードに記録することはできません。
 - [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [COLOR SETTINGS] → [MAIN] は [V-Log] に固定されます。
 - [CAMERA SETTINGS] メニュー → [EI] → [MODE] は [ISO] に固定されます。
 - サムネール画面は表示されません。
 - USER ボタンに割り当てられた [E.I.S.]、[D.ZOOM]、[PRE REC]、[REC CHECK]、[DEL LAST CLIP]、[SLOT SEL]、[SDI COLOR]、[COLOR BARS] は動作しません。
 - [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [SDI OUT] → [SDI REC REMOTE]、[OUTPUT SETTINGS] メニュー → [HDMI OUT] → [HDMI REC REMOTE] は動作しません。
 - 〈HDMI〉端子からの出力にタイムコード情報は出力されません。

[SENSOR MODE]

イメージセンサーの駆動モードを設定します。

[S35 5.7K]	イメージセンサーの全画素を使用します。
[S35 MIX 2.8K]	イメージセンサーの全画素から、2.8K の画素混合読み出しを行います。120p までのハイスピード撮影ができます。
[4/3 CROP&MIX 2.2K]	イメージセンサーの中心部から Four Thirds イメージサークルを切り出し、2.2K の画素混合読み出しを行います。240p までのハイスピード撮影ができます。画角が変化します。

(工場出荷値：[S35 5.7K])

NOTE

- ・ [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SENSOR MODE] → [4/3 CROP&MIX 2.2K] に設定したとき
 - [S35 5.7K] または [S35 MIX 2.8K] に設定したときよりも感度が下がります。
 - [CAMERA SETTINGS] メニュー → [EI] → [NATIVE ISO] で設定できる項目が、[400 ISO] または [1250 ISO] になります。
- ・ [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、設定できません。

[MAIN PIXEL]

メインレコーダーの記録画素数を設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [4096×2160]、[3840×2160]、[2048×1080]、[1920×1080]、[1280×720]

(工場出荷値：[4096×2160])

NOTE

- ・ [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、設定できません。

[MAIN CODEC]

メインレコーダーの記録コーデックを設定します。

- MOV ファイル

[HEVC LongGOP 200M]	4:2:0 (10 ビット) LongGOP 200 Mbps
[HEVC LongGOP 150M]	4:2:0 (10 ビット) LongGOP 150 Mbps
[420LongGOP 150M]	4:2:0 (8 ビット) LongGOP 150 Mbps
[420LongGOP 100M]	4:2:0 (8 ビット) LongGOP 100 Mbps
[420LongGOP 50M]	4:2:0 (8 ビット) LongGOP 50 Mbps
[422LongGOP 150M]	4:2:2 (10 ビット) LongGOP 150 Mbps
[422LongGOP 100M]	4:2:2 (10 ビット) LongGOP 100 Mbps
[422LongGOP 50M]	4:2:2 (10 ビット) LongGOP 50 Mbps
[422ALL-I 400M]	4:2:2 (10 ビット) ALL-Intra 400 Mbps
[422ALL-I 200M]	4:2:2 (10 ビット) ALL-Intra 200 Mbps
[422ALL-I 100M]	4:2:2 (10 ビット) ALL-Intra 100 Mbps

- AVCHD ファイル

第4章 操作 — メニューの設定内容

[AVCHD PS]	4:2:0 (8ビット) LongGOP 25 Mbps
[AVCHD PH]	4:2:0 (8ビット) LongGOP 21 Mbps
[AVCHD HA]	4:2:0 (8ビット) LongGOP 17 Mbps
[AVCHD PM]	4:2:0 (8ビット) LongGOP 8 Mbps

(工場出荷値：[422LongGOP 150M])

NOTE

- ・ [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、設定できません。

[COLOR SETTINGS]

[MAIN]

メインレコーダーに記録される映像（カメラシステム全体）のカラーを設定します。

[V-Log]	階調と広いラティチュード（露光範囲）が得られるガンマカーブに設定します。撮影後のグレーディング処理が必要です。
[SCENE 1]、[SCENE 2]、 [SCENE 3]、[SCENE 4]、 [SCENE 5]	カメラで詳細な画質調整を行う設定にします。 [SCENE 1] ~ [SCENE 5] を選択すると、[SCENE FILE SETTINGS] メニューでは、同じシーン番号のメニュー設定が有効になります。

(工場出荷値：[V-Log])

NOTE

- ・ [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外のときは、[V-Log] に固定されます。

[SDI OUT]

〈SDI OUT〉端子からの出力イメージを設定します。

- ・ [COLOR SETTINGS] の [MAIN] が [V-Log] のとき

[V-Log]	メインレコーダーに記録される映像と同じカラーで出力します。
[V-709]	標準的な CINE-LIKE に相当するカラーに変換して出力します。プレビューに適した設定です。

- ・ [COLOR SETTINGS] の [MAIN] が [SCENE 1]、[SCENE 2]、[SCENE 3]、[SCENE 4]、[SCENE 5] のとき

[SCENE 1]、[SCENE 2]、 [SCENE 3]、[SCENE 4]、 [SCENE 5]	メインレコーダーに記録される映像と同じカラーで出力します。変更できません。
---	---------------------------------------

(工場出荷値：[V-Log])

NOTE

- ・ [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外のときは、[V-Log] に固定されます。

[HDMI OUT]

〈HDMI〉端子からの出力イメージを設定します。

- ・ [COLOR SETTINGS] の [MAIN] が [V-Log] のとき

[V-Log]	メインレコーダーに記録される映像と同じカラーで出力します。
[V-709]	標準的な CINE-LIKE に相当するカラーに変換して出力します。プレビューに適した設定です。

- ・ [COLOR SETTINGS] の [MAIN] が [SCENE 1]、[SCENE 2]、[SCENE 3]、[SCENE 4]、[SCENE 5] のとき

[SCENE 1]、[SCENE 2]、 [SCENE 3]、[SCENE 4]、 [SCENE 5]	メインレコーダーに記録される映像と同じカラーで出力します。変更できません。
---	---------------------------------------

(工場出荷値：[V-Log])

[LCD OUT]

〈LCD〉端子からの出力イメージを設定します。

- ・ [COLOR SETTINGS] の [MAIN] が [V-Log] のとき

[V-Log]	メインレコーダーに記録される映像と同じカラーで出力します。
[V-709]	標準的な CINE-LIKE に相当するカラーに変換して出力します。プレビューに適した設定です。

- ・ [COLOR SETTINGS] の [MAIN] が [SCENE 1]、[SCENE 2]、[SCENE 3]、[SCENE 4]、[SCENE 5] のとき

[SCENE 1]、[SCENE 2]、 [SCENE 3]、[SCENE 4]、 [SCENE 5]	メインレコーダーに記録される映像と同じカラーで出力します。変更できません。
---	---------------------------------------

(工場出荷値：[V-Log])

[USER SWITCHES]

〈USER 1〉 ~ 〈USER 9〉 ボタン、マルチダイヤルに割り当てる機能を設定できます。

詳しくは、「USER ボタンへの機能の割り当て」を参照してください。

第4章 操作 — メニューの設定内容

[USER1] ~ [USER9] には、次の機能を割り当てできます。

- [INHIBIT]、[AWB]、[ONE PUSH AF]、[ONE PUSH A.IRIS]、[ATW LOCK]、[E.I.S.]、[D.ZOOM]、[IR SHOOTING]、[REC SW]、[PRE REC]、[VFR]、[REC CHECK]、[DEL LAST CLIP]、[SLOT SEL]、[EXPAND]、[OPEN IRIS F.A.]、[PEAK./SQUARES F.A.]、[WFM]、[SPOT METER]、[ZEBRA]、[LEVEL GAUGE]、[LEVEL GAUGE SET]、[SDI COLOR]、[HDMI COLOR]、[LCD COLOR]、[SDI OUT HDR]、[HDMI OUT HDR]、[LCD HDR]、[LCD CLEAN VIEW]、[LCD MARKER]、[COLOR BARS]、[LOAD SETUP FILE]、[POWER LCD]

[USER1]	〈USER 1〉 ボタンに割り当てる機能を設定します。 (工場出荷値：[ONE PUSH AF])
[USER2]	〈USER 2〉 ボタンに割り当てる機能を設定します。 VIEW 画面を表示しているときに、割り当てた機能が有効になります。 (工場出荷値：[PEAK./SQUARES F.A.])
[USER3]	〈USER 3〉 ボタンに割り当てる機能を設定します。 VIEW 画面を表示しているときに、割り当てた機能が有効になります。 (工場出荷値：[SPOT METER])
[USER4]	〈USER 4〉 ボタンに割り当てる機能を設定します。 (工場出荷値：[E.I.S.])
[USER5]	〈USER 5〉 ボタンに割り当てる機能を設定します。 (工場出荷値：[WFM])
[USER6]	〈USER 6〉 ボタンに割り当てる機能を設定します。 (工場出荷値：[AWB])
[USER7]	〈USER 7〉 ボタンに割り当てる機能を設定します。 (工場出荷値：[SLOT SEL])
[USER8]	〈USER 8〉 ボタンに割り当てる機能を設定します。 (工場出荷値：[EXPAND])
[USER9]	〈USER 9〉 ボタンに割り当てる機能を設定します。 (工場出荷値：[OPEN IRIS F.A.])
[USER TOGGLE]	マルチダイヤルに割り当てる機能を設定します。 VIEW 画面を表示しているときに、割り当てた機能が有効になります。 設定できる項目は、次のとおりです。 • [INHIBIT]、[SHUTTER]、[FPS]、[MONITOR VOL] (工場出荷値：[MONITOR VOL])

[SIDE LOCK]

[REC]

〈LOCK〉スイッチで、REC ボタンをロックするかどうかを設定します。

[LOCK]	ロックします。
[UNLOCK]	ロックしません。

(工場出荷値：[UNLOCK])

[USER1]

〈LOCK〉スイッチで、〈USER 1〉 ボタンをロックするかどうかを設定します。

[LOCK]	ロックします。
[UNLOCK]	ロックしません。

(工場出荷値：[LOCK])

[USER2]

〈LOCK〉スイッチで、〈USER 2〉 ボタンをロックするかどうかを設定します。

[LOCK]	ロックします。
[UNLOCK]	ロックしません。

(工場出荷値：[LOCK])

[USER3]

〈LOCK〉スイッチで、〈USER 3〉 ボタンをロックするかどうかを設定します。

[LOCK]	ロックします。
[UNLOCK]	ロックしません。

(工場出荷値：[LOCK])

[USER4]

〈LOCK〉スイッチで、〈USER 4〉 ボタンをロックするかどうかを設定します。

[LOCK]	ロックします。
[UNLOCK]	ロックしません。

(工場出荷値：[LOCK])

[USER5]

〈LOCK〉スイッチで、〈USER 5〉ボタンをロックするかどうかを設定します。

[LOCK]	ロックします。
[UNLOCK]	ロックしません。

(工場出荷値：[LOCK])

[USER6]

〈LOCK〉スイッチで、〈USER 6〉ボタンをロックするかどうかを設定します。

[LOCK]	ロックします。
[UNLOCK]	ロックしません。

(工場出荷値：[LOCK])

[USER7]

〈LOCK〉スイッチで、〈USER 7〉ボタンをロックするかどうかを設定します。

[LOCK]	ロックします。
[UNLOCK]	ロックしません。

(工場出荷値：[LOCK])

[THUMBNAIL]

〈LOCK〉スイッチで、〈THUMBNAIL〉ボタンをロックするかどうかを設定します。

[LOCK]	ロックします。
[UNLOCK]	ロックしません。

(工場出荷値：[LOCK])

[HOME]

〈LOCK〉スイッチで、〈HOME〉ボタンをロックするかどうかを設定します。

[LOCK]	ロックします。
[UNLOCK]	ロックしません。

(工場出荷値：[LOCK])

[ND FILTER]

〈LOCK〉スイッチで、〈ND FILTER〉ボタンをロックするかどうかを設定します。

[LOCK]	ロックします。
[UNLOCK]	ロックしません。

(工場出荷値：[LOCK])

[IRIS DIAL]

〈LOCK〉スイッチで、〈IRIS〉ダイヤルをロックするかどうかを設定します。

[LOCK]	ロックします。
[UNLOCK]	ロックしません。

(工場出荷値：[LOCK])

[MENU]

〈LOCK〉スイッチで、〈MENU〉ボタンをロックするかどうかを設定します。

[LOCK]	ロックします。
[UNLOCK]	ロックしません。

(工場出荷値：[LOCK])

[EXIT]

〈LOCK〉スイッチで、〈EXIT〉ボタンをロックするかどうかを設定します。

[LOCK]	ロックします。
[UNLOCK]	ロックしません。

(工場出荷値：[LOCK])

[MULTI DIAL]

〈LOCK〉スイッチで、マルチダイヤルをロックするかどうかを設定します。

[LOCK]	ロックします。
[UNLOCK]	ロックしません。

(工場出荷値：[LOCK])

[LED & FAN]

[TALLY LED]

タリールンプを点灯させるかどうかを設定します。

[FRONT]	フロントタリールンプが点灯します。
[REAR]	リアタリールンプが点灯します。
[BOTH]	フロントタリールンプとリアタリールンプの両方が点灯します。
[OFF]	タリールンプは点灯しません。

(工場出荷値：[BOTH])

[ACCESS LED]

カードアクセスランプを点灯させるかどうかを設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

(工場出荷値：[ON])

[POWER LED]

電源ランプを点灯させるかどうかを設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

(工場出荷値：[ON])

 **NOTE**

- [OFF] に設定していても、起動時は約 1 秒間点灯します。

[FAN SPEED]

ファンの回転速度を設定します。

[AUTO]	規定温度に達するまでは低速で回転し、規定温度に達すると [FULL] と同じ速度で回転します。
[FULL]	常に一定の速度で回転します。

(工場出荷値：[AUTO])

[LCD]

[BRIGHTNESS]

液晶モニターの明るさを調整します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [-15] … [15]

(工場出荷値：[0])

[COLOR LEVEL]

液晶モニターの色段階を調整します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [-15] … [15]

(工場出荷値：[0])

[CONTRAST]

液晶モニターのコントラストを調整します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [-30] … [30]

(工場出荷値：[0])

[BACK LIGHT]

液晶モニターのバックライトの明るさを設定します。[0] が標準的な明るさです。

USER ボタンに [POWER LCD] を割り当てて、機能を有効にしているときは、[BACK LIGHT] の設定を変更しても明るさは変化しません。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [-1]、[0]、[1]

(工場出荷値：[0])

[CLOCK]

[CLOCK SETTING]

カレンダー（内蔵時計の日付）と時刻を設定します。

[YEAR]	[2017] … [2037]
[MONTH]	[JAN] … [DEC] ([1] … [12])
[DAY]	[1] … [31] ([28]、[29]、[30])

第 4 章 操作 — メニューの設定内容

[HOUR]	[0] … [23]
[MINUTE]	[0] … [59]

(工場出荷値：[YEAR]：[2017]、[MONTH]：[1]、[DAY]：[1]、[HOUR]：[0]、[MINUTE]：[0])

[TIME ZONE]

タイムゾーンを設定します。タイムゾーンの設定を変更すると、時差を加えた時刻に切り替わります。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [-12:00] … [+12:30] (30 分ステップ)、[+12:45]、[+13:00]

(工場出荷値：[+0:00])

[DATE FORMAT]

カレンダー（内蔵時計の日付）の、年月日の表示順を設定します。クリップインフォメーションの年月日表示などにも反映されます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [Y-M-D]、[M-D-Y]、[D-M-Y]

(工場出荷値：[Y-M-D] ([AREA SETTINGS] で [AREA 1] に設定したとき)、[M-D-Y] ([AREA SETTINGS] で [AREA 2] に設定したとき)、[D-M-Y] ([AREA SETTINGS] で [AREA 3] に設定したとき))

[INFORMATION]

本機の情報を表示します。

[VERSION]	[MODEL]	本機の製品名を表示します。
	[SERIAL NO.]	本機の製造番号を表示します。
	[VERSION]	本機のファームウェアバージョンを表示します。
[OPERATION TIME]	[TOTAL OPERATION]	通電時間を表示します。
	[IRIS DIAL]	〈IRIS〉ダイヤルの操作で、上回転や下回転をした累積回数を 100 回ごとに更新表示します。(「T」は回数を示します)
[SENSOR TEMP]		イメージセンサーの周辺温度を表示します。
[USB SERVICE MODE]		USB サービスモードに切り替えます。
[UPDATE]		ファームウェアをアップデートします。

[LANGUAGE]

表示言語を設定します。

[OPTION] メニュー → [AREA SETTINGS] → [AREA 1] に設定したときは、表示されません。

[OPTION] メニュー → [AREA SETTINGS] → [AREA 2] / [AREA 3] に設定したときのみ、表示されます。

[English]	英語
[Español]	スペイン語
[Français]	フランス語

(工場出荷値：[English])

[INITIALIZE]

[LOAD FACTORY DATA]

メニューの設定値を工場出荷時の値に戻します。実行後、本機は再起動します。

選択できる項目は、次のとおりです。

- [YES]、[NO]

[CAMERA SETTINGS] メニュー

カメラの基本機能を設定します。

このメニューは、サムネール画面が表示されているときは、設定できません。

[FPS]

[VFR SW]

バリアブルフレームレート記録機能の有効 / 無効を切り替えます。

[ON]	バリアブルフレームレート記録機能を有効にします。[FPS] の [VALUE] で任意のフレームレートを設定できます。[FREQUENCY] と [FPS] が異なるときは、音声は記録できません。
[OFF]	バリアブルフレームレート記録機能を無効にします。

(工場出荷値：[OFF])

[VALUE]

任意のフレームレートを選択します。

(工場出荷値：[FREQUENCY] で設定した値)

[ADD]

フレームレートを新規登録します。新規登録した値は [FPS] の [VALUE] で選択できます。
最大 150 個の値を登録できます。すでに 150 個の値が登録されているときは、登録できません。

[EDIT]

選択されている設定値を編集できます。設定値の更新後に保存されます。

[DELETE]

選択されている設定値を削除します。
システム周波数の値が選択されているときは、削除できません。

[SHUTTER]

[SW]

シャッター機能の有効 / 無効を切り替えます。
設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[MODE]

シャッタースピードの表示方法を設定します。

[sec]	時間で表示します。
[deg]	シャッターの開口角度で表示します。

(工場出荷値：[deg])

[VALUE deg]

[SHUTTER] の [MODE] で表示単位を [deg] に設定している場合に、シャッターの開口角度を選択します。
工場出荷時は、次の値が登録されています。

- [HALF SHUTTER]、[11.5d]、[22.5d]、[45.0d]、[90.0d]、[120.0d]、[144.0d]、[172.8d]、[180.0d]、[270.0d]、[357.0d]

(工場出荷値：[HALF SHUTTER])

[ADD deg]

[SHUTTER] の [MODE] で表示単位を [deg] に設定している場合に選択する、シャッターの開口角度の値を新規登録します。新規登録した値は [VALUE deg] で選択できます。
最大 12 個の値を登録できます。すでに 12 個の値が登録されているときは、登録できません。

[EDIT deg]

選択されている設定値を編集できます。設定値の更新後に保存されます。

[DELETE deg]

選択されている設定値を削除します。
[VALUE deg] で [HALF SHUTTER] が選択されているときは、削除できません。
選択できる項目は、次のとおりです。

- [YES]、[NO]

[VALUE sec]

[SHUTTER] の [MODE] で表示単位を [sec] に設定している場合に、時間を選択します。
工場出荷時は、次の値が登録されています。

- [HALF SHUTTER]、[1/60.0]、[1/100.0]、[1/120.0]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/2000]

(工場出荷値：[HALF SHUTTER])

[ADD sec]

[SHUTTER] の [MODE] で表示単位を [sec] に設定している場合に選択する、時間の値を新規登録します。新規登録した値は [VALUE sec] で選択できます。
最大 12 個の値を登録できます。すでに 12 個の値が登録されているときは、登録できません。

[EDIT sec]

選択されている設定値を編集できます。設定値の更新後に保存されます。

[DELETE sec]

選択されている設定値を削除します。
[VALUE sec] で [HALF SHUTTER] が選択されているときは、削除できません。
選択できる項目は、次のとおりです。

- [YES]、[NO]

[EI]

[MODE]

EXPOSURE INDEX の制御単位を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ISO]、[dB]
(工場出荷値：[ISO])

NOTE

- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されている場合は、[ISO] に固定されます。

[ISO SELECT]

[E] の [MODE] で [ISO] を選択したときの動作を設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [NATIVE ONLY]、[800BASE]、[2500BASE]
(工場出荷値：[NATIVE ONLY])

[NATIVE ISO]

[E] の [ISO SELECT] で [NATIVE ONLY] を選択したときの値を設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [SENSOR MODE] が [4/3 CROP&MIX 2.2K] 以外、かつ、[SDI RAW] が [CROP&MIX 2K] 以外で [GAMMA SELECT] が [VIDEO] 以外するとき
[800 ISO]、[2500 ISO]
- [SENSOR MODE] が [4/3 CROP&MIX 2.2K]、または [SDI RAW] が [CROP&MIX 2K]、または [GAMMA SELECT] が [VIDEO] のとき
[400 ISO]、[1250 ISO]
(工場出荷値：[800 ISO])

[800BASE ISO]

[E] の [ISO SELECT] で [800BASE] を選択したときの値を設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [SENSOR MODE] が [4/3 CROP&MIX 2.2K] 以外、かつ、[SDI RAW] が [CROP&MIX 2K] 以外で [GAMMA SELECT] が [VIDEO] 以外するとき
[200 ISO]、[250 ISO]、[320 ISO]、[400 ISO]、[500 ISO]、[640 ISO]、[800 ISO]、[1000 ISO]、[1250 ISO]、[1600 ISO]、[2000 ISO]
- [SENSOR MODE] が [4/3 CROP&MIX 2.2K]、または [SDI RAW] が [CROP&MIX 2K]、または [GAMMA SELECT] が [VIDEO] のとき
[200 ISO]、[250 ISO]、[320 ISO]、[400 ISO]、[500 ISO]、[640 ISO]、[800 ISO]、[1000 ISO]
(工場出荷値：[800 ISO])

[2500BASE ISO]

[E] の [ISO SELECT] で [2500BASE] を選択したときの値を設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [SENSOR MODE] が [4/3 CROP&MIX 2.2K] 以外、かつ、[SDI RAW] が [CROP&MIX 2K] 以外で [GAMMA SELECT] が [VIDEO] 以外するとき
[1000 ISO]、[1250 ISO]、[1600 ISO]、[2000 ISO]、[2500 ISO]、[3200 ISO]、[4000 ISO]、[5000 ISO]、[6400 ISO]、[8000 ISO]、[10000 ISO]、[12800 ISO]、[16000 ISO]、[20000 ISO]、[25600 ISO]
- [SENSOR MODE] が [4/3 CROP&MIX 2.2K] 以外、かつ、[SDI RAW] が [CROP&MIX 2K] 以外で [GAMMA SELECT] が [VIDEO] のとき
[640 ISO]、[800 ISO]、[1000 ISO]、[1250 ISO]、[1600 ISO]、[2000 ISO]、[2500 ISO]、[3200 ISO]、[4000 ISO]、[5000 ISO]、[6400 ISO]、[8000 ISO]、[10000 ISO]、[12800 ISO]、[16000 ISO]、[20000 ISO]、[25600 ISO]
- [SENSOR MODE] が [4/3 CROP&MIX 2.2K]、または [SDI RAW] が [CROP&MIX 2K] のとき
[640 ISO]、[800 ISO]、[1000 ISO]、[1250 ISO]、[1600 ISO]、[2000 ISO]、[2500 ISO]、[3200 ISO]、[4000 ISO]、[5000 ISO]、[6400 ISO]、[8000 ISO]、[10000 ISO]、[12800 ISO]
(工場出荷値：[2500 ISO])

[GAIN MODE]

[E] の [MODE] で [dB] を選択したときの動作を設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [NORMAL]、[HIGH]
(工場出荷値：[NORMAL])

[GAIN SELECT]

[E] の [MODE] と、[SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [GAMMA] → [GAMMA SELECT] の設定によって、選択できる値が異なります。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [GAIN MODE] で [NORMAL] を選択したとき
 - [SENSOR MODE] が [4/3 CROP&MIX 2.2K] 以外で [GAMMA SELECT] が [VIDEO] 以外するとき：
[-12dB]、[-10dB]、[-8dB]、[-6dB]、[-4dB]、[-2dB]、[0dB]、[2dB]、[4dB]、[6dB]、[8dB]
 - [SENSOR MODE] が [4/3 CROP&MIX 2.2K]、または [GAMMA SELECT] が [VIDEO] のとき：
[-6dB]、[-4dB]、[-2dB]、[0dB]、[2dB]、[4dB]、[6dB]、[8dB]
- [GAIN MODE] で [HIGH] を選択したとき
 - [SENSOR MODE] が [4/3 CROP&MIX 2.2K] 以外で [GAMMA SELECT] が [VIDEO] 以外するとき：
[-8dB]、[-6dB]、[-4dB]、[-2dB]、[0dB]、[2dB]、[4dB]、[6dB]、[8dB]、[10dB]、[12dB]、[14dB]、[16dB]、[18dB]、[20dB]
 - [SENSOR MODE] が [4/3 CROP&MIX 2.2K] 以外で [GAMMA SELECT] が [VIDEO] のとき：

[-6dB]、[-4dB]、[-2dB]、[0dB]、[2dB]、[4dB]、[6dB]、[8dB]、[10dB]、[12dB]、[14dB]、[16dB]、[18dB]、[20dB]、[22dB]、[24dB]、[26dB]
 - [SENSOR MODE] が [4/3 CROP&MIX 2.2K] のとき：
 [-6dB]、[-4dB]、[-2dB]、[0dB]、[2dB]、[4dB]、[6dB]、[8dB]、[10dB]、[12dB]、[14dB]、[16dB]、[18dB]、[20dB]
 (工場出荷値：[0dB])

[WHITE]

[AWB]

オートホワイトバランスの調整を実行します。[VALUE] が [AWB MEMORY A] / [AWB MEMORY B] に設定されているときに実行できます。選択できる項目は、次のとおりです。

- [EXECUTE]、[CANCEL]

[VALUE]

オートホワイトバランスの調整値を選択します。

工場出荷時は、次の値が登録されています。

- [ATW]、[AWB MEMORY A]、[AWB MEMORY B]、[3200K+0.0GMg]、[4300K+0.0GMg]、[5600K+0.0GMg]、[6300K+0.0GMg]
 (工場出荷値：[3200K+0.0GMg])

NOTE

- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [COLOR SETTINGS] → [MAIN] → [V-Log] に設定されているときは、[ATW] は選択できません。
- [CAMERA SETTINGS] メニュー → [IR SHOOTING] → [ON] に設定されているときは、[ATW] は選択できません。

[ADD]

オートホワイトバランスの調整値を新規登録します。新規登録した値は [WHITE] の [VALUE] で選択できます。

最大 13 個の値を登録できます。すでに 13 個の値が登録されているときは、登録できません。

[EDIT]

選択されている設定値を編集できます。設定値の更新後に保存されます。

[DELETE]

選択されている設定値を削除します。

[VALUE] で [ATW] / [AWB MEMORY A] / [AWB MEMORY B] が選択されているときは、削除できません。

選択できる項目は、次のとおりです。

- [YES]、[NO]

[NOISE REDUCTION]

[ISO800]

[800BASE ISO] の範囲のノイズリダクション効果を切り替えます。

[NORMAL1]、[NORMAL2] は解像感を重視した設定、[SMOOTH] はノイズの軽減を重視した設定です。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [SMOOTH]、[NORMAL2]、[NORMAL1]、[OFF]

(工場出荷値：[OFF])

[ISO2500]

[2500BASE ISO] の範囲のノイズリダクション効果を切り替えます。

[NORMAL1]、[NORMAL2] は解像感を重視した設定、[SMOOTH] はノイズの軽減を重視した設定です。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [SMOOTH]、[NORMAL2]、[NORMAL1]、[OFF]

(工場出荷値：[OFF])

[LENS SETTINGS]

[A. IRIS LEVEL EFFECT]

オートアイリスを動作させるときの目標値を設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [0] … [100]

(工場出荷値：[50])

[A. IRIS WINDOW]

オートアイリスを検出させるためのウィンドウを選択します。

[NORMAL1]	画面中央よりのウィンドウです。
[NORMAL2]	画面下よりのウィンドウです。
[CENTER]	画面中央のスポット状のウィンドウです。

(工場出荷値：[NORMAL1])

[A. IRIS PEAK/AVE]

オートアイリスの基準に対するピークが占める割合を設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [0] … [100]
- (工場出荷値：[30])

[GRIP IRIS]

グリップマルチダイヤルをアイリスの制御に使用しているときの、制御方向を設定します。

[RIGHT OPEN]	グリップマルチダイヤルを右方向に回したときに、絞りが開きます。
[LEFT OPEN]	グリップマルチダイヤルを左方向に回したときに、絞りが開きます。

(工場出荷値：[RIGHT OPEN])

[AF OFFSET]

オートフォーカスの合焦位置を+ (遠) /- (近) にオフセットします。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [-20] … [20]
- (工場出荷値：[0])

[IR SHOOTING]

IR 撮影の有効 / 無効を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[OFF])

[E.I.S.]

[SW]

電子手ぶれ補正機能の有効 / 無効を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[OFF])

[ZOOM POSITION DATA]

電子手ぶれ補正に必要なとなるレンズの焦点距離を設定します。

[AUTO]	自動で焦点距離情報を使用した電子手ぶれ補正を行います。
[MANUAL]	[ZOOM POSITION VALUE] で設定した焦点距離を使用した電子手ぶれ補正を行います。

(工場出荷値：[AUTO])

NOTE

- [AUTO] に設定にする場合、カメラとレンズの通信による焦点距離情報の取得に対応した EF レンズが必要です。カメラとレンズの通信による焦点距離情報の取得に対応した EF レンズの最新情報は、次の Web サイトのサポートデスクを参照してください。
<https://panasonic.biz/cns/sav/>

[ZOOM POSITION VALUE]

[ZOOM POSITION DATA] で [MANUAL] に設定したときに使用する焦点距離 (mm) を設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [8] … [200]
- (工場出荷値：[50])

NOTE

- EF レンズの焦点距離と異なる距離に設定した場合、電子手ぶれ補正は正しく動作しません。

[AUTO BLACK BALANCE]

[ABB]

オートブラックバランスの調整を実行します。

[EXECUTE]	オートブラックバランスを実行します。
[EXIT]	1 つ上の階層に戻ります

[SCENE FILE SETTINGS] メニュー

カメラ映像の細かな画質調整を設定します。

このメニューは、サムネイル画面が表示されているときは、設定できません。

工場出荷値については「シーンファイルの工場出荷値について」を参照してください。

[NAME EDIT]

[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [COLOR SETTINGS] → [MAIN] で選択されているシーンファイルの名前を編集します。(最大 8 文字)

[SCENE DATA]

保存と読み込みの対象は、「シーンファイル/セットアップファイル/初期化の対象項目について」を参照してください。
保存と読み込みの具体的な内容は、「設定データの取り扱い」を参照してください。

[LOAD]

本体メモリーに保存されたシーンファイルを読み込み、現在の設定値に反映します。
選択できる項目は、次のとおりです。

- [YES]、[NO]

[SAVE]

現在の設定値をシーンファイルとして本体メモリーに保存します。
選択できる項目は、次のとおりです。

- [YES]、[NO]

[INITIALIZE]

シーンファイルの現在の設定値を、工場出荷値に戻します。
選択できる項目は、次のとおりです。

- [YES]、[NO]

[BLACK]

基準黒レベルを調整します。

[M.PED]

映像全体の基準黒レベルを調整します。
設定できる項目は、次のとおりです。

- [-100] … [100]

[R PED]

Rch の基準黒レベルを調整します。
設定できる項目は、次のとおりです。

- [-100] … [100]

[G PED]

Gch の基準黒レベルを調整します。
設定できる項目は、次のとおりです。

- [-100] … [100]

[B PED]

Bch の基準黒レベルを調整します。
設定できる項目は、次のとおりです。

- [-100] … [100]

[PEDESTAL OFFSET]

オートブラックバランスの調整を実行したときの、Rch、Gch、Bch の基準黒レベルを設定します。

[ON]	オートブラックバランスの調整を実行したあとも、[R PED]、[G PED]、[B PED] の値を保持して加算します。
[OFF]	オートブラックバランスの調整を実行したあとに、[R PED]、[G PED]、[B PED] の値をリセットします。

[GAMMA]

[GAMMA SELECT]

ガンマモードを選択します。

[V-255570L1]	EVA-LOOK のガンマカーブです。
[V-504580L1]	EVA-LOOK のガンマカーブです。
[VIDEO]	BroadCast-LOOK のガンマカーブです。
[HLG]	ハイブリッドログガンマ (HLG) カーブです。

[MASTER GAMMA]

マスターガンマの設定を 0.01 ステップで行います。
設定できる項目は、次のとおりです。

- [0.30] … [0.75]

[BLACK GAMMA]

暗部のガンマカーブを設定します。
設定できる項目は、次のとおりです。

[-8] … [-1]	暗部を圧縮します。
[OFF]	標準状態です。

[1] … [8]	暗部を伸長します。
-----------	-----------

[B.GAMMA RANGE]

暗部の圧縮 / 伸張を行う上限レベルを設定します。
設定できる項目は、次のとおりです。

[1]	20% 程度
[2]	30% 程度
[3]	40% 程度

[KNEE]

[KNEE SW]

二一の動作の有効 / 無効を切り替えます。
設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

[KNEE MODE]

二一の動作モードを設定します。

[D RANGE]	[KNEE] の [KNEE SLOPE] の値で、表現できるダイナミックレンジが決まります。 [KNEE] の [KNEE POINT] の値が変わっても、表現できるダイナミックレンジは変わりません。
[PRESS]	[KNEE] の [KNEE SLOPE] の値で、信号の圧縮率が決まります。 [KNEE] の [KNEE POINT] の値が変わると、表現できるダイナミックレンジの値が変わります。

[KNEE POINT]

二一ポイントの位置を設定します。
設定できる項目は、次のとおりです。

- [75%] … [109%] (1% ステップ)

[KNEE SLOPE]

二一の傾きを設定します。
設定できる項目は、次のとおりです。

- [0] … [100]

[HLG KNEE]

[KNEE SW]

HLG の二一の動作の有効 / 無効を切り替えます。
設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

[KNEE POINT]

HLG の二一ポイントの位置を設定します。
設定できる項目は、次のとおりです。

- [55] … [100] (1 ステップ)

[KNEE SLOPE]

HLG の二一の傾きを設定します。
設定できる項目は、次のとおりです。

- [0] … [100]

[WHITE CLIP]

[SW]

ホワイトクリップ機能の有効 / 無効を切り替えます。
設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

[LEVEL]

ホワイトクリップのレベルを設定します。
設定できる項目は、次のとおりです。

- [90%] … [109%]

[DETAIL]

[SW]

ディテール機能の有効 / 無効を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

[CORING]

ディテールに対してコアリングのレベルを設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [0] … [60]

[MASTER LEVEL]

全体的なディテール効果のレベルを設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [-31] … [31]

[FREQUENCY]

ディテールの太さを設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [1] … [3]

[SKIN DETAIL]

[SKIN DTL1]

スキントーンを効かせる被写体の肌色テーブルの選択と、スキントーンディテール機能の有効 / 無効を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

[SKIN DTL2]

スキントーンを効かせる被写体の肌色テーブルの選択と、スキントーンディテール機能の有効 / 無効を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

[SKIN DTL3]

スキントーンを効かせる被写体の肌色テーブルの選択と、スキントーンディテール機能の有効 / 無効を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

[CHROMA]

[LEVEL]

P_R 信号と P_B 信号のクロマレベルを設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [OFF]、[-99%] … [99%]

[MATRIX]

[SW]

マトリックス機能の有効 / 無効を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

[(R-G)]

リニアマトリックスを調整します。(赤 - 緑)

設定できる項目は、次のとおりです。

- [-127] … [127]

[(R-B)]

リニアマトリックスを調整します。(赤 - 青)

設定できる項目は、次のとおりです。

- [-127] … [127]

[(G-R)]

リニアマトリックスを調整します。(緑 - 赤)

設定できる項目は、次のとおりです。

- [-127] … [127]

[(G-B)]

リニアマトリックスを調整します。(緑 - 青)

設定できる項目は、次のとおりです。

- [-127] … [127]

[(B-R)]

リニアマトリックスを調整します。(青 - 赤)

設定できる項目は、次のとおりです。

- [-127] … [127]

[(B-G)]

リニアマトリックスを調整します。(青 - 緑)

設定できる項目は、次のとおりです。

- [-127] … [127]

[COLOR CORRECTION]

設定については、「[COLOR CORRECTION]」を参照してください。

[SW]	色補正機能の有効 / 無効を切り替えます。 設定できる項目は、次のとおりです。 • [ON]、[OFF]
[PARAM]	色の彩度と位相について設定します。個別の色相に対して設定できます。 設定できる項目は、次のとおりです。 • [-63] … [63]

[REC SETTINGS] メニュー

記録機能の各種項目を設定します。

[CARDS/MEDIA]

[FORMAT MEDIA]

指定したスロットの SD カードをフォーマットします。フォーマットにより消去されたデータは、復元できません。必ずデータを確認したあとにフォーマットしてください。

選択できる項目は、次のとおりです。

- [SLOT1]、[SLOT2]

[CLIP NAME]

[CAM INDEX]

記録する MOV 形式のファイルの名前に使用する CAM INDEX を設定します。アルファベットの大文字を 1 文字設定します。SD カードのボリュームラベルに格納する値としても使用します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [A] … [Z]

(工場出荷値：[A])

NOTE

- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [MAIN CODEC] が AVCHD フォーマットのときは、SD カードのボリュームラベルには格納されますが、ファイル名には使用されません。

[NEXT REEL COUNT]

記録する MOV 形式のファイルの名前に使用する REEL COUNT を設定します。次の場合に [NEXT REEL COUNT] での設定値が REEL COUNT として [CAM INDEX] の設定値とともに、SD カードのボリュームラベルに格納されます。また、格納した後に設定値は 1 つ繰り上がります。([999] の次は [001] に戻ります)

- SD カードをフォーマットしたとき
- REEL COUNT がボリュームラベルに格納されていない SD カードで記録したとき

設定できる項目は、次のとおりです。

- [001] … [999]

(工場出荷値：[001])

NOTE

- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [MAIN CODEC] が AVCHD フォーマットのときは、SD カードのボリュームラベルには格納されますが、ファイル名には使用されません。

[2 SLOTS FUNC.]

2 枚の SD カードを利用した記録機能を設定します。

[OFF]	設定しません。
[RELAY REC]	リレー記録に設定します。
[SIMUL REC]	サイマル記録に設定します。

(工場出荷値：[RELAY REC])

NOTE

- 設定できる組み合わせや制約については、「同時に使用できない記録機能について」を参照してください。

[PRE REC]

プリレックを行うかどうかを設定します。

プリレック時間は [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [MAIN PIXEL] / [MAIN CODEC] の設定によって異なります。

[ON]	プリレックを行います。 プリレック時間は次のとおりです。 • [MAIN PIXEL] が [1280×720]、[1920×1080]、[2048×1080] : 約 10 秒 • [MAIN CODEC] が [422ALL-I 400M] : 約 3 秒 • 上記以外の場合 : 約 5 秒
[OFF]	プリレックを行いません。

(工場出荷値 : [OFF])

NOTE

• 設定できる組み合わせや制約については、「同時に使用できない記録機能について」を参照してください。

[REC FUNCTION]

[REC MODE]

記録の方式を選択します。

[NORMAL]	通常記録を行います。
[INTERVAL]	インターバル記録を行います。(設定した時間間隔で 1 フレーム記録する動作を繰り返し行う機能です)

(工場出荷値 : [NORMAL])

NOTE

• 設定できる組み合わせや制約については、「同時に使用できない記録機能について」を参照してください。

[INTERVAL TIME]

インターバル記録を行うときのインターバル時間を設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [1s]、[2s]、[5s]、[10s]、[30s]、[1min]、[5min]、[10min]

(工場出荷値 : [5min])

[TC]

[SET TC]

記録するタイムコードの初期値を設定します。

時	[00] … [23]
分	[00] … [59]
秒	[00] … [59]
フレーム	[00] … [23] ([24.00p]、[23.98p] のとき) [00] … [24] ([50.00i]、[50.00p]、[25.00p] のとき) [00] … [29] ([59.94i]、[59.94p]、[29.97p] のとき)

(工場出荷値 : [00]) (各項目)

[SET UB]

ユーザズビットを設定します。

[TC] の [UB MODE] で [USER] を選択しているときのみ有効です。

各桁、次の範囲で設定できます。

- [00] … [FF]

(工場出荷値 : [00])

[TC/UB/Dur.]

タイムコードの表示を、ユーザズビットやデュレーションカウンターの表示に切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

[TC]	タイムコード表示
[UB]	ユーザズビット表示
[Dur.]	デュレーションカウンター表示

(工場出荷値 : [TC])

[FREE/REC RUN]

タイムコードジェネレーターを歩進させる動作モードを設定します。

[FREE RUN]	動作モードに関係なく歩進させます。
[REC RUN]	記録中のみ歩進させます。

(工場出荷値 : [FREE RUN])

NOTE

- [CAMERA SETTINGS] メニュー → [FPS] → [VFR SW] → [ON] に設定されているときは、[REC RUN] に固定されます。
- [REC SETTINGS] メニュー → [PRE REC] → [ON] に設定されているときは、[FREE RUN] に固定されます。
- [REC SETTINGS] メニュー → [REC FUNCTION] → [REC MODE] → [INTERVAL] に設定されているときは、[REC RUN] に固定されます。

[DF/NDF]

タイムコードジェネレーターのカウンタ方法を設定します。

[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [FREQUENCY] → [59.94i] / [59.94p] / [29.97p] に設定しているときのみ、有効になります。

[DF]	ドロップフレームモードを使用します。
[NDF]	ノンドロップフレームモードを使用します。

(工場出荷値：[NDF])

NOTE

- [REC SETTINGS] メニュー → [REC FUNCTION] → [REC MODE] → [INTERVAL] に設定されているときは、[NDF] に固定されます。

[UB MODE]

ユーザズビットを選択します。ユーザズビット情報はクリップに記録されます。また、SDI 信号の LTC UB、VITC UB としても出力されます。

[FRAME RATE]	カメラの撮像情報（フレームレートなど）を選択します。
[USER]	[SET UB] で設定したユーザズビットを選択します。
[TIME]	ローカル時刻を選択します。（時、分、秒）
[DATE]	ローカル日時を選択します。（西暦下 2 桁、月、日、時）
[CLIP NAME]	MOV 形式のファイルとして記録される CAM INDEX (A…Z) の ASCII 文字コードが MSB に入ります。また、MOV 形式のファイルとして記録される REEL COUNT が 3 桁の ASCII 文字コードが LSB3 桁に入ります。（例：A123=0x41 0x31 0x32 0x33）[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [MAIN CODEC] で MOV 形式に設定されていない場合でも記録します。

(工場出荷値：[USER])

[TC IN/OUT SEL]

〈TC IN/OUT〉端子の入出力を設定します。

[TC IN]	タイムコード入力に設定します。
[TC OUT]	タイムコード出力に設定します。

(工場出荷値：[TC IN])

[TC OUT REF]

〈TC IN/OUT〉端子から出力されるタイムコードの出力遅延を設定します。

[RECORDING]	記録タイムコードを遅延なしに出力します。本機のタイムコードをマスターにして 2 台で同時撮りするときに使用します。
[SDI OUT]	〈SDI OUT〉端子からの出力映像に合わせます。〈SDI OUT〉端子から映像が出力されていないときは遅延なしに出力します。

(工場出荷値：[RECORDING])

[AUDIO SETTINGS] メニュー

音声の入出力機能を設定します。

[AUDIO CH SETTINGS]

[CH1 IN SELECT]

音声チャンネル 1 に記録する音声を設定します。

[INT (L)]	内蔵マイク 〈L〉の音声を記録します。
[INPUT 1]	〈AUDIO INPUT 1〉端子からの入力信号を記録します。

(工場出荷値：[INT (L)])

[CH2 IN SELECT]

音声チャンネル 2 に記録する音声を設定します。

[INT (R)]	内蔵マイク 〈R〉の音声を記録します。
[INPUT 1]	〈AUDIO INPUT 1〉端子からの入力信号を記録します。
[INPUT 2]	〈AUDIO INPUT 2〉端子からの入力信号を記録します。

(工場出荷値：[INT (R)])

[CH1 MIC LOWCUT]

音声チャンネル 1 のローカットフィルターの有効 / 無効を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

(工場出荷値：[OFF])

[CH2 MIC LOWCUT]

音声チャンネル 2 のローカットフィルターの有効 / 無効を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[OFF])

[CH1 LIMITER]

音声チャンネル 1 で、音声の入力レベルを調整する方法が手動の場合に、リミッターの有効 / 無効を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[OFF])

[CH2 LIMITER]

音声チャンネル 2 で、音声の入力レベルを調整する方法が手動の場合に、リミッターの有効 / 無効を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[OFF])

[HEAD ROOM]

ヘッドルーム (基準レベル) を設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [18dB]、[20dB]
- (工場出荷値：[20dB] ([AREA SETTINGS] が [AREA 1] / [AREA 2] のとき)、[18dB] ([AREA SETTINGS] が [AREA 3] のとき))

[AUDIO INPUT]

[INPUT1 LINE/MIC SEL]

〈AUDIO INPUT 1〉端子に接続した機器からの音声入力信号を設定します。

[LINE]	オーディオ機器を接続しているときに設定します。
[MIC]	外部マイクを接続しているときに設定します。

(工場出荷値：[LINE])

[INPUT2 LINE/MIC SEL]

〈AUDIO INPUT 2〉端子に接続した機器からの音声入力信号を設定します。

[LINE]	オーディオ機器を接続しているときに、設定します。
[MIC]	外部マイクを接続しているときに、設定します。

(工場出荷値：[LINE])

[INPUT1 MIC POWER]

〈AUDIO INPUT 1〉端子に接続した外部マイクのファントム電源の有効 / 無効を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[OFF])

[INPUT2 MIC POWER]

〈AUDIO INPUT 2〉端子に接続した外部マイクのファントム電源の有効 / 無効を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[OFF])

[INPUT1 MIC LEVEL]

〈AUDIO INPUT 1〉端子に接続した外部マイクの入力レベルを設定します。外部マイクを接続し、[AUDIO INPUT] の [INPUT1 LINE/MIC SEL] を [MIC] に設定しているときのみ有効です。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [-40dB]、[-50dB]、[-60dB]
- (工場出荷値：[-60dB])

[INPUT2 MIC LEVEL]

〈AUDIO INPUT 2〉端子に接続した外部マイクの入力レベルを設定します。外部マイクを接続し、[AUDIO INPUT] の [INPUT2 LINE/MIC SEL] を [MIC] に設定しているときのみ有効です。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [-40dB]、[-50dB]、[-60dB]
- (工場出荷値：[-60dB])

[INPUT1 LINE LEVEL]

〈AUDIO INPUT 1〉端子に接続したオーディオ機器の音声の入力レベルを設定します。オーディオ機器を接続し、[AUDIO INPUT] の [INPUT1 LINE/MIC SEL] を [LINE] に設定しているときのみ有効です。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [4dB]、[0dB]
- (工場出荷値：[4dB])

[INPUT2 LINE LEVEL]

〈AUDIO INPUT 2〉端子に接続したオーディオ機器の音声の入力レベルを設定します。オーディオ機器を接続し、[AUDIO INPUT] の [INPUT2 LINE/MIC SEL] を [LINE] に設定しているときのみに有効です。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [4dB]、[0dB]
- (工場出荷値：[4dB])

[AUDIO OUTPUT]

[MONITOR OUT]

ヘッドホン端子から出力する音声チャンネルと形式を設定します。

[CH1]	音声チャンネル 1 の信号を、モノラルで出力します。
[CH2]	音声チャンネル 2 の信号を、モノラルで出力します。
[STEREO]	音声チャンネル 1 と音声チャンネル 2 の信号を、ステレオで出力します。
[MIX]	音声チャンネル 1 と音声チャンネル 2 の信号をミックスして、モノラルで出力します。

(工場出荷値：[STEREO])

[MONITOR DELAY]

ヘッドホン端子からの音声を、液晶モニターの画像に合わせて遅延させるかどうかを設定します。

[LIVE]	遅延なしに出力します。
[RECORDING]	液晶モニターの画像に合わせてます。

(工場出荷値：[LIVE])

[MONITOR VOL]

ヘッドホン端子から出力する音声のレベルを調整します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [0] … [100]
- (工場出荷値：[70])

[REC BEEP SOUND]

[MODE]

記録開始または記録停止のときに、ビープ音を発生させるかどうかを設定します。

[OFF]	ビープ音を発生させません。
[START]	記録開始時のみ、ビープ音を発生させます。
[STOP]	記録停止時のみ、ビープ音を発生させます。
[START&STOP]	記録開始時と記録停止時に、ビープ音を発生させます。

(工場出荷値：[OFF])

[VOLUME]

記録開始または記録停止のときの、ビープ音の音量を設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [HIGH]、[MED]、[LOW]
- (工場出荷値：[MED])

[ALARM]

[BATTERY END]

バッテリー残量がなくなったときに、アラーム音を鳴らすかどうかを設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [HIGH]、[MED]、[LOW]、[OFF]
- (工場出荷値：[MED])

[MEDIA END]

SD カードの記録残量がなくなったときに、アラーム音を鳴らすかどうかを設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [HIGH]、[MED]、[LOW]、[OFF]
- (工場出荷値：[MED])

NOTE

- システムエラーのときのアラーム量は [MED] に固定されています。

[OUTPUT SETTINGS] メニュー

映像の表示内容や出力フォーマットを設定します。

[SDI OUT]**[OUTPUT SW]**

〈SDI OUT〉端子からの出力の有効/無効を切り替えます。

[ON]	映像を出力します。
[OFF]	映像を出力しません。

(工場出荷値：[ON])

NOTE

- ・ [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、[ON] に固定されます。

[SIGNAL SEL]

〈SDI OUT〉端子からの出力を設定します。

[SDI]	[SDI OUT] の [OUT FORMAT] で設定した信号を出力します。
[LCD (1080p)]	液晶モニターに表示されている映像を 1920×1080p で出力します。
[LCD (1080i)]	液晶モニターに表示されている映像を 1920×1080i で出力します。

(工場出荷値：[SDI])

NOTE

- ・ [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、[SDI] に固定されます。

[OUT FORMAT]

〈SDI OUT〉端子から出力される信号を選択します。[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [FREQUENCY] / [MAIN PIXEL] の設定によって、選択できる項目が異なります。

[4096×2160p]	4096×2160p で出力します。
[3840×2160p]	3840×2160p で出力します。
[1920×1080p]	1920×1080p で出力します。
[1920×1080i]	1920×1080i で出力します。
[1920×1080PsF]	1920×1080PsF で出力します。
[1280×720p]	1280×720p で出力します。

(工場出荷値：[1920×1080PsF])

NOTE

- ・ 設定できる組み合わせについては、「〈SDI OUT〉端子から出力できるフォーマット」を参照してください。
- ・ [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、設定できません。

[3G-SDI OUT]

〈SDI OUT〉端子から出力される 3G SDI 信号の形式を設定します。3G SDI 信号を出力しているときに設定できます。

[LEVEL-A]	LEVEL-A 方式を選択します。
[LEVEL-B]	LEVEL-B DL 方式を選択します。

(工場出荷値：[LEVEL-B])

NOTE

- ・ [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、設定できません。

[SDI REC REMOTE]

〈SDI OUT〉端子に接続された外部機器（レコーダーなど）に対する記録動作を制御するかどうかを設定します。

[ON]	外部機器の記録動作を制御します。
[OFF]	外部機器の記録動作を制御しません。

(工場出荷値：[OFF])

NOTE

- ・ [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、設定できません。
- ・ [REC SETTINGS] メニュー → [REC FUNCTION] → [REC MODE] が [INTERVAL] に設定されているときは、設定できません。

[INDICATOR DISP]

〈SDI OUT〉端子からの出力に [SDI/HDMI INDICATOR] で設定した項目の表示/非表示を切り替えます。

[ON]	シャッタースピードやバッテリー残量などを表示します。表示内容は [SDI/HDMI INDICATOR] の設定に従います。
[OFF]	全て非表示にします。

(工場出荷値：[ON])

NOTE

- ・液晶モニターにメニューを表示しているときは、〈SDI OUT〉端子からの出力には表示されません。
- ・[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、設定できません。

[MARKER DISP]

〈SDI OUT〉端子からの出力に [SDI/HDMI MARKER] で設定したマーカーを表示するかどうかを設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- ・ [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[OFF])

NOTE

- ・ [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、設定できません。

[MENU DISP]

〈SDI OUT〉端子からの出力にメニューを表示するかどうかを設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- ・ [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

NOTE

- ・ [MENU DISP] が [OFF] に設定されていても、サムネイル画面のときは、〈SDI OUT〉端子からの出力にメニューが表示されます。
- ・ [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、設定できません。

[SDI OUT HDR]

〈SDI OUT〉端子からの出力イメージを設定します。

[SDR]	スタンダードダイナミックレンジで出力します。
[HDR]	ハイダイナミックレンジで出力します。

(工場出荷値：[HDR])

NOTE

- ・ [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、設定できません。
- ・ 次の場合、[SDI OUT HDR] は設定できません。カメラ映像は、[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [COLOR SETTINGS] → [SDI OUT] の設定に従って出力します。
 - [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [COLOR SETTINGS] → [MAIN] → [V-Log] に設定されているとき
 - [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [COLOR SETTINGS] → [MAIN] → [SCENE1] ~ [SCENE5] に設定されていて、[SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [GAMMA] → [GAMMA SELECT] が [HLG] 以外に設定されているとき

[HDMI OUT]

[SIGNAL SEL]

〈HDMI〉端子からの出力を設定します。

[HDMI]	[HDMI OUT] の [OUT FORMAT] で設定した信号を出力します。
[LCD (1080p)]	液晶モニターに表示されている映像を 1920×1080p で出力します。

(工場出荷値：[HDMI])

NOTE

- ・ [LCD (1080p)] に設定している場合でも、次の機能は表示されません。
 - フォーカススクエア表示
 - ウェーブフォームモニター
 - スキントーンディテール機能を有効に設定しているときのゼブラパターン
- ・ [LCD (1080p)] に設定している場合は、[HDMI TC OUT] は無効になります。

[OUT FORMAT]

〈HDMI〉端子から出力される信号を選択します。[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [FREQUENCY] / [MAIN PIXEL] の設定によって、選択できる項目が異なります。

[4096×2160p]	4096×2160p (4:2:2/10 ビット) で出力します。
[4096×2160p (420/8bit)]	4096×2160p (4:2:0/8 ビット) で出力します。
[3840×2160p]	3840×2160p (4:2:2/10 ビット) で出力します。
[3840×2160p (420/8bit)]	3840×2160p (4:2:0/8 ビット) で出力します。
[1920×1080p]	1920×1080p で出力します。
[1920×1080i]	1920×1080i で出力します。
[1280×720p]	1280×720p で出力します。
[720×480p]	720×480p で出力します。
[720×576p]	720×576p で出力します。

(工場出荷値：[1920×1080p])

NOTE

- 設定できる組み合わせについては、「〈HDMI〉端子から出力できるフォーマット」を参照してください。
- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外、かつ、[OUTPUT SETTINGS] メニュー → [HDMI OUT] → [SIGNAL SEL] が [HDMI] に設定されているときは、[1920×1080p] に固定されます。

[HDMI TC OUT]

〈HDMI〉端子からの出力にタイムコード情報を出力するかどうかを設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[OFF])

NOTE

- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、設定できません。
- [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [HDMI OUT] → [SIGNAL SEL] が [LCD (1080p)] に設定されているときは、設定できません。

[HDMI REC REMOTE]

〈HDMI〉端子に接続された外部機器（レコーダーなど）に対する記録動作を制御するかどうかを設定します。[HDMI OUT] の [HDMI TC OUT] が有効なときに、設定できます。

[ON]	外部機器の記録動作を制御します。
[OFF]	外部機器の記録動作を制御しません。

(工場出荷値：[OFF])

NOTE

- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、設定できません。
- [REC SETTINGS] メニュー → [REC FUNCTION] → [REC MODE] が [INTERVAL] に設定されているときは、設定できません。

[INDICATOR DISP]

〈HDMI〉端子からの出力に [SDI/HDMI INDICATOR] で設定した項目の表示 / 非表示を切り替えます。

[ON]	シャッタースピードやバッテリー残量などを表示します。表示内容は [SDI/HDMI INDICATOR] の設定に従います。
[OFF]	全て非表示にします。

(工場出荷値：[ON])

NOTE

- 液晶モニターにメニューを表示しているときは、〈HDMI〉端子からの出力には表示されません。

[MARKER DISP]

〈HDMI〉端子からの出力に [SDI/HDMI MARKER] で設定したマーカを表示するかどうかを設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[OFF])

[MENU DISP]

〈HDMI〉端子からの出力にメニューを表示するかどうかを設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

NOTE

- [MENU DISP] が [OFF] に設定されていても、サムネール画面のときは、〈HDMI〉端子からの出力にメニューが表示されます。

[HDMI OUT HDR]

〈HDMI〉端子からの出力イメージを設定します。

[SDR]	スタンダードダイナミックレンジで出力します。
[HDR]	ハイダイナミックレンジで出力します。

(工場出荷値：[HDR])

NOTE

- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、設定できません。
- [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [HDMI OUT] → [OUT FORMAT] → [720×480p] / [720×576p] に設定されているときは、[SDR] に固定されます。
- 次の場合、[HDMI OUT HDR] は設定できません。カメラ映像は、[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [COLOR SETTINGS] → [HDMI OUT] の設定に従って出力します。
 - [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [COLOR SETTINGS] → [MAIN] → [V-Log] に設定されているとき
 - [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [COLOR SETTINGS] → [MAIN] → [SCENE 1] ~ [SCENE 5] に設定されていて、[SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [GAMMA] → [GAMMA SELECT] が [HLG] 以外に設定されているとき

[LCD HDR]

〈LCD〉端子からの出力イメージを設定します。

[SDR]	スタンダードダイナミックレンジで出力します。
[HDR]	ハイダイナミックレンジで出力します。

(工場出荷値：[HDR])

NOTE

- ・ [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、設定できません。
- ・ 次の場合、[LCD HDR] は設定できません。カメラ映像は、[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [COLOR SETTINGS] → [LCD OUT] の設定に従って出力します。
 - [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [COLOR SETTINGS] → [MAIN] → [V-Log] に設定されているとき
 - [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [COLOR SETTINGS] → [MAIN] → [SCENE 1] ~ [SCENE 5] に設定されていて、[SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [GAMMA] → [GAMMA SELECT] が [HLG] 以外に設定されているとき

[SDI/HDMI INDICATOR]

〈SDI OUT〉端子からの出力映像や〈HDMI〉端子からの出力映像に表示させるインジケータを選択します。

表示させるには、[OUTPUT SETTINGS] メニュー → [SDI OUT] → [INDICATOR DISP] と [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [HDMI OUT] → [INDICATOR DISP] を [ON] にします。

表示内容については、「画面の状態表示」を参照してください。

[CLIP NAME]

記録するクリップのファイル名の表示 / 非表示を切り替えます。先頭から最大 8 文字が表示されます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

(工場出荷値：[ON])

[PIXEL/FREQ]

メインレコーダーの記録画素数、およびシステム周波数の表示 / 非表示を切り替えます。

表示内容は、[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [MAIN PIXEL] と [SENSOR MODE] の設定によって異なります。

- [SENSOR MODE] が [S35 MIX 2.8K] のとき：[2048 MIX]、[1920 MIX] が追加表示されます
- [SENSOR MODE] が [4/3 CROP&MIX 2.2K] のとき：[2048 CROP]、[1920 CROP] が追加表示されます
- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、[SDI RAW] で設定された RAW 出力解像度とシステム周波数が表示されます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

(工場出荷値：[ON])

[MAIN COLOR]

メインレコーダーに記録される映像のカラー設定の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

(工場出荷値：[ON])

[REC FORMAT]

メインレコーダーの記録コーデックの表示 / 非表示を切り替えます。

[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、[SDI RAW] が表示されます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

(工場出荷値：[ON])

[SLOT1/2 STATUS]

カードスロットの状態や記録残量の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

(工場出荷値：[ON])

[2 SLOTS FUNC.]

[REC SETTINGS] メニュー → [2 SLOTS FUNC.] の設定の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

(工場出荷値：[ON])

[TC]

タイムコード、ユーザズピット、デュレーションカウンターの表示 / 非表示を切り替えます。表示内容は [REC SETTINGS] メニュー → [TC] → [TC/UB/Dur.] の設定に従います。再生中は TCR/UBR/再生クリップのデュレーションカウンターを表示します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

(工場出荷値：[ON])

[BATTERY REMAIN]

電源状態表示の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[REC MODE]

インターバル記録の状態の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[REC REMOTE]

〈SDI OUT〉端子、および〈HDMI〉端子に接続された外部機器への記録開始、記録停止の制御状態の、表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[AUDIO LEVEL METER]

オーディオレベルメーターの表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[FPS]

[CAMERA SETTINGS] メニュー → [FPS] の設定の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[SHUTTER]

シャッタースピードの表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[EI]

EXPOSURE INDEX の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[WHITE]

色温度の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[IRIS/ZOOM]

レンズの絞り値、ズーム値の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[FOCUS]

フォーカス値の単位表示を切り替えます。

[feet]	フォーカス値をフィート、インチ単位で表示します。
[m]	フォーカス値をメートル単位で表示します。
[OFF]	フォーカス値を表示しません。

(工場出荷値：[feet])

[ND FILTER]

ND フィルター透過率の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[E.I.S./D.ZOOM]

[E.I.S.]、または [D.ZOOM] の設定の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

(工場出荷値：[ON])

[WLAN]

ワイヤレス LAN の接続状態表示の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

(工場出荷値：[ON])

[IR SHOOTING]

[CAMERA SETTINGS] メニュー → [IR SHOOTING] の設定の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

(工場出荷値：[ON])

[SPOT METER]

スポットメーターの表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

(工場出荷値：[ON])

[PLAYBACK STATUS]

再生状態の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

(工場出荷値：[ON])

[SDI/HDMI MARKER]

[CENTER MARKER]

センターマーカの種類を切り替えます。

[1]	+ (大)
[2]	中空き (大)
[3]	+ (小)
[4]	中空き (小)
[OFF]	表示しません。

(工場出荷値：[1])

[SAFETY MARKER]

セーフティゾーンマーカの種類を選択します。

[1]	ボックス
[2]	コーナー枠
[OFF]	表示しません。

(工場出荷値：[OFF])

[SAFETY AREA]

セーフティゾーンマーカの大きさを設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [71.6%]、[80%]、[90%]、[95%]

(工場出荷値：[90%])

[FRAME MARKER]

フレームマーカの画角を設定します。[OFF] を選択すると、フレームマーカを表示しません。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [1.33:1]、[1.44:1]、[1.56:1]、[1.78:1]、[1.85:1]、[2.00:1]、[2.20:1]、[2.35:1]、[2.39:1]、[OFF]

(工場出荷値：[OFF])

[FRAME COLOR]

フレームマーカの色を設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [WHITE]、[BLACK]、[RED]、[GREEN]、[BLUE]、[YELLOW]

(工場出荷値：[WHITE])

[PLAYBACK MARKER]

〈SDI OUT〉端子および〈HDMI〉端子から出力される再生映像に対して、マーカの表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

(工場出荷値：[OFF])

[LCD INDICATOR]

液晶モニターに表示するインジケータを選択します。表示内容の詳細は「画面の状態表示」を確認してください。

[CLIP NAME]

記録するクリップのファイル名の表示 / 非表示を切り替えます。先頭から最大 8 文字が表示されます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[PIXEL/FREQ]

メインレコーダーの記録画素数、およびシステム周波数の表示 / 非表示を切り替えます。

表示内容は、[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [MAIN PIXEL] と [SENSOR MODE] の設定によって異なります。

- [SENSOR MODE] が [S35 MIX 2.8K] のとき：[2048 MIX]、[1920 MIX] が追加表示されます
- [SENSOR MODE] が [4/3 CROP&MIX 2.2K] のとき：[2048 CROP]、[1920 CROP] が追加表示されます
- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、[SDI RAW] で設定された RAW 出力解像度とシステム周波数が表示されます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[MAIN COLOR]

メインレコーダーに記録される映像のカラー設定の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[REC FORMAT]

メインレコーダーの記録コーデックの表示 / 非表示を切り替えます。

[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、[SDI RAW] が表示されます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[SLOT1/2 STATUS]

カードスロットの状態や記録残量の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[2 SLOTS FUNC.]

[REC SETTINGS] メニュー → [2 SLOTS FUNC.] の設定の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[TC]

タイムコード、ユーザーズビット、デュレーションカウンターの表示 / 非表示を切り替えます。表示内容は [REC SETTINGS] メニュー → [TC] → [TC/UB/Dur.] の設定に従います。再生中は TCR/UBR/再生クリップのデュレーションカウンターを表示します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[BATTERY REMAIN]

電源状態表示の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[REC MODE]

インターバル記録の状態の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[REC REMOTE]

〈SDI OUT〉端子、および〈HDMI〉端子に接続された外部機器への記録開始、記録停止の制御状態の、表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[AUDIO LEVEL METER]

オーディオレベルメーターの表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[FPS]

[CAMERA SETTINGS] メニュー → [FPS] の設定の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[SHUTTER]

シャッタースピードの表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[EI]

EXPOSURE INDEX の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[WHITE]

色温度の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[IRIS/ZOOM]

レンズの絞り値、ズーム値の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[FOCUS]

フォーカス値の単位表示を切り替えます。

[feet]	フォーカス値をフィート、インチ単位で表示します。
[m]	フォーカス値をメートル単位で表示します。
[OFF]	フォーカス値を表示しません。

(工場出荷値：[feet])

[ND FILTER]

ND フィルター透過率の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[E.I.S./D.ZOOM]

[E.I.S.]、または [D.ZOOM] の設定の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[WLAN]

ワイヤレス LAN の接続状態表示の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[IR SHOOTING]

[CAMERA SETTINGS] メニュー → [IR SHOOTING] の設定の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[SPOT METER]

スポットメーターの表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[PLAYBACK STATUS]

再生状態の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[ON])

[LCD MARKER]

[CENTER MARKER]

センターマーカの種類を切り替えます。

[1]	+ (大)
[2]	中空き (大)
[3]	+ (小)
[4]	中空き (小)
[OFF]	表示しません。

(工場出荷値：[1])

[SAFETY MARKER]

セーフティーゾーンマーカの種類を選択します。

[1]	ボックス
[2]	コーナー枠
[OFF]	表示しません。

(工場出荷値：[OFF])

[SAFETY AREA]

セーフティーゾーンマーカの大きさを設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [71.6%]、[80%]、[90%]、[95%]
- (工場出荷値：[90%])

[FRAME MARKER]

フレームマーカの画角を設定します。[OFF] を選択すると、フレームマーカを表示しません。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [1.33:1]、[1.44:1]、[1.56:1]、[1.78:1]、[1.85:1]、[2.00:1]、[2.20:1]、[2.35:1]、[2.39:1]、[OFF]
- (工場出荷値：[OFF])

[FRAME COLOR]

フレームマーカの色を設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [WHITE]、[BLACK]、[RED]、[GREEN]、[BLUE]、[YELLOW]
- (工場出荷値：[WHITE])

[PLAYBACK MARKER]

<LCD> 端子から出力される再生映像に対して、マーカの表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]
- (工場出荷値：[OFF])

[LCD FOCUS ASSIST]

[EXPAND MODE]

拡大表示機能のモードを設定します。

[10SEC]	10 秒経過後に拡大表示機能を無効にします。
[HOLD]	再度 [EXPAND] が割り当てられた USER ボタンを押すまで、拡大表示機能を有効にします。
[UNTIL REC]	記録動作に入るまで拡大表示機能を有効にします。

(工場出荷値：[10SEC])

[EXPAND VALUE]

拡大表示機能の拡大率を調整します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [x2]、[x3]、[x4]
- (工場出荷値：[x2])

[PEAK./SQUARES MODE]

ピーキング表示およびフォーカススクエア表示（フォーカスアシスト機能）の有効 / 無効を切り替えます。

[PEAKING]	ピーキング表示を有効にします。
[SQUARES]	フォーカススクエア表示を有効にします。
[PEAK./SQUARES]	ピーキング表示とフォーカススクエア表示を有効にします。[PEAK./SQUARES F.A.] が割り当てられた USER ボタンを押すごとに、ピーキング表示、フォーカススクエア表示、表示なし、の順で切り替わります。

(工場出荷値：[SQUARES])

[PEAKING LEVEL]

ピーキング表示の強弱を設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [LOW]、[MID]、[HIGH]

(工場出荷値：[MID])

[PEAKING COLOR]

ピーキング表示の色を設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [RED]、[GREEN]、[WHITE]

(工場出荷値：[RED])

[BLACK & WHITE]

モノクロ表示の有効 / 無効を切り替えます。

[ON]	モノクロ表示を有効にします。
[OFF]	モノクロ表示を無効にします。
[DURING PEAK./SQUARES]	ピーキング表示およびフォーカススクエア表示が有効な間、モノクロ表示を有効にします。

(工場出荷値：[OFF])

[OPEN IRIS MODE]

オープンアイリスフォーカスアシスト機能が動作する時間を設定します。記録を開始すると、オープンアイリスフォーカスアシスト機能は強制的に解除されます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [10SEC]、[30SEC]

(工場出荷値：[10SEC])

[LCD EI ASSIST]

[ZEBRA]

〈LCD〉端子からの出力にゼブラ信号を重畳するかどうかを設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

(工場出荷値：[OFF])

[ZEBRA1 DETECT]

ゼブラパターン 1 の検出レベルを設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [0%] … [109%]

(工場出荷値：[80%])

[ZEBRA2 DETECT]

ゼブラパターン 2 の検出レベルを設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [0%] … [109%]

(工場出荷値：[100%])

[ZEBRA2]

ゼブラパターン 2 の有効 / 無効の切り替え、および [SPOT] を選択します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[SPOT]、[OFF]

(工場出荷値：[OFF])

[WFM MODE]

ウェーブフォームモニターの表示を設定します。波形とベクトルの表示を切り替えることができます。

[WAVE]	波形で表示します。
[VECTOR]	ベクトルで表示します。
[WAVE/VECTOR]	波形とベクトルを表示します。 [WFM] が割り当てられた USER ボタンを押すごとに、波形、ベクトル、表示なしの順で表示が切り替わります。

(工場出荷値：[WAVE])

[WFM TRANSPARENCE]

ウェーブフォームモニターの透過率を設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [0%]、[25%]、[50%]

(工場出荷値：[25%])

[SPOT METER UNIT]

スポットメーターの表示単位を設定します。

[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [COLOR SETTINGS] → [MAIN] → [V-Log] 以外に設定されているときは、[%] に固定されます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [STOP]、[%]

(工場出荷値：[STOP])

[SPOT METER SIZE]

スポットメーター表示機能で検知するエリアのサイズを設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [S]、[M]、[L]

(工場出荷値：[M])

[LCD LEVEL GAUGE]

[LEVEL GAUGE]

水準器の表示 / 非表示を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

(工場出荷値：[ON])

[LEVEL GAUGE RESET]

USER ボタンの [LEVEL GAUGE SET] で設定した水平方向と垂直方向の基準値を工場出荷値に戻します。

選択できる項目は、次のとおりです。

- [YES]、[NO]

[COLOR BARS]

[COLOR BARS TYPE]

使用するカラーバーを設定します。

[SMPTE]	SMPTE 規格のカラーバーを使用します。
[FULL]	フルカラーバーを使用します。

(工場出荷値：[SMPTE])

[TEST TONE]

カラーバーを表示したときに、音声テスト信号（定格レベル 1 kHz のトーン信号）を出力するかどうかを設定します。

[AUDIO SETTINGS] メニュー → [AUDIO CH SETTINGS] → [HEAD ROOM] の設定に応じて、基準レベルは変わります。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [ON]、[OFF]

(工場出荷値：[ON])

[FILE] メニュー

設定データの保存と読み込みを行います。

保存と読み込みの対象は、「シーンファイル / セットアップファイル / 初期化の対象項目について」を参照してください。

保存と読み込みの具体的な内容は、「設定データの取り扱い」を参照してください。

[SCENE FILE]

[LOAD]	SD カードに保存されたシーンファイルを選択して、本機に読み込みます。 シーンファイル ([SCENE1] ~ [SCENE5]) の全てを読み込むか、個別に読み込むかを選択できます。
[SAVE]	現在のシーンファイル ([SCENE1] ~ [SCENE5]) の設定値を、SD カードに保存されたシーンファイルの一覧から選択したファイルに上書きします。
[SAVE AS]	現在のシーンファイル ([SCENE1] ~ [SCENE5]) の設定値を、SD カードに新規シーンファイルとしてファイル名を入力して保存します。

[SETUP FILE]

[LOAD]	SD カードに保存されたセットアップファイルを選択して、本機に読み込みます。
[SAVE]	本機の現在の設定値を、SD カードに保存されたセットアップファイルの一覧から選択したファイルに上書きします。

[SAVE AS]	本機の現在の設定値を、SD カードに新規セットアップファイルとしてファイル名を入力して保存します。
-----------	---

[SLOT FOR SCENE/SETUP FILE]

シーンファイルとセットアップファイルの読み込みと保存をするカードスロットを設定します。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [SLOT1]、[SLOT2]
- (工場出荷値：[SLOT1])

[NETWORK SETTINGS] メニュー

ネットワーク機能に関する設定をします。

[NETWORK SEL]

外部機器（パーソナルコンピューターなど）と本機を、ワイヤレス LAN でネットワーク接続するかどうかを設定します。

[WLAN]	ワイヤレス LAN で接続します。
[OFF]	接続しません。

(工場出荷値：[OFF])

[NETWORK FUNC]

[USER ACCOUNT]

本機のネットワーク機能で認証に用いるユーザーアカウントを設定します。

[ADD]	ユーザーアカウントを新規登録します。登録されていないときは、次のように設定されています。 ユーザーアカウント名：[guest]、パスワード：[auguest]
[DELETE]	登録されているユーザーアカウントを削除します。登録されていないときは、動作しません。

[NETWORK PROPERTY]

[MAC ADDRESS]

本機のワイヤレス LAN の MAC アドレスを表示します。(変更はできません)

[TYPE]

ワイヤレス LAN の接続方法を設定します。

[DIRECT]	ワイヤレスアクセスポイントを使用せずに、タブレット端末などのワイヤレス LAN 搭載機器と直接接続できます。
[INFRA (SELECT)]	ワイヤレスアクセスポイントと接続します。ワイヤレスアクセスポイントは一覧から選択します。
[INFRA (MANUAL)]	ワイヤレスアクセスポイントと接続します。ワイヤレスアクセスポイントは手動で入力します。

(工場出荷値：[DIRECT])

[SSID]

本機のネットワーク名 (SSID) を、入力または表示します。

(工場出荷値：[AU-EVA1])

[BAND]

[NETWORK PROPERTY] → [TYPE] → [DIRECT] を選択しているとき、2 つの通信方式 ([2.4GHz] または [5GHz]) を切り替えます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- [2.4GHz]、[5GHz]
- (工場出荷値：[2.4GHz])

[CHANNEL (2.4GHz)]

次の項目を設定して、ワイヤレス LAN で接続しているときに、使用するチャンネルを設定します。

- [NETWORK SETTINGS] メニュー → [NETWORK PROPERTY] → [TYPE] → [DIRECT]
- [NETWORK SETTINGS] メニュー → [NETWORK PROPERTY] → [BAND] → [2.4GHz]

設定できる項目は、次のとおりです。

- [AUTO]、[CH1]、[CH6]、[CH11]
- (工場出荷値：[AUTO])

[CHANNEL (5GHz)]

次の項目を設定して、ワイヤレス LAN で接続しているときに、使用するチャンネルを設定します。

- [NETWORK SETTINGS] メニュー → [NETWORK PROPERTY] → [TYPE] → [DIRECT]
- [NETWORK SETTINGS] メニュー → [NETWORK PROPERTY] → [BAND] → [5GHz]

設定できる項目は、次のとおりです。

- [AUTO]、[CH36]、[CH40]、[CH44]、[CH48]、[CH100]、[CH104]、[CH108]、[CH112]、[CH116]、[CH132]、[CH136]、[CH140]、[CH149]、[CH153]、[CH157]、[CH161]、[CH165]

(工場出荷値：[AUTO])

 **NOTE**

- ・使用するワイヤレスモジュールによっては、一部の項目を選択できないことがあります。

[ENCRYPTION]

[NETWORK PROPERTY] → [TYPE] → [INFRA (SELECT)] / [INFRA (MANUAL)] を選択しているとき、暗号化方式を設定します。設定できる項目は、次のとおりです。

- [WPA-TKIP]、[WPA-AES]、[WPA2-TKIP]、[WPA2-AES]、[NONE]
(工場出荷値：[WPA2-AES])

[ENCRYPT KEY]

暗号化キーを設定します。8～63文字の文字列または64桁の16進数で設定します。

(工場出荷値：[01234567890123456789abcdef])

[DHCP]

DHCPによる自動取得を利用するか、または、本機のDHCPサーバー機能を利用するかどうかを設定します。

[OFF]	DHCPを利用しません。
[CLIENT]	[NETWORK PROPERTY] の [TYPE] で [INFRA (SELECT)] または [INFRA (MANUAL)] に設定して接続する場合、DHCPより自動取得します。
[SERVER]	[NETWORK PROPERTY] の [TYPE] で [DIRECT] に設定して接続する場合、本機のDHCPサーバー機能を有効にします。

(工場出荷値：[SERVER])

[IP ADDRESS]

[NETWORK PROPERTY] → [DHCP] → [OFF] または [SERVER] を選択しているとき、IPアドレスを設定します。

(工場出荷値：[192.168.0.1])

[SUBNET MASK]

[NETWORK PROPERTY] → [DHCP] → [OFF] または [SERVER] を選択しているとき、サブネットマスクを設定します。

(工場出荷値：[255.255.255.0])

[DEFAULT GATEWAY]

[NETWORK PROPERTY] → [DHCP] → [OFF] または [SERVER] を選択しているとき、デフォルトゲートウェイを設定します。

(工場出荷値：[192.168.0.254])

 **NOTE**

- ・デフォルトゲートウェイを使用しないときは、[0.0.0.0] に設定してください。
- ・[NETWORK PROPERTY] → [TYPE] → [DIRECT] を選択しているときは、デフォルトゲートウェイの設定は無効になります。

[PRIMARY DNS]

[NETWORK PROPERTY] の [TYPE] で [INFRA (SELECT)] または [INFRA (MANUAL)] を選択し、[DHCP] で [OFF] を選択しているとき、優先DNSサーバーを設定します。

(工場出荷値：[0.0.0.0])

 **NOTE**

- ・[NETWORK PROPERTY] → [TYPE] → [DIRECT] を選択しているときは、優先DNSサーバーの設定は無効になります。

[SECONDARY DNS]

[NETWORK PROPERTY] の [TYPE] で [INFRA (SELECT)] または [INFRA (MANUAL)] を選択し、[DHCP] で [OFF] を選択しているとき、代替DNSサーバーを設定します。

(工場出荷値：[0.0.0.0])

 **NOTE**

- ・[NETWORK PROPERTY] → [TYPE] → [DIRECT] を選択しているときは、代替DNSサーバーの設定は無効になります。

[CONNECTION HISTORY]

ワイヤレスアクセスポイントとの接続履歴を表示します。

履歴は直前に接続した最大20個まで保存できます。

[SELECT]	[SELECT] を選択すると、接続履歴の一覧が表示されます。その一覧から接続したいワイヤレスアクセスポイントを選択すると、以前と同じ設定で接続できます。
[DELETE]	[DELETE] を選択すると、接続履歴の一覧が表示されます。その一覧から削除したい履歴を選択すると、履歴が削除されます。

[NETWORK TOOLS]

[INITIALIZE]

ネットワークの各種設定を、工場出荷値に戻します。

[OPTION] メニュー

将来的な機能追加などを考慮した、特殊なメニューを準備しています。

〈EXIT〉ボタンを押しながら〈MENU〉ボタンを押すと表示します。

[AREA SETTINGS]

本機をご使用前に、使用する地域を選択します。

[AREA 1]	日本、台湾、韓国を選択します。
[AREA 2]	アメリカ合衆国、カナダ、中南米地域を選択します。
[AREA 3]	アジア地域（日本、台湾、韓国以外）、オセアニア地域、インドを選択します。

シーンファイルの工場出荷値について

[SCENE FILE SETTINGS] メニュー

[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [COLOR SETTINGS] → [MAIN] の設定によって、[SCENE FILE SETTINGS] メニューの工場出荷値や選択できる項目が異なります。

- 表内の記号の意味は、次のとおりです。
 - - : 対象外です。

項目	[MAIN]				
	[SCENE1 (eV-LOOK1)] *	[SCENE2 (eV-LOOK2)] *	[SCENE3 (BC-LOOK1)] *	[SCENE4 (BC-LOOK2)] *	[SCENE5 (HDR)] *
[SCENE DATA]					
[LOAD]	—	—	—	—	—
[SAVE]	—	—	—	—	—
[INITIALIZE]	—	—	—	—	—
[BLACK]					
[M.PED]	[0]	[2]	[8]	[8]	[1]
[R PED]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[G PED]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[B PED]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[PEDESTAL OFFSET]	[OFF]	[OFF]	[OFF]	[OFF]	[OFF]
[GAMMA]					
[GAMMA SELECT]	[V-255570L1]	[V-504580L1]	[VIDEO]	[VIDEO]	[HLG]
[MASTER GAMMA]	[GAMMA] を [VIDEO] に設定しているときは有効	[GAMMA] を [VIDEO] に設定しているときは有効	[0.45]	[0.50]	[GAMMA] を [VIDEO] に設定しているときは有効
[BLACK GAMMA]	[GAMMA] を [VIDEO] / [HLG] に設定しているときは有効	[GAMMA] を [VIDEO] / [HLG] に設定しているときは有効	[OFF]	[OFF]	[OFF]
[B.GAMMA RANGE]			[1]	[1]	[1]
[KNEE]					
[KNEE SW]			[ON]	[ON]	
[KNEE MODE]	[GAMMA] を [VIDEO] に設定しているときは有効	[GAMMA] を [VIDEO] に設定しているときは有効	[D RANGE]	[D RANGE]	[GAMMA] を [VIDEO] に設定しているときは有効
[KNEE POINT]			[90%]	[93%]	
[KNEE SLOPE]			[100]	[100]	
[HLG KNEE]					
[KNEE SW]	[GAMMA] を [HLG] に設定しているときは有効	[GAMMA] を [HLG] に設定しているときは有効	[GAMMA] を [HLG] に設定しているときは有効	[GAMMA] を [HLG] に設定しているときは有効	[OFF]
[KNEE POINT]					[55]
[KNEE SLOPE]					[10]
[WHITE CLIP]					
[SW]	[GAMMA] を [VIDEO] に設定しているときは有効	[GAMMA] を [VIDEO] に設定しているときは有効	[OFF]	[OFF]	[GAMMA] を [VIDEO] に設定しているときは有効
[LEVEL]			[109%]	[109%]	
[DETAIL]					
[SW]	[OFF]	[OFF]	[ON]	[ON]	[OFF]
[CORING]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[MASTER LEVEL]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[FREQUENCY]	[1]	[1]	[1]	[1]	[1]
[SKIN DETAIL]					
[SKIN DTL1]	[OFF]	[OFF]	[OFF]	[OFF]	[OFF]
[SKIN DTL2]	[OFF]	[OFF]	[OFF]	[OFF]	[OFF]
[SKIN DTL3]	[OFF]	[OFF]	[OFF]	[OFF]	[OFF]
[CHROMA]					
[LEVEL]	[0%]	[0%]	[0%]	[15%]	[0%]
[MATRIX]					
[SW]	[OFF]	[OFF]	[OFF]	[OFF]	[OFF]
[(R-G)]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[(R-B)]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[(G-R)]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[(G-B)]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[(B-R)]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

第 4 章 操作 — シーンファイルの工場出荷値について

項目	[MAIN]				
	[SCENE1 (eV-LOOK1)] *	[SCENE2 (eV-LOOK2)] *	[SCENE3 (BC-LOOK1)] *	[SCENE4 (BC-LOOK2)] *	[SCENE5 (HDR)] *
[(B-G)]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[COLOR CORRECTION]					
[SW]	[OFF]	[OFF]	[OFF]	[OFF]	[OFF]
[COLOR CORRECTION] - [PARAM]					
[R] ([SAT])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[R] ([PHASE])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[P1] ([SAT])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[P1] ([PHASE])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[P2] ([SAT])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[P2] ([PHASE])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[P3] ([SAT])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[P3] ([PHASE])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[Y1] ([SAT])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[Y1] ([PHASE])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[P4] ([SAT])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[P4] ([PHASE])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[P5] ([SAT])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[P5] ([PHASE])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[G] ([SAT])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[G] ([PHASE])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[P6] ([SAT])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[P6] ([PHASE])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[Cy] ([SAT])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[Cy] ([PHASE])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[P7] ([SAT])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[P7] ([PHASE])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[B] ([SAT])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[B] ([PHASE])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[P8] ([SAT])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[P8] ([PHASE])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[Mg] ([SAT])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[Mg] ([PHASE])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[P9] ([SAT])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[P9] ([PHASE])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[P10] ([SAT])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[P10] ([PHASE])	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

* 工場出荷時のシーンファイル名です。

シーンファイル / セットアップファイル / 初期化の対象項目について

- SCENE : シーンファイルに保存される項目です。
- SETUP : セットアップファイルに保存される項目です。
- INITIALIZE : [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [INITIALIZE] → [LOAD FACTORY DATA] で初期化される項目です。
- 表内の記号の意味は、次のとおりです。
 - ○ : 対象です。
 - — : 対象外です。

[THUMBNAIL] メニュー

項目	SCENE	SETUP	INITIALIZE
[PLAYBACK]	[SLOT SEL]	—	○
	[RESUME PLAY]	—	○
[CLIP]	[PROTECT]	—	—
	[DELETE]	—	—
	[COPY]	—	—
	[INFORMATION]	—	—

[SYSTEM SETTINGS] メニュー

項目	SCENE	SETUP	INITIALIZE
[SYSTEM MODE]	[FREQUENCY]	—	○
	[SDI RAW]	—	○
	[SENSOR MODE]	—	○
	[MAIN PIXEL]	—	○
	[MAIN CODEC]	—	○
[COLOR SETTINGS]	[MAIN]	—	○
	[SDI OUT]	—	○
	[HDMI OUT]	—	○
	[LCD OUT]	—	○
[USER SWITCHES]	[USER1]	—	○
	[USER2]	—	○
	[USER3]	—	○
	[USER4]	—	○
	[USER5]	—	○
	[USER6]	—	○
	[USER7]	—	○
	[USER8]	—	○
	[USER9]	—	○
	[USER TOGGLE]	—	○
[SIDE LOCK]	[REC]	—	○
	[USER1]	—	○
	[USER2]	—	○
	[USER3]	—	○
	[USER4]	—	○
	[USER5]	—	○
	[USER6]	—	○
	[USER7]	—	○
	[THUMBNAIL]	—	○
	[HOME]	—	○
	[ND FILTER]	—	○
	[IRIS DIAL]	—	○
	[MENU]	—	○
	[EXIT]	—	○
[MULTI DIAL]	—	○	
[LED & FAN]	[TALLY LED]	—	○
	[ACCESS LED]	—	○
	[POWER LED]	—	○
	[FAN SPEED]	—	○

第4章 操作 — シーンファイル/セットアップファイル/初期化の対象項目について

項目	SCENE	SETUP	INITIALIZE
[LCD]	[BRIGHTNESS]	—	○
	[COLOR LEVEL]	—	○
	[CONTRAST]	—	○
	[BACK LIGHT]	—	○
[CLOCK]	[CLOCK SETTING]	—	—
	[TIME ZONE]	—	—
	[DATE FORMAT]	○	○
[INFORMATION]	[VERSION]	—	—
	[OPERATION TIME]	—	—
	[SENSOR TEMP]	—	—
	[USB SERVICE MODE]	—	—
	[UPDATE]	—	—
[LANGUAGE]	—	○	○
[INITIALIZE]	[LOAD FACTORY DATA]	—	—

[CAMERA SETTINGS] メニュー

項目	SCENE	SETUP	INITIALIZE
[FPS]	[VFR SW]	○	○
	[VALUE]	○	○
	[ADD]	—	—
	[EDIT]	—	—
	[DELETE]	—	—
[SHUTTER]	[SW]	○	○
	[MODE]	○	○
	[VALUE deg]	○	○
	[ADD deg]	—	—
	[EDIT deg]	—	—
	[DELETE deg]	—	—
	[VALUE sec]	○	○
	[ADD sec]	—	—
	[EDIT sec]	—	—
[DELETE sec]	—	—	
[EI]	[MODE]	○	○
	[ISO SELECT]	○	○
	[NATIVE ISO]	○	○
	[800BASE ISO]	○	○
	[2500BASE ISO]	○	○
	[GAIN MODE]	○	○
	[GAIN SELECT]	○	○
[WHITE]	[AWB]	—	—
	[VALUE]	○	○
	[ADD]	—	—
	[EDIT]	—	—
	[DELETE]	—	—
[NOISE REDUCTION]	[ISO800]	○	○
	[ISO2500]	○	○
[LENS SETTINGS]	[A. IRIS LEVEL EFFECT]	○	○
	[A. IRIS WINDOW]	○	○
	[A. IRIS PEAK/AVE]	○	○
	[GRIP IRIS]	○	○
	[AF OFFSET]	○	○
[IR SHOOTING]	—	○	○
[E.I.S.]	[SW]	○	○
	[ZOOM POSITION DATA]	○	○
	[ZOOM POSITION VALUE]	○	○
[AUTO BLACK BALANCE]	[ABB]	—	—

[SCENE FILE SETTINGS] メニュー

項目		SCENE	SETUP	INITIALIZE
[NAME EDIT]		○	—	○
[SCENE DATA]	[LOAD]	—	—	—
	[SAVE]	—	—	—
	[INITIALIZE]	—	—	—
[BLACK]	[M.PED]	○	—	○
	[R PED]	○	—	○
	[G PED]	○	—	○
	[B PED]	○	—	○
	[PEDESTAL OFFSET]	○	—	○
[GAMMA]	[GAMMA SELECT]	○	—	○
	[MASTER GAMMA]	○	—	○
	[BLACK GAMMA]	○	—	○
	[B.GAMMA RANGE]	○	—	○
[KNEE]	[KNEE SW]	○	—	○
	[KNEE MODE]	○	—	○
	[KNEE POINT]	○	—	○
	[KNEE SLOPE]	○	—	○
[HLG KNEE]	[KNEE SW]	○	—	○
	[KNEE POINT]	○	—	○
	[KNEE SLOPE]	○	—	○
[WHITE CLIP]	[SW]	○	—	○
	[LEVEL]	○	—	○
[DETAIL]	[SW]	○	—	○
	[CORING]	○	—	○
	[MASTER LEVEL]	○	—	○
	[FREQUENCY]	○	—	○
[SKIN DETAIL]	[SKIN DTL1]	○	—	○
	[SKIN DTL2]	○	—	○
	[SKIN DTL3]	○	—	○
[CHROMA]	[LEVEL]	○	—	○
[MATRIX]	[SW]	○	—	○
	[(R-G)]	○	—	○
	[(R-B)]	○	—	○
	[(G-R)]	○	—	○
	[(G-B)]	○	—	○
	[(B-R)]	○	—	○
	[(B-G)]	○	—	○
[COLOR CORRECTION]	[SW]	○	—	○
	[PARAM]	○	—	○

[REC SETTINGS] メニュー

項目		SCENE	SETUP	INITIALIZE
[CARDS/MEDIA]	[FORMAT MEDIA]	—	—	—
[CLIP NAME]	[CAM INDEX]	—	—	○
	[NEXT REEL COUNT]	—	—	○
[2 SLOTS FUNC.]		—	○	○
[PRE REC]		—	○	○
[REC FUNCTION]	[REC MODE]	—	○	○
	[INTERVAL TIME]	—	○	○
[TC]	[SET TC]	—	—	—
	[SET UB]	—	—	—
	[TC/UB/Dur.]	—	○	○
	[FREE/REC RUN]	—	○	○
	[DF/NDF]	—	○	○

第4章 操作 — シーンファイル/セットアップファイル/初期化の対象項目について

項目	SCENE	SETUP	INITIALIZE
[UB MODE]	—	○	○
[TC IN/OUT SEL]	—	○	○
[TC OUT REF]	—	○	○

[AUDIO SETTINGS] メニュー

項目	SCENE	SETUP	INITIALIZE
[AUDIO CH SETTINGS]			
[CH1 IN SELECT]	—	○	○
[CH2 IN SELECT]	—	○	○
[CH1 MIC LOWCUT]	—	○	○
[CH2 MIC LOWCUT]	—	○	○
[CH1 LIMITER]	—	○	○
[CH2 LIMITER]	—	○	○
[HEAD ROOM]	—	○	○
[AUDIO INPUT]			
[INPUT1 LINE/MIC SEL]	—	○	○
[INPUT2 LINE/MIC SEL]	—	○	○
[INPUT1 MIC POWER]	—	○	○
[INPUT2 MIC POWER]	—	○	○
[INPUT1 MIC LEVEL]	—	○	○
[INPUT2 MIC LEVEL]	—	○	○
[INPUT1 LINE LEVEL]	—	○	○
[INPUT2 LINE LEVEL]	—	○	○
[AUDIO OUTPUT]			
[MONITOR OUT]	—	○	○
[MONITOR DELAY]	—	○	○
[MONITOR VOL]	—	○	○
[REC BEEP SOUND]			
[MODE]	—	○	○
[VOLUME]	—	○	○
[ALARM]			
[BATTERY END]	—	○	○
[MEDIA END]	—	○	○

[OUTPUT SETTINGS] メニュー

項目	SCENE	SETUP	INITIALIZE
[SDI OUT]			
[OUTPUT SW]	—	○	○
[SIGNAL SEL]	—	○	○
[OUT FORMAT]	—	○	○
[3G-SDI OUT]	—	○	○
[SDI REC REMOTE]	—	○	○
[INDICATOR DISP]	—	○	○
[MARKER DISP]	—	○	○
[MENU DISP]	—	○	○
[SDI OUT HDR]	—	○	○
[HDMI OUT]			
[SIGNAL SEL]	—	○	○
[OUT FORMAT]	—	○	○
[HDMI TC OUT]	—	○	○
[HDMI REC REMOTE]	—	○	○
[INDICATOR DISP]	—	○	○
[MARKER DISP]	—	○	○
[MENU DISP]	—	○	○
[HDMI OUT HDR]	—	○	○
[LCD HDR]	—	○	○
[SDI/HDMI INDICATOR]			
[CLIP NAME]	—	○	○
[PIXEL/FREQ]	—	○	○
[MAIN COLOR]	—	○	○
[REC FORMAT]	—	○	○
[SLOT1/2 STATUS]	—	○	○
[2 SLOTS FUNC.]	—	○	○

第 4 章 操作 — シーンファイル / セットアップファイル / 初期化の対象項目について

項目	SCENE	SETUP	INITIALIZE
	[TC]	—	○
	[BATTERY REMAIN]	—	○
	[REC MODE]	—	○
	[REC REMOTE]	—	○
	[AUDIO LEVEL METER]	—	○
	[FPS]	—	○
	[SHUTTER]	—	○
	[E]	—	○
	[WHITE]	—	○
	[IRIS/ZOOM]	—	○
	[FOCUS]	—	○
	[ND FILTER]	—	○
	[E.I.S./D.ZOOM]	—	○
	[WLAN]	—	○
	[IR SHOOTING]	—	○
	[SPOT METER]	—	○
	[PLAYBACK STATUS]	—	○
[SDI/HDMI MARKER]	[CENTER MARKER]	—	○
	[SAFETY MARKER]	—	○
	[SAFETY AREA]	—	○
	[FRAME MARKER]	—	○
	[FRAME COLOR]	—	○
	[PLAYBACK MARKER]	—	○
[LCD INDICATOR]	[CLIP NAME]	—	○
	[PIXEL/FREQ]	—	○
	[MAIN COLOR]	—	○
	[REC FORMAT]	—	○
	[SLOT1/2 STATUS]	—	○
	[2 SLOTS FUNC.]	—	○
	[TC]	—	○
	[BATTERY REMAIN]	—	○
	[REC MODE]	—	○
	[REC REMOTE]	—	○
	[AUDIO LEVEL METER]	—	○
	[FPS]	—	○
	[SHUTTER]	—	○
	[E]	—	○
	[WHITE]	—	○
	[IRIS/ZOOM]	—	○
	[FOCUS]	—	○
	[ND FILTER]	—	○
	[E.I.S./D.ZOOM]	—	○
	[WLAN]	—	○
	[IR SHOOTING]	—	○
	[SPOT METER]	—	○
	[PLAYBACK STATUS]	—	○
[LCD MARKER]	[CENTER MARKER]	—	○
	[SAFETY MARKER]	—	○
	[SAFETY AREA]	—	○
	[FRAME MARKER]	—	○
	[FRAME COLOR]	—	○
	[PLAYBACK MARKER]	—	○
[LCD FOCUS ASSIST]	[EXPAND MODE]	—	○
	[EXPAND VALUE]	—	○
	[PEAK./SQUARES MODE]	—	○
	[PEAKING LEVEL]	—	○

第4章 操作 — シーンファイル/セットアップファイル/初期化の対象項目について

項目	SCENE	SETUP	INITIALIZE
[LCD EI ASSIST]	[PEAKING COLOR]	—	○
	[BLACK & WHITE]	—	○
	[OPEN IRIS MODE]	—	○
[LCD EI ASSIST]	[ZEBRA]	—	○
	[ZEBRA1 DETECT]	—	○
	[ZEBRA2 DETECT]	—	○
	[ZEBRA2]	—	○
	[WFM MODE]	—	○
	[WFM TRANSPARENCE]	—	○
	[SPOT METER UNIT]	—	○
	[SPOT METER SIZE]	—	○
[LCD LEVEL GAUGE]	[LEVEL GAUGE]	—	○
	[LEVEL GAUGE RESET]	—	—
[COLOR BARS]	[COLOR BARS TYPE]	—	○
	[TEST TONE]	—	○

[FILE] メニュー

項目	SCENE	SETUP	INITIALIZE
[SCENE FILE]	[LOAD]	—	—
	[SAVE]	—	—
	[SAVE AS]	—	—
[SETUP FILE]	[LOAD]	—	—
	[SAVE]	—	—
	[SAVE AS]	—	—
[SLOT FOR SCENE/SETUP FILE]	—	○	○

[NETWORK SETTINGS] メニュー

項目	SCENE	SETUP	INITIALIZE
[NETWORK SEL]	—	○	○
[NETWORK FUNC]	[USER ACCOUNT]	—	○
[NETWORK PROPERTY]	[MAC ADDRESS]	—	—
	[TYPE]	—	○
	[SSID]	—	○
	[BAND]	—	○
	[CHANNEL (2.4GHz)]	—	○
	[CHANNEL (5GHz)]	—	○
	[ENCRYPTION]	—	○
	[ENCRYPT KEY]	—	—
	[DHCP]	—	○
	[IP ADDRESS]	—	○
	[SUBNET MASK]	—	○
	[DEFAULT GATEWAY]	—	○
	[PRIMARY DNS]	—	○
	[SECONDARY DNS]	—	○
[CONNECTION HISTORY]	—	—	○
[NETWORK TOOLS]	[INITIALIZE]	—	—

[OPTION] メニュー

項目	SCENE	SETUP	INITIALIZE
[AREA SETTINGS]	—	—	—

設定データの取り扱い

シーンファイルについて

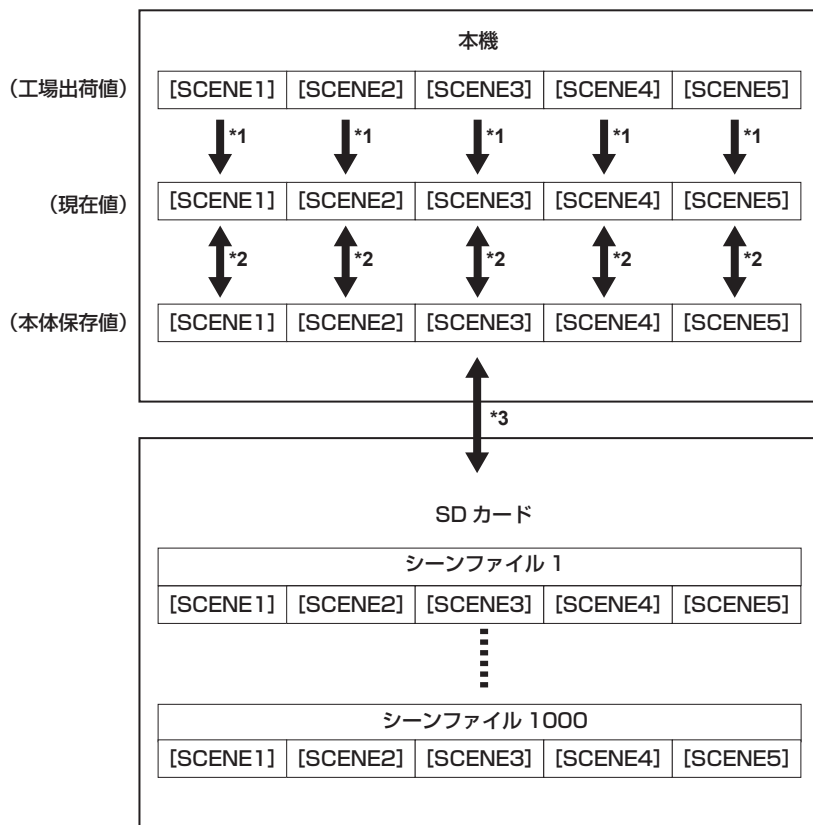
設定データのファイル構成

シーンファイルの番号に合わせて、[SCENE1] ~ [SCENE5] のシーンファイルを本体メモリーに保存できます。

シーンファイルとして保存できるのは、[SCENE FILE SETTINGS] メニューの設定内容です。

また、[SCENE1] ~ [SCENE5] のシーンファイルの現在の設定値を、本体メモリーとSDカードにファイルとして保存でき、そのデータを本機に読み込んで使用できます。

本機の設定データファイルの構成は、次のとおりです。



*1 シーンファイルは初期化できます。

[SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [SCENE DATA] → [INITIALIZE] を選択します。

*2 各シーンファイルの現在の設定値をそれぞれ本体メモリーに保存できます。また、本体メモリーに保存したシーンファイルを読み込むことができます。

[SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [SCENE DATA] → [LOAD] / [SAVE] を選択する。

*3 シーンファイルをSDカードに保存できます。また、SDカードに保存したシーンファイルを読み込むことができます。

シーンファイルの保存

シーンファイルを本体メモリーに保存

本機の現在の設定値を、本体メモリーに保存します。

1 [SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [SCENE DATA] → [SAVE] を選択する。

シーンファイルをSDカードに保存

シーンファイルを、SDカードのファイルに上書き保存、または新しいファイルとして保存できます。

シーンファイルを保存するカードスロットは、[FILE] メニュー → [SLOT FOR SCENE/SETUP FILE] で設定できます。

■ シーンファイルをSDカードのファイルに上書き保存

本機の現在の設定値を、SDカードに保存されたシーンファイルの一覧から選択したファイルに上書きします。

1 [FILE] メニュー → [SCENE FILE] → [SAVE] を選択する。

SDカードに保存されているシーンファイルの一覧が表示されます。

2 シーンファイルの一覧から、上書き保存するファイルを選択する。

ファイル名入力画面とキーボードが表示されます。上書きする場合はそのままにします。

3 [Enter] を選択する。

確認画面が表示されます。

4 [SET] を選択する。

ファイルが保存されます。

■ シーンファイルを SD カードに新しいファイルとして保存

本機の現在の設定値を、ファイル名を指定して新しいファイルとして SD カードに保存します。

1 [FILE] メニュー → [SCENE FILE] → [SAVE AS] を選択する。

ファイル名入力画面とキーボードが表示されます。

2 キーボードで設定したい文字を入力する。**3 [Enter] を選択する。**

確認画面が表示されます。

4 [SET] を選択する。

ファイルが保存されます。

- エラーメッセージが表示されることがあります。エラーメッセージについて、詳しくは「エラーメッセージが表示される場合」を参照してください。

シーンファイルの読み込み

本体メモリー、または SD カードに保存したシーンファイルを読み込みます。

シーンファイルを読み込むカードスロットは、[FILE] メニュー → [SLOT FOR SCENE/SETUP FILE] で設定できます。

本体メモリーからのシーンファイルの読み込み**1 [SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [SCENE DATA] → [LOAD] を選択する。****SD カードからのシーンファイルの読み込み****1 [FILE] メニュー → [SCENE FILE] → [LOAD] を選択する。**

SD カード内の所定のフォルダーに格納されたシーンファイルの一覧が表示されます。

2 読み込みたいファイル名を選択する。**3 シーンファイル ([SCENE1] ~ [SCENE5]) の全てを読み込むか、個別に読み込むかを選択する。**

- 全てを読み込みたいときは [ALL] を選択します。
個別に読み込みたいときは、読み込むシーン番号を選択します。

4 [SET] を選択する。

ファイルが読み込まれます。

- エラーメッセージが表示されることがあります。エラーメッセージについて、詳しくは「エラーメッセージが表示される場合」を参照してください。

シーンファイルの初期化**1 [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [COLOR SETTINGS] → [MAIN] で 工場出荷値に戻したいシーンファイルを選択する。****2 [SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [SCENE DATA] → [INITIALIZE] を選択する。**

確認画面が表示されます。

3 [YES] を選択する。

選択したシーンファイルが工場出荷値に戻ります。

シーンファイル名の変更

シーンファイルの名称を変更します。

変更の対象は、シーンファイル名のタイトル部分のみです。例えば、[SCENE1 (eV-LOOK1)] の場合は「eV-LOOK1」の部分のみ変更できます。

1 [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [COLOR SETTINGS] → [MAIN] で 名称を変更したいシーンファイルを選択する。**2 [SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [NAME EDIT] を選択する。**

ファイル名入力画面とキーボードが表示されます。

3 キーボードで設定したい文字を入力する。(最大 8 文字)**4 [Enter] を選択する。**

ファイル名が更新されます。

セットアップファイルについて

指定したメニューを SD カードに保存したり、SD カードから本機に読み込んだりできます。

セットアップファイルの保存と読み込みをするカードスロットは、[FILE] メニュー → [SLOT FOR SCENE/SETUP FILE] で設定できます。

セットアップファイルの保存

セットアップファイルを、SD カードのファイルに上書き保存、または新しいファイルとして保存できます。

セットアップファイルを SD カードのファイルに上書き保存

本機の現在の設定値を、SD カードに保存されたセットアップファイルの一覧から選択したファイルに上書きします。

1 [FILE] メニュー → [SETUP FILE] → [SAVE] を選択する。

SD カードに保存されているセットアップファイルの一覧が表示されます。

2 セットアップファイルの一覧から、上書き保存するファイルを選択する。

ファイル名入力画面とキーボードが表示されます。上書きする場合はそのままにします。

3 [Enter] を選択する。

確認画面が表示されます。

4 [SET] を選択する。

ファイルが保存されます。

セットアップファイルを SD カードに新しいファイルとして保存

本機の現在の設定値を、ファイル名を指定して新しいファイルとして SD カードに保存します。

1 [FILE] メニュー → [SETUP FILE] → [SAVE AS] を選択する。

ファイル名入力画面とキーボードが表示されます。

2 キーボードで設定したい文字を入力する。

3 [Enter] を選択する。

確認画面が表示されます。

4 [SET] を選択する。

ファイルが保存されます。

- エラーメッセージが表示されることがあります。エラーメッセージについて、詳しくは「エラーメッセージが表示される場合」を参照してください。

セットアップファイルの読み込み

SD カードに保存したセットアップファイルを読み込みます。

1 [FILE] メニュー → [SETUP FILE] → [LOAD] を選択する。

SD カード内の所定のフォルダーに格納されたセットアップファイルの一覧が表示されます。

[LOAD SETUP FILE] を割り当てた USER ボタンを押しても、同様に表示されます。

2 読み込みたいファイル名を選択する。

3 [SET] を選択する。

ファイルの読み込みが開始されます。読み込み後、本機は再起動します。

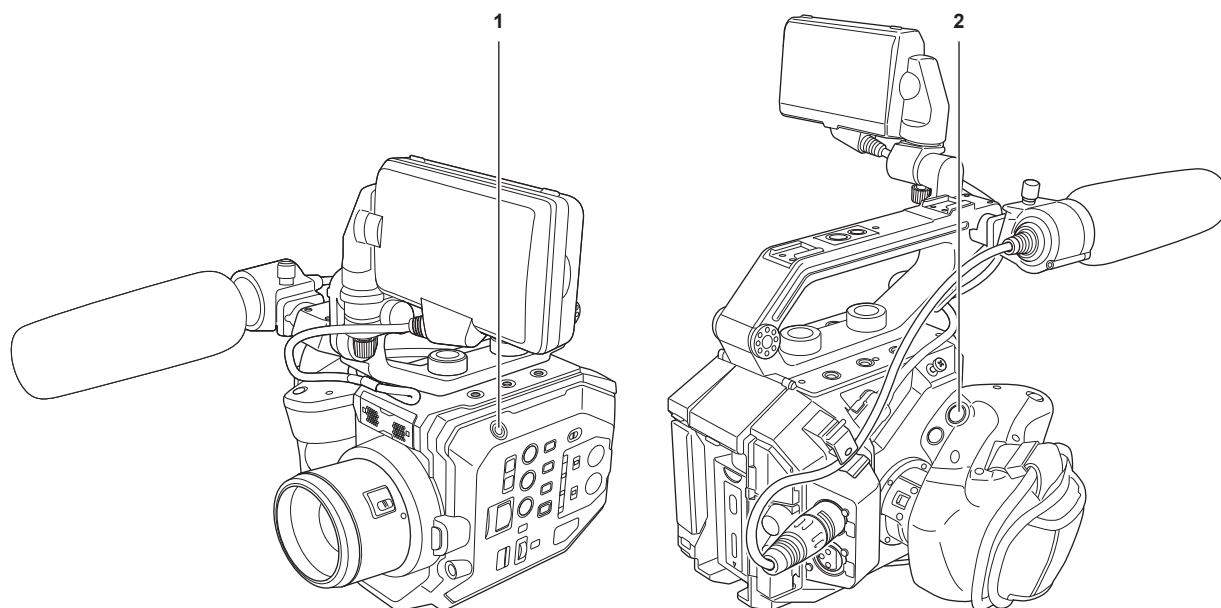
- エラーメッセージが表示されることがあります。エラーメッセージについて、詳しくは「エラーメッセージが表示される場合」を参照してください。
- ファームウェアバージョンが異なるカメラで保存されたファイルは、読み込めないことがあります。

第5章 撮影

撮影に関する基本的な手順を説明します。特殊な撮影方法についても本章で説明します。

撮影

撮影するには、次の手順で操作します。



1 REC ボタン (カメラ本体側)

2 REC ボタン (グリップ側)

1 映像設定および音声入力を設定する。

- 撮影するためには、あらかじめ、次の設定や調整が必要です。
 - 明るさの調整に関する機能、(アイリス、ゲイン、シャッター)、ホワイトバランス調整機能などの映像設定
 - 音声記録をするための音声入力の設定
 - 音声記録レベルの調整

2 REC ボタンを押して記録を開始する。

- REC ボタンは、カメラ本体とグリップに 1 か所ずつあります。
- 記録中は、タリールンプが赤色に点灯します。

3 停止するときは、再度 REC ボタンを押す。

4 撮影した映像を確認する。

記録後に、[REC CHECK] を割り当てた USER ボタンを押すと、直前に撮影したクリップの最後の約 3 秒間が自動的に再生されます。これにより記録が正しく行われたかどうかを確認できます。

- 再生後は、再び記録待ち状態になります。

NOTE

- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、カメラ本体で SD カードに記録することはできません。

記録映像の解像度、コーデック、フレームレートを選択

[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] で、記録映像の解像度とコーデック、およびフレームレートを選択できます。

- [FREQUENCY] : システム周波数
- [SDI RAW] : 解像度 (〈SDI OUT〉端子からの RAW 出力の解像度)
[SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、[SENSOR MODE]、[MAIN PIXEL]、[MAIN CODEC] は設定できません。
- [SENSOR MODE] : センサーの駆動モード
- [MAIN PIXEL] : 解像度
- [MAIN CODEC] : 記録コーデック
 - 4:2:0 (10 ビット) LongGOP MOV : [HEVC LongGOP 200M]、[HEVC LongGOP 150M]
 - 4:2:0 (8 ビット) LongGOP MOV : [420LongGOP 150M]、[420LongGOP 100M]、[420LongGOP 50M]
 - 4:2:2 (10 ビット) LongGOP MOV : [422LongGOP 150M]、[422LongGOP 100M]、[422LongGOP 50M]
 - 4:2:2 (10 ビット) ALL-Intra MOV : [422ALL-I 400M]、[422ALL-I 200M]、[422ALL-I 100M]
 - AVCHD : [AVCHD PS]、[AVCHD PH]、[AVCHD HA]、[AVCHD PM]
- VFR : バリアブルフレームレート記録機能 (フレームレート可変範囲)

[FREQUENCY] が [23.98p] のとき

[SDI RAW] が [OFF] の場合のみ、設定できます。

[SENSOR MODE]	[MAIN PIXEL]	[MAIN CODEC]	VFR
[S35 5.7K]	[4096x2160]	[HEVC LongGOP 150M]	1 fps ~ 60fps
		[420LongGOP 100M]	
		[422LongGOP 150M]	1 fps ~ 30fps
		[422ALL-I 400M]	
	[3840x2160]	[HEVC LongGOP 150M]	1 fps ~ 60fps
		[420LongGOP 100M]	
		[422LongGOP 150M]	1 fps ~ 30fps
		[422ALL-I 400M]	
	[2048x1080]	[422LongGOP 50M]	1 fps ~ 60fps
		[422ALL-I 100M]	
	[1920x1080]	[422LongGOP 50M]	1 fps ~ 60fps
		[422ALL-I 100M]	
[AVCHD PH]		—	
[S35 MIX 2.8K]	[2048x1080]	[422LongGOP 50M]	1 fps ~ 120fps
		[422ALL-I 100M]	
	[1920x1080]	[422LongGOP 50M]	
		[422ALL-I 100M]	
[4/3 CROP&MIX 2.2K]	[2048x1080]	[420LongGOP 50M]	1 fps ~ 240fps
	[1920x1080]	[420LongGOP 50M]	

[FREQUENCY] が [24.00p] のとき

[SDI RAW] が [OFF] の場合のみ、設定できます。

[SENSOR MODE]	[MAIN PIXEL]	[MAIN CODEC]	VFR
[S35 5.7K]	[4096x2160]	[HEVC LongGOP 150M]	1 fps ~ 60fps
		[420LongGOP 100M]	
		[422LongGOP 150M]	1 fps ~ 30fps
		[422ALL-I 400M]	
	[2048x1080]	[422LongGOP 50M]	1 fps ~ 60fps
		[422ALL-I 100M]	
[S35 MIX 2.8K]	[2048x1080]	[422LongGOP 50M]	1 fps ~ 120fps
		[422ALL-I 100M]	
	[4/3 CROP&MIX 2.2K]	[2048x1080]	

[FREQUENCY] が [25.00p] のとき

[SDI RAW] が [OFF] の場合のみ、設定できます。

[SENSOR MODE]	[MAIN PIXEL]	[MAIN CODEC]	VFR
[S35 5.7K]	[4096x2160]	[HEVC LongGOP 150M]	1 fps ~ 50fps
		[420LongGOP 100M]	
		[422LongGOP 150M]	1 fps ~ 25fps
		[422ALL-I 400M]	
	[3840x2160]	[HEVC LongGOP 150M]	1 fps ~ 50fps
		[420LongGOP 100M]	
		[422LongGOP 150M]	1 fps ~ 25fps
		[422ALL-I 400M]	
	[2048x1080]	[422LongGOP 50M]	1 fps ~ 50fps
		[422ALL-I 100M]	
	[1920x1080]	[422LongGOP 50M]	1 fps ~ 50fps
		[422ALL-I 100M]	
[S35 MIX 2.8K]	[2048x1080]	[422LongGOP 50M]	1 fps ~ 100fps
		[422ALL-I 100M]	
	[1920x1080]	[422LongGOP 50M]	
		[422ALL-I 100M]	

第5章 撮影 — 撮影

[SENSOR MODE]	[MAIN PIXEL]	[MAIN CODEC]	VFR
[4/3 CROP&MIX 2.2K]	[2048×1080]	[420LongGOP 50M]	1 fps ~ 200fps
	[1920×1080]	[420LongGOP 50M]	

[FREQUENCY] が [29.97p] のとき

[SDI RAW] が [OFF] の場合のみ、設定できます。

[SENSOR MODE]	[MAIN PIXEL]	[MAIN CODEC]	VFR	
[S35 5.7K]	[4096×2160]	[HEVC LongGOP 150M]	1 fps ~ 60fps	
		[420LongGOP 100M]		
		[422LongGOP 150M]		1 fps ~ 30fps
		[422ALL-I 400M]		
	[3840×2160]	[HEVC LongGOP 150M]	1 fps ~ 60fps	
		[420LongGOP 100M]		
		[422LongGOP 150M]		1 fps ~ 30fps
		[422ALL-I 400M]		
	[2048×1080]	[422LongGOP 50M]	1 fps ~ 60fps	
		[422ALL-I 100M]		
	[1920×1080]	[422LongGOP 50M]	1 fps ~ 60fps	
		[422ALL-I 100M]		
[S35 MIX 2.8K]	[2048×1080]	[422LongGOP 50M]	1 fps ~ 120fps	
		[422ALL-I 100M]		
	[1920×1080]	[422LongGOP 50M]		
		[422ALL-I 100M]		
[4/3 CROP&MIX 2.2K]	[2048×1080]	[420LongGOP 50M]	1 fps ~ 240fps	
	[1920×1080]	[420LongGOP 50M]		

[FREQUENCY] が [50.00p] のとき

[SDI RAW] が [OFF] の場合のみ、設定できます。

[SENSOR MODE]	[MAIN PIXEL]	[MAIN CODEC]	VFR
[S35 5.7K]	[4096×2160]	[HEVC LongGOP 200M]	1 fps ~ 50fps
		[420LongGOP 150M]	
	[3840×2160]	[HEVC LongGOP 200M]	1 fps ~ 50fps
		[420LongGOP 150M]	
	[2048×1080]	[422LongGOP 100M]	1 fps ~ 50fps
		[422ALL-I 200M]	
	[1920×1080]	[422LongGOP 100M]	—
		[422ALL-I 200M]	
		[AVCHD PS]	
	[1280×720]	[AVCHD PM]	—
[S35 MIX 2.8K]	[2048×1080]	[422LongGOP 100M]	1 fps ~ 100fps
		[422ALL-I 200M]	
	[1920×1080]	[422LongGOP 100M]	
		[422ALL-I 200M]	
[4/3 CROP&MIX 2.2K]	[2048×1080]	[420LongGOP 100M]	1 fps ~ 200fps
	[1920×1080]	[420LongGOP 100M]	

[FREQUENCY] が [59.94p] のとき

[SDI RAW] が [OFF] の場合のみ、設定できます。

[SENSOR MODE]	[MAIN PIXEL]	[MAIN CODEC]	VFR
[S35 5.7K]	[4096×2160]	[HEVC LongGOP 200M]	1 fps ~ 60fps
		[420LongGOP 150M]	
	[3840×2160]	[HEVC LongGOP 200M]	1 fps ~ 60fps
		[420LongGOP 150M]	
	[2048×1080]	[422LongGOP 100M]	1 fps ~ 60fps
		[422ALL-I 200M]	

[SENSOR MODE]	[MAIN PIXEL]	[MAIN CODEC]	VFR
	[1920×1080]	[422LongGOP 100M]	—
		[422ALL-I 200M]	
		[AVCHD PS]	
	[1280×720]	[AVCHD PM]	—
[S35 MIX 2.8K]	[2048×1080]	[422LongGOP 100M]	1fps ~ 120fps
		[422ALL-I 200M]	
	[1920×1080]	[422LongGOP 100M]	
		[422ALL-I 200M]	
[4/3 CROP&MIX 2.2K]	[2048×1080]	[420LongGOP 100M]	1fps ~ 240fps
	[1920×1080]	[420LongGOP 100M]	

[FREQUENCY] が [59.94i] のとき

[SDI RAW] が [OFF] の場合のみ、設定できます。

[SENSOR MODE]	[MAIN PIXEL]	[MAIN CODEC]	VFR
[S35 5.7K]	[1920×1080]	[422LongGOP 50M]	—
		[422ALL-I 100M]	
		[AVCHD PH]	
		[AVCHD HA]	

[FREQUENCY] が [50.00i] のとき

[SDI RAW] が [OFF] の場合のみ、設定できます。

[SENSOR MODE]	[MAIN PIXEL]	[MAIN CODEC]	VFR
[S35 5.7K]	[1920×1080]	[422LongGOP 50M]	—
		[422ALL-I 100M]	
		[AVCHD PH]	
		[AVCHD HA]	

RAW 出力の解像度、フレームレートの選択

[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] で、〈SDI OUT〉端子からの RAW 出力の解像度を選択できます。

[SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、[SENSOR MODE]、[MAIN PIXEL]、[MAIN CODEC] は設定できません。

[FREQUENCY]	[SDI RAW]	VFR
[23.98p] [24.00p] [29.97p]	[S35 5.7K]	1fps ~ 30fps
	[CROP 4K]	1fps ~ 60fps
	[CROP&MIX 2K]	1fps ~ 240fps
[25.00p]	[S35 5.7K]	1fps ~ 25fps
	[CROP 4K]	1fps ~ 50fps
	[CROP&MIX 2K]	1fps ~ 200fps
[50.00p]	[CROP 4K]	1fps ~ 50fps
	[CROP&MIX 2K]	1fps ~ 200fps
[59.94p]	[CROP 4K]	1fps ~ 60fps
	[CROP&MIX 2K]	1fps ~ 240fps

NOTE

・ [FREQUENCY] が [50.00i] / [59.94i] に設定されているときは、[SDI RAW] は [OFF] に固定されます。

画質調整

[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [COLOR SETTINGS] → [MAIN] → [SCENE1] ~ [SCENE5] に設定しているとき、記録する映像の画質を本機内で調整できます。

- 画質調整は、[CAMERA SETTINGS] メニューで設定します。
- [MAIN] を [V-Log] に設定しているときは、[SCENE FILE SETTINGS] メニューは設定できません。
- 設定を変更するためには、ベクトルスコープなどの計測器を使用する必要があります。
- 表内の記号の意味は、次のとおりです。
 - ：設定できます。
 - ：設定できません。

項目	[SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [GAMMA] → [GAMMA SELECT]		
	[V-255570L1] [V-504580L1]	[VIDEO]	[HLG]
[SCENE FILE SETTINGS] メニュー			
[NAME EDIT]	○	○	○
[BLACK]	○	○	○
[GAMMA]	[MASTER GAMMA]	—	—
	[BLACK GAMMA]	—	○
	[B.GAMMA RANGE]	—	○
[KNEE]	—	○	—
[HLG KNEE]	—	—	○
[WHITE CLIP]	—	○	—
[DETAIL]	○	○	○
[SKIN DETAIL]	○	○	○
[CHROMA]	○	○	○
[MATRIX]	○	○	○
[COLOR CORRECTION]	○	○	○

[E]

映像の感度を設定します。

デュアルネイティブ ISO

本機は、デュアルネイティブ ISO と呼ばれる [800 ISO] と [2500 ISO] の2つの [NATIVE ISO] を搭載しています。イメージセンサー内に感度の切り替え回路を搭載することで、高感度で低ノイズの [2500 ISO] を実現しています。[NATIVE ISO] よりも低い ISO 領域を使用するときは、その値に応じてラティチュードが減少します。

[dB]

[NORMAL] と [HIGH] の2つのゲインモードがあります。[NATIVE ISO] に相当する標準感度を 0 dB としています。ガンマカーブが [VIDEO] のとき、ダイナミックレンジは [V-Log] やほかのガンマカーブより低い 600% になります。そのため、標準感度は [V-Log] やほかのガンマカーブより下がります。

[WHITE]

[ATW] (オートトラッキングホワイトバランス)

本機は、照明条件に応じて画像のホワイトバランスを自動追従させるオートトラッキングホワイトバランス (ATW) 機能を備えています。この機能は、ホワイトバランスの精度を 100% 保証する機能ではありません。照明条件の変化に対する追従やホワイトバランスの引き込み精度には、多少の幅を設けています。この機能を使用するときは、お気をつけください。

[AWB] (オートホワイトバランス)

- 1 被写体の照明光源と同じ条件のところにホワイトパターンを配置し、画面に白を映す。
- 2 <IRIS> ダイヤルで輝度を調整する。
- 3 [CAMERA SETTINGS] メニュー → [WHITE] → [VALUE] → [AWB MEMORY A] / [AWB MEMORY B] を選択する。
- 4 [CAMERA SETTINGS] メニュー → [WHITE] → [AWB] → [EXECUTE] を選択する。
 - [AWB] (オートホワイトバランス) の機能を割り当てた USER ボタンを押しても、同様に動作します。

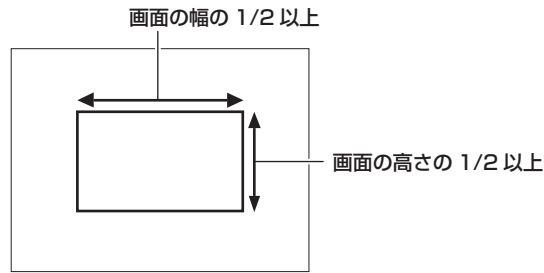
■ 調整値について

- 調整された値は [AWB MEMORY A] / [AWB MEMORY B] に自動的に記憶されます。

■ ホワイトパターンについて

- ホワイトパターンは、被写体近くの白い物 (白布、白壁) で代用することもできます。

- 必要なホワイトパターンの大きさは次のとおりです。



- 画面内に高輝度スポットを入れないようにしてください。
- ホワイトパターンは、画面の中心に写してください。

色温度の手動設定 ([VALUE] での設定)

登録している最大 13 個の色温度（ホワイトバランス）から選択できます。

1 [CAMERA SETTINGS] メニュー → [WHITE] → [VALUE] を選択する。

2 色温度を選択する。

[BLACK]

[ABB] (オートブラックバランス)

オートブラックバランスは、次のような場合に調整してください。

- 本機を初めて使用するとき
- 前回使用したときから長時間経過しているとき
- 前回使用したときから周囲の温度が大幅に変化したとき

1 レンズにキャップを取り付ける。

- イメージセンサーに光が入らないようにしてください。

2 [CAMERA SETTINGS] メニュー → [AUTO BLACK BALANCE] → [ABB] → [EXECUTE] を選択する。

- 液晶モニターに [ABB ACTIVE] が表示されている間は、レンズのキャップを取り外したり、電源を ⏻ (スタンバイ) にしたりしないでください。

ペDESTアル (基準黒レベル)

1 [SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [BLACK] → [M.PED] / [R PED] / [G PED] / [B PED] を選択する。

[M.PED] (マスターペDESTアル) : 映像全体の基準黒レベルを調整します。オートブラックバランスを実行しても、調整した値は保持します。

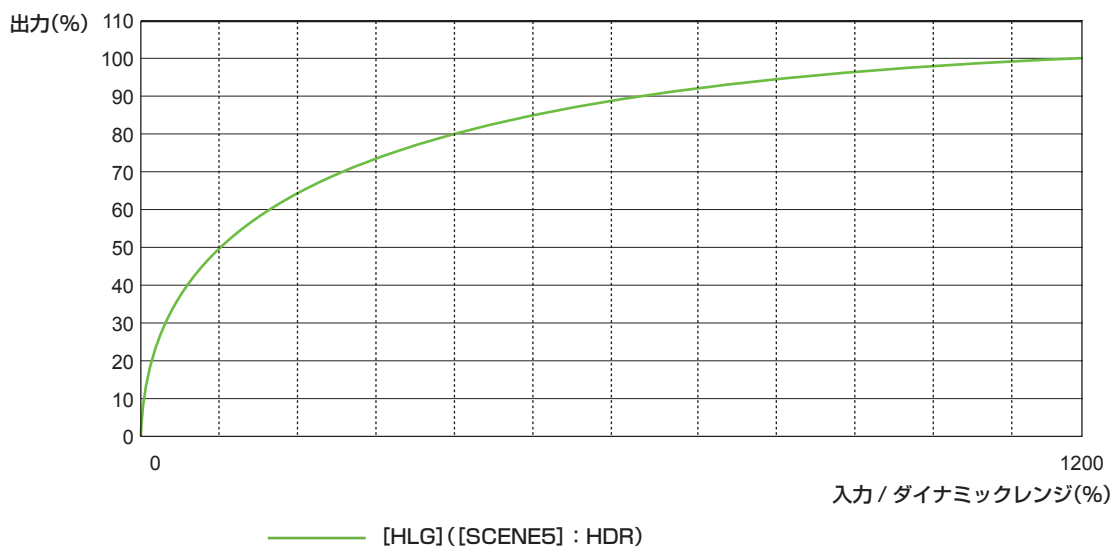
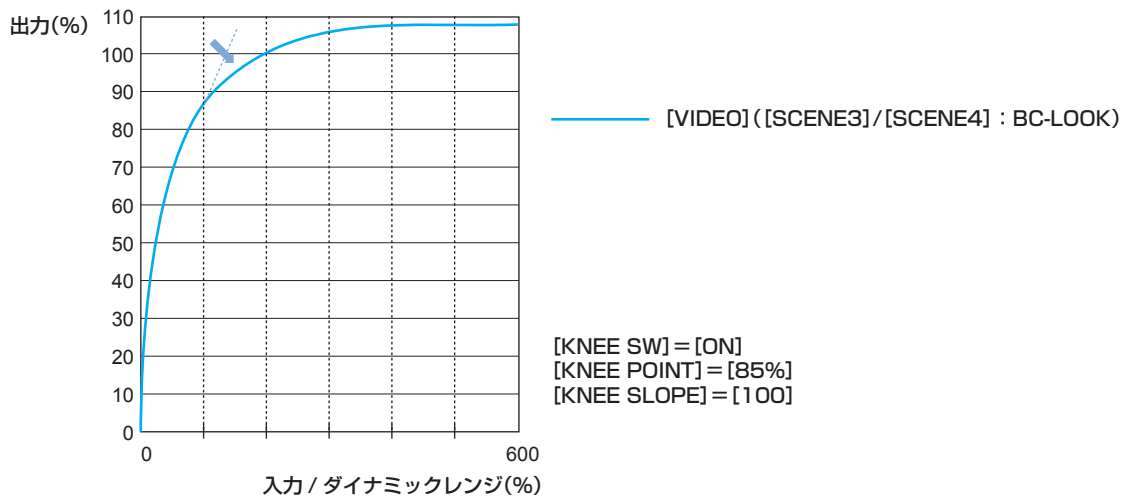
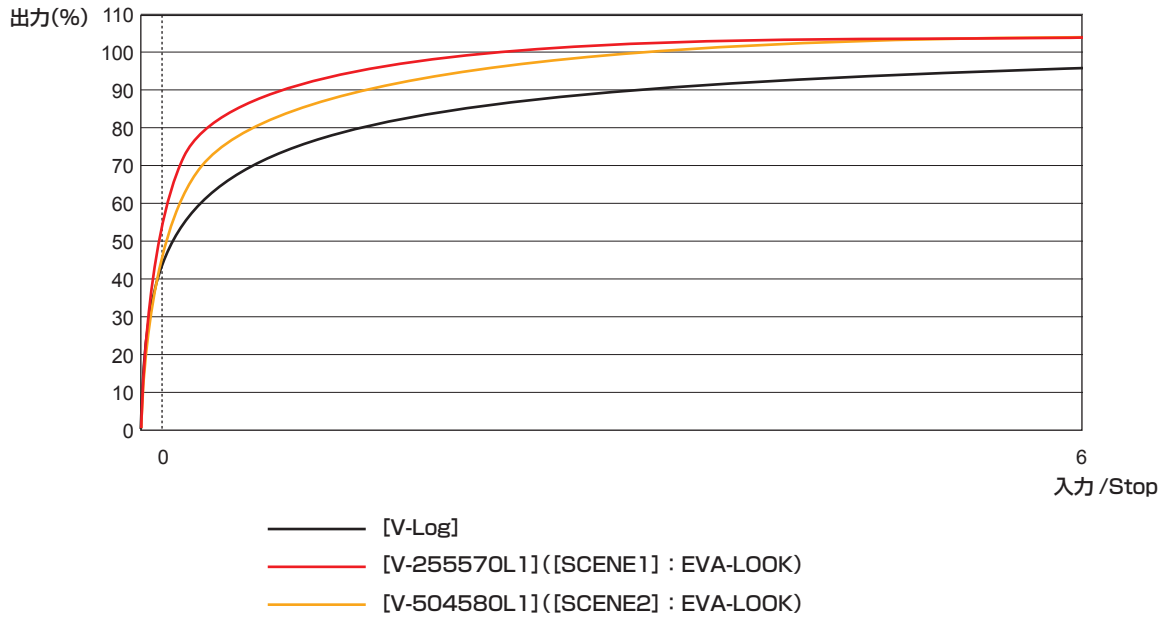
[R PED] (赤信号ペDESTアル)、[G PED] (緑信号ペDESTアル)、[B PED] (青信号ペDESTアル) : 信号ごとに、基準黒レベルを調整します。[SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [BLACK] → [PEDESTAL OFFSET] の設定によって、オートブラックバランスを実行したときに、調整した値を保持するかどうかを設定できます。

[GAMMA]

[GAMMA SELECT]

映像の階調が最適になるように設定します。

[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [COLOR SETTINGS] → [MAIN] の設定によって、選択できる項目が異なります。



- [V-Log]
階調と広いラティチュード（露光範囲）を得ることができるガンマカーブです。撮影後のグレーディング処理が必要です。
- [V-255570L1]
[V-Log] と同等の 14Stop のラティチュードを持つ EVA-LOOK ガンマカーブです。
立ち上がりは 2.5 倍相当、ガンマ係数は 0.55 で、70% までを意味しています。
コントラストを重視した設定です。

フェイストーンは、40% から 55% で撮影することをお勧めします。

● [V-504580L1]

[V-Log] と同等の 14Stop のラティチュードを持つ EVA-LOOK ガンマカーブです。
立ち上がりは 5.0 倍相当、ガンマ係数は 0.45 で、80% までを意味しています。
ソフトな質感を重視した設定です。
フェイストーンは、40% から 60% で撮影することをお勧めします。

● [VIDEO]

一般的に使用されているビデオカメラと同等の 600% のダイナミックレンジを持つ BroadCast-LOOK ガンマカーブです。

● [HLG]

1200% の広いダイナミックレンジを持つハイブリッドログガンマカーブです。
BT.2020 相当の色域が自動的に設定されます。

■ [MAIN] が [V-Log] のとき

[GAMMA] は [V-Log] に設定されます

■ [MAIN] が [SCENE1] / [SCENE2] / [SCENE3] / [SCENE4] / [SCENE5] のとき

1 [SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [GAMMA] → [GAMMA SELECT] を選択する。

2 [V-255570L1] / [V-504580L1] / [VIDEO] / [HLG] のいずれかを選択する。

[MASTER GAMMA]

[SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [GAMMA] → [GAMMA SELECT] → [VIDEO] を選択したときに、設定できます。
ガンマカーブ全体を微調整します。

[BLACK GAMMA]

[SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [GAMMA] → [GAMMA SELECT] → [VIDEO] / [HLG] を選択したときに、設定できます。

■ [BLACK GAMMA]

暗部のガンマカーブの圧縮と伸長を設定します。
マイナス側では暗部を圧縮し、プラス側では暗部を伸長します。

■ [B.GAMMA RANGE]

[BLACK GAMMA] で圧縮および伸張を行う上限を設定します。

[KNEE]

映像の白つぶれを防ぐために、映像信号を圧縮する設定をします。
設定により、ダイナミックレンジや映像信号の圧縮率が変わります。

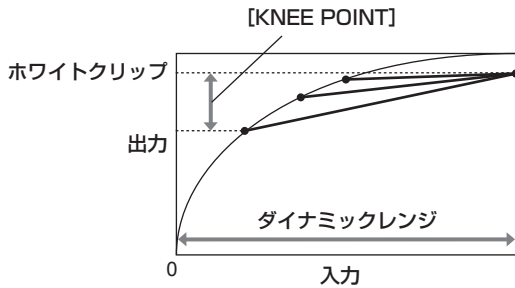


図 1

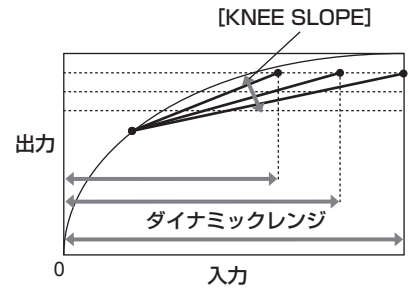


図 2

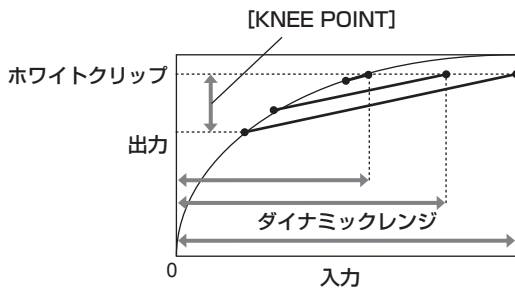


図 3

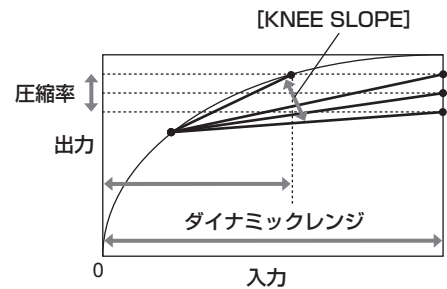


図 4

[KNEE MODE]	[KNEE POINT]	[KNEE SLOPE]
[D RANGE]	図 1 表現できるダイナミックレンジは変わらない。	図 2 表現できるダイナミックレンジが変わる。
[PRESS]	図 3 表現できるダイナミックレンジが変わる。	図 4 表現できるダイナミックレンジと、信号の圧縮率が 変わる。

[KNEE MODE] (ニーの動作モードの設定)

1 [SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [KNEE] → [KNEE SW] → [ON] を選択する。

2 [SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [KNEE] → [KNEE MODE] → [D RANGE] / [PRESS] を選択する。

[D RANGE] : [KNEE SLOPE] の値で、表現できるダイナミックレンジが決まります。[KNEE POINT] の値が変わっても、表現できるダイナミックレンジの値は変わりません。

[PRESS] : [KNEE SLOPE] の値で、信号の圧縮率が決まります。[KNEE POINT] の値が変わると、表現できるダイナミックレンジの値も変わります。

■ [KNEE POINT] (ニーポイントの位置設定)

1 [SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [KNEE] → [KNEE POINT] を選択する。

2 ニーポイントの位置を設定する。

■ [KNEE SLOPE] (ニーの傾き設定)

1 [SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [KNEE] → [KNEE SLOPE] を選択する。

2 ニーの傾きを設定する。

[HLG KNEE]

HLG 時の映像の白つぶれを防ぐために、映像信号を圧縮する設定をします。

[KNEE MODE] (ニーの動作モードの設定)

1 [SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [HLG KNEE] → [KNEE SW] → [ON] を選択する。

■ [KNEE POINT] (ニーポイントの位置設定)

1 [SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [HLG KNEE] → [KNEE POINT] を選択する。

2 ニーポイントの位置を設定する。

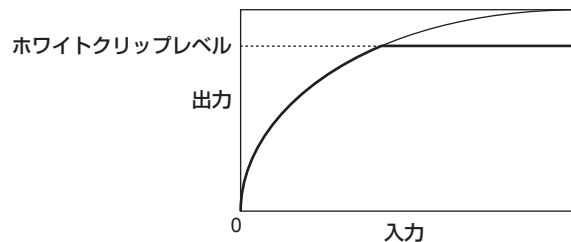
■ [KNEE SLOPE] (ニーの傾き設定)

1 [SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [HLG KNEE] → [KNEE SLOPE] を選択する。

2 ニーの傾きを設定する。

[WHITE CLIP]

映像信号の一番明るい部分が、一定のレベルより高くないように設定します。



1 [SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [WHITE CLIP] → [SW] → [ON] を選択する。

2 [SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [WHITE CLIP] → [LEVEL] でレベルを設定する。

[DETAIL]

映像の輪郭を描写する強弱の表現を設定します。

柔らかな表現やシャープな表現ができる反面、ノイズやエッジが強調され、映像全体が粗くなることがあります。

映像全体が粗くなるのを避けるには、ディテールを強調したい部分にディテール効果を残しながら、強調する必要がない部分のディテール効果は抑えるように調整します。

1 [SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [DETAIL] → [SW] → [ON] を選択する。

2 [SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [DETAIL] → [CORING] / [MASTER LEVEL] / [FREQUENCY] を設定する。

[CORING] : ディテール効果を働かせないようにする信号 (ノイズを含む) のレベルを設定します。

[MASTER LEVEL] : 全体的なディテール効果のレベルを設定します。

[FREQUENCY] : 全体的なディテールの太さを設定します。

[SKIN DETAIL]

人物の肌を、よりなめらかに撮影するための機能です。

1 [SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [SKIN DETAIL] を選択する。

2 [SKIN DTL1] / [SKIN DTL2] / [SKIN DTL3] のいずれかを [ON] にする。

[SKIN DTL1] / [SKIN DTL2] / [SKIN DTL3] は重ね合わせて使用できます。

[CHROMA]

色の彩度について設定します。

1 [SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [CHROMA] → [LEVEL] を選択する。

P_R 信号と P_B 信号のクロマレベルを設定します。ベクトルスコープを使用したときに、中心（無色）からの距離が映像全体で増減します。

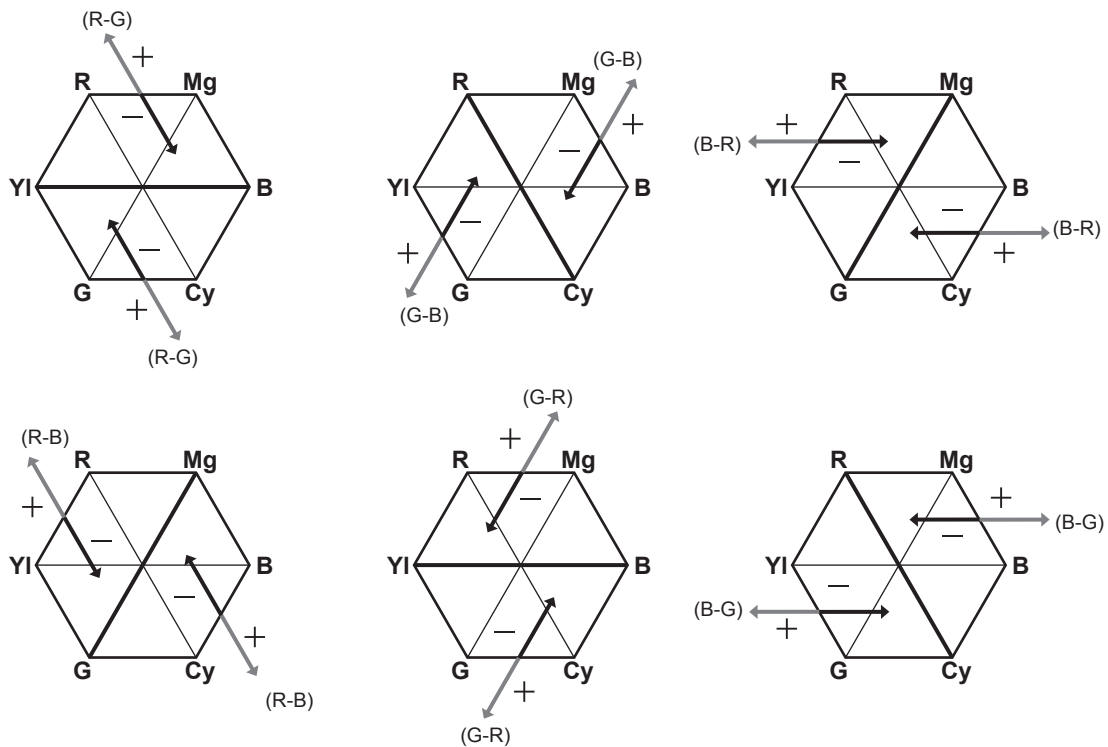
[MATRIX]

マトリックスは、ガンマの設定に応じて最適となるように設定してあります。

ガンマの設定に応じたマトリックスに対して、相対的に設定値を変化させ、映像の色の表現を設定できます。

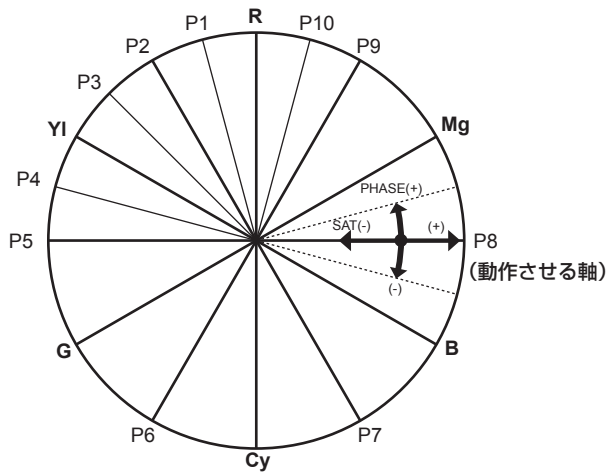
マトリックスの各軸に対する色の変化は次の図のとおりです。

- 図の太線はマトリックスの各軸の基準線です。太線上の色は変化しません。



[COLOR CORRECTION]

色の彩度と位相について設定します。
 映像の16の位相に対し、個別に効果をもたらします。
 個別の色相に対して設定できます。



- R: Red
- P1: (YI-R)-R
- P2: (YI-R)
- P3: YI-(YI-R)
- YI: Yellow
- P4: (G-YI)-YI
- P5: (G-YI)
- G: Green
- P6: (Cy-G)
- Cy: Cyan
- P7: (B-Cy)
- B: Blue
- P8: (Mg-B)
- Mg: Magenta
- P9: (R-Mg)
- P10: R-(R-Mg)

- 1 [SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [COLOR CORRECTION] → [SW] → [ON] を選択する。
- 2 [SCENE FILE SETTINGS] メニュー → [COLOR CORRECTION] → [PARAM] を選択し、各項目の色の彩度と位相を設定する。

バリアブルフレームレート (VFR) 記録機能

再生するフレームレートと異なるフレームレートで撮影することによって、なめらかなスローモーション、クイックモーション映像を得ることができます。

バリアブルフレームレート (VFR)

1 fps から最大 240fps までのハイスピード撮影ができます。

1 [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SENSOR MODE] で、記録映像の解像度とコーデック、および基準フレームレートとなる周波数を選択する。

- 設定できる組み合わせについては、「記録映像の解像度、コーデック、フレームレートの選択」を参照してください。
- [SENSOR MODE] の設定によって、ハイスピード撮影できるフレームレートの範囲が変わります。
- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、[SDI RAW] の設定によって、ハイスピード撮影できるフレームレートの範囲が変わります。
設定できる組み合わせについては、「RAW 出力の解像度、フレームレートの選択」を参照してください。

2 [CAMERA SETTINGS] メニュー → [FPS] → [VFR SW] → [ON] を選択する。

- マルチダイヤル、または [VFR] を割り当てた USER ボタンでも設定できます。「USER ボタンに割り当てられる機能」を参照してください。

3 [CAMERA SETTINGS] メニュー → [FPS] → [VALUE] で撮影状況に合わせてフレームレートを設定する。

- マルチダイヤルでも設定できます。「USER ボタンに割り当てられる機能」を参照してください。
- [CAMERA SETTINGS] メニュー → [FPS] → [ADD] / [EDIT] / [DELETE] で任意のフレームレートを追加 / 変更 / 削除できます。

4 REC ボタンを押す。

バリアブルフレームレート記録が開始されます。

■ 通常撮影モード

イメージセンサーの全画素を使用し、4K/UHD の画像を生成します。

また、その画像から 2K/FHD の画像を生成します。

最大 60fps までのハイスピード撮影ができます。

[SENSOR MODE] は [S35 5.7K] を選択します。

■ 画素混合撮影モード

イメージセンサーの全画素から 2.8K の画素混合読み出しを行い、2K/FHD の画像を生成します。

最大 120fps までのハイスピード撮影ができます。

[SENSOR MODE] は [S35 MIX 2.8K] を選択します。

- 通常撮影モードと画角は同じです。

■ 切り出し撮影モード

イメージセンサーの中心部から Four Thirds のイメージサークルを切り出し、2.2K の画素混合読み出しを行います。また、その画像から 2K/FHD の画像を生成します。

最大 240fps までのハイスピード撮影ができます。

[SENSOR MODE] は [4/3 CROP&MIX 2.2K] を選択します。

- 通常撮影モードと画角が変わります。

NOTE

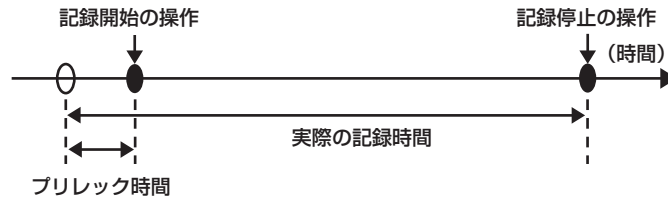
- バリアブルフレームレート記録では、音声の記録はできません。ただし、システム周波数と同じフレームレートに設定しているときは、音声は記録されます。
- フレームレートの設定を変更する場合に画面が乱れたり、暗くなったりすることがあります。
- 記録中にフレームレートの変更はできません。
- [REC SETTINGS] メニュー → [TC] → [FREE/REC RUN] は [REC RUN] に固定されます。
- 記録を開始してから 10 時間を超えると、記録を一度停止します。数秒後、自動的に記録が再開されます。
ハイスピード撮影の場合は、記録フォーマットのフレームレートとバリアブルフレームレートの比率によって、記録時間は 10 時間よりも短くなります。[FREQUENCY] を [24.00p]、[FPS] を [48fps] に設定しているときは、5 時間で記録が停止します。
- バリアブルフレームレート撮影時の記録制約については、「同時に使用できない記録機能について」を参照してください。
- 記録開始直後に記録を停止しても、記録が停止するまでに時間がかかる場合があります。
[FREQUENCY] を [59.94p]、[FPS] を [1 fps] に設定しているときは、記録後のクリップ長が 1 秒になるまで、最長 1 分間記録が継続されます。

特殊な記録機能について

メニューで設定することにより、プリレック、リレー記録などの特殊な記録ができます。

プリレック

記録開始の操作をした時点より一定時間前からの映像と音声を記録します。



プリレック時間は [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [MAIN PIXEL] / [MAIN CODEC] の設定によって異なります。

- [MAIN PIXEL] が [1280×720]、[1920×1080]、[2048×1080] の場合：約 10 秒
- [MAIN CODEC] が [422ALL-I 400M] の場合：約 3 秒
- 上記以外の場合：約 5 秒

1 [REC SETTINGS] メニュー → [PRE REC] → [ON] を選択する。

VIEW 画面、HOME 画面のプリレック状態表示に [P] が表示されます。

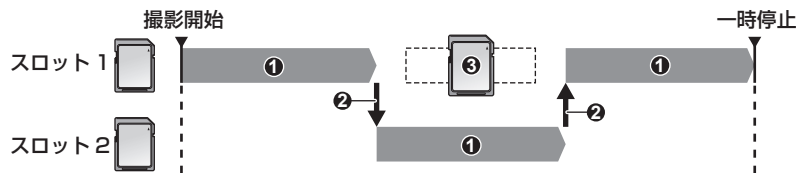
2 REC ボタンを押す。

NOTE

- 次の場合、一定時間前からの映像、音声記録できないことがあります。
 - 電源を < | > (入) にした直後
 - メニューを開いた直後
 - SD カードを挿入した直後
 - 記録映像を再生した直後
 - サムネール画面を閉じた直後
 - 記録停止後、SD カードへの書き込みが終了するまでの間
 - 外部タイムコードにスレーブロックした直後
 - [SLOT SEL] を割り当てた USER ボタンを押して、記録対象のカードスロットを切り替えた直後
- [PRE REC] を [ON] に設定した場合、[REC SETTINGS] メニュー → [TC] → [FREE/REC RUN] は [FREE RUN] に固定されます。
- 記録を開始しないで 3 時間が経過すると、プリレックは一度破棄されます。
- プリレックの記録制約については、「同時に使用できない記録機能について」を参照してください。
- SD カードの記録残量が 1 分未満の場合は、プリレックはできません。

リレー記録

SD カードを 2 つのカードスロットに挿入し、一方の SD カードの残量がなくなったとき、もう一方のカードスロットの SD カードに続けて記録できます。



1 記録中

2 記録対象のカードスロットを自動的に切り替え

3 記録可能な別の SD カードに交換

1 [REC SETTINGS] メニュー → [2 SLOTS FUNC.] → [RELAY REC] を選択する。

VIEW 画面の 2 スロット機能表示、HOME 画面の特殊記録機能表示に [RELAY] が表示されます。

2 つのカードスロットのどちらにも SD カードが挿入されていないなど、リレー記録ができないときは、[RELAY] の表示に斜線が表示されます。

2 REC ボタンを押す。

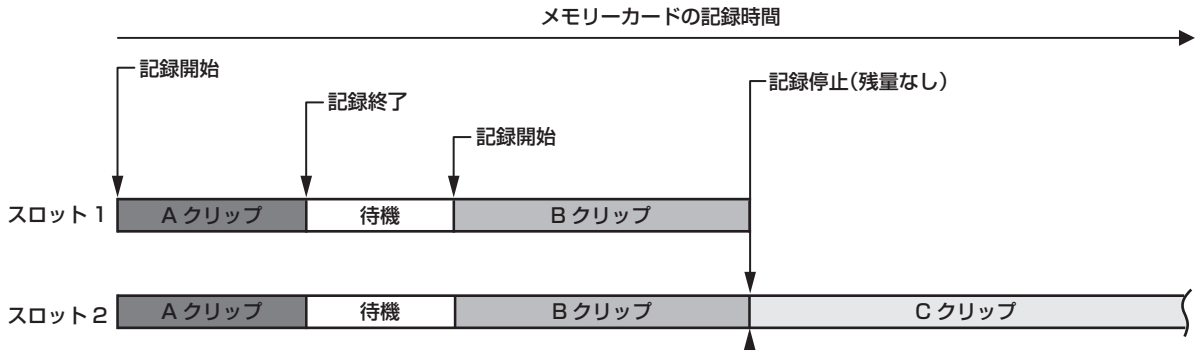
- 記録中に一方の SD カードの残量がなくなるとリレー記録が開始されると、記録対象がもう一方の SD カードに切り替わります。記録対象になったカードスロットの番号が白黒反転表示になります。3 枚以上の SD カードに記録もできます。記録対象が切り替わってから、残量がなくなった SD カードを交換してください。
- 記録前に記録対象のカードスロットを変更するには、< SLOT SEL > ボタンを押します。記録中は動作しません。

NOTE

- SD カードを挿入したとき、SD カードの認識には時間がかかることがあります。記録中に SD カードを交換しながら 3 枚以上に記録する場合は、記録中の SD カードの記録残量が十分にある状態で交換してください。
- リレー先の SD カードの記録残量が 1 分未満の場合は、記録対象の切り替えを行いません。
- リレー記録の最大連続記録時間は 10 時間です。
- リレー記録の記録時間が 10 時間を超えると、記録を一度停止します。数秒後、自動的に記録が再開されます。
- リレー記録の記録制約については、「同時に使用できない記録機能について」を参照してください。

サイマル記録

SD カードを 2 つのカードスロットに挿入し、同じ映像を 2 枚の SD カードに記録します。



1 [REC SETTINGS] メニュー → [2 SLOTS FUNC.] → [SIMUL REC] を選択する。

VIEW 画面の 2 スロット機能表示、HOME 画面の特殊記録機能表示に [SIMUL] が表示されます。

2 つのカードスロットのどちらにも SD カードが挿入されていないなど、サイマル記録ができないときは、[SIMUL] の表示に斜線が表示されます。

2 REC ボタンを押す。

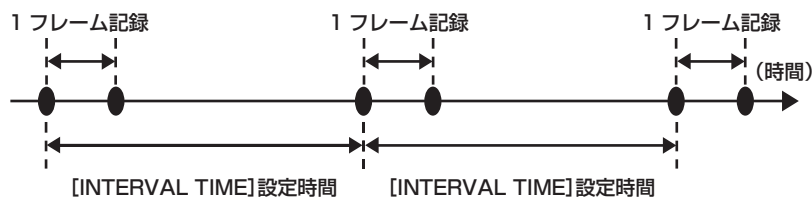
- 一方の SD カードの記録残量がなくなると、サイマル記録は停止します。
サイマル記録ができないときは、[SIMUL] の表示に斜線が表示されます。
再度、サイマル記録を開始する場合は、記録残量がなくなった方の SD カードを別の SD カードに交換し、REC ボタンを押してください。
- SD カードを交換せずに REC ボタンを押した場合は、記録残量がある方の SD カードに通常記録を行います。

NOTE

- サイマル記録では、スピードクラスや容量が同じ SD カードを使用することをお勧めします。スピードクラスや容量が異なる SD カードを使用すると、スピード不足により記録が停止することがあります。記録が停止した場合、停止直前の映像は不正規な記録になることがあります。
- SD カードが 2 枚とも認識されてから、記録を開始してください。両方の SD カードが認識される前に記録を開始した場合は、認識された一方の SD カードで通常記録を行います。本機は、記録が終了するたびに SD カードの状態を確認しています。その時点で 2 枚とも認識されると、次回の記録からサイマル記録の動作をします。
- サイマル記録中、一方の SD カードの記録が記録異常で停止しても、もう一方の SD カードの記録は継続します。
- サイマル記録の終了後、一方の SD カードに残量がある場合は、残量がある SD カードが、自動的に記録対象になります。REC ボタンを押すと、通常記録ができます。
- サイマル記録に設定していても、SD カードが 1 枚しか挿入されていない場合は、通常記録になります。
- サイマル記録の終了後は、USER ボタンに割り当てた [DEL LAST CLIP] (最終クリップ削除機能) は動作しません。
- MOV 形式でサイマル記録をするときのフォルダー名とファイル名については、「記録データの取り扱い」を参照してください。
- サイマル記録の記録制約については、「同時に使用できない記録機能について」を参照してください。

インターバル記録

設定した時間間隔で 1 フレーム記録を行います。



1 [REC SETTINGS] メニュー → [REC FUNCTION] → [REC MODE] → [INTERVAL] を選択する。

VIEW 画面、HOME 画面の特殊記録機能表示に [INTRVL] が表示されます。

- 記録モードを AVCHD に設定しているとき、または [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [FREQUENCY] で [50.00i] / [59.94i] に設定しているときは選択できません。

2 [REC SETTINGS] メニュー → [REC FUNCTION] → [INTERVAL TIME] で時間を設定する。

3 REC ボタンを押す。

- VIEW 画面の特殊記録機能表示に [I-REC] が赤色で表示されます。
- 設定した時間間隔で 1 フレーム記録する動作を繰り返し行います。
- 停止するには、REC ボタンを押します。
- 設定を解除するには、[REC SETTINGS] メニュー → [REC FUNCTION] → [REC MODE] で [NORMAL] に設定します。
- 電源を切っても設定は解除されません。

NOTE

- 音声は記録されません。
- 記録したデータ (停止するまでのデータ) は、まとめて 1 つのクリップとなります。
- [REC SETTINGS] メニュー → [TC] → [FREE/REC RUN] は [REC RUN] に固定されます。

- [REC SETTINGS] メニュー → [TC] → [DF/NDF] は [NDF] に固定されます。
- [SDI REC REMOTE]、[HDMI REC REMOTE] は動作しません。
- 記録を停止したときにクリップの長さが 3 秒未満だった場合は、最終フレームの映像を記録してクリップの長さを 3 秒にします。
- インターバル記録でクリップの長さが 10 時間を超えると、記録を一度停止します。数秒後、自動的に記録が再開されます。
- インターバル記録の記録制約については、「同時に使用できない記録機能について」を参照してください。

IR 撮影

IR ライトを使用した夜間撮影ができます。

■ USER ボタンに [IR SHOOTING] を割り当てる

- 1 [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [USER SWITCHES] → [USER 1] ~ [USER 9] → [IR SHOOTING] を選択する。
任意の USER ボタンで、IR 撮影の有効 / 無効が切り替えられるように設定します。

■ IR 撮影をする

- 1 [IR SHOOTING] を割り当てた USER ボタンを押す。

IR 撮影モードになります。

- 2 REC ボタンを押す。

IR 撮影が開始されます。

NOTE

- [CAMERA SETTINGS] メニュー → [IR SHOOTING] でも設定できます。

便利な撮影機能

ゼブラパターンの表示

本機は、〈LCD〉端子からの出力映像に 2 種類のゼブラパターンを表示できます。

1 [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD EI ASSIST] → [ZEBRA] → [ON] を選択する。

- 工場出荷値：[OFF]

検出レベルの設定

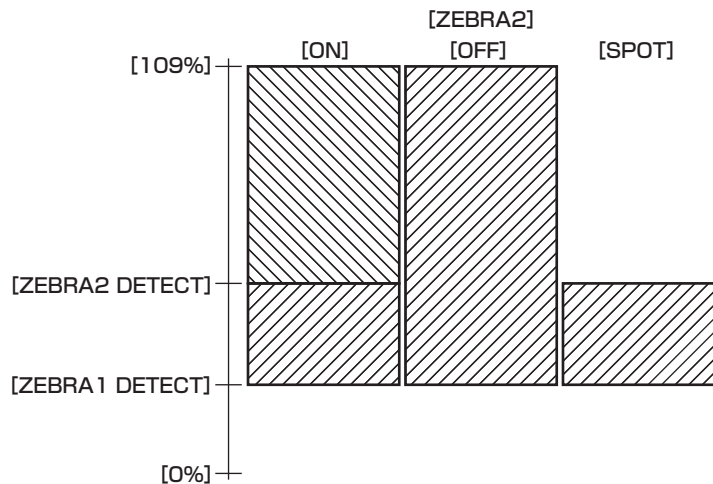
1 [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD EI ASSIST] → 各項目を設定する。

項目	設定内容
[ZEBRA1 DETECT]	ゼブラパターン 1 の検出レベルを設定します。 [0%] … [109%] (工場出荷値：[80%])
[ZEBRA2 DETECT]	ゼブラパターン 2 の検出レベルを設定します。 [0%] … [109%] (工場出荷値：[100%])
[ZEBRA2]	ゼブラパターン 2 の有効 / 無効の切り替え、および [SPOT] を選択します。 [ON]、[SPOT]、[OFF] (工場出荷値：[OFF])

■ ゼブラパターンの表示領域について

[OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD EI ASSIST] の設定によって、ゼブラパターンの表示領域は異なります。

[ZEBRA2] で [SPOT] を選択した場合は、[ZEBRA1 DETECT] の設定値から [ZEBRA2 DETECT] の設定値までの範囲に該当する部分が、ゼブラパターンで表示されます。



NOTE

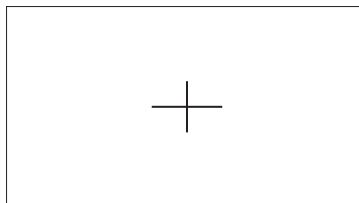
- ゼブラパターンは、記録できません。
- フォーカスアシスト機能のフォーカススクエア表示を有効に設定しているときと、カラーバーの表示中は、ゼブラパターンは表示されません。

センターマーカの表示

センターマーカを表示できます。

1 [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD MARKER] → [CENTER MARKER] で、センターマーカの種類を選択する。

- [OFF] を選択すると、センターマーカを表示しません。



セーフティーゾーンマーカの表示

セーフティーゾーンマーカを表示できます。

1 [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD MARKER] → [SAFETY MARKER] で、枠の種類を選択する。

- [OFF] を選択すると、セーフティーゾーンマーカを表示しません。

枠の大きさの設定

1 [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD MARKER] → [SAFETY AREA] で、枠の大きさを選択する。

フレームマーカの表示

フレームマーカを表示できます。

1 [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD MARKER] → [FRAME MARKER] で、画角を選択する。

- [OFF] を選択すると、フレームマーカを表示しません。

表示色の設定

1 [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD MARKER] → [FRAME COLOR] で、表示色を選択する。

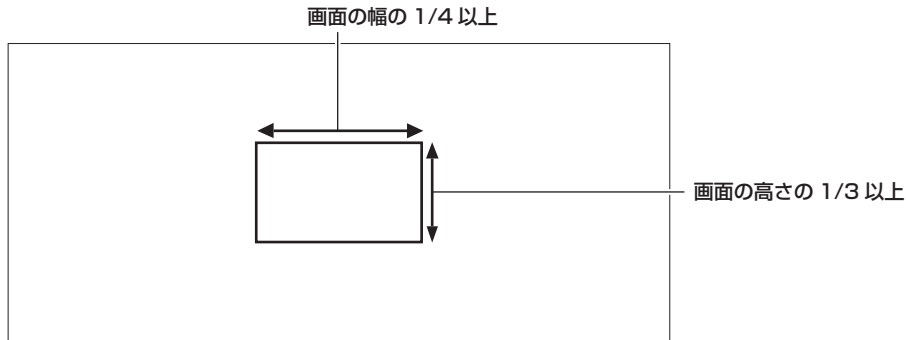
NOTE

- マーカは、記録できません。
- フォーカスアシスト機能の拡大表示機能とフォーカススクエア表示を有効に設定しているとき、カラーバーの表示中は、マーカは表示されません。
- [LCD MARKER] を割り当てた USER ボタンを押すと、一時的にマーカの表示 / 非表示を切り替えることができます。
- [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [SDI OUT] → [MARKER DISP] → [ON] に設定し、[SDI/HDMI MARKER] を設定することで、〈SDI OUT〉端子からの出力映像にもマーカを表示できます。同様に、[OUTPUT SETTINGS] メニュー → [HDMI OUT] → [MARKER DISP] → [ON] に設定することで、〈HDMI〉端子からの出力映像にもマーカを表示できます。

ワンプッシュオートフォーカス機能

ワンプッシュオートフォーカス機能は、自動的にフォーカスを合わせる機能です。

フォーカスエリアは画面の高さの 1/3、幅の 1/4 です。



■ USER ボタンに [ONE PUSH AF] を割り当てる

任意の USER ボタンで、ワンプッシュオートフォーカス機能を使用できるように設定します。

1 [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [USER SWITCHES] → [USER 1] ~ [USER 9] → [ONE PUSH AF] を選択する。

- 工場出荷時、[ONE PUSH AF] は 〈USER 1〉 ボタンに割り当てられています。

■ ワンプッシュオートフォーカス機能を使用する

1 レンズにあるフォーカススイッチを AF に設定する。

2 [ONE PUSH AF] を割り当てた USER ボタンを押す。

NOTE

- ワンプッシュオートフォーカス機能は、オートフォーカスに対応したレンズを取り付けている場合のみ動作します。
- 次の場合、ワンプッシュオートフォーカス機能は動作しません。
 - [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [COLOR SETTINGS] → [MAIN] が [V-Log] 以外に設定されていて、EXPOSURE INDEX (ゲイン) が [12800 ISO]、または [20dB] より大きい値に設定されているとき

フォーカスアシスト機能

フォーカスアシスト機能は、フォーカスを合わせやすくするための機能です。

液晶モニターの撮影映像を拡大表示したり、フォーカスが合っている部分を視覚的に際立たせたりすることができます。

また、アイリスの開口径を動かすことで、映像の被写界深度を浅くし、フォーカスを合わせやすくすることもできます。

フォーカスアシスト機能は、液晶モニターにのみ表示されます。

拡大表示機能

撮影映像の中央部分を拡大表示して、フォーカスを合わせやすくします。

■ USER ボタンに [EXPAND] を割り当てる

任意の USER ボタンで、拡大表示機能の有効 / 無効が切り替えられるように設定します。

1 [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [USER SWITCHES] → [USER 1] ~ [USER 9] → [EXPAND] を選択する。

- 工場出荷時、[EXPAND] は〈USER 8〉ボタンに割り当てられています。

■ 拡大表示機能を使用する

1 [EXPAND] を割り当てた USER ボタンを押す。

再度、USER ボタンを押すと通常表示に戻ります。

拡大表示機能のモードの設定

1 [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD FOCUS ASSIST] → [EXPAND MODE] で、拡大表示機能のモードを選択する。

[10SEC]：10 秒経過後に拡大表示機能を無効にします。

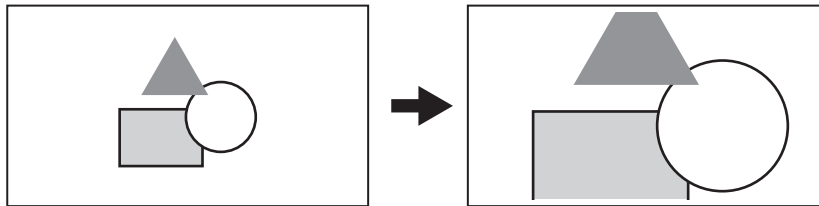
[HOLD]：再度 [EXPAND] が割り当てられた USER ボタンを押すまで、拡大表示機能を有効にします。

[UNTIL REC]：記録動作に入るまで、拡大表示機能を有効にします。

拡大率の設定

1 [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD FOCUS ASSIST] → [EXPAND VALUE] で、拡大率を選択する。

- 拡大率は、[x2]、[x3]、[x4] から選択できます。



拡大位置の設定

拡大表示機能を有効に設定しているときに、拡大位置を 9 か所から選択できます。

マルチダイヤルまたはグリップマルチダイヤルの場合：マルチダイヤルを回すと拡大位置が移動します。マルチダイヤルを押すと、センターに戻ります。

液晶モニターをタッチする場合：液晶モニターの上下左右の矢印マーカをタッチすると、拡大位置が移動します。

NOTE

- 拡大表示は、記録できません。
- カラーバーの表示中は、拡大表示されません。
- 拡大表示中は、マーカーなど、一部の表示が一時的に非表示になります。

ピーキング表示 / フォーカススクエア表示

ピーキング表示では、フォーカスが合っている映像の輪郭部分を赤、緑、または白色でふち取ります。

フォーカススクエア表示では、フォーカスが合っている度合いを四角の大きさで表示します。

■ USER ボタンに [PEAK./SQUARES F.A.] を割り当てる

任意の USER ボタンで、ピーキング表示およびフォーカススクエア表示の有効 / 無効が切り替えられるように設定します。

1 [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [USER SWITCHES] → [USER1] ~ [USER9] → [PEAK./SQUARES F.A.] を選択する。

- 工場出荷時、[PEAK./SQUARES F.A.] は〈USER 2〉ボタンに割り当てられています。

■ ピーキング表示 / フォーカススクエア表示を表示する

1 [PEAK./SQUARES F.A.] を割り当てた USER ボタンを押す。

再度、USER ボタンを押すと通常表示に戻ります。

- [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD FOCUS ASSIST] → [PEAK./SQUARES MODE] → [PEAK./SQUARES] に設定しているときは、USER ボタンを押すごとに表示が切り替えられます。

ピーキング表示 / フォーカススクエア表示の設定

1 [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD FOCUS ASSIST] → [PEAK./SQUARES MODE] で、表示の種類を選択する。

[PEAKING]：ピーキング表示を有効にします。

[SQUARES]：フォーカススクエア表示を有効にします。

[PEAK./SQUARES]：ピーキング表示とフォーカススクエア表示を有効にします。[PEAK./SQUARES F.A.] が割り当てられた USER ボタンを押すごとに、ピーキング表示、フォーカススクエア表示、表示なし、の順で切り替わります。

ピーキングレベルの設定

ピーキング表示の強弱を設定します。

1 [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD FOCUS ASSIST] → [PEAKING LEVEL] で、ピーキング表示の強弱を選択する。

- ピーキング表示の強弱は、[LOW]、[MID]、[HIGH] から選択できます。

ピーキング表示の色の設定

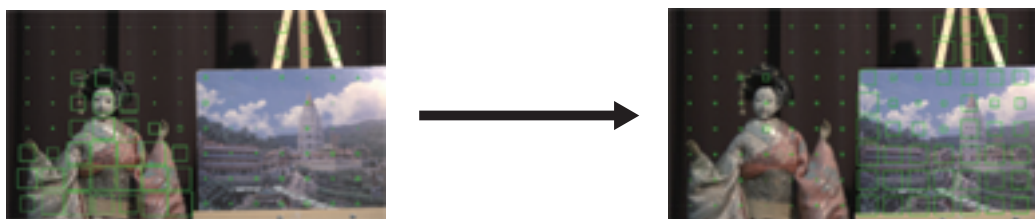
ピーキング表示の色を設定します。

1 [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD FOCUS ASSIST] → [PEAKING COLOR] で、ピーキング表示の色を選択する。

- ピーキング表示の色は、[RED]、[GREEN]、[WHITE] から選択できます。

フォーカススクエア表示の見かた

ピントを合わせたい被写体の領域に表示される四角の大きさが最も大きくなるように、フォーカスを調整してください。



人形にフォーカスが合っているとき

パネルにフォーカスが合っているとき

NOTE

- ・ピーキング表示 / フォーカススクエア表示は、記録できません。
- ・カラーバーの表示中は、ピーキング表示 / フォーカススクエア表示は表示されません。
- ・フォーカススクエア機能が表示中は、マーカーなど、一部の表示が一時的に非表示になります。

モノクロ表示

1 [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD FOCUS ASSIST] → [BLACK & WHITE] → [ON] を選択する。

NOTE

- ・ピーキング表示およびフォーカススクエア表示が機能している間、モノクロ表示を有効にすることもできます。
[OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD FOCUS ASSIST] → [BLACK & WHITE] → [DURING PEAK./SQUARES] を選択します。

オープンアイリスフォーカスアシスト機能

アイリスをオープン側に合わせて被写界深度を浅くすることにより、フォーカスを合わせやすくする機能です。同時にシャッター機能を動作させ、輝度が常に一定になるように保ちます。

絞りは自動で調整されます。

■ USER ボタンに [OPEN IRIS F.A.] を割り当てる

任意の USER ボタンで、オープンアイリスフォーカスアシスト機能が使用できるように設定します。

1 [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [USER SWITCHES] → [USER1] ~ [USER9] → [OPEN IRIS F.A.] を選択する。

- ・工場出荷時、[OPEN IRIS F.A.] は〈USER 9〉ボタンに割り当てられています。

■ オープンアイリスフォーカスアシスト機能を使用する

1 [OPEN IRIS F.A.] を割り当てた USER ボタンを押す。

- ・再度、USER ボタンを押すと通常表示に戻ります。

動作時間の設定

1 [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD FOCUS ASSIST] → [OPEN IRIS MODE] で、動作時間を選択する。

- ・動作時間は、[10SEC]、[30SEC] から選択できます。
- ・設定した時間が経過すると、自動的にオープンアイリスフォーカスアシスト機能は解除されます。
- ・記録を開始すると、オープンアイリスフォーカスアシスト機能は強制的に解除されます。記録映像の先頭付近に、解除途中の映像が含まれることがあります。

電子手ぶれ補正機能

カメラ本体を持って撮影する場合などに電子手ぶれ補正機能を使用すると、手ぶれを軽減させることができます。

電子手ぶれ補正機能の有効 / 無効の切り替え

1 〈E.I.S.〉ボタンを押す。

- 電子手ぶれ補正機能が有効に設定されているときは、液晶モニターに[E.I.S.]が表示されます。
- ・三脚を使用するときは、電子手ぶれ補正機能を無効にすることで、自然な映像を得ることができます。

NOTE

- ・[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SENSOR MODE] が [4/3 CROP&MIX 2.2K] のときは、動作しません。
- ・[CAMERA SETTINGS] メニュー → [FPS] → [VFR SW] が [ON] のときは、24fps 以下の低フレームレートの設定では、フレームレートが低くなるほど手ぶれ補正の効果が弱くなります。
- ・USER ボタンに割り当てた [D.ZOOM] が動作中は、電子手ぶれ補正機能は動作しません。
- ・レンズ側の光学手ぶれ補正が動作中は、本機の電子手ぶれ補正機能は動作しません。
- ・焦点距離が 8 mm ~ 200 mm の範囲外の EF レンズでは、補正の効果が得られなくなります。
- ・[CAMERA SETTINGS] メニュー → [E.I.S.] → [ZOOM POSITION DATA] → [AUTO] に設定にする場合、カメラとレンズの通信による焦点距離情報の取得に対応した EF レンズが必要です。
- ・[CAMERA SETTINGS] メニュー → [E.I.S.] → [ZOOM POSITION DATA] → [MANUAL] に設定にしたとき、[ZOOM POSITION VALUE] で EF レンズの焦点距離と異なる距離に設定すると、電子手ぶれ補正は正しく動作しません。
- ・[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外のときは、動作しません。

ウェーブフォームモニター機能

映像の波形を表示できます。

■ USER ボタンに [WFM] を割り当てる

任意の USER ボタンで、ウェーブフォームモニターの表示 / 非表示が切り替えられるように設定します。

1 [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [USER SWITCHES] → [USER1] ~ [USER9] → [WFM] を選択する。

- 工場出荷時、[WFM] は〈USER 5〉ボタンに割り当てられています。

■ ウェーブフォームモニターを表示する

1 [WFM] を割り当てた USER ボタンを押す。

再度、USER ボタンを押すと通常表示に戻ります。

- [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD EI ASSIST] → [WFM MODE] → [WAVE/VECTOR] に設定しているときは、USER ボタンを押すごとに表示が切り替えられます。

ウェーブフォームモニターの表示の設定

波形とベクトルの表示を切り替えることができます。

1 [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD EI ASSIST] → [WFM MODE] で、ウェーブフォームモニターの表示を選択する。

[WAVE]：波形を表示します。

[VECTOR]：ベクトルを表示します。

[WAVE/VECTOR]：波形とベクトルを表示します。[WFM] が割り当てられた USER ボタンを押すごとに、波形、ベクトル、表示なし、の順で表示が切り替わります。

- ウェーブフォームモニターは、液晶モニターにのみ表示されます。
- ウェーブフォームモニターの表示位置は、液晶モニターの右下です。

透過率の設定

ウェーブフォームモニターの透過率を設定できます。

1 [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD EI ASSIST] → [WFM TRANSPARENCY] で、透過率を選択する。

- 透過率は、[0%]、[25%]、[50%] から選択できます。

NOTE

- ウェーブフォームモニターは、記録できません。
- フォーカスアシスト機能の拡大表示中とフォーカススクエア表示中は表示されません。
- 画質調整を行う一部のメニューを設定しているときは、自動でウェーブフォームモニターが表示されます。

デジタルズーム機能

■ USER ボタンに [D.ZOOM] を割り当てる

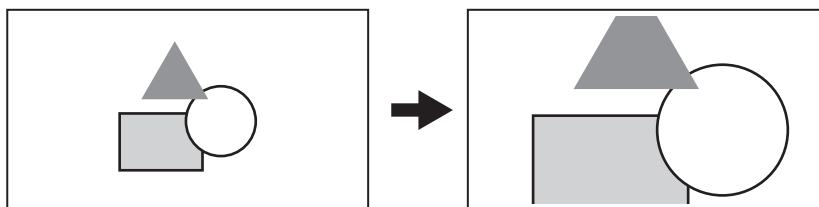
任意の USER ボタンで、デジタルズーム機能の有効 / 無効が切り替えられるように設定します。

1 [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [USER SWITCHES] → [USER1] ~ [USER9] → [D.ZOOM] を選択する。

■ デジタルズーム機能を使用する

1 [D.ZOOM] を割り当てた USER ボタンを押す。

再度、USER ボタンを押すと通常表示に戻ります。



NOTE

- 拡大率は 1.4 倍固定です。
- 5.7K センサーの中央にある 4K 画素を使用するので、一般的な画素補間によるデジタルズーム機能に比べて、高品位な映像が得られます。
- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SENSOR MODE] が [4/3 CROP&MIX 2.2K] のときは、動作しません。
- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外のときは、動作しません。

水準器

液晶モニターに、本機の水平方向、垂直方向の傾きを示す水準器を表示できます。

本機が傾いている状態では、水準器の線はオレンジ色で表示されます。本機の傾きがなくなると、水準器の線はオレンジ色、水色、白色の順に変わります。水平方向に約 30°、垂直方向に 30° まで表示します。

1 [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD LEVEL GAUGE] → [LEVEL GAUGE] → [ON] を選択する。

NOTE

- ・水準器の表示は、記録できません。
- ・フォーカスアシスト機能の拡大表示機能を有効に設定しているときと、カラーバーの表示中は、水準器は表示されません。
- ・本機を動かしている間は、水準器が正しく表示できないことがあります。
- ・本機を大きく上に向けたり下に向けたりして撮影すると、水準器が正しく表示できないことがあります。
- ・[LEVEL GAUGE] を割り当てた USER ボタンを押すと、水準器の表示 / 非表示を切り替えることができます。
- ・[LEVEL GAUGE RESET] を割り当てた USER ボタンを押すと、現在の水平方向と垂直方向を水準器の基準値に設定できます。設定した値に戻すには、[OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD LEVEL GAUGE] → [LEVEL GAUGE RESET] で設定します。

カラーバー

カラーバーを表示できます。テレビや外部モニターの画質調整に便利です。

■ USER ボタンに [COLOR BARS] を割り当てる

任意の USER ボタンで、カラーバーの表示 / 非表示が切り替えられるように設定します。

1 [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [USER SWITCHES] → [USER 1] ~ [USER 9] → [COLOR BARS] を選択する。

- ・工場出荷時、[COLOR BARS] は〈USER 5〉ボタンに割り当てられています。

■ カラーバーを表示する**1 [COLOR BARS] を割り当てた USER ボタンを押す。**

再度、USER ボタンを押すと通常表示に戻ります。

NOTE

- ・[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外のときは、動作しません。

カラーバーの種類の設定**1 [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [COLOR BARS] → [COLOR BARS TYPE] で、カラーバーの種類を選択する。**

- ・カラーバーの種類は、[SMPTE]、[FULL] から選択できます。

NOTE

- ・出力解像度によっては、にじみが発生します。

音声テスト信号の出力の設定

カラーバーを表示したときに、音声テスト信号（定格レベル 1 kHz のトーン信号）を出力するかどうかを設定できます。

1 [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [COLOR BARS] → [TEST TONE] → [ON] を選択する。

音声入力

本機は 2 チャンネルの音声を記録できます。

それぞれのチャンネルに入力する音声を、内蔵マイク、外部マイク、または接続したオーディオ機器に切り替えることができます。

音声入力の切り替え

■ 音声記録方式について

圧縮方式などの音声記録方式は、記録モードによって異なります。

記録モード	記録方式	サンプリングレート/ビット
MOV	リニア PCM (LPCM)	48 kHz/24 bit
AVCHD	Dolby Audio™	48 kHz/16 bit

■ 音声入力信号の選択

記録する入力信号は、[AUDIO SETTINGS] メニュー → [AUDIO CH SETTINGS] → [CH1 IN SELECT] / [CH2 IN SELECT] の設定によって異なります。

項目		記録する入力信号	
[CH1 IN SELECT]	[CH2 IN SELECT]	音声チャンネル 1	音声チャンネル 2
[INT (L)]	[INT (R)]	内蔵マイク (L)	内蔵マイク (R)
	[INPUT1]	内蔵マイク (L)	<AUDIO INPUT 1> 端子
	[INPUT2]	内蔵マイク (L)	<AUDIO INPUT 2> 端子
[INPUT1]	[INT (R)]	<AUDIO INPUT 1> 端子	内蔵マイク (R)
	[INPUT1]	<AUDIO INPUT 1> 端子	<AUDIO INPUT 1> 端子
	[INPUT2]	<AUDIO INPUT 1> 端子	<AUDIO INPUT 2> 端子

内蔵マイクを使用する場合

1 [AUDIO SETTINGS] メニュー → [AUDIO CH SETTINGS] → [CH1 IN SELECT] → [INT (L)] を選択する。

2 [AUDIO SETTINGS] メニュー → [AUDIO CH SETTINGS] → [CH2 IN SELECT] → [INT (R)] を選択する。

NOTE

・マイクの風切り音を低減するには、[AUDIO SETTINGS] メニュー → [AUDIO CH SETTINGS] → [CH1 MIC LOWCUT] / [CH2 MIC LOWCUT] → [ON] を選択します。

オーディオ機器や外部マイクを使用する場合

1 <AUDIO INPUT 1> / <AUDIO INPUT 2> 端子に、オーディオ機器または外部マイクを接続する。

2 [AUDIO SETTINGS] メニュー → [AUDIO INPUT] の各項目を設定する。

接続機器	[AUDIO INPUT]			
	[INPUT1 LINE/MIC SEL] / [INPUT2 LINE/MIC SEL]	[INPUT1 MIC POWER] / [INPUT2 MIC POWER]	[INPUT1 MIC LEVEL] / [INPUT2 MIC LEVEL] *1	[INPUT1 LINE LEVEL] / [INPUT2 LINE LEVEL] *2
オーディオ機器	[LINE]	無効	無効	[4dB]、[0dB]
外部マイク	[MIC]	[OFF]	[-40dB]、[-50dB]、[-60dB]	無効
外部マイク (電源供給あり)	[MIC]	[ON]	[-40dB]、[-50dB]、[-60dB]	無効

*1 工場出荷値：[-60dB]

*2 工場出荷値：[4dB]

NOTE

・超指向性マイク AG-MC200G (別売品) をご使用の場合は、[INPUT1 MIC LEVEL] / [INPUT2 MIC LEVEL] を [-50dB] に設定してください。

音声の記録レベルの調整

音声の記録レベルの調整方法は、手動調整と自動調整があります。

記録レベルの自動調整

1 <CH1> / <CH2> スイッチを <AUTO> にする。

- ・音声チャンネル 1 と音声チャンネル 2 は、個別に設定できます。
- ・<CH1> / <CH2> スイッチを <AUTO> にした場合、次の設定が無効になります。
 - <AUDIO LEVEL CH1> / <AUDIO LEVEL CH2> つまみによる記録レベルの調整
 - [AUDIO SETTINGS] メニュー → [AUDIO CH SETTINGS] → [CH1 LIMITER] / [CH2 LIMITER] の設定

記録レベルの手動調整

1 〈CH1〉 / 〈CH2〉 スイッチを 〈MANU〉 にする。

2 〈AUDIO LEVEL CH1〉 / 〈AUDIO LEVEL CH2〉 つまみで、記録レベルを調整する。

- 音声の入力レベルが 0 dB を超えると、HOME 画面のオーディオレベルメーターで 0 dB を超えるレベル表示が赤色になります。これは、入力音量が過大であることを示しています。
音声レベルの最大値が 0 dB を超えないように調整してください。

NOTE

- 〈CH1〉 / 〈CH2〉 スイッチを 〈MANU〉 にすると、[AUDIO SETTINGS] メニュー → [AUDIO CH SETTINGS] → [CH1 LIMITER] / [CH2 LIMITER] の設定が有効になります。

記録基準レベル

記録基準レベルを設定できます。

1 [AUDIO SETTINGS] メニュー → [AUDIO CH SETTINGS] → [HEAD ROOM] → [18dB] / [20dB] を選択する。

音声の入力レベルの確認

HOME 画面で、音声の入力レベルを確認できます。



音声のモニター

本機で記録した音声は、スピーカーやヘッドホンで聴くことができます。

撮影時は、スピーカーから音声は出力しません。

出力音声の設定

ヘッドホン端子から出力する音声チャンネルと形式を設定します。

1 [AUDIO SETTINGS] メニュー → [AUDIO OUTPUT] → [MONITOR OUT] を選択する。

2 音声の種類を選択する。

[CH1]：音声チャンネル 1 の信号を、モノラルで出力します。

[CH2]：音声チャンネル 2 の信号を、モノラルで出力します。

[STEREO]：音声チャンネル 1 と音声チャンネル 2 の信号を、ステレオで出力します。

[MIX]：音声チャンネル 1 と音声チャンネル 2 の信号をミックスして、モノラルで出力します。

音声の遅延設定

ヘッドホン端子からの音声を、モニター出力に合わせて遅延できます。

1 [AUDIO SETTINGS] メニュー → [AUDIO OUTPUT] → [MONITOR DELAY] → [LIVE] / [RECORDING] を選択する。

[LIVE]：音声を遅延させません。

[RECORDING]：モニター出力に合わせて音声を遅延させます。

ダイレクトボリュームコントロール機能

あらかじめ USER ボタンとして使用するマルチダイヤルに [MONITOR VOL] を割り当てておくと、マルチダイヤルで音声レベルが調整できます。

- USER ボタンとして使用するときは、〈WB〉 / 〈USER〉 / 〈ISO/dB〉 スイッチを 〈USER〉 に合わせてください。

■ マルチダイヤルに [MONITOR VOL] を割り当てる

1 [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [USER SWITCHES] → [USER TOGGLE] → [MONITOR VOL] を選択する。

■ ダイレクトボリュームコントロール機能を使用する

1 〈WB〉 / 〈USER〉 / 〈ISO/dB〉 スイッチを 〈USER〉 に合わせる。

2 マルチダイヤルを操作し、音声レベルを調整する。**音声入力の設定確認**

[AUDIO] 画面で、音声入力の設定を確認できます。

DIAGNOSTICS	SWITCHES	VERSION
CH1 SELECT : INPUT1 MIC +48V -60dB LOWCUT:OFF		
CH2 SELECT : INPUT2 LINE 4dB		
CH1 LEVEL : MANUAL LIMITER:OFF		
CH2 LEVEL : AUTO		
HEAD ROOM : 20dB		
MONITOR : STEREO DELAY:RECORDING VOL:70		
NETWORK	AUDIO	MEDIA

1 HOME 画面を表示中に 〈INFO〉 ボタンを押す。

INFO 画面が表示されます。

2 [AUDIO] を選択する。

[AUDIO] 画面が表示され、[AUDIO SETTINGS] メニューの設定内容が一覧で確認できます。

第6章 再生

1回の撮影によって記録される画像、音声、およびメタデータなどの付加情報を含むデータはクリップとして保存されます。本機ではクリップの再生、コピーなどができます。

サムネール操作について

サムネール操作の概要

クリップとは、1回の撮影によって記録される画像、音声、およびメタデータなどの付加情報を含む、ひとかたまりのデータのことです。本機は、液晶モニターに表示されるクリップのサムネールを確認しながら、次の操作ができます。

- クリップの再生、削除、プロテクト、コピー（AVCHD で記録されたクリップのみ可能）
マルチダイヤルまたはグリッパマルチダイヤルで操作する方法と、液晶モニターをタッチして操作する方法があります。

NOTE

- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外のときは、サムネール画面は表示されません。

サムネール画面

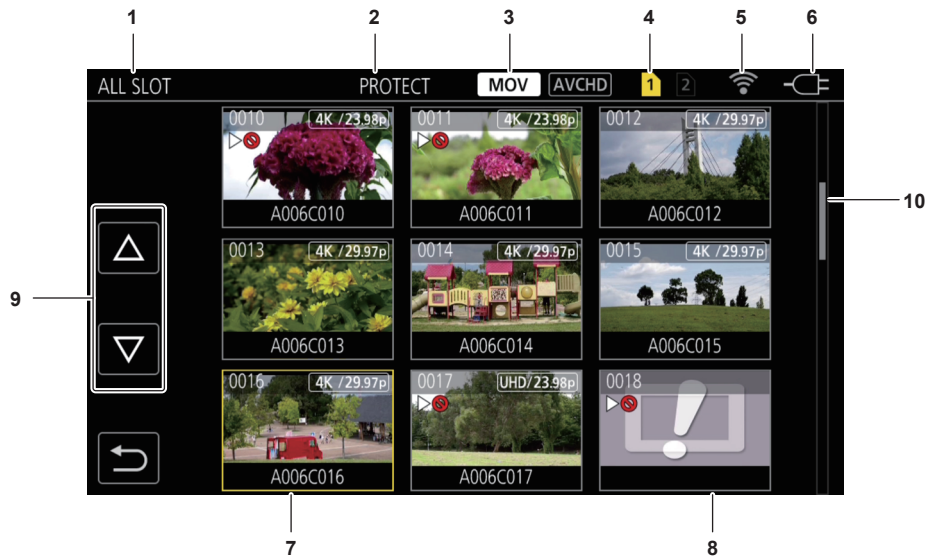
VIEW 画面または HOME 画面を表示中に〈THUMBNAIL〉ボタンを押すと、サムネール画面が表示されます。

再度〈THUMBNAIL〉ボタンを押すと、VIEW 画面が表示されます。

HOME 画面に戻る場合は、〈HOME〉ボタンを押してください。

サムネール画面では、[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [MAIN CODEC] で選択された記録コーデック（MOV または AVCHD）のクリップが表示されます。

また、サムネール画面を表示中に〈MENU〉ボタンを押すと、サムネール画面のメニュー操作ができます。



1 クリップの状態表示

[ALL SLOT]：各カードスロットの全てのSDカードに記録されたクリップを表示しています。VIEW画面またはHOME画面からサムネール画面を表示すると、[ALL SLOT]で表示されます。

[SLOT1]：カードスロット1のSDカードに記録されたクリップのみを表示しています。

[SLOT2]：カードスロット2のSDカードに記録されたクリップのみを表示しています。

[SLOT1→SLOT2]：カードスロット1のSDカードからカードスロット2のSDカードにコピーするときに、表示します。

[SLOT2→SLOT1]：カードスロット2のSDカードからカードスロット1のSDカードにコピーするときに、表示します。

2 機能表示

コピーや削除、プロテクトなどの動作中に表示します。

3 記録モード

[MOV]：記録コーデックにMOVを選択しているときに表示します。

[AVCHD]：記録コーデックにAVCHDを選択しているときに表示します。

[AVCHD]：記録コーデックにMOVを選択し、全てのSDカードに1クリップでもAVCHDクリップがあるときに表示します。AVCHDクリップがないときは、表示しません。

[MOV]：記録コーデックにAVCHDを選択し、全てのSDカードに1クリップでもMOVクリップがあるときに表示します。MOVクリップがないときは、表示しません。

4 メディア状態表示

カーソル位置のクリップが記録されているSDカードのカードスロットの番号を、黄色で表示します。

5 ワイヤレスLANの接続状態表示

ワイヤレスLANの接続状態を表示します。

(表示なし)：ワイヤレスLANで接続していません。[NETWORK SETTINGS]メニュー → [NETWORK SEL] → [OFF]に設定されています。

📶：ROPが接続されていない状態です。

📶：ROPが接続されている状態です。

6 電源状態表示

🔋：バッテリーで駆動中に、バッテリー残量を表示します。

🔌：ACアダプターで駆動中に表示します。

7 カーソル

8 再生不可クリップ

クリップが規格違反の場合など、本機で再生できないときに表示します。

9 ページ切り替えボタン

サムネール画面のページを切り替えます。

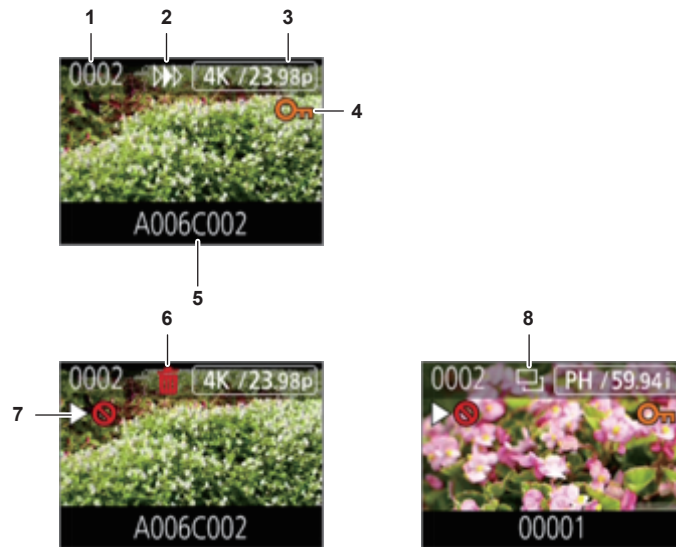
[△]：前ページへ

[▽]：次ページへ

10 スクロールバー

現在表示しているサムネールがサムネール全体のどの辺りかを示します。

サムネール画面のクリップの表示



1 サムネール番号

サムネール番号を [0001] ~ [9999] で表示します。
通常は記録した順に、クリップに割り当てた番号が表示されます。

2 レジューム再生状態

3 記録画素数、システム周波数

4 クリップのプロテクト状態

クリップがプロテクトされているときに表示します。

5 クリップ名

クリップのファイル名を、先頭から 8 桁の英数字で表示します。

6 削除の選択状態

7 再生不可クリップ

クリップが、システム周波数と異なるなど本機で再生できないときに表示します。

8 コピーの選択状態

クリップが選択されているときに表示します。

クリップインフォメーションの表示

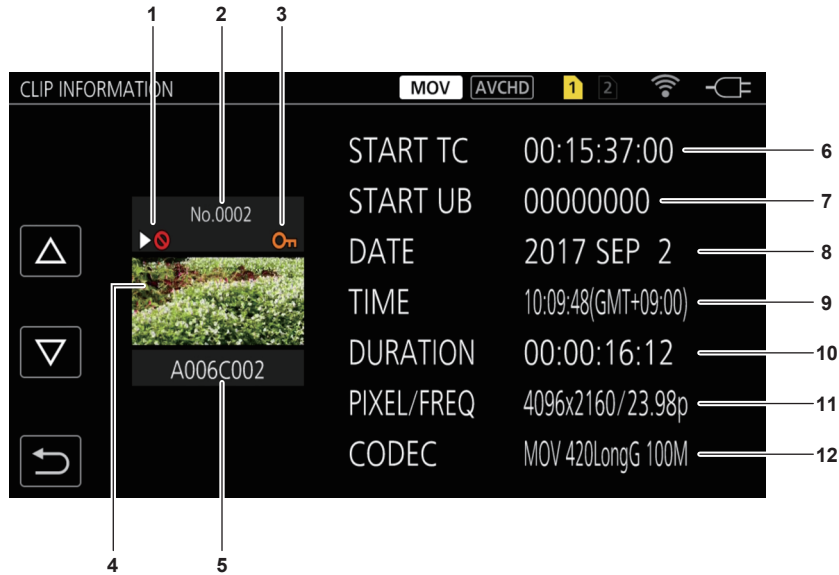
カーソル位置にあるクリップの情報を表示します。

1 黄色のカーソルを、クリップインフォメーションを表示させたいクリップに移動させる。

2 〈INFO〉 ボタンを押す。

クリップインフォメーションが表示されます。

■ クリップインフォメーション



- 1 再生不可クリップ
クリップが、システム周波数と異なるなど本機で再生できないときに表示します。
- 2 サムネール番号
- 3 クリップのプロテクト状態
クリップがプロテクトされているときに表示します。
- 4 サムネール画像
- 5 クリップ名
- 6 [START TC]
記録開始時のタイムコードの値を表示します。
- 7 [START UB]
記録開始時のユーザーズビットの値を表示します。
- 8 [DATE]
記録した日付を表示します。
- 9 [TIME]
記録開始時の時刻を表示します。
- 10 [DURATION]
クリップの長さを表示します。
- 11 [PIXEL/FREQ]
クリップの記録フォーマットを表示します。
- 12 [CODEC]
クリップの記録コーデックを表示します。

クリップのコピー

SD カード間でクリップをコピーできます。
AVCHD で記録されたクリップのみコピーできます。

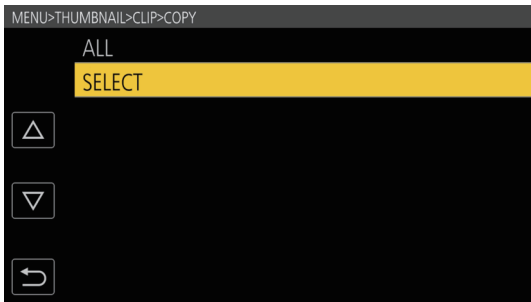


図 1

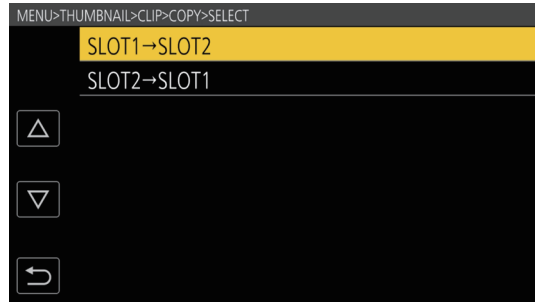


図 2



図 3



図 4

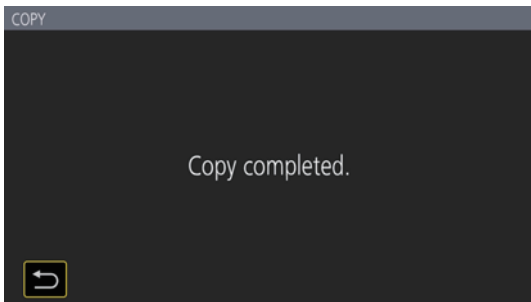





図 5

- 1 <THUMBNAIL> ボタンを押す。
サムネール画面が表示されます。
- 2 サムネール画面を表示中に、<MENU> ボタンを押す。
メニューが表示されます。
- 3 [THUMBNAIL] メニュー → [CLIP] → [COPY] を選択する。
- 4 [SELECT] を選択する。(図 1)
 - [ALL] を選択すると、SD カード間で全てのクリップをコピーできます。
- 5 コピー先のカードスロットを選択する。(図 2)

サムネール画面にコピー元の SD カードのクリップが表示されます。(図 3)

 - [SLOT1→SLOT2] : カードスロット 1 の SD カードからカードスロット 2 の SD カードに、クリップをコピーできます。
 - [SLOT2→SLOT1] : カードスロット 2 の SD カードからカードスロット 1 の SD カードに、クリップをコピーできます。
- 6 サムネール画面で、コピーするクリップを選択する。
選択されたクリップには、が表示されます。
- 7 を選択する。(図 4)
 - マルチダイヤルを長押ししても選択できます。
- 8 確認メッセージが表示されたら [SET] を選択する。
進捗バーが表示され、クリップのコピーが開始されます。
 - 途中でコピーを中止する場合は、[CANCEL] を選択します。
- 9 完了メッセージが表示されたら を選択する。(図 5)

NOTE

- ・記録コーデックが MOV のクリップはコピーできません。
- ・選択されたクリップ容量がコピー先のカード残容量よりも多いときは、コピーできません。
- ・コピー先のカードが書き込み禁止状態になっているときは、コピーできません。
- ・クリップ数の上限数を超えるとときは、コピーできません。
- ・プレイリストの上限を超えるとときは、コピーできません。

クリップの削除

クリップを削除します。

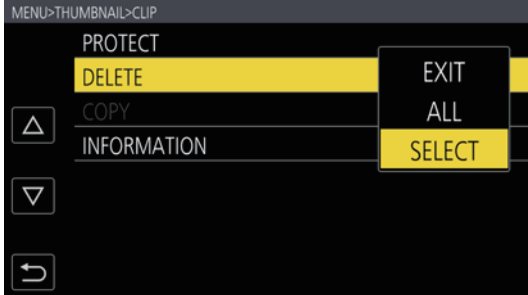




図 1



図 2



図 3

- 1 〈THUMBNAIL〉 ボタンを押す。
サムネール画面が表示されます。
- 2 サムネール画面を表示中に、〈MENU〉 ボタンを押す。
メニューが表示されます。
- 3 [THUMBNAIL] メニュー → [CLIP] → [DELETE] を選択する。
- 4 [SELECT] を選択する。(図 1)
サムネール画面が表示されます。(図 2)
 - ・ [ALL] を選択すると、サムネール画面に表示されている全てのクリップが削除されます。
サムネール画面に表示されていないクリップは削除されません。
- 5 サムネール画面で、削除するクリップを選択する。
選択されたクリップには、が表示されます。
- 6 [DEL] を選択する。(図 3)
 - ・ マルチダイヤルを長押ししても選択できます。
- 7 確認メッセージが表示されたら [SET] を選択する。
進捗バーが表示され、クリップの削除が開始されます。
 - ・ 途中で中止する場合は、[CANCEL] を選択します。
- 8 完了メッセージが表示されたら  を選択する。

NOTE

- ・プロテクトされたクリップは削除できません。
- ・削除するクリップがあるカードが書き込み禁止状態になっているときは、削除できません。

クリップのプロテクト

クリップをプロテクトできます。

- 1 〈THUMBNAIL〉 ボタンを押す。
サムネール画面が表示されます。

2 サムネール画面を表示中に、〈MENU〉ボタンを押す。

メニューが表示されます。

3 [THUMBNAIL] メニュー → [CLIP] → [PROTECT] を選択する。

4 [SELECT] を選択する。

サムネール画面が表示されます。

5 サムネール画面で、プロテクトするクリップを選択する。

選択されたクリップには、**On**が表示されます。

- プロテクトされたクリップを選択すると、プロテクトが解除されます。

NOTE

- プロテクトするクリップがあるカードが書き込み禁止状態になっているときは、プロテクトできません。

クリップの修復

次の場合は、条件によって、エラーメッセージが表示され、クリップの修復が必要なときがあります。エラー内容によっては、修復に時間がかかることがあります。

- カード 1 アクセスランプまたはカード 2 アクセスランプが点滅中に、点滅しているスロットの SD カードを取り出した場合
- 記録中や記録終了処理中にバッテリーや AC アダプターを取り外して電源が切れた場合

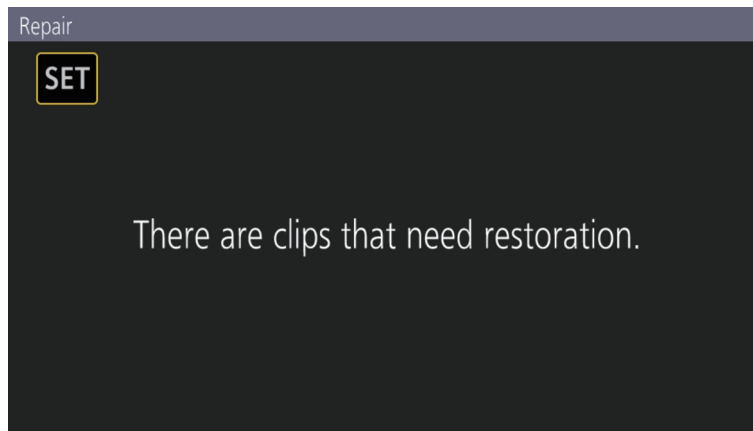


図 1

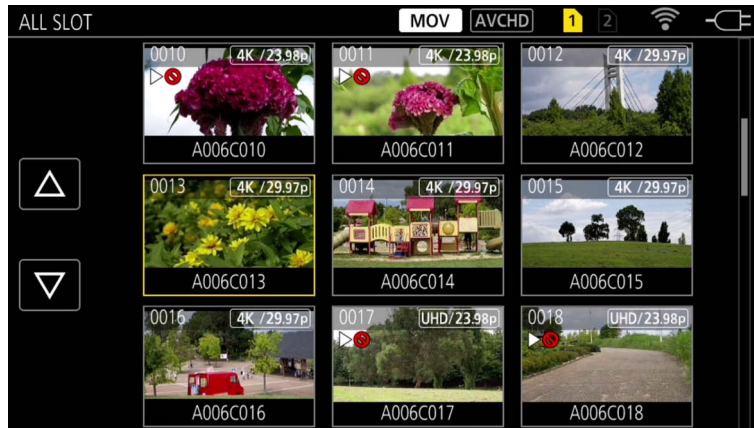
1 エラーメッセージ画面で [SET] を選択する。(図 1)

- 修復完了後は、確認メッセージで **OK** を選択してください。元の画面に戻ります。
- サムネール表示中に異常な管理情報が検出されると、クリップに **!** が表示されます。

NOTE

- カード 1 アクセスランプ / カード 2 アクセスランプがオレンジ色に点滅しているときに、点滅しているスロットの SD カードを取り出したり、バッテリーや AC アダプターを取り外したりしないでください。SD カードの故障の原因になります。
- 十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプターを使用してください。
- データの状態によっては、完全には修復できないことがあります。
- クリップを修復するには、一定時間以上記録されている必要があります。特に、次の場合は、記録されるフレーム数が少ないため、クリップを修復できないことがあります。
 - バリアブルフレームレート記録機能を有効にし、システム周波数よりも低いフレームレートに設定しているとき
 - インターバル記録機能を有効にしているとき
- 修復に失敗すると、電源が切れる前に撮影したクリップが再生できなくなります。また、次から記録ができなくなることがあります。
- ほかの機器で記録されたデータを修復すると、本機やほかの機器で再生できなくなることがあります。
- 修復に失敗したときは、本機の電源を切ってしばらくしてから電源を入れ直してください。何度も繰り返し修復に失敗するときは、本機でフォーマットしてください。フォーマットすると全てのデータが消去され、元に戻すことはできません。
- サムネール情報が修復されると、サムネールの表示が遅くなる場合があります。

クリップの再生



- 1 [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [FREQUENCY] / [MAIN PIXEL] で、再生したいシステム周波数と記録画素数を選択する。
- 2 [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [MAIN CODEC] で、再生したいコーデック (MOV または AVCHD) を選択する。
- 3 <THUMBNAIL> ボタンを押す。
サムネール画面が表示されます。
- 4 サムネール画面を表示中に、<MENU> ボタンを押す。
メニューが表示されます。
- 5 [THUMBNAIL] メニュー → [PLAYBACK] → [SLOT SEL] で、再生したい SD カードのカードスロットを選択する。
[ALL SLOT]: 各カードスロットの全ての SD カードに記録されたクリップを表示します。カードスロット 1 のクリップ、カードスロット 2 のクリップの順に表示されます。
[SLOT1]: カードスロット 1 の SD カードに記録されたクリップのみを表示します。
[SLOT2]: カードスロット 2 の SD カードに記録されたクリップのみを表示します。
- 6 再生したいクリップを選択する。(図 1)
 - 再生できないクリップには、▶⊗が表示されます。
 - ▶⊗が表示されたクリップを再生したい場合は、クリップインフォメーションでクリップの情報を確認してから、再度、最初から操作してください。

操作アイコンからの再生



ダイレクト再生バー

再生操作	操作手順
再生 / 一時停止	▶/ をタッチします。
早戻し再生	◀◀ をタッチします。2 回タッチすると、速度が速くなります。
早送り再生	▶▶ をタッチします。2 回タッチすると、速度が速くなります。
停止 (サムネール画面に戻る)	■ をタッチします。
スキップ再生 (クリップの頭出し)	再生中に液晶モニターをタッチし、右から左 (左から右) にスライドします。

第 6 章 再生 — サムネール操作について

再生操作	操作手順
スロー再生	<p>一時停止中に▶▶を長くタッチします。 (◀▶▶は逆スロー再生) タッチしている間、連続コマ送りでスロー再生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶▶/▶▶をタッチすると、通常再生に戻ります。 逆スロー再生は、コマ送り間隔と 1 コマあたりの表示時間がクリップの種類により異なります。
コマ送り再生	<p>一時停止中に▶▶をタッチします。 (◀▶▶は逆コマ送り再生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶▶/▶▶をタッチすると、通常再生に戻ります。 逆コマ送り再生は、コマ送り間隔がクリップの種類により変わります。
ダイレクト再生	<p>ダイレクト再生バーをタッチ、またはタッチしながらスライドします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 操作中は再生画像が一時停止します。指を離すと、再生が開始されます。

NOTE

- ・ファイルサイズが大きなクリップは、本機の操作や一部動作が遅くなることがあります。
- ・SD カードの中にクリップ数が多いときは、本機の操作や一部動作が遅くなることがあります。
- ・[THUMBNAIL] メニュー → [PLAYBACK] → [SLOT SEL] → [ALL SLOT] に設定し、全ての SD カードのクリップを表示しているときは、スロットの切り替わりで再生が一度停止します。2 枚の SD カードにまたがった再生はできません。
- ・再生中に SD カードを抜くと、再生が停止します。

便利な再生機能

レジューム再生

クリップの再生を途中で停止した場合、次回再生時に、再生を停止した位置から再生を開始します。

1 [THUMBNAIL] メニュー → [PLAYBACK] → [RESUME PLAY] → [ON] を選択する。

クリップの再生を途中で停止したときは、サムネール画面のクリップに [▶▶] が表示されます。


NOTE

- 次の場合は、続きからの再生が解除されます。
 - 電源を切る。
 - 〈THUMBNAIL〉 ボタンを押してサムネール画面を解除する。
 - [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] を変更する。

写真記録機能

記録映像の 1 コマを写真として記録できます。

記録する写真の画素数は、記録映像の画素数と同じです。

- 1 再生中に写真として記録したい場面で  をタッチ、またはマルチダイヤルを押して選択する。
再生している SD カードに写真を記録します。

NOTE

- 写真を記録すると、再生は一時停止状態になります。
- 記録した写真は、本機でサムネール表示、再生、コピー、削除できません。
- SD カードの記録残量がない場合など写真を記録できないときは、[INVALID] が表示されます。

第7章 出力と画面表示

出力映像と液晶モニターに表示される画面について説明します。

出力フォーマット

[SYSTEM SETTINGS]メニュー→[SYSTEM MODE]→[FREQUENCY]/[MAIN PIXEL]の設定によって、出力されるフォーマットが異なります。

〈SDI OUT〉端子から出力できるフォーマット

次の設定の組み合わせで、〈SDI OUT〉端子から出力可能なフォーマットが異なります。

- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [FREQUENCY]
- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [MAIN PIXEL]
- [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [SDI OUT] → [SIGNAL SEL]
- [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [SDI OUT] → [OUT FORMAT]

[FREQUENCY]	項目		出力フォーマット [OUT FORMAT]	
	[MAIN PIXEL]	[SIGNAL SEL]		
[59.94p] [50.00p]	[4096×2160]	[SDI]	(4K 出力なし) 1920×1080p*1 1920×1080i*1 (工場出荷値)	
		[LCD (1080p)]	1920×1080p*2	
		[LCD (1080i)]	1920×1080i*2	
	[3840×2160]	[SDI]	(4K 出力なし) 1920×1080p 1920×1080i (工場出荷値)	
		[LCD (1080p)]	1920×1080p*2	
		[LCD (1080i)]	1920×1080i*2	
	[2048×1080]	[SDI]	1920×1080p*1 1920×1080i*1 (工場出荷値)	
		[LCD (1080p)]	1920×1080p*2	
		[LCD (1080i)]	1920×1080i*2	
	[1920×1080]	[SDI]	1920×1080p 1920×1080i (工場出荷値)	
		[LCD (1080p)]	1920×1080p*2	
		[LCD (1080i)]	1920×1080i*2	
	[1280×720]	[SDI]	1280×720p (工場出荷値)	
		[LCD (1080p)]	1920×1080p*2	
		[LCD (1080i)]	1920×1080i*2	
[59.94i] [50.00i]	[1920×1080]	[SDI]	1920×1080i (工場出荷値)	
		[LCD (1080p)]	1920×1080p*2	
		[LCD (1080i)]	1920×1080i*2	
[29.97p] [23.98p]	[4096×2160]	[SDI]	4096×2160p 1920×1080p*1 1920×1080PsF*1 (工場出荷値)	
		[LCD (1080p)]	1920×1080 over 59.94p*2	
		[LCD (1080i)]	1920×1080 over 59.94i*2	
	[3840×2160]	[SDI]	3840×2160p 1920×1080p 1920×1080PsF (工場出荷値)	
		[LCD (1080p)]	1920×1080 over 59.94p*2	
		[LCD (1080i)]	1920×1080 over 59.94i*2	
	[2048×1080]	[SDI]	1920×1080p*1 1920×1080PsF*1 (工場出荷値)	
		[LCD (1080p)]	1920×1080 over 59.94p*2	
		[LCD (1080i)]	1920×1080 over 59.94i*2	
	[1920×1080]	[SDI]	1920×1080p 1920×1080PsF (工場出荷値)	
		[LCD (1080p)]	1920×1080 over 59.94p*2	
		[LCD (1080i)]	1920×1080 over 59.94i*2	
	[24.00p]	[4096×2160]	[SDI]	4096×2160p 1920×1080p*1 1920×1080PsF*1 (工場出荷値)
			[LCD (1080p)]	1920×1080 over 60p*2
			[LCD (1080i)]	1920×1080 over 60i*2
[2048×1080]		[SDI]	1920×1080p*1 1920×1080PsF*1 (工場出荷値)	
		[LCD (1080p)]	1920×1080 over 60p*2	
		[LCD (1080i)]	1920×1080 over 60i*2	

第 7 章 出力と画面表示 — 出力フォーマット

項目			出力フォーマット [OUT FORMAT]
[FREQUENCY]	[MAIN PIXEL]	[SIGNAL SEL]	
		[LCD (1080i)]	1920×1080 over 60i*2
[25.00p]	[4096×2160]	[SDI]	4096×2160p 1920×1080p*1 1920×1080PsF*1 (工場出荷値)
		[LCD (1080p)]	1920×1080 over 50p*2
		[LCD (1080i)]	1920×1080 over 50i*2
	[3840×2160]	[SDI]	3840×2160p 1920×1080p 1920×1080PsF (工場出荷値)
		[LCD (1080p)]	1920×1080 over 50p*2
		[LCD (1080i)]	1920×1080 over 50i*2
	[2048×1080]	[SDI]	1920×1080p*1 1920×1080PsF*1 (工場出荷値)
		[LCD (1080p)]	1920×1080 over 50p*2
		[LCD (1080i)]	1920×1080 over 50i*2
	[1920×1080]	[SDI]	1920×1080p 1920×1080PsF (工場出荷値)
		[LCD (1080p)]	1920×1080 over 50p*2
		[LCD (1080i)]	1920×1080 over 50i*2

*1 レターボックス表示になります。記録映像に対して多少品位が落ちます。

*2 上下左右に黒帯が付いた液晶モニターと同じ映像になります。フォーカスや EI アシスト表示ができます。4:2:2 (8ビット) 相当になります。

NOTE

- [SIGNAL SEL] が [LCD (1080p)] または [LCD (1080i)] に設定されているとき、[FREQUENCY]、[MAIN PIXEL] の設定にかかわらず出力は次のようになります。
 - [FREQUENCY] が [59.94p] / [59.94i] / [29.97p] / [23.98p] のとき：1920×1080 over 59.94p または 1920×1080 over 59.94i
 - [FREQUENCY] が [50.00p] / [50.00i] / [25.00p] のとき：1920×1080 over 50p または 1920×1080 over 50i
 - [FREQUENCY] が [24.00p] のとき：1920×1080 over 60p または 1920×1080 over 60i
- 2048×1080 出力には対応していません。
- [FREQUENCY]、[MAIN PIXEL] の設定が変わり、[OUT FORMAT] の現在の設定値を取り得ることができなくなったときは、[OUT FORMAT] は工場出荷値に戻ります。
- サムネール画面からの再生時の出力フォーマットは次のようになります。
 - 再生クリップの記録解像度が [MAIN PIXEL] と同じときは、[OUT FORMAT] で設定した値になります。
 - 再生クリップの記録解像度が [MAIN PIXEL] と異なるときは、[OUT FORMAT] の工場出荷値になります。
- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、RAW 出力になります。

〈HDMI〉端子から出力できるフォーマット

次の設定の組み合わせで、〈HDMI〉端子から出力可能なフォーマットが異なります。

- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [FREQUENCY]
- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [MAIN PIXEL]
- [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [HDMI OUT] → [SIGNAL SEL]
- [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [HDMI OUT] → [OUT FORMAT]

項目			出力フォーマット [OUT FORMAT]
[FREQUENCY]	[MAIN PIXEL]	[SIGNAL SEL]	
[59.94p] [50.00p]	[4096×2160]	[HDMI]	4096×2160p 4096×2160p (4:2:0/8ビット) 1920×1080p*1 (工場出荷値) 1920×1080i*1
		[LCD (1080p)]	1920×1080p*2
	[3840×2160]	[HDMI]	3840×2160p 3840×2160p (4:2:0/8ビット) 1920×1080p (工場出荷値) 1920×1080i
		[LCD (1080p)]	1920×1080p*2
	[2048×1080]	[HDMI]	1920×1080p*1 (工場出荷値) 1920×1080i*1
		[LCD (1080p)]	1920×1080p*2
	[1920×1080]	[HDMI]	1920×1080p (工場出荷値) 1920×1080i
		[LCD (1080p)]	1920×1080p*2
	[1280×720]	[HDMI]	1280×720p (工場出荷値)
		[LCD (1080p)]	1920×1080p*2

第 7 章 出力と画面表示 — 出力フォーマット

項目			出力フォーマット [OUT FORMAT]
[FREQUENCY]	[MAIN PIXEL]	[SIGNAL SEL]	
[59.94i] [50.00i]	[1920×1080]	[HDMI]	1920×1080i (工場出荷値) 720×480p ([59.94i] 時) 720×576p ([50.00i] 時)
		[LCD (1080p)]	1920×1080p*2
[29.97p] [23.98p]	[4096×2160]	[HDMI]	4096×2160p 1920×1080p*1 (工場出荷値)
		[LCD (1080p)]	1920×1080 over 59.94p*2
	[3840×2160]	[HDMI]	3840×2160p 1920×1080p (工場出荷値)
		[LCD (1080p)]	1920×1080 over 59.94p*2
	[2048×1080]	[HDMI]	1920×1080p*1 (工場出荷値)
		[LCD (1080p)]	1920×1080 over 59.94p*2
	[1920×1080]	[HDMI]	1920×1080p (工場出荷値)
		[LCD (1080p)]	1920×1080 over 59.94p*2
[24.00p]	[4096×2160]	[HDMI]	4096×2160p 1920×1080p*1 (工場出荷値)
		[LCD (1080p)]	1920×1080 over 60p*2
	[2048×1080]	[HDMI]	1920×1080p*1 (工場出荷値)
		[LCD (1080p)]	1920×1080 over 60p*2
[25.00p]	[4096×2160]	[HDMI]	4096×2160p 1920×1080p*1 (工場出荷値)
		[LCD (1080p)]	1920×1080 over 50p*2
	[3840×2160]	[HDMI]	3840×2160p 1920×1080p (工場出荷値)
		[LCD (1080p)]	1920×1080 over 50p*2
	[2048×1080]	[HDMI]	1920×1080p*1 (工場出荷値)
		[LCD (1080p)]	1920×1080 over 50p*2
	[1920×1080]	[HDMI]	1920×1080p (工場出荷値)
		[LCD (1080p)]	1920×1080 over 50p*2

*1 レターボックス表示になります。記録映像に対して多少品位が落ちます。

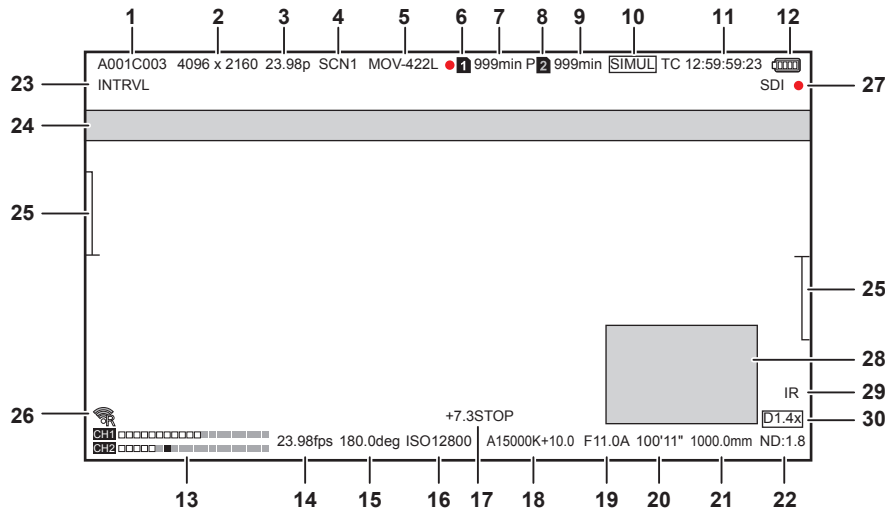
*2 上下左右に黒帯が付いた液晶モニターと同じ映像になります。フォーカスや EI アシスト表示ができません。4:2:2 (8ビット) 相当になります。タイムコード情報は出力されません。
次の機能は表示されません。
フォーカススクエア表示
ウェーブフォームモニター
スキントーンディテール機能を有効に設定しているときのゼブラパターン

 NOTE

- [SIGNAL SEL] が [LCD (1080p)] に設定されているとき、[FREQUENCY]、[MAIN PIXEL] の設定にかかわらず出力は次のようになります。
 - [FREQUENCY] が [59.94p] / [59.94i] / [29.97p] / [23.98p] のとき : 1920×1080 over 59.94p
 - [FREQUENCY] が [50.00p] / [50.00i] / [25.00p] のとき : 1920×1080 over 50p
 - [FREQUENCY] が [24.00p] のとき : 1920×1080 over 60p
- 2048×1080 出力には対応していません。
- [FREQUENCY]、[MAIN PIXEL] の設定が変わり、[OUT FORMAT] の現在の設定値を取り得ることができなくなったときは、[OUT FORMAT] は工場出荷値に戻ります。
- サムネール画面からの再生時の出力フォーマットは次のようになります。
 - 再生クリップの記録解像度が [MAIN PIXEL] と同じときは、[OUT FORMAT] で設定した値になります。
 - 再生クリップの記録解像度が [MAIN PIXEL] と異なるときは、[OUT FORMAT] の工場出荷値になります。
- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外、かつ、[OUTPUT SETTINGS] メニュー → [HDMI OUT] → [SIGNAL SEL] が [HDMI] に設定されているときは、[OUT FORMAT] は [1920×1080p] に固定されます。
- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、タイムコード情報は出力されません。

画面の状態表示

■ 撮影時



1 クリップ名

記録中のクリップ名を、先頭から最大 8 文字で表示します。

2 システム解像度 /RAW 出力解像度

[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [MAIN PIXEL] / [SENSOR MODE] で設定された解像度を表示します。

- [4096×2160]
- [3840×2160]
- [2048×1080]
- [1920×1080]
- [1280×720]
- [2048 MIX], [1920 MIX] : [SENSOR MODE] が [S35 MIX 2.8K] のとき
- [2048 CROP], [1920 CROP] : [SENSOR MODE] が [4/3 CROP&MIX 2.2K] のとき

[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外のときは、[SDI RAW] で設定された RAW 出力解像度を表示します。

- [S35 5.7K]
- [CROP 4K]
- [CROP&MIX 2K]

3 システム周波数

[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [FREQUENCY] で設定された周波数を表示します。

- [23.98p]
- [24.00p]
- [25.00p]
- [29.97p]
- [50.00p]
- [50.00i]
- [59.94p]
- [59.94i]

4 メイン記録のカラー

[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [COLOR SETTINGS] → [MAIN] で設定されたカラーの設定を表示します。

- [VLog] : V-Log
- [SCN1] : SCENE1
- [SCN2] : SCENE2
- [SCN3] : SCENE3
- [SCN4] : SCENE4
- [SCN5] : SCENE5

5 記録フォーマット

[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [MAIN CODEC] / [SDI RAW] で設定されたフォーマットを表示します。

- [MOV HEVC]
- [MOV 420L]
- [MOV 422L]
- [MOV 422I]
- [AVCHD PS]
- [AVCHD PH]
- [AVCHD HA]
- [AVCHD PM]
- [SDI RAW] : [SDI RAW] が [OFF] 以外のとき

6 録画状態（カードスロット 1）

カードスロット 1 の SD カードの録画状態を表示します。

- **1** : 記録の対象外です。
- **1 (点滅)** : SD カード認識中です。
- **1** : 記録対象の SD カードが挿入されている状態で記録が停止中です。
- **1 (点滅)** : SD カード認識中です。
- **● 1** : 記録中です。
- **● 1 (赤丸点滅)** : 記録の停止処理中です。
- **[P 1]** : プリレック機能が有効で、記録対象の SD カードが挿入されている状態で記録が停止中です。
- **[P]** : プリレック機能が有効で、カードスロットに SD カードが挿入されていない、または SD カードを認識できていません。
- **(表示なし)** : 次のいずれかの状態です。
 - SD カードが挿入されていません。
 - SD カードを認識できていません。
 - [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されていて記録停止中です。
- **●** : 次のいずれかの状態です。
 - [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されていて、記録中です。
 - ネットワーク経由でタリールンプが赤色に点灯するように指示されている状態です。

7 SD カードの記録残量および状態（カードスロット 1）

カードスロット 1 の SD カードの記録残量および SD カードの状態を表示します。

- **[0min] … [999min]** : 記録残量（999 分以上は [999min]）と表示されます。
 - 記録残量が 2 分以下になると表示が点滅します。
 - サイマル記録のときは、サイマル記録ができる記録残量（2 つの SD カードのうち、記録残量が少ないほう）を表示します。
- **[WP]** : 書き込み禁止状態（SD カードの書き込み禁止スイッチが LOCK 側になっています）
- **[END]** : 記録残量なし（SD カードの記録残量がありません）
- **[ERR]** : 記録できない SD カードが挿入されているとき（フォーマットエラー、SD カード以外など、認識しているが使用できない場合）
- **[!SDXC]** : MOV 記録で、SDXC メモリーカードが挿入されていないとき
- **(表示なし)** : 次のいずれかの状態です。
 - SD カードが挿入されていません。
 - SD カードを認識できていません。
 - [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されています。

8 録画状態（カードスロット 2）

カードスロット 2 の SD カードの録画状態を表示します。

- **2** : 記録の対象外です。
- **2 (点滅)** : SD カード認識中です。
- **2** : 記録対象の SD カードが挿入されている状態で記録が停止中です。
- **2 (点滅)** : SD カード認識中です。
- **● 2** : 記録中です。
- **● 2 (赤丸点滅)** : 記録の停止処理中です。
- **[P 2]** : プリレック機能が有効で、記録対象の SD カードが挿入されている状態で記録が停止中です。
- **[P]** : プリレック機能が有効で、カードスロットに SD カードが挿入されていない、または SD カードを認識できていません。
- **(表示なし)** : 次のいずれかの状態です。
 - SD カードが挿入されていません。
 - SD カードを認識できていません。
 - [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されています。

9 SD カードの記録残量および状態（カードスロット 2）

カードスロット 2 の SD カードの記録残量および SD カードの状態を表示します。

- **[0min] … [999min]** : 記録残量（999 分以上は [999min]）と表示されます。
 - 記録残量が 2 分以下になると表示が点滅します。
 - サイマル記録のときは、サイマル記録ができる記録残量（2 つの SD カードのうち、記録残量が少ないほう）を表示します。
- **[WP]** : 書き込み禁止状態（SD カードの書き込み禁止スイッチが LOCK 側になっています）
- **[END]** : 記録残量なし（SD カードの記録残量がありません）
- **[ERR]** : 記録できない SD カードが挿入されているとき（フォーマットエラー、SD カード以外など、認識しているが使用できない場合）
- **[!SDXC]** : MOV 記録で、SDXC メモリーカードが挿入されていないとき
- **(表示なし)** : 次のいずれかの状態です。
 - SD カードが挿入されていません。
 - SD カードを認識できていません。
 - [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されています。

10 2 スロット機能

2 枚の SD カードを利用した記録機能の設定状態を表示します。

各機能が有効でも、2 スロット記録できない状態の場合は、斜線が付いた表示になります。








- **[RELAY]** : リレー記録が有効のとき
- **[SIMUL]** : サイマル記録が有効のとき
- **(表示なし)** : 通常記録のとき

11 タイムコード

[REC SETTINGS] メニュー → [TC] → [TC/UB/Dur.] の設定に応じて、タイムコード、ユーザーズビット、デュレーションを表示します。

- **[TC **:***:***]**** : タイムコードを表示します。（外部入力のタイムコードにスレブロック中は TC を白黒反転して表示）
- **[UB ** ** ** **]**** : ユーザーズビットを表示します。
- **[Dur **:***:***]**** : デュレーションを表示します。


12 電源状態

: バッテリーで駆動中に、バッテリー残量を表示します。(バッテリー残量が少なくなるに従って、 →  →  →  →  と電源状態表示が変わります。バッテリー残量がなくなると、赤色で点滅します)
: AC アダプターで駆動中に表示します。

13 オーディオレベルメーター

音量を表示します。

[AUDIO SETTINGS] メニュー → [AUDIO CH SETTINGS] → [HEAD ROOM] → [18dB] / [20dB] で設定した基準レベルの位置が、黒で塗りつぶされて表示されます。([20dB] に設定した場合は左から 8 番目、 [18dB] に設定した場合は左から 9 番目)

- : 音声を記録できないときに表示します。(バリアブルフレームレート記録機能を有効にし、システム周波数と異なるフレームレートに設定しているときなど)

14 フレームレート

フレームレートを表示します。

フレームレートがシステム周波数の設定と同じ場合のみ、小数点以下 2 桁を表示します。

システム周波数が 60i/50i のときは、表示されません。

15 シャッタースピード

シャッタースピードを表示します。

[CAMERA SETTINGS] メニュー → [SHUTTER] → [MODE] で [sec] と [deg] の表示を切り替えできます。[sec] に設定しているときは時間(分数)表示、[deg] に設定しているときは開口角度で表示されます。

シャッターが無効のときは、表示されません。

16 EXPOSURE INDEX

映像の感度を表示します。[CAMERA SETTINGS] メニュー → [EI] → [MODE] で [ISO] と [dB] の表示を切り替えられます。

17 スポットメーター

中央部の輝度を [STOP] または [%] の単位で表示します。

[V-Log] のときは [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD EI ASSIST] → [SPOT METER UNIT] で [STOP] と [%] の表示単位を切り替えられます。[V-Log] 以外の場合は [%] の表示で固定されます。

18 色温度

選択されている色温度を表示します。

- **[A****K+*.*)**: 色温度の値と、GMg の設定値を表示します。[A] は、オートホワイトバランスで取得した調整値が [AWB MEMORY A] の場合に表示します。調整値が [AWB MEMORY B] の場合は [B] を表示します。
- **[ATW]**: オートトラッキングホワイトバランスの動作中に表示します。
- **[ATW LOCK]**: オートトラッキングホワイトバランスがロックされているときに表示します。

19 アイリス

F 値を表示します。([A] はオートアイリスのときに表示します)

次の場合は、表示されません。

- レンズが接続されていないとき
- データが取得できないとき

20 フォーカス

フォーカス値を表示します。

フォーカス値の表示は、[OUTPUT SETTINGS] メニュー → [SDI/HDMI INDICATOR] → [FOCUS]、[OUTPUT SETTINGS] メニュー → [LCD INDICATOR] → [FOCUS] の設定に従います。

[feet] に設定しているときは、フィート、インチ単位で表示します。

[m] に設定しているときは、メートル単位で表示します。

次の場合は、表示されません。

- レンズが接続されていないとき
- データが取得できないとき

21 ズーム

ズーム距離をミリ単位で表示します。

次の場合は、表示されません。

- レンズが接続されていないとき
- データが取得できないとき

22 ND フィルター

選択している ND フィルターを表示します。

- **[ND:1.8]**: MOS センサーに入る光の量を 1/64 にします。
- **[ND:1.2]**: MOS センサーに入る光の量を 1/16 にします。
- **[ND:0.6]**: MOS センサーに入る光の量を 1/4 にします。
- **[ND:CLR]**: ND フィルターを使用していません。

23 特殊記録機能

特殊記録機能の状態を表示します。

- **[INTRVL]**: インターバル記録停止中です。
- **[I-REC]**: インターバル記録中です。(赤色表示)

24 メッセージ表示エリア

カメラの状態やワーニングなどのメッセージを表示します。

25 水準器

水平方向や垂直方向の傾きを確認できます。

液晶モニターのみに表示されます。

26 ワイヤレス LAN の接続状態

ワイヤレス LAN の接続状態を表示します。

27 外部機器での記録動作の制御状態 (〈SDI OUT〉 / 〈HDMI〉 端子)

〈SDI OUT〉 端子および 〈HDMI〉 端子に接続された外部機器での記録開始、記録停止の制御状態を表示します。

- [S/H ●] : 〈SDI OUT〉 端子、〈HDMI〉 端子からの出力に、録画の指示を出力中です。
- [S/H] : 〈SDI OUT〉 端子、〈HDMI〉 端子からの出力に、一時停止の指示を出力中です。
- [SDI ●] : 〈SDI OUT〉 端子からの出力に、録画の指示を出力中です。
- [SDI] : 〈SDI OUT〉 端子からの出力に、一時停止の指示を出力中です。
- [HDMI ●] : 〈HDMI〉 端子からの出力に、録画の指示を出力中です。
- [HDMI] : 〈HDMI〉 端子からの出力に、一時停止の指示を出力中です。

28 ウェーブフォームモニター

映像状態を波形やベクトルで表示します。

液晶モニターのみに表示されます。

29 IR 撮影

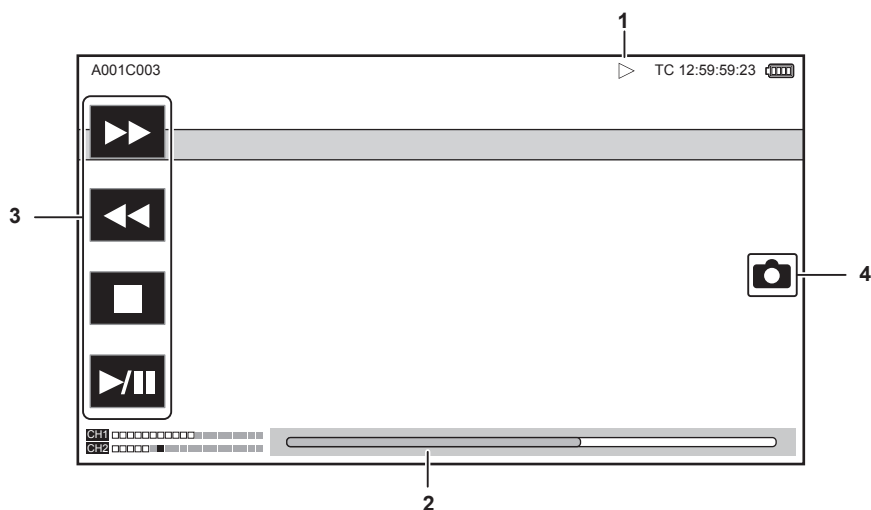
IR 撮影が有効に設定されているときに表示します。

30 電子手ぶれ補正機能 / デジタルズーム

電子手ぶれ補正機能が設定されているときや、デジタルズームが有効のときに表示します。

- [EIS] : 電子手ぶれ補正機能が有効のときに表示します。
- [D1.4x] : 1.4 倍デジタルズームが有効のときに表示します。

■ 再生時



1 再生状態

再生の状態を表示します。

再生中のみ表示されます。

- ■ : 停止
- ▶ : 再生
- || : 一時停止
- ◀ : コマ戻し
- ▶ : コマ送り
- ▶▶ : 早送り再生 (10 倍速)
- ▶▶▶ : 早送り再生 (20 倍速)
- ◀◀ : 早戻し再生 (10 倍速)
- ◀◀◀ : 早戻し再生 (20 倍速)
- ▶ : スロー再生
- ◀ : 逆スロー再生

2 ダイレクト再生バー

再生しているおおよその位置を表示します。

3 再生ナビゲーションボタン

ボタンをタッチすると操作できます。

- ▶▶ : 早送り再生
- ◀◀ : 早戻し再生
- ■ : 停止
- ▶ / || : 再生 / 一時停止

4 写真記録ボタン

再生中、または再生の一時停止中にボタンをタッチ、またはマルチダイヤルを押して選択すると、その場面を写真として記録します。

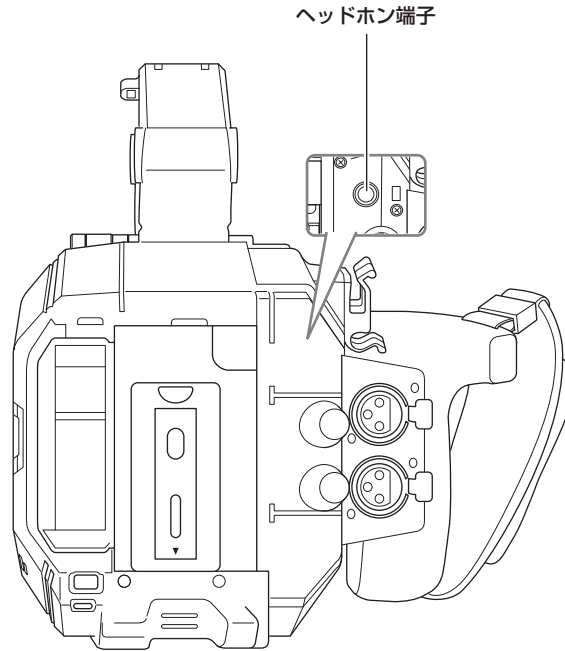
第8章 外部機器との接続

本機と接続できる外部機器について説明します。

ヘッドホン、テレビ / モニターとの接続

ヘッドホン

ヘッドホン（別売品）をヘッドホン端子（ステレオミニジャック 3.5 mm）に接続できます。

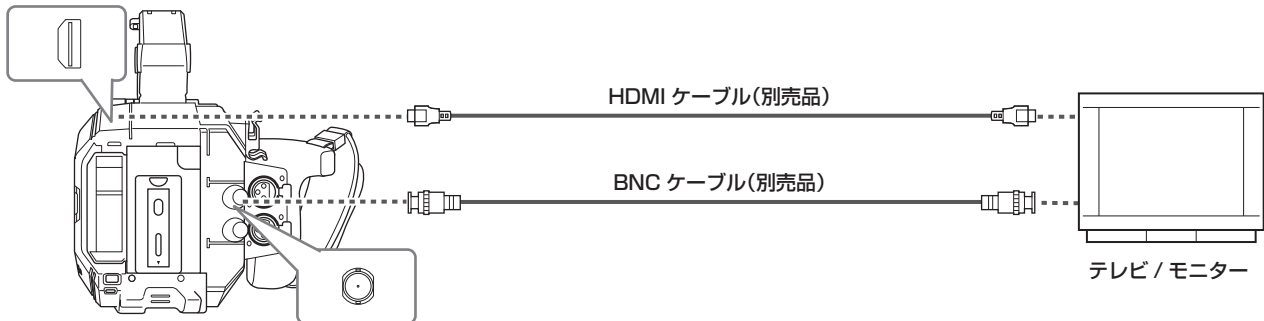


NOTE

- ・ヘッドホン端子にヘッドホンを接続すると、内蔵スピーカーから音声は出力されません。

テレビ / モニター

次の図のように、テレビやモニターを本機に接続できます。

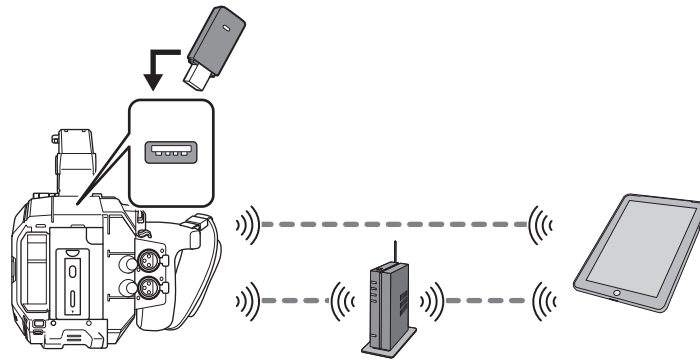


NOTE

- ・本機は、ピエラリンクに対応しておりません。ピエラリンク対応機器と HDMI ケーブル（別売品）で接続すると、ほかの機器のピエラリンクが正しく動作しないことがありますのでお気をつけください。
- ・〈HDMI〉端子から出力される SD 解像度の信号は、プログレッシブ信号（480P、576P）で出力されます。
- ・〈SDI OUT〉端子に接続する BNC ケーブル（別売品）は、5C-FB 相当の二重シールドのものをご使用ください。
- ・HDMI ケーブル（別売品）は、4K/60P に対応した二重シールドケーブルをご使用ください。また、HDMI ケーブルは、4K/60P に対応した当社製の HDMI ケーブルのご使用をお勧めします。

iPad や Android 端末によるリモート操作

本機の〈USB2.0 HOST〉端子に、本機に対応したワイヤレスモジュール（別売品）を装着すると、ワイヤレス LAN に接続できます。本機と EVA ROP アプリをインストールした iPad や Android 端末を接続することで、一部の機能をリモート操作できます。



EVA ROP アプリを使用して、次のリモート操作ができます。

- 本機の状態確認
- 本機のリモートコントロール

NOTE

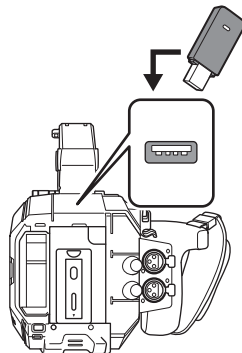
- EVA ROP アプリの操作については、次の Web サイトのサポートデスクを参照してください。
<https://panasonic.biz/cns/sav/>

iPad や Android 端末を接続するための準備

ワイヤレスモジュールの取り付け

本機にワイヤレスモジュール（別売品）を取り付けます。

ワイヤレスモジュールの取り付けや取り外しの前に、必ず電源スイッチを （スタンバイ）にし、電源ランプの消灯を確認してください。



1 後面部の〈USB2.0 HOST〉端子の端子カバーを開ける。

2 〈USB2.0 HOST〉端子にワイヤレスモジュールを取り付ける。

奥まで確実に挿入してください。

- 本機に対応したワイヤレスモジュールについて、詳しくは次の Web サイトのサポートデスクを参照してください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

EVA ROP アプリの準備

iPad や Android 端末に EVA ROP アプリをインストールします。

■ iPad の場合

- EVA ROP アプリは、App Store でダウンロードしてください。

■ Android 端末の場合

- EVA ROP アプリは、Google Play Store でダウンロードしてください。

NOTE

- EVA ROP アプリの対応 OS などについては、次の Web サイトのサポートデスクを参照してください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

EVA ROP アプリ接続中の操作について

■ 接続中の本機の操作

次のボタン、およびダイヤルは使用できません。

- 〈MENU〉ボタン
- 〈THUMBNAIL〉ボタン

■ 接続中の記録・再生操作

- 記録は、本機と EVA ROP アプリのどちらかで操作できます。
- 再生は、操作できません。

NOTE

- EVA ROP アプリを使用してリモート操作で設定した内容は、本機に反映されます。

本機の設定

iPad や Android 端末を本機と接続するには、本機の次の情報が必要です。

- ユーザーアカウント名
「ユーザーアカウント名とパスワードの設定」を参照してください。
- パスワード
「ユーザーアカウント名とパスワードの設定」を参照してください。
- IP アドレス
「本機と iPad/Android 端末の接続」を参照してください。
[NETWORK SETTINGS] メニュー → [NETWORK PROPERTY] → [DHCP] → [SERVER] を選択しているときは、IP アドレスを設定する必要はありません。
(工場出荷値：[SERVER])

ユーザーアカウント名とパスワードの設定

1 [NETWORK SETTINGS] メニュー → [NETWORK FUNC] → [USER ACCOUNT] → [ADD] を選択する。

2 ユーザーアカウント名を入力し、[Enter] を選択する。




- ユーザーアカウント名は 31 文字以内で入力してください。

3 パスワードを入力し、[Enter] を選択する。

- パスワードは 6 文字以上、15 文字以内で入力してください。

■ 文字を入力するには

キーボードの入力方法と同じ操作です。

アイコン	操作説明
[A-a]	大文字と小文字を切り替えます。
	前の画面に戻ります。入力した文字は反映されません。
123 #+=	記号 / 数字に文字を切り替えます。
␣	スペース (空白) を入力します。
[BS]	文字を消去します。カーソル位置が空白の場合は、1 つ前の文字を消去します。
 / 	カーソルを左右に移動します。
[Enter]	文字入力を完了します。

ユーザーアカウントの削除

1 [NETWORK SETTINGS] メニュー → [NETWORK FUNC] → [USER ACCOUNT] → [DELETE] を選択する。

登録されているユーザーアカウントの一覧が表示されます。

2 削除したいユーザーアカウントを選択する。

確認メッセージが表示されます。

3 削除する場合は [SET] を選択する。

登録されているユーザーアカウント一覧画面に戻ります。

- 削除しない場合は、 を選択してください。

4 続けて削除する場合は、手順 2 ~ 3 の操作をする。

- 操作を終了したいときは、[EXIT] ボタンを選択してください。

本機と iPad/Android 端末の接続

ワイヤレス LAN で iPad や Android 端末と直接接続、またはワイヤレスアクセスポイントに接続する場合の設定です。

直接接続 ([DIRECT])

本機と iPad/Android 端末を直接接続する場合の設定です。

設定を変更した場合、本機は必要に応じて再起動することがあります。


- 1 [NETWORK SETTINGS] メニュー → [NETWORK PROPERTY] → [TYPE] → [DIRECT] を選択する。
- 2 [NETWORK SETTINGS] メニュー → [NETWORK PROPERTY] で各項目を必要に応じて設定する。
 - 設定項目については、「[DIRECT] に設定している場合の [NETWORK PROPERTY] の設定項目について」を参照してください。
- 3 [NETWORK SETTINGS] メニュー → [NETWORK SEL] → [WLAN] を選択する。
- 4 iPad/Android 端末の SSID 一覧画面から本機の SSID を選択して、パスワード (暗号化キー) を入力する。

ワイヤレス LAN の設定でワイヤレスアクセスポイント一覧画面を表示させ、本機の SSID を選択します。

 - 工場出荷値：[AU-EVA1]

パスワード確認画面が表示されたら、パスワード (暗号化キー) を入力します。

 - 工場出荷値：[01234567890123456789abcdef]
- 5 ネットワーク接続を確認する。

接続が完了すると、本機の画面に  が表示されます。

■ [DIRECT] に設定している場合の [NETWORK PROPERTY] の設定項目について

[SSID]	本機のネットワーク名 (SSID) (工場出荷値：[AU-EVA1])
[BAND]	2つの通信方式 ([2.4GHz] または [5GHz]) の切り替え設定 (工場出荷値：[2.4GHz])
[CHANNEL (2.4GHz)]	[BAND] で [2.4GHz] に設定時の使用チャンネル (工場出荷値：[AUTO])
[CHANNEL (5GHz)]	[BAND] で [5GHz] に設定時の使用チャンネル (工場出荷値：[AUTO])
[ENCRYPT KEY]	WPA2 暗号化キー (工場出荷値：[01234567890123456789abcdef])
[DHCP]	DHCP 機能の設定 <ul style="list-style-type: none"> • [OFF]：DHCP 機能を利用しません。 • [CLIENT]：[TYPE] で [INFRA (SELECT)] または [INFRA (MANUAL)] に設定して接続する場合、DHCP より自動取得します。(選択できません) • [SERVER]：[TYPE] で [DIRECT] に設定して接続する場合、本機の DHCP サーバー機能を有効にします。 (工場出荷値：[SERVER])
[IP ADDRESS]	本機の IP アドレス (工場出荷値：[192.168.0.1])
[SUBNET MASK]	サブネットマスク (工場出荷値：[255.255.255.0])
[DEFAULT GATEWAY]	デフォルトゲートウェイ (工場出荷値：[192.168.0.254])

NOTE

- [DIRECT] で [5GHz] に設定しているときは、屋外での使用が禁止されています。
- [DHCP] は [SERVER] に設定されます。
- [ENCRYPTION] は [WPA2-AES] に固定されます。
- 使用するワイヤレスモジュールによっては、[BAND]、[CHANNEL (2.4GHz)]、[CHANNEL (5GHz)]の一部の項目を選択できないことがあります。

ワイヤレスアクセスポイントに接続 ([INFRA (SELECT)] / [INFRA (MANUAL)])

本機とワイヤレスアクセスポイントを接続する場合の設定です。

ワイヤレスアクセスポイント (SSID) を検索して接続する場合

- 1 [NETWORK SETTINGS] メニュー → [NETWORK PROPERTY] → [TYPE] → [INFRA (SELECT)] を選択する。
- 2 [NETWORK SETTINGS] メニュー → [NETWORK PROPERTY] で各項目を必要に応じて設定する。
 - 設定項目については、「[INFRA (SELECT)] に設定している場合の [NETWORK PROPERTY] の設定項目について」を参照してください。
- 3 [NETWORK SETTINGS] メニュー → [NETWORK SEL] → [WLAN] を選択する。
- 4 [NETWORK SETTINGS] メニュー → [NETWORK PROPERTY] → [SSID] を選択する。
 - 検索されたワイヤレスアクセスポイントの SSID が表示されます。

5 SSID を選択し、[Enter] を選択する。

[ENCRYPT KEY] (暗号化キー、パスワード) が設定されていない場合は、設定が完了します。

6 [ENCRYPT KEY] を設定している場合は、パスワードを入力し、[Enter] を選択する。

7 ネットワーク接続を確認する。

接続が完了すると、本機の画面に📶が表示されます。

 **NOTE**

・ WEP の ENCRYPTION には対応していません。

■ [INFRA (SELECT)] に設定している場合の [NETWORK PROPERTY] の設定項目について

[ENCRYPTION]	[WPA-TKIP]、[WPA-AES]、[WPA2-TKIP]、[WPA2-AES]、[NONE] (工場出荷値：[WPA-AES])
[ENCRYPT KEY]	WPA2 暗号化キー (工場出荷値：[01234567890123456789abcdef])
[DHCP]	DHCP 機能の設定 <ul style="list-style-type: none"> • [OFF]：DHCP 機能を利用しません。 • [CLIENT]：[TYPE] で [INFRA (SELECT)] または [INFRA (MANUAL)] に設定して接続する場合、DHCP より自動取得します。 • [SERVER]：[TYPE] で [DIRECT] に設定して接続する場合、本機の DHCP サーバー機能を有効にします。(選択できません) (工場出荷値：[SERVER])
[IP ADDRESS]	本機の IP アドレス (工場出荷値：[192.168.0.1])
[SUBNET MASK]	サブネットマスク (工場出荷値：[255.255.255.0])

ワイヤレスアクセスポイント (SSID) を手動で入力する場合

1 [NETWORK SETTINGS] メニュー → [NETWORK PROPERTY] → [TYPE] → [INFRA (MANUAL)] を選択する。

2 [NETWORK SETTINGS] メニュー → [NETWORK PROPERTY] で各項目を必要に応じて設定する。

・ 設定項目については、「[INFRA (MANUAL)] に設定している場合の [NETWORK PROPERTY] の設定項目について」を参照してください。

3 [NETWORK SETTINGS] メニュー → [NETWORK SEL] → [WLAN] を選択する。

4 [NETWORK SETTINGS] メニュー → [NETWORK PROPERTY] → [SSID] で、接続先のワイヤレスアクセスポイントの SSID を入力する。

5 SSID を選択し、[Enter] を選択する。

[ENCRYPT KEY] (暗号化キー、パスワード) が設定されていない場合は、設定が完了します。

6 [ENCRYPT KEY] を設定している場合は、パスワードを入力し、[Enter] を選択する。

7 ネットワーク接続を確認する。

接続が完了すると、本機の画面に📶が表示されます。

 **NOTE**

・ WEP の ENCRYPTION には対応していません。

■ [INFRA (MANUAL)] に設定している場合の [NETWORK PROPERTY] の設定項目について

[ENCRYPTION]	[WPA-TKIP]、[WPA-AES]、[WPA2-TKIP]、[WPA2-AES]、[NONE] (工場出荷値：[WPA-AES])
[ENCRYPT KEY]	WPA2 暗号化キー (工場出荷値：[01234567890123456789abcdef])
[DHCP]	DHCP 機能の設定 <ul style="list-style-type: none"> • [OFF]：DHCP 機能を利用してしません。 • [CLIENT]：[TYPE] で [INFRA (SELECT)] または [INFRA (MANUAL)] に設定して接続する場合、DHCP より自動取得します。 • [SERVER]：[TYPE] で [DIRECT] に設定して接続する場合、本機の DHCP サーバー機能を有効にします。(選択できません) (工場出荷値：[SERVER])
[IP ADDRESS]	本機の IP アドレス (工場出荷値：[192.168.0.1])
[SUBNET MASK]	サブネットマスク (工場出荷値：[255.255.255.0])

履歴から接続する場合

ワイヤレスアクセスポイントに接続すると接続の履歴が保存されます。履歴から接続すると、以前と同じ設定で簡単に接続できます。

1 [NETWORK SETTINGS] メニュー → [CONNECTION HISTORY] → [SELECT] を選択する。

接続履歴がワイヤレスアクセスポイントの SSID で一覧表示されます。

2 接続したい SSID を選択する。**3** ネットワーク接続を確認する。

接続が完了すると、本機の画面に  が表示されます。

履歴を削除する場合**1** [NETWORK SETTINGS] メニュー → [CONNECTION HISTORY] → [DELETE] を選択する。

接続履歴がワイヤレスアクセスポイントの SSID で一覧表示されます。

2 削除したい SSID を選択する。

確認メッセージが表示されます。

3 [SET] を選択する。

手順 2 に戻ります。

- 削除しない場合は、 を選択してください。

4 続けて削除する場合は、手順 2 ~ 3 の操作をする。

操作を終了したいときは、[EXIT] ボタンを選択してください。

 **NOTE**




- 履歴は、直近に使用した最大 20 個まで保存できます。

第9章 お知らせ

本機のメンテナンス方法やよくある質問について説明します。

よくある質問

電源関連

- 付属の AC アダプターが対応している電源電圧を教えてください。
 - AC 100 V-240 V です。
- 付属の AC アダプターは、バッテリーを取り付けたままの状態で使用できますか。
 - 使用できます。電源をく 〈 | 〉 (入) にしているとき、バッテリーを取り付けた状態で AC アダプターを接続すると、電源の供給は自動的に AC アダプター側に切り替わります。
液晶モニターの電源状態表示は、マークからマークに変わります。
- 電源をく 〈 | 〉 (入) にしても操作できません。
 - 電源 (バッテリーまたは AC アダプター) を取り外し、約 1 分後に電源を再度取り付けてください。
 - カメラ本体の〈LOCK〉スイッチをく  にしているときは、対象のボタンやスイッチの操作が無効になります。必要に応じて、ロックを解除してください。

バッテリー関連

- バッテリーの消耗が早いのですが、改善する方法はありますか。
 - バッテリーを十分に充電してください。
 - 低温のところでは使用できる時間が短くなります。
 - 十分に充電しても使用できる時間が短いときは、バッテリーの寿命です。
- 今まで使用していた機種種のバッテリーは使用できますか。
 - VW-VBD58 (別売品) は使用できます。
バッテリーは、次の当社製純正バッテリーのご使用をお勧めします。
 - AG-VBR59 (付属品 / 別売品、7.28 V、5900 mAh)
 - AG-VBR89 (別売品、7.28 V、8850 mAh)
 - AG-VBR118 (別売品、7.28 V、11800 mAh)
- 付属のバッテリーは、バッテリーチャージャー AG-B23 (DE-A88) (別売品) で充電できますか。
 - 通常充電できます。急速充電はできません。



バッテリーチャージャー

- 付属のバッテリーチャージャーで以前のバッテリーを充電できますか。
 - 通常充電できます。
 - 急速充電するには、急速充電対応バッテリーを使用してください。本機は、次の急速充電対応バッテリーに対応しています。
 - AG-VBR59 (付属品 / 別売品、7.28 V、5900 mAh)
 - AG-VBR89 (別売品、7.28 V、8850 mAh)
 - AG-VBR118 (別売品、7.28 V、11800 mAh)

SD カード

- カードスロットに SD カードを挿入しても、操作を受け付けません。
 - 本機で使用する SD カードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。
パーソナルコンピューターでフォーマットされた SD カードは、本機では使用できません。

撮影

- 撮影が勝手に止まってしまう、撮影ができません。
 - 記録フォーマットを MOV 形式に設定したときは、SDXC メモリーカードを使用してください。MOV 形式のデータは、SDHC メモリーカードには記録できません。
 - 記録ビットレートに応じて、必要なスピードクラスの SD カードを使用してください。(47 ページ)
- 音声記録ができません。
 - 次の場合は、音声記録ができません。
 - バリアブルフレームレート記録機能を有効にし、システム周波数と異なるフレームレートに設定しているとき
 - インターバル記録機能を有効にしているとき
 - 音声記録できないときは、HOME 画面に 、VIEW 画面に  が表示されます。

編集

- パーソナルコンピューター (Windows/Mac) と USB 経由で接続できますか。
 - 本機には USB デバイス端子がないため、パーソナルコンピューターと USB 経由で接続できません。市販の SD カードリーダーをパーソナルコンピューターに接続し、SD カードから直接コンテンツ (データ) をコピーしてください。

再生

■ クリップが再生できません。

- サムネール画面で[!]が表示されているクリップは再生できません。
[!]は、次のようなクリップに表示されます。
 - ほかの機器で撮影されたクリップ、編集ソフトにより編集されたクリップ
 - 壊れているクリップ
- 記録モード (MOV 形式 / AVCHD 形式)、またはシステム周波数が異なるクリップは、サムネール画面のクリップに▶⊗が表示されます。システム周波数または記録コーデックを変更してください。

■ クリップが消去できません。

- クリップのプロテクトを解除してください。
- サムネール画面で[!]が表示されているクリップは、消去できないことがあります。
クリップが不要な場合は、SD カードをフォーマットしてください。
フォーマットすると、SD カードに記録されている全てのデータが消去されます。大切なデータは、パーソナルコンピューターなどに保存しておいてください。

■ AG-DVX200、AG-UX180 で撮影したコンテンツを再生できますか。

- MOV 形式 / MP4 形式で記録されたコンテンツは再生できません。本機は当社製の VARICAM シリーズ (AU-V35LT1G など) とファイル名の互換性を確保するため、SD カード内のフォルダー構成を変更しています。
- AVCHD 形式で記録されたコンテンツを再生できます。ただし、本機で記録できないフォーマットのコンテンツは再生できません。

その他

■ AG-DVX200 シリーズで使用していたワイヤードリモコンは使用できますか。


- 制御形態が異なりますので、使用できません。

ワーニングシステム

電源を入れた直後や操作中に異常が検出されると、液晶モニターの HOME 画面や VIEW 画面、タリーランプなどで異常発生を知らせます。記載内容に沿って対応してください。

エラーメッセージが表示される場合

システムエラー

画面表示		内容	動作と対応
VIEW 画面	HOME 画面		
[SYSTEM ERROR]	—	基準信号の異常や通信異常が発生しました。	全てのタリーランプとカードアクセスランプ（オレンジ色）が 1 秒間に 4 回点滅し、アラーム音が鳴ります。 ● 電源を  （スタンバイ）にしてください。

ワーニング

画面表示		内容	動作と対応
VIEW 画面	HOME 画面		
[LOW BATTERY]	—	バッテリー残量が不足しています。	全てのタリーランプとカードアクセスランプ（オレンジ色）が 1 秒間に 4 回点滅し、アラーム音が鳴ります。 電源状態表示は  になり、1 秒間に 1 回、赤色で点滅します。 ● 約 5 秒後に電源が切れます。 ● 充電済みのバッテリーに交換、または AC アダプターを接続してください。
[HIGH TEMPERATURE]	—	本体の内部温度が想定以上に上昇したときに、表示します。	全てのタリーランプとカードアクセスランプ（オレンジ色）が 1 秒間に 4 回点滅し、アラーム音が鳴ります。 ● 約 5 秒後に電源が切れます。 ● 再度、電源を入れて記録再生を確認してください。異常が続く場合は、販売店にご相談ください。
[REC WARNING]		記録中に記録データに異常が発生し、記録が停止しました。	全てのタリーランプとカードアクセスランプ（オレンジ色）が 1 秒間に 4 回点滅し、アラーム音が鳴ります。 ● 記録が停止します。
[REC WARNING]		記録中にクリップ数の上限を超えて記録しようとした。	全てのタリーランプとカードアクセスランプ（オレンジ色）が 1 秒間に 4 回点滅し、アラーム音が鳴ります。 ● 記録が停止します。 ● INFO 画面で [DIAGNOSTICS] を選択すると、ワーニング表示欄に [REC WARNING] [<OVER MAX NUM. OF CLIPS>] と表示されます。 ● SD カードを交換するか、不要なクリップを削除してください。
[CARD ERROR <SLOT 1>] / [CARD ERROR <SLOT 2>]		記録中、または再生中に、SD カードが原因でデータ異常が発生しました。	● 記録中の場合 全てのタリーランプとカードアクセスランプ（オレンジ色）が 1 秒間に 4 回点滅し、アラーム音が鳴ります。 記録が停止します。 記録停止後は、エラーが発生した SD カードは書き込み禁止の状態になっています。エラーが発生したカードスロットの SD カードを交換してください。 ● 再生中の場合 再生を停止します。
[END] (SD カードの状態表示)	—	記録中に SD カードの残量がなくなりました。	全てのタリーランプとカードアクセスランプ（オレンジ色）が 1 秒間に 4 回点滅し、アラーム音が鳴ります。 ● 記録が停止します。 ● SD カードを交換するか、不要なクリップを削除してください。
 (1 秒間に 1 回、赤色で点滅)	—	バッテリーが消耗間近です。	全てのタリーランプが 1 秒間に 1 回点滅します。 ● 動作は継続します。 ● 充電済みのバッテリーに交換、または AC アダプターを接続してください。
SD カードの記録残量表示 (記録中に 1 秒間に 1 回点滅)	—	SD カードの残量が少なくなっています。	● 記録は継続します。 ● 必要に応じて、SD カードを交換してください。

アラート

画面表示		内容	動作と対応
VIEW 画面	HOME 画面		
[SIMUL REC WARNING <SLOT 1>] / [SIMUL REC WARNING <SLOT 2>]		サイマル記録中に、片方の SD カードに異常が発生しました。	メッセージを約 5 秒間表示します。 ●もう一方の SD カードの記録は継続します。
[SIMUL REC WARNING <SLOT 1>] / [SIMUL REC WARNING <SLOT 2>]		サイマル記録中に、片方の SD カードにクリップ数の上限を超えて記録しようとした。	メッセージを約 5 秒間表示します。 ●もう一方の SD カードの記録は継続します。 ●INFO 画面で [DIAGNOSTICS] を選択すると、ワーニング表示欄に [SIMUL REC WARNING] [<OVER MAX NUM. OF CLIPS>] と表示されます。 ●SD カードを交換するか、不要なクリップを削除してください。
[FAN STOPPED]		ファンが停止しました。	メッセージを表示します。 ●動作は継続します。 ●ファンが停止した場合は、速やかに使用を中止し、販売店にご相談ください。 ●ファンが停止した場合は、本機の温度が上昇しますので、長時間使用しないでください。
[REINSERT OR CHECK CARD <SLOT 1>] / [REINSERT OR CHECK CARD <SLOT 2>]		非対応の記録メディアが挿入されていたり、カードの端子が汚れていたりしているため、カードを正常に認識できません。	メッセージを約 5 秒間表示します。 ●挿入したカードを確認してください。 ●SD カードを挿入したときに表示された場合は、SD カードを挿入しなおしてください。
[FORMAT ERROR CARD <SLOT 1>] / [FORMAT ERROR CARD <SLOT 2>]		管理情報が規格外の SD カードが挿入されています。 (SD カードの AVCHD フォーマットにおけるシステム周波数 (59.94 Hz または 50 Hz 系) が、[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [FREQUENCY] の設定と異なる場合を含む)	メッセージを約 5 秒間表示します。 ●記録可能な SD カードを挿入してください。 ●AVCHD フォーマットにおけるシステム周波数の情報は、フォーマット時、または最初の記録時に確定されます。
[NOT SDXC CARD <SLOT 1>] / [NOT SDXC CARD <SLOT 2>]		[MAIN CODEC] を MOV 形式に設定しているときに、MOV 形式のデータが記録できない SDHC メモリーカードが挿入されています。	メッセージを約 5 秒間表示します。 ●SDXC メモリーカードを挿入してください。
[INCOMPATIBLE CARD <SLOT 1>] / [INCOMPATIBLE CARD <SLOT 2>]		書き込み速度が遅いため、記録できなくなる可能性がある SD カードが挿入されています。	メッセージを約 5 秒間表示します。 ●動作は継続します。 ●書き込み可能速度が十分に速い SD カードをお使いください。
[BACKUP BATT EMPTY]		電源を < > (入) にしたときに、内蔵時計のバックアップ電池の電圧低下を検出しました。	メッセージを約 5 秒間表示します。 ●動作は継続します。 ●内蔵電池を充電したあと、日付 / 時刻を設定してください。

メッセージ

画面表示		内容	動作と対応
VIEW 画面	HOME 画面		
[CANNOT PLAY.]	—	再生できないクリップです。 (システム周波数の違いなどのために再生できない場合) 再生中に異常が発生し、再生が停止しました。	メッセージを表示します。 ●クリップのシステム周波数と本機のシステム周波数が合っているか確認してください。 ●クリップを確認してください。
[CANNOT DELETE.]	—	削除できないクリップです。	メッセージを表示します。 ●機器とコンテンツのバージョンを合わせてください。
[CANNOT RECORD. THE NUMBER OF CLIPS HAS EXCEEDED THE MAXIMUM LIMIT.]	—	記録できるクリップ数が上限に達しています。	メッセージを表示します。 ●SD カードを交換するか、不要なクリップを削除してください。
[CARD ERROR. PLEASE REFORMAT.]	—	SD カードのフォーマットに失敗しました。	メッセージを表示します。 ●再度、フォーマットしてください。
[Repair failed.]	—	記録中の電源の遮断、または SD カードの取り出しによって、エラーが発生したクリップの修復に失敗しました。 管理情報の修復に失敗しました。	メッセージを表示します。 ●SD カードを確認してください。
[UNABLE TO FORMAT.]	—	フォーマットできない SD カードです。	メッセージを表示します。 ●SD カードを確認してください。
[CANNOT REPAIR CONTROL INFORMATION DUE TO LOW BATTERY POWER.]	—	バッテリー残量が不足しているため、管理情報を修復できません。	メッセージを表示します。 ●充電済みのバッテリーに交換、または AC アダプターを接続してください。

第 9 章 お知らせ — ワーニングシステム

画面表示		内容	動作と対応
VIEW 画面	HOME 画面		
[CANNOT PROTECT.]	—	プロテクトできないクリップです。	メッセージを表示します。 ●機器とコンテンツのバージョンを合わせてください。
[THE CLIP IS PROTECTED. PLEASE CANCEL PROTECTION.]	—	クリップがプロテクトされているため、削除できません。	メッセージを表示します。 ●クリップのプロテクトを解除してください。
[CANNOT DELETE UNTIL TOP MENU IS DELETED. DELETE TOP MENU? (RECORDED DATA WILL NOT BE DELETED)]	—	トップメニューが作成された SD カードのクリップを削除しようとしています。	メッセージを表示します。 ●トップメニューを削除してください。
[CANNOT RECORD UNTIL TOP MENU IS DELETED. DELETE TOP MENU? (RECORDED DATA WILL NOT BE DELETED)]	—	トップメニューが作成された SD カードが挿入されています。	メッセージを表示します。 ●トップメニューを削除してください。
[THUMBNAIL DATA ERROR IS DETECTED.]	—	SD カードのサムネイル情報にエラーが発生しました。	メッセージを表示します。 ●このあと、管理情報の修復を自動で行います。
[CANNOT RECORD - INCOMPATIBLE CONTROL DATA.]	—	SD カードの管理情報が非対応のバージョンです。	メッセージを表示します。 ●機器とコンテンツのバージョンを合わせてください。
[CANNOT SET.]	—	設定できません。	メッセージを表示します。 ●設定可能な状態にしてから設定してください。
[THIS CLIP CANNOT BE COPIED.]	—	クリップがコピーできません。	メッセージを表示します。 ●該当のクリップ以外をコピーしてください。
[CONTROL DATA ERROR HAS BEEN DETECTED. (SD CARD)]	—	SD カードの管理情報にエラーが発生しました。	メッセージを表示します。 ●このあと、管理情報の修復を自動で行います。
[COPY FAILED. PLEASE CHECK THE CARD.]	—	SD カードのエラーのため、クリップのコピーに失敗しました。	メッセージを表示します。 ●SD カードを確認してください。
[COPY TERMINATION IN PROGRESS DUE TO INSUFFICIENT BATTERY POWER. DO NOT SWITCH OFF.]	—	クリップのコピー中に、バッテリー残量が少なくなりました。	メッセージを表示します。 ●コピーは中断します。 ●充電済みのバッテリーに交換、または AC アダプターを接続してください。
[COPY TERMINATED DUE TO INSUFFICIENT BATTERY POWER.]	—	バッテリー残量が不足しているため、クリップのコピーが中断されました。	メッセージを表示します。 ●充電済みのバッテリーに交換、または AC アダプターを接続してください。
[CANNOT COPY - THE NUMBER OF CLIPS HAS REACHED MAXIMUM.]	—	コピーできるクリップ数が上限に達しています。	メッセージを表示します。 ●コピー先の SD カードを交換するか、不要なクリップを削除してください。
[LOW BATTERY. PLEASE CONNECT AC ADAPTOR OR CHANGE BATTERY.]	—	バッテリー残量が不足している状態で、クリップのコピーまたは本機のファームウェアのアップデートをしようとしています。	メッセージを表示します。 ●充電済みのバッテリーに交換、または AC アダプターを接続してください。
[CANNOT PLAY THIS CLIP ON THIS MODEL.]	—	本機で再生できないクリップです。	メッセージを表示します。 ●再生可能な機器で再生してください。
[Cannot copy: contains recordings from other devices.]	—	ほかの機器で記録されたクリップはコピーできません。	メッセージを表示します。 ●該当のクリップ以外をコピーしてください。
[ERROR HAS OCCURRED. TO REPAIR THE CONTROL DATA, PLEASE CONNECT AC ADAPTOR OR CHANGE BATTERY.]	—	管理情報の修復開始時に、バッテリー残量が少なくなっていました。	メッセージを表示します。 ●充電済みのバッテリーに交換、または AC アダプターを接続してください。
[INVALID]	—	操作が無効です。	メッセージを表示します。 ●操作が有効な状態になってから、操作してください。
[Cannot record - Playlist capacity is full.]	—	記録できるプレイリスト数が上限に達している SD カードに記録しようとした。	メッセージを表示します。 ●SD カードを交換するか、不要なクリップを削除してください。
[Cannot copy - Playlist capacity is full.]	—	記録できるプレイリスト数が上限に達している SD カードにコピーしようとした。	メッセージを表示します。 ●SD カードを交換するか、不要なクリップを削除してください。
[Exceeds capacity. Please reselect.]	—	コピー先の SD カードの記録残量が不足しています。	メッセージを表示します。 ●コピーするクリップを選択し直すか、コピー先の SD カードに十分な記録残量を確保してください。
[Check the destination media.]	—	コピー中に、コピー先の SD カードにエラーが発生しました。	メッセージを表示します。 ●コピー先の SD カードを確認してください。
[SCENE FILE LOAD FAILED]	—	シーンファイルの読み込みに失敗しました。	メッセージを表示します。 ●SD カードを確認してください。

第 9 章 お知らせ — ワーニングシステム

画面表示		内容	動作と対応
VIEW 画面	HOME 画面		
[SCENE FILE WRITE FAILED]	—	シーンファイルの書き込みに失敗しました。	メッセージを表示します。 ●SD カードを確認してください。
[DISCONNECT USB CABLE.]	—	OS 非対応エラーにより、USB サービスモードの接続が確立するまでに 5 分間経過しました。	メッセージを表示します。 ●ご使用の OS が、本機に対応しているかどうか確認してください。
[CARD LOCKED.]	—	ロックされている SD カードのクリップをプロテクト、削除しようとした。 ロックされている SD カードにクリップをコピーしようとした。	メッセージを表示します。 ●SD カードのロックを解除してください。
[CANNOT SELECT MORE CLIPS.]	—	クリップを 99 個を超えて選択しようとした。	メッセージを表示します。 ●クリップは、99 個ごとにコピーなどの実行したい処理をしてください。
[SELECT THE CLIP TO BE DELETED.]	—	1 つもクリップを選択せずに削除しようとした。	メッセージを表示します。 ●削除するクリップを選択してください。
[SELECT THE CLIPS TO COPY.]	—	1 つもクリップを選択せずにコピーしようとした。	メッセージを表示します。 ●コピーするクリップを選択してください。
[Insert a card in slot 1.]	—	カードスロット 1 に SD カードを挿入せずにコピーしようとした。	メッセージを表示します。 ●カードスロット 1 に SD カードを挿入してください。
[Insert a card in slot 2.]	—	カードスロット 2 に SD カードを挿入せずにコピーしようとした。	メッセージを表示します。 ●カードスロット 2 に SD カードを挿入してください。
[REINSERT OR CHECK CARD <SLOT 1>] / [REINSERT OR CHECK CARD <SLOT 2>]	—	エラーカードにコピーしようとした。	メッセージを表示します。 ●SD カードを確認してください。
[CANNOT COPY.]	—	AVCHD フォーマットで記録されたコンテンツにおいて、コピー元 SD カードとコピー先 SD カードのシステム周波数 (59.94 Hz 系または 50 Hz 系) が異なる状態でコピーしようとした。	メッセージを表示します。 ●コピー元 SD カードとコピー先 SD カードのコンテンツのシステム周波数 (59.94 Hz 系または 50 Hz 系) を同じにしてください。 ●AVCHD フォーマットにおけるシステム周波数情報は、フォーマットのとき、または最初の記録のときに確定されます。
[CANNOT RECORD.]	—	記録できません。	メッセージを表示します。 ●記録可能な状態にしてから記録してください。

同時に使用できない記録機能について

設定中の記録機能によっては、同時に使用できない記録機能があります。

- 表内の記号の意味は、次のとおりです。
 - ○：同時に使用できます。
 - —：同時に使用できません。

追加で設定する記録機能	設定中の記録機能				
	プリレック *1*2*3	リレー記録 *3	サイマル記録 *3	インターバル記録 *3*4*5*6*7*8	VFR *4*5*6
プリレック *1*2*3		○	○	—	—
リレー記録 *3	○		—	—	○ *9
サイマル記録 *3	○	—		○	○ *9
インターバル記録 *3*4*5*6*7*8	—	—	○		—
VFR *4*5*6	—	○ *9	○ *9	—	

*1 タイムコードは、フリーランに固定されます。

*2 記録を開始しないで3時間が経過すると、プリレックは一度破棄されます。

*3 [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SDI RAW] が [OFF] 以外に設定されているときは、設定できません。

*4 次の場合は、同時に設定できません。

- AVCHD 形式で記録するとき

*5 タイムコードは、レックランに固定されます。

*6 [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [FREQUENCY] を [50.00i] / [59.94i] に設定しているときは、設定できません。

*7 タイムコードは、[NDF] に固定されます。

*8 [OUTPUT SETTINGS] メニュー → [SDI OUT] → [SDI REC REMOTE]、[OUTPUT SETTINGS] メニュー → [HDMI OUT] → [HDMI REC REMOTE] は動作しません。

*9 [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SYSTEM MODE] → [SENSOR MODE] が [S35 MIX 2.8K] または [4/3 CROP&MIX 2.2K] のときは、動作しません。

本機搭載ファームウェアのアップデート

[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [INFORMATION] → [VERSION] で本機のファームウェアバージョンを確認のうえ、NOTE に記載された Web サイトのファームウェアに関する最新情報にアクセスし、必要に応じてファームウェアをダウンロードしてください。

NOTE

- アップデートはダウンロードしたファイルを、SD カードを介して本機にロードすることにより完了します。アップデートファイルを格納した SD カードをカードスロット 1 に入れ、[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [INFORMATION] → [UPDATE] を選択してください。アップデート方法については次の Web サイトのサポートデスクを参照してください。
<https://panasonic.biz/cns/sav/>
- ファームウェアのアップデートは、必ず液晶モニターユニットを取り付けた状態で行ってください。
- ファームウェアのアップデートを行う場合は、AC アダプターを使用、もしくは十分に充電されたバッテリーを使用してください。
- ファームウェアのアップデート中は電源を切らないでください。ファームウェアの書き換えに失敗して、起動しなくなることがあります。

お手入れと保管について

カメラ本体のお手入れ

- お手入れの前に、バッテリーを取り外すか、ACコードをコンセントから抜いておいてください。
- お手入れをするときは、ベンジンやシンナーを使用しないでください。ベンジンやシンナーを使用すると、カメラ本体が変形したり、塗装がはげたりするおそれがあります。
- カメラ本体は、柔らかく清潔な布で拭いてください。汚れがひどいときは、水でうすめた台所用洗剤にひたした布で汚れを拭き、乾いた布で仕上げてください。

保管上のお願い

保管時は、カメラ本体からバッテリーを取り外してください。湿気が少なく、比較的湿度が一定な場所にそれぞれ保管してください。

- 推奨温度：15℃～25℃
- 推奨相対湿度：40%～60%

■ カメラ本体

- ほこりが入らないように、柔らかい布で包んでください。

■ バッテリー

- 極端に低温または高温になるところでは、バッテリーの寿命が短くなります。
- 油煙やほこりが多いところに保管すると、端子がさびるなどして故障の原因になることがあります。
- バッテリーの端子に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させないでください。端子間がショートして発熱することがあります。この状態で触れると大やけどをするおそれがあります。
- バッテリーは放電した状態で保管してください。長期間保管する場合、1年に1回は充電し、本機で充電容量を使い切ってから再保管することをお勧めします。

■ SDカード

- 本機から取り出したときは、必ずケースに収納してください。
- 腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。
- 車の中や直射日光が当たるところなど温度が高くなるところには置かないでください。
- 湿度が高いところやほこりが多いところには置かないでください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンスなどのご相談は、
まず、**お買い上げの販売店**へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

* 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書（同梱印刷物に添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいたうえ、大切に保管してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、無料修理させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社は、このメモリーカードカメラレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8 年保有しています。

* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保守・点検

- 保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。
- 部品の劣化、ごみ、ほこりの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を行ってください。
- 保守・点検（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 修理、保守、点検時には、情報漏えいしては困る本体設定情報はあらかじめ削除し、SD カードを外して、ご依頼ください。

修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書を参照してください。

■ 保証期間経過後の修理は...

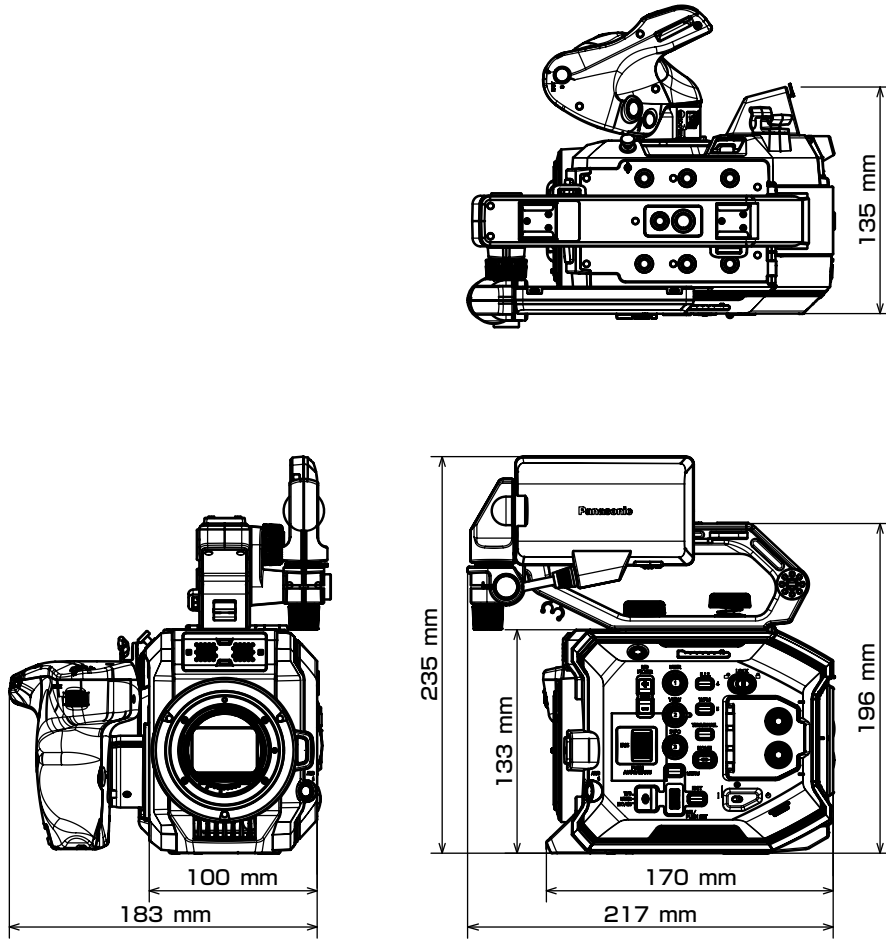
修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	メモリーカードカメラレコーダー
品番	AU-EVA1
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

第10章 仕様

本製品の定格について説明します。

寸法図



定格

総合

電源
 DC ≐ 7.28 V (バッテリー使用時)
 DC ≐ 12 V (AC アダプター使用時)
消費電力
 19 W (液晶モニター使用時)

は安全項目です。

動作周囲温度	0 °C ~ 40 °C
動作周囲湿度	10% ~ 80% (相対湿度、結露なし)
質量	約 1.2 kg (カメラ本体のみ、付属品を除く) 約 2.05 kg (ハンドル、グリップ、液晶モニター、液晶モニターフード、マイクホルダー、マイクホルダーアダプター、バッテリーの付属品を含む)
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	カメラ本体のみ 135 mm × 133 mm × 170 mm (突起部分を除く)

カメラ部

撮像素子	スーパー 35 mm、MOS センサー
画素数	<ul style="list-style-type: none"> 総画素数: 約 2049 万画素 (6340 (H) × 3232 (V)) 有効画素数: 約 1725 万画素 (5720 (H) × 3016 (V))
レンズマウント	EF マウント
光学フィルター	<ul style="list-style-type: none"> ND フィルター内蔵、電動式 [ND:1.8] / [ND:1.2] / [ND:0.6] / [ND:CLR] IR カットフィルター USER ボタンに [IR SHOOTING] を割り当てて [ON] / [OFF] (メニュー切り替え)
色温度切り替え	ATW、AWB A、AWB B、2000 K ~ 15000 K、-10.0GMg ~ +10.0GMg 最大 13 項目登録可能
ゲイン切り替え	<ul style="list-style-type: none"> [ISO] モード デュアルネイティブ ISO 対応、[200 ISO] ~ [25600 ISO] [dB] モード [NORMAL] / [HIGH] ゲイン対応、-12 dB ~ 26 dB (2 dB ステップ)
シャッタースピード	<ul style="list-style-type: none"> [deg] 設定時 3.0 deg ~ 357.0 deg (0.5 deg ステップ) 最大 12 項目登録可能 [sec] 設定時 1/24.1 秒 ~ 1/8000 秒 (23.98p 時) 最大 12 項目登録可能

メモリーカードレコーダー部

記録メディア	<ul style="list-style-type: none"> カードスロット × 2 SDHC メモリーカード (4 GB ~ 32 GB) SDXC メモリーカード (32 GB 超 ~ 128 GB) : UHS-I/UHS-II、UHS スピードクラス 3 対応、ビデオスピードクラス V90 対応
記録画素数	4096 × 2160 (4K)、3840 × 2160 (UHD)、2048 × 1080 (2K)、1920 × 1080 (FHD)、1280 × 720 (HD)
記録コーデック	MOV、AVCHD
システム周波数	59.94p、59.94i、50p、50i、29.97p、24p、25p、23.98p
記録フレームレート (最大)	<ul style="list-style-type: none"> 4K/UHD 59.94fps または 50fps 2K/HD 120fps/100fps 240fps/200fps (クロップモード)

第 10 章 仕様 — 定格

記録フォーマット	<ul style="list-style-type: none"> ● MOV : 4:2:0 (10 ビット) HEVC LongGOP 200M/HEVC LongGOP 150M ● MOV : 4:2:0 (8 ビット) 420LongGOP 150M/420LongGOP 100M/420LongGOP 50M ● MOV : 4:2:2 (10 ビット) 422LongGOP 150M/422LongGOP 100M/422LongGOP 50M 422ALL-I 400M/422ALL-I 200M/422ALL-I 100M ● AVCHD : PS/PH/HA/PM
記録ビデオ信号	4096×2160/59.94p、50p、29.97p、25p、24p、23.98p 3840×2160/59.94p、50p、29.97p、25p、23.98p 2048×1080/59.94p、50p、29.97p、25p、24p、23.98p 1920×1080/59.94p、50p、29.97p、25p、23.98p、59.94i、50i 1280×720/59.94p、50p
記録再生時間	SDXC メモリーカード 64 GB 使用時 <ul style="list-style-type: none"> ● 4096×2160/422ALL-I 400M/29.97p、25p、23.98p、24p 約 20 分 ● 2048×1080/422ALL-I 200M/59.94p、50p 約 40 分 ● 4096×2160/420LongGOP 150M/59.94p、50p 約 55 分 ● 2048×1080/420LongGOP 100M/59.94p、50p 約 1 時間 20 分 ● 1920×1080/420LongGOP 50M/29.97p、25p、23.98p 約 2 時間 40 分
2 スロット機能	サイマル記録、リレー記録
特殊記録	プリレック、インターバル記録

デジタルビデオ部

量子化ビット数	<ul style="list-style-type: none"> ● MOV : 4:2:2 (10 ビット) /4:2:0 (8 ビット) /4:2:0 (10 ビット (HEVC)) ● AVCHD : 4:2:0 (8 ビット)
ビデオ圧縮方式	H.264/MPEG-4 AVC High Profile H.265/MPEG-H HEVC Main10 Profile

デジタルオーディオ部

記録オーディオ信号	<ul style="list-style-type: none"> ● MOV : 48 kHz/24 bit、2ch ● AVCHD : 48 kHz/16 bit、2ch
オーディオ記録方式	<ul style="list-style-type: none"> ● MOV : LPCM ● AVCHD : Dolby Audio™
ヘッドルーム	18 dB/20 dB メニュー切り替え可

ビデオ出力部

<SDI OUT> 端子	<ul style="list-style-type: none"> ● BNC×1 4K (6G)、HD (3G/1.5G) : 0.8 V [p-p]、75 Ω ● SDI リモート制御対応 ● 出力フォーマット (4:2:2 (10 ビット) 出力) 4096×2160/3840×2160 : 29.97p、25p、24p、23.98p 1920×1080 : 59.94p、50p、59.94i、50i、29.97p、29.97fps、25p、25fps、24p、24fps、23.98p、23.98fps 1280×720 : 59.94p、50p ● RAW 出力フォーマット (10 ビット) 5760×3072 : 29.97p、25p、24p、23.98p (最大 30fps/25fps) 4096×2160 : 59.94p、50p、29.97p、25p、24p、23.98p (最大 60fps/50fps) 2048×1080 : 59.94p、50p、29.97p、25p、24p、23.98p (最大 240fps/200fps)
--------------	---

第 10 章 仕様 — 定格

〈HDMI〉端子	<ul style="list-style-type: none"> • HDMI タイプ A×1 (ピエラリンク非対応) • HDMI リモート制御対応 • 出力フォーマット (4:2:2 (10ビット) 出力) 4096×2160/3840×2160 : 59.94p、50p、29.97p、25p、24p、23.98p 1920×1080 : 59.94p、50p、59.94i、50i、29.97p、25p、24p、23.98p 1280×720 : 59.94p、50p 720×480 : 59.94p 720×576 : 50p
----------	--

オーディオ入力部

内蔵マイク	ステレオマイク対応
〈AUDIO INPUT 1〉 / 〈AUDIO INPUT 2〉端子	XLR×2、3ピン 入力ハイインピーダンス、[LINE] / [MIC] メニュー切り替え <ul style="list-style-type: none"> • [LINE] : 4 dBu/0 dBu (メニュー選択可) • [MIC] : -40 dBu/-50 dBu/-60 dBu (メニュー選択可)、+48 V 入/切 (メニュー切り替え)

オーディオ出力部

〈SDI OUT〉端子 〈HDMI〉端子	LPCM 2ch
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック×1
スピーカー	丸形 20 mm 径×1

その他入出力部

〈TC IN/OUT〉端子	BNC×1 入力/出力端子兼用、入力/出力メニュー切り替え <ul style="list-style-type: none"> • 入力 : 1.0 V ~ 4.0 V [p-p]、10 kΩ • 出力 : 2.0 V ± 0.5 V [p-p]、ローインピーダンス
〈LCD〉端子	40ピン (液晶モニター接続用)
〈REMOTE〉端子	2.5 mm 径スーパーミニジャック×1、グリップ接続用
〈USB2.0 HOST〉端子	タイプ A コネクタ、4ピン (5 V、0.5 A)、ワイヤレスモジュール (別売品) 取り付け用
〈DC IN 12V〉端子	DC12 V、EIAJ タイプ 4

モニター

液晶モニター	3.5 型液晶モニター (約 115 万ドット)、タッチパネル対応 〈MIRROR〉スイッチで対面撮影表示に変更可能
--------	--

AC アダプター

定格入力
 AC ~ 100 V-240 V、50 Hz/60 Hz、1.2 A
定格出力
 DC === 12 V、3.0 A

は安全項目です。

動作周囲温度	0 °C ~ 40 °C
動作周囲湿度	10% ~ 90% (相対湿度、結露なし)
質量	約 225 g
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	115 mm×37 mm×57 mm (DC コード部を除く)

バッテリーチャージャー (AG-BRD50)

入力電圧
 DC === 12 V、3.0 A
出力電圧
 DC === 8.4 V、4.0 A

は安全項目です。

充電電流	最大 4,000 mA
動作周囲湿度	10% ~ 80% (相対湿度、結露なし)

第 10 章 仕様 — 定格

質量	約 230 g
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	130 mm × 48 mm × 107 mm

バッテリーパック (AG-VBR59)

電圧 / 容量
DC --- 7.28 V / 5900 mAh 43 Wh

は安全項目です。

さくいん

A		画面表示.....61
AC アダプター		カラーバー.....138
取り付け.....33		
H		く
HOME 画面.....63, 65		クリップ
I		コピー.....146
INFO 画面.....68		再生.....149
IR 撮影.....132		削除.....147
S		修復.....148
SD カード.....47		プロテクト.....147
書き込み禁止.....47		グリップ
記録時間.....49		取り付け.....35
状態.....47		さ
挿入.....48		サイマル記録.....131
データ構造.....50		撮影.....118
取り出し.....48		サムネール.....143
フォーマット.....49		サムネール画面.....143
U		三脚.....43
USER ボタン		し
確認.....58		シーンファイル.....114
割り当て.....57		写真記録機能.....152
V		出力フォーマット
VIEW 画面.....157		〈HDMI〉端子.....155
あ		〈SDI OUT〉端子.....154
アップデート.....177		使用制限.....176
い		ショルダーベルト.....40
インターバル記録.....131		す
う		水準器.....137
ウェブフォームモニター機能.....137		せ
え		セーフティーゾーンマーカー.....133
液晶モニター		セットアップファイル.....115
状態表示.....157		ゼブラパターン.....133
液晶モニターユニット		センターマーカー.....133
取り付け.....38		た
取り外し.....38		タイムコード.....54
エラーメッセージ.....172		外部供給.....56
お		外部プリセット.....55
音声入力.....139		タイムデータ.....53
オーディオ機器.....139		タリーランプ.....59
外部マイク.....139		て
切り替え.....139		定格.....182
設定確認.....141		デジタルズーム機能.....137
ダイレクトボリュームコントロール機能.....140		テレビ.....162
内蔵マイク.....139		電源
モニター.....140		入れ方.....44
レベル調整.....139		切り方.....44
か		電子手ぶれ補正機能.....136
外部マイク		と
取り付け.....41		時計.....46
画質調整		な
[BLACK].....123		内蔵電池.....45
[CHROMA].....127		に
[COLOR CORRECTION].....128		日時.....46
[DETAIL].....126		ね
[EI].....122		ネットワーク
[GAMMA].....123		ワイヤレス LAN.....164
[HLG KNEE].....126		は
[KNEE].....125		ハイスピード撮影.....129
[MATRIX].....127		バッテリー
[SKIN DETAIL].....127		充電.....30
[WHITE].....122		取り付け.....32
[WHITE CLIP].....126		取り外し.....32
画面切り替え.....62		ハンドル
		取り付け.....34

取り外し	34
ふ	
フォーカスアシスト機能	134
プリレック	130
フレームマーカー	134
へ	
ヘッドホン	162
め	
メニュー	
[AUDIO SETTINGS]	89
[CAMERA SETTINGS]	79
[FILE]	102
[NETWORK SETTINGS]	103
[OPTION]	104
[OUTPUT SETTINGS]	92
[REC SETTINGS]	87
[SCENE FILE SETTINGS]	83
[SYSTEM SETTINGS]	73
[THUMBNAIL]	73
構成	69
初期化	72
操作	71
表示	70
も	
モニター	162
ゆ	
ユーザズビット	53
り	
リモート操作	163
リレー記録	130
れ	
レジューム再生	151
レンズ	
取り付け	42
わ	
ワーニングシステム	172
ワイヤレス LAN	
直接接続	166
ワイヤレスアクセスポイント	166
ワイヤレスモジュール	164
ワンプッシュオートフォーカス機能	134

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

©Panasonic Corporation 2017